

谷朝素のケーブロン將軍傳出版
アメリカ名譽博士谷朝一佐翁が前後十五年の苦心によつて著した明治初年日本に來朝北海道開拓に盡した恩人であるH・ケーブロン將軍傳記は、今度未知の一鋼鐵商の財政的援助により百部限定として世に出ることとなつた。翁はその後アメリカより講演の申込があり十二年六月一日渡米した。

西園寺家代々傳はる「西園寺實見記」は前後十數代四百餘年にわたり鎌倉、吉野、室町三時代における各方面の諸記録、數代の日記古文書、雜錄を含み百五卷に及ぶものであるが、この貴重な記録を後世に傳へるため今度公と因縁深い京都立命館大學に依頼し複製に決し、全國の大學、著名な圖書館などに配布される計畫である。

古事記イタリ譯出版 大分市のカトリック教會司教イタリ人神學博士マリオマレガ師(シ)は國際文化協會より二千圓の出版補助を受け苦心の末に成つた「古事記」のイタリ語全譯を母國の一流印刷所で印刷し、豪華な裝幀で出版した。

英文「瓜生提督傳」出版 譯て出版を傳へられてゐた「瓜生提督傳」が同氏の血縁にあたるアメリカペンシルヴァニア大學出身、益田克信氏の半蔵にわたる苦心により英文をもつて完成された。同書は瓜生提督のアナポリス海軍兵學校の同窓生一同およびルースヴェルト大統領にも贈呈された。

啓明會の特殊出版補助 啓明會では十三年八月九日特殊の研究に對する補助金交付を決定した。

一、伊能忠敬著測量日記の出版(長岡半太郎)
一、日本農民史料彙粹の出版(小野武夫)
一、耶穌會の日本年報の研究翻譯(村上直次郎)

一、湖南省の調査研究出版(神田正雄)
一、最近のロシア正史の編纂(夏秋藤一)
一、故松岡靜雄著ミクロネシア語の綜合研究の出版(中村孝也)

國際文化振興會の出版プラン 羅進日本の文化を海外に宣揚すべく高松宮殿下を總裁に仰ぎ奉る國際文化振興會は「文化外交」の豪華なプランを立てた。その内で出版關係を上げてみると「寫眞ニッポン」の精華をモンターシュエット、佛、獨三國版のアルム及び西支五國語版の出版計畫。ロッキンフエラー財團より外國人のための日本語大辭典編纂計畫の協力を申込受諾等である。

◆新統「朝日式製版法」
さきにポータブル電送機の完成により寫眞

電送に新紀元を畫した朝日新聞社は今度は寫眞製版界に畫期的な新統「朝日式製版法」を發明し十二年十月二十日付特許された。この「朝日式製版法」とは工程の複雑なる従来の濕版法を廢し、特殊な感光劑を塗布した金屬乾板によつてネガまたは印畫から直接金屬面に撮影するもので、これによれば從來十五分三十分からあつたものを三分の一内外に短縮し、且高價にして多量を要する硝酸銀、沃度加里、コロチオン、有毒危険な青酸加里などの藥品一切が不用となり資源經濟上また従業員の保健上益するところが少くない。

出版界概観

十二年七月七日その端を發した支那事變の突發により出版界も一時はその前途を危まれたが、皇軍の快勝振りに幾分か落着きを見せ、全般的には圖書の發行は前年と別に變る所はなかつた。事變發生以來出版された新刊書は直接、間接事變と關係あるものが、過半数を占むることは當然であり、また戰時下の思想統制、新發共產主義者の檢舉等で出版界に及ぼした影響も看過出来ない。別掲の内務省納本統計にも現れてゐる通り、前年と比較して特に増加の目立つてゐるものは矢張り兵事

の四百二十、政治の二百、生産力補充、軍需工業の隆昌による工學の百七十五、社會の百六十二である。體裁分類によつて比較するにパンフレットが四千の激減を示し、反對に單行本が三千百八十増加してゐる。これは一時流行したパンフレットでは結局あまり概念的にしか物が纏めないので食ひたらず、専門の書籍で研究しようといふ讀者の向上と、一週報の普及によつて群小パンフレットが押へられたためであらう。内務省の發表によると發表禁止部数は十一年より二百件減少してゐるにも拘らず差押部数は約廿五萬部増加の百五十萬に達し、檢閲課はじまつて以來の最高レコードであるといはれてゐる。これはもちろん前述の思想統制、左翼の徹底的彈壓によるものである。裝幀の統計は毎年殆ど大した變化はないが、十二年は時に監製紙表紙本がクロス本を凌駕したことは表題、天金などの金箔使用禁止が産んだ非常特色で面白い。最後に最も出版界を悩ましたものは紙價の暴騰である。ス・フの混織によるバルブの需要増と世界的なバルブ飢饉は、さなきだに騰勢にある紙價に拍車を掛けた。一例が、古新聞の如きは本年三月には遂に事變前の倍額たる四十一錢(一書目に付き)となつた。これより先東京出版協會は圖書の定價を用紙および諸印刷材料の値上りを理由として二割内外引上げ

圖書出版界主要記録

(十二年七月—十三年六月)

七月 昭和十年一月松本學氏が首唱しおよび十三段制を十四段制にするなどの對策を持つてこれに當つてゐるが、近く事變の擴大による資源擁護と輸入統制のため紙の配給をまたぐ減せられる情勢にあるので、値上り以上の恐慌を來たし、それ／＼對策に腐心してゐる。

八月 陸軍新聞班奏三郎大佐は聯隊長に榮轉、後任として原守大佐任命▲先に聖域完成により解散した明治神宮奉賛會は最後の事業たる「明治神宮外苑誌」を二年の日子と笹川博士の協力によつて完成した▲紀元二千五百年を出發點として新日本文化の建設を目指し文部省より十五萬圓の補助金を得て日本文化中央聯盟(島津忠彦公)を八日に結成した。日本文化史、日本文化大觀等

の編纂出版の事業を行ふ。天津治安維持會社會局では二十九日小學校の教科書全部の改訂を決定▲奉天圖書館ではブラツセルの古本屋より「東北雜報」二冊を八百圓で購入▲滯日六年の親日家ハンガリー人エフ・ダブリュ・メツゲル氏が三年の日子を費して日本語による「ハンガリー史」兩卷二七二頁を完成した▲三日事變による不當買取縮るため暴利取締令を公布され、その中に紙價、バルブが加へられた▲一日から十一日まで東京三越にて印刷文化展覽會が開かれた。

九月 日本ペン俱樂部評議會は二十日會合、國際ペン俱樂部(東洋叢書)刊行の勸誘提出を決定▲警視廳檢閲課では市内某所より反戦印刷物として「國民の友」「平和の戰士たれ」を多數押収した▲内務省では有力雜誌社長を十六日官邸に招待し思想文化の時代的統制について懇談。

十月 陸地測量部發行の大都市近傍圖の發賣を禁止した▲日本讀書新聞社の斡旋で十五日出版業者と檢閲當局との「出版懇話會」が組織された。

十一月 上海戰勝の結果我が方の抗日排信社及立報、時事新報、民報、中華日報、神州日報の五有力紙は停刊となつた。さきに支

那人民戦線派の機関紙たる「日報及び辛報」は發行をやめ、今回更に五紙が停刊されたため、残る主要紙は大公報、申報、新聞報及び時報の四紙となつた。石家莊は皇軍占領後、治安回復し、日新聞紙の發行の計畫が興り、石門日報が八日から再刊されるほか新たに正報を發行に決定。南京の滬都と共に南京發行の支那新聞は中央日報のみを残し、二十日より廢刊となる。▲ポーランドの有力週刊「リイアドモシチ・リテラツキエ」誌は日波兩國公使館の大使館昇格に祝意を表して、二日日本特別號を發行した。これはポーランドの若き新聞記者ヤンタ氏の努力によるもので、近衛首相は特に同誌のために書翰を寄せた。▲ソ聯政府は十三日突如政府機關紙「イズヴェスチヤ」主筆ニコライ・タール氏を罷免し、後任として共產黨機關紙「プラウダ」主筆エル・ゼット・メクラリス氏を任命した。商工省では戦時下の資源保護の目的から紙の消費節約を一般に要望。

十二月

南京陥落を機として支那新聞界に六十五年の長きにわたり君臨してゐた「申報」及び「大公報」も遂に十五日より停刊何れも漢口に移轉した。▲九月、十月と置いて發禁に付された井上信子女史主宰の「川柳人」十一月號と、大東出版社發行の島影盟氏著「戦争と言論」が反戦思想の盛られてゐる際により發禁処分を受けた。

十三年一月

重要時局に當り大阪朝日新聞社は率先して五日天津にて「北支離外」を發行、全支に配布した。▲朝日新聞社並に歐聯船飛行の神風の壯舉が左の三つの教科書にのることとなつた。(一)リヴィング・イングリッシュ・リーダース(二)五十嵐博士の「純正國語讀本」(三)天理教外語學校のドイツ語教科書▲文部省は現在檢定によつてゐる中等教科書中修身、公民科、國史の三教科書は特に國體の本義を明瞭ならしむる主旨をもつて文部省編纂に改めることと決定した。▲統後の思想攪亂を企圖する赤の文書が海外から頻々として流れ込む事實にかんがみ、二十五日から内務省で外來出版物取締協同會が開かれた。▲時局にかんがみ唯物論研究會は解散し、機關紙「唯物論研究」は純然たる學術雜誌となる。▲人民文庫は廢刊の手續をとつた。▲瓜生大將の傳記を「アメリカ退役軍人が編纂に着手、目下資料蒐集中」▲上海戦の花と散つた加納治雄少將の傳記が同期生の手により編纂に着手。▲木人スミス氏は親日パンフレット「日支紛争について」を發行▲獨逸機撃された新裝共產主義者の著書は重版を禁止と決定▲「民族と國家」といふ元東大教授矢内原忠雄氏の講演小冊子が發禁となつた。

二月

陸軍省で「傷痍軍人のために」戦争將士の遺族のために」と題する冊子を編纂發行することとなつた。大阪外語の蒙古語科學生十一人が和蒙辭典を完成した。菊判四百二十五頁の堂々たるもの。▲故新渡戸博士の遺著「武士道」がエジプト、アラビア兩國語に翻譯され、ダマスカス市にて出版される。濠州の「日本語の父」といはれてゐるメルボルン大學日本語講座主任相垣蒙志氏の日本語讀本「ナショナル・ランゲージ・オブ・ニッポン」を三月振興會から出版に決定。

三月

主に栗原廣太氏の執筆になる伊東巳代治氏の傳記が振興會の計畫で最近完成しゆかりの人に頒布されることとなつた。▲同盟通信社内に事務所を置いてゐた「タス通信」を同社内から閉出すことになつた。

四月

北京に日支合辦で新民印書館と拂込の印刷會社を設立に決定▲大日本歌人協會は「支那事變歌集」の出版を計畫、文部省は出版費に千五百圓を補助し十月までには第一輯を出す予定▲「日本語會話文典」などの著者で、日支十二年のイタリイ人オレステ・ヴァンカリー氏によつて漢字六千字をアルファベット二十六文字に完全に分類され、それを

基礎とした外人同の「和英辭典」が完成し、國際文化振興會の補助を得て出版された。▲皇大國文科出の樋口賢治氏は東京市の史料編纂部に奉職、日本橋區史の編纂を引継ぎ五年の苦心に依つて最近上下二巻二千四百頁の大冊を完成出版した。

五月

先に歐米に頒布した國際文化振興會のアルバム「ニッポン」が好評なので今度はこれの支那語譯を千部新製するはず▲北京臨時政府は中北支の教育を一元的に統制すべく全面的な教科書の改正に着手した▲警視廳機関課では合法的出版物におけるペンネームの台帳を作り、覆面の論客をも厳重取締ることとなつた▲東京顧問辯護士眞鍋八千代氏はブラー博士の行爲が改正辯護士法違反であると東京地方検事局に告發した▲承教寺(東京)の元住職故加藤日源師が父の遺言によりイギリスのオックスフォード大學に留學の上完成した法華經の英譯が埋れてゐたのを出版されることになつた▲イタリイ經濟使節團團長コンテイ氏の懇望により佐賀武士の象徴「葉隠四番願」を外務省囑託の田付たつ子女史が伊語譯する。

六月

加賀の生んだ一代の豪商錢屋五兵衛を同じく加賀の生んだ大臣永井親相が脚本化すべく執筆することになつ

た▲日本文化宣揚のためニューヨークに日本文化圖書館が創設されることになり、初代館長に前朝日新聞論說委員前田多門氏が就任。失明迫る近松秋江氏を支援するため、徳田秋聲氏らが發起で見舞金の贈呈および同氏の選集出版を計畫▲日本エス語學會は萬國共通語たるエスペラント語のパンフレットを發行して日本の正しき認識を世界に求める計畫を建てた▲わが國法學界の權威杉山直治郎博士の遺著記念論文集にフランス法學界の諸權威達が筆つて寄稿申込の快報を同博士の許にもたらした▲内閣印刷局では神田橋に直營の陳列兼直賣所を設けて官廳編纂圖書の普及に努める▲紀元二千六百年記念にとアルゼンチンの第十四回國際ペン俱樂部聯合大會において賞状を得た東京大會開催は事變その他の關係で中止となつた。

出版物體裁分類表(内務省管)

單行本	昭和十二年	十一年度
パンフレット	一八、二四	一四、九一
ラ	九、七七	一三、七四
寫眞、玩具類、地圖、樂譜、圖書	九、七九	一、三三
合計	一、八六	一、九六
	三、〇七三	三、一六八

出版圖書累年比較表

	昭和十二年	十一年	十年	九年	八年
總計	一、八六	一、九六	三、〇七三	三、一六八	三、一六八
政治	一、三三	一、三三	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
法律	八	八	七	六	六
經濟	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
社會	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
統計	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
神書	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
宗教	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
哲學	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
教育	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
教科書	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
文學	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
語學	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
歷史	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
傳記	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
地誌	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
紀行	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
數字	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
理學	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
工學	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
醫學	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
産業	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
交通	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇

版出・書圖

Table listing various library types and their counts, including categories like 兵事, 美術, 音楽, 技藝, 辭書, 叢書, 家庭, 娛樂, 雜誌.

中央圖書館一覽

(文部省社會教育局成人教育課) 昭和十二年四月一日現在

Table listing library names and their locations, including 北海道, 青森, 岩手, 岩手縣立圖書館.

主要圖書館表 (文部省社會教育局成人教育課) 昭和十二年四月一日現在

Table listing major libraries with columns for name, manager, book count, staff, and location. Includes 小石川圖書館, 本郷圖書館, 下谷圖書館, etc.

Table listing libraries in the Kanto region, including 宮城, 秋田, 山形, 福島, 埼玉, etc.

Table listing libraries in the Kansai region, including 岡山, 廣島, 山口, 徳島, etc.

版出・書圖

Table listing libraries in the Tohoku and Kanto regions, including 小石川圖書館, 本郷圖書館, 下谷圖書館, etc.

Table listing libraries in the Tohoku and Kanto regions, including 光丘文庫, 五木文庫, 高田圖書館, etc.

版出・書齋

Table listing library names, locations, and counts. Includes entries like 長野県立図書館, 長野市, 1,200, 長野市東町, 1,200, 長野市小幡町, etc.

全國新聞紙現在數一覽表(昭和十二年十二月末日、警保局圖書課調)

有保證金新聞紙

無保證金新聞紙

版出・書齋

Table listing library names, locations, and counts. Includes entries like 長野県立図書館, 長野市, 1,200, 長野市東町, 1,200, 長野市小幡町, etc.

Table listing newspapers from various regions including 神戶, 東京, 大阪, 京都, 福岡, etc., with columns for name, location, and other details.

全國主要日刊新聞一覽

(昭和十三年七月號)

Main table listing newspapers across Japan, categorized by region (e.g., 東京, 大阪, 關東, 關西, 中部, 地方) and including details like publisher and address.

中日新聞 同市錦町 石原 徳榮
山梨毎日新聞 同市紅梅町 保城政治部
信濃毎日新聞 長野市南縣町 小坂 武雄
信濃日日新聞 長野市縣市 小笠原 幸彦
信濃民報 松本市大字筑廣 三澤 眞澄
信濃日日新聞 同市大名町 三澤 眞澄
南信日日新聞 長野縣上諏訪町 三澤 眞澄
南信新聞 同縣飯田町 三澤 眞澄
北信毎日新聞 上田市新巻町 林 雅次
新潟毎日新聞 新潟市仲通 武市 如意
新潟新聞 同市西堀前通 山田 助作
新潟毎日新聞 同市西堀前通六 吉川 大助
北越新聞 長岡市坂ノ上二 吉原 彦一
高田新聞 高田市本町三 藤井 秀然
高田日日新聞 同市本町四 高田 茂勝
高田日日新聞 同市本町四 猪又久治郎
高田日日新聞 新海縣柏崎町比角 池田 喜一
柏崎日日新聞 同町本町四 五十嵐 三郎
北國新聞 金澤市南町 林 政武
北國夕刊新聞 同市南町 澤江 彦市
北國新聞 同市南町 澤江 彦市
金澤新聞 同市南町 土田 行丸
福井新聞 福井市佐佐木中町 今村 七平
福井日日新聞 同市佐佐木中町 大島 宇吉
福井民報 同市佐佐木中町 視井孔太郎
北國夕刊新聞 富山縣田中町 田中 清文
富山日日新聞 同市田中町 廣田 四郎右衛門
北國日日新聞 同市田中町 廣田 四郎右衛門
高田日日新聞 高田市末廣町 藤井宗一郎
越中新聞 同市通町 藤井宗一郎

近畿地方

京都日出新聞 京都市中京區 後川晴之助
京都日日新聞 同市中京區 山根 文雄
京華日報 同市中京區 後藤龍太郎
中外日報 同市東山區 眞藤 源骨
丹州時報 京都府舞鶴市 川田 正行
神戶又新日報 神戶市神戶區 加藤 芳助
神戶日日新聞 同市神戶區 岡田 定信
神戶新聞 同市兵庫區 進藤 信義
兵神日報 同市兵庫區 島田 茂郎
神戸米肥市場日報 同市兵庫區 平松 方松
ア・ジャン・クロニクル 同市三宮
中國日日新聞 姫路市東町屋町 瀬川 武雄
近江新聞 大津市伊勢屋町 大久保清治
奈良新聞 奈良市油阪町 赤堀 秀雄
大和日日新聞 同市角田町 福井 善三
大和日日新聞 同市杉ヶ町 西岡孝太郎
和歌山日日新聞 和歌山市四番丁 山崎傳之助
和歌山新聞 同市本町四 三井 茂
紀伊朝日新聞 同市小松原通四 栗山 一夫
同新聞 同市東中山下 關本 佐市
同新聞 同市上伊福 高原 象藏
岡山夕刊新聞 同市天瀬上本町 横山 昶水
中國新聞 廣島市上流川町 山本 實一
葵田日日新聞 同市大手町 中村厚太郎
吳日日新聞 同市堺川通三 吉田 益三

四國地方

山陽日日新聞 尾道市久保町 秋田謙次郎
關門日日新聞 下關市東南郡町 末光鐵之助
防長新聞 山口市大市 白鐵 禮治
關門每友新聞 下關市西之端町 浦部 宗春
因伯時報 鳥取市西町 木村 清一
鳥取新聞 同市榑治町 奥田 柳藏
山陰日日新聞 米子市日野町 三好榮次郎
山陰新聞 松江市殿町 岡崎 正臣
山陰新聞 同市白濁本町 水津直太郎
徳島日日新聞 徳島市寺島町 多田爲太郎
徳島日日新聞 同市富田浦町 松島 隆
四國民報 高松市西内町 東山半之助
香川新聞 同市渡ノ町 小田 榮治
海南新聞 同市南堀端町 香川龍太郎
愛媛新聞 同市皆町二 高橋 英吉
伊豫新聞 同市大手町一 大木真太郎
兩縣時報 宇和島市丸の内 野中 庸吉
高知新聞 高知市本町 淺井 茂精
土陽新聞 同市本町 野村茂久馬
高知日日新聞 同市本町 野村茂久馬
同新聞 同市本町 野村茂久馬

九州朝日新聞 久留米市南橋西町一九四三三 大森 亮
大牟田日日新聞 大牟田市不知火町二 平山 喜徳
筑豊新聞 直方市南多賀町六三〇 山本徹郎
佐賀日日新聞 佐賀市松原町 六串 國夫
佐賀毎日新聞 同 中尾 都昭
唐津日日新聞 唐津市魚屋町 宮永野之助
長崎日日新聞 長崎市大村町 牧山 耕藏
長崎民友新聞 同市出島町 西岡竹次郎
長崎新聞 同市出島町 長野 秀夫
佐世保新聞 佐世保市光月町 大塚虎太郎
佐世保日日新聞 同市相生町 永安 悠
九州日日新聞 熊本市上通町五 清水 清
九州新聞 同市花畑町 高木 啓四郎
九州新聞 同市花畑町 高木 啓四郎
豐州新聞 大分市荷揚町 長野 遼
大分新聞 同市旗田通 大津 征夫
温泉夕刊 別府市 伊藤 文也
宮崎新聞 宮崎市南廣島三 仲道 政治
宮崎毎日新聞 同市本町二二 濱田 國幹
鹿兒島新聞 鹿兒島市山下町 兒玉 實良
鹿兒島朝日新聞 同市易居町 藤安新之助
沖繩朝日新聞 那覇市西本町 眞眞 嗣合
琉球新聞 同市松山町一 太田 朝敷

朝鮮
京城日報 京城府太平通一 田口 一重
每日新聞(鮮文) 同府太平通一 金 甲洙
朝鮮新聞 同府太平通二 白 寛洙
東亞日報(鮮文) 同府光化門通 方 應 謙
朝鮮日報(鮮文) 同府太平通一 蔡 應 謙
朝鮮日日新聞 同府黃金町二 李 肯 鐘
朝鮮工商新聞 同府黃金町二 李 肯 鐘
朝鮮山日報 釜山府大倉町 芥川 浩
朝鮮時報 同府西町 今川 百枝
朝鮮民報 大邱府東雲町 河井戸四雄
大邱日日新聞 同府東城町三 河合 靜夫
朝鮮毎日新聞 仁川府濱町 後藤 一郎
平壤毎日新聞 平壤府紅梅町 後藤 一郎
南鮮日報 馬山府都町 稲葉善之助
西鮮日報 鎮南浦漢源里 坂田 文吉
中鮮日報 大田府本町一 長谷川照雄
北鮮日報 清津府敷島町 富土 平平
北鮮日日新聞 羅南本町 岡本 賢次郎
北鮮時事新報 咸興府中央町 三上 逸平

新潟州府警報
新潟日日新聞 新潟市京町 加藤 謙次郎
元山每日新聞 元山府京町 西山常太郎
水滸新聞 水滸府仲町 藤田 有造
全北日報 全州府大正町 藤田 有造
鮮山日報 鮮山府淺山町 藤田 有造
光州日報 光州府明治町 藤田 有造
黃海日報 黃海道海州邑仲町 藤田 有造
滿洲日日新聞 大連市東公園町 村田 悦彦
泰東日報(漢字) 同市飛驒町六七 高柳保太郎
マンチーニヤ(英文) 同市談路町七 古城 逸秀
奉天每日新聞 奉天十間房第四區 松宮 琴子
奉天日日新聞 奉天住吉町七 細野 繁勝
盛京時報(漢字) 同田田町 染谷 保藏
大新京日報 新京中央通 村田 悦彦
新京日日新聞 同永樂町四丁目 上田 賢象
大同新聞 同東大馬路 染谷 保藏
哈爾濱日日新聞 哈爾濱地設街 寒河江 堅吾
大北新聞 同桃花巷口街一二號 山本 久治
ハルビンミヤ(露字) 同埠頭區地設街 吉澤 幸吉
撫順新聞 撫順永安大街 窪田 利平
安東新聞 齊々哈爾濱市豐恒胡同 倉内 勇
黑龍江民報 齊々哈爾濱市豐恒胡同 倉内 勇
安東新聞 安東縣大和橋通三 川 篁
國境毎日新聞 安東縣大和橋通一 多田 榮吉
關島新聞 同島龍井市商埠地 飯塚 政之
北安日報 北安鎮 露崎 太郎
錦州新聞 錦州大馬路二 井上萬次郎
山海關日報 山海關南門外廟城街 黒川 重幸

版出・書圖

天津日日新聞	天津日本租界旭街	森川 照太
天津日報	同日本租界福島街	眞藤 葉生
新支那	天津	
北京新聞	北平東城大甜水井	黒根 祥作
上海日報	同東城五老胡同	森川 照太
青島新聞	上海北四川路	波多 博
上海每日新聞	青島武定路	小谷 節夫
上海日日新聞	上海吳淞路	深町 作次
香港日報	香港德輔道中	井手 元一
南洋日日新聞	北加里曼丹	仲本 眞正
南洋振興日報	北加里曼丹	新城 朝功
南洋日日新聞	新嘉坡ミッドル路	手塚 貞吉
瓜哇日報	バタヴィア市	齋藤 正男
日蘭商業新聞	バタヴィア市	久保 辰二
日布時事	ホノルル市	相賀安太郎
布哇報知	ホノルル市クレン街	牧野金三郎
布哇每日新聞	ヒロ市ブナハライ街	徳城 信二
日米時報	ニューヨーク市	村岡 安男
日米時報	ニューヨーク市	安孫子よな
新報	香港	阿部 豊治
北米時事	神戶市五番街	有馬 純清

櫻府日報	櫻府エム街	沖 健二
加州每日新聞	羅府東二番街	藤井 繁
羅府新報	北ロサンゼルス街	駒井 豊策
羅府日米	羅府ジャクソン街	島内 良延
南沿岸時報	加州東サンビドロ市	平賀 重昌
大陸日報	カナダ・バンクーバー	山崎 肇
伯刺西留時報	ブラジル・サンパウロ	黒石清一郎
メキシコ新報	メキシコ市	流 飢太郎
大北日報	ワシントン州シアトル市	川尻慶太郎
ユタ日報	ユタ州ソートレーキ市	寺澤 耕夫
露時報	リマ市	池山 壽夫
リマ日報	リマ市	新城 朝功

主要通信社一覽

同盟通信社	東京市京橋區西銀座七
日本通信社	同 京橋區銀座西五
日本聯合通信社	同 麹町區内幸町一
學藝通信社	同 本郷區湯島新花町
日本婦女通信社	同 半込區市ヶ谷田町三
ダイヤモンド社	同 麹町區内幸町二
日露通信社	同 麹町區丸の内三義一號館
國際映畫通信社	同 京橋區銀座一ノ五
寫眞通信社	同 京橋區銀座西五
帝國興信所	同 京橋區新富町一
内外通信社	同 神田區錦町三
新聞研究所	同 京橋區銀座西二
日本商業通信社	同 京橋區銀座西八ノ二
滿洲國通信社	同 新京市北安路
露州弘報協會	同

主要廣告取次店一覽

日本電報通信社	東京市京橋區銀座西七
博報堂	同 神田區錦町三
弘報堂	同 京橋區銀座西五
正路喜社	同 京橋區銀座西七
廣告社	同 京橋區銀座西五
豐國通信社	同 麹町區内幸町二
萬年社支店	同 京橋區銀座西五
京華社支店	同 麹町區丸の内三義二十
太平洋廣告取扱社	同 麹町區内山下町一
萬年社	同 麹町區内山下町一
大阪電報通信社	同 大阪市東區高麗橋五
旭廣告株式會社	同 北區中之島二
京華社支店	同 東區瓦町二
第一廣告社	同 東區北濱四
倣水堂	同 東區今橋二
新興社	同 西區京町堀通二
西川一新社	同 東區平野町二
朝日新報	同 北區堂島一
昭和廣告社	同 西區京町堀上通一
京華社支店	同 西區岡崎橋父又點
萬年社支店	同 西區江戸堀北通一
東洋廣告社	同 京都市中區三條通
京華社支店	同 神戶市海岸通一
名古屋通信社	同 榮町五
	同 中區新榮町二

日本最古のグラビヤインキ工場  
朝日新聞指定工場

# 瀨本商店

營業所 大阪市北區堂島北町十七番地  
工場 兵庫縣武庫郡本山村田邊

電話 北二五三番  
御影二六〇六番

天竺の氣象

氣象大要

(昭和十二年 中央氣象台氣象要覽(摘要))
氣壓 年平均は渤海及び黄海に高く七六三...

部は六度内外を示し樺太南部、千島南部は四度乃至五度、樺太北部は一度以下である。...

は二〇〇リ乃至三三〇リ乃至三三〇リ以上の過剰を示した。その他の地方は著しく少く...

全國氣象摘要表

昭和十二年 中央氣象台調査「氣象要覽」摘要(△印は氷點下)

Table with columns for location (地名), average temperature (平均), maximum (最高), minimum (最低), average humidity (平均湿度), wind direction (平均風向), and weather days (快晴,曇天,降水,暴風).

六五%以上を示し、九州南部、内海中部、四國東部、能登半島沿岸、本州中部の一部、關東南部、朝鮮では五五%内外のところが多く...



Table with 10 columns and 10 rows of meteorological data for various locations including 石巻, 仙台, 水戸, etc. Columns include location names, numerical values, and directional indicators.

風 九州、近畿、本州中部、關東中部以北 奥羽中部以南、北海道南部、朝鮮西岸で北西 寄りの風が卓越し、山陽と房総方面では北東 風が多く山陰、北陸、奥羽北部、北海道西岸 朝鮮中部東岸、滿洲北東部、北支那などでは 南西寄りの風が流行し四國では風向區々であ った。平均風速は二乃至三級秒内外のところ が多く島嶼岬角、山岳などでは五乃至九級秒 以上に達したところがある。平年に比べて内 海西部、紀伊水道附近、近畿北部、本州中部 の一部、關東北東部、奥羽南部、北海道北部 樺太南東部、朝鮮東南部と同北東部、滿洲北 東部、支那北部などではや、強めて内海西部 奥羽北東部、北海道北西岸では平年より一級 秒以上も強かったが、その他の地方は概して 軟弱であつた。最大風速は七月二十五日温泉 岳で東の四〇級秒でこれに次ぐのは九月十一 日伊吹山で南東の三九級秒の観測である。 暴風日數 四國南東部、内海中部、東京灣 南部、房總南部と東岸、伊豆七島南部、北陸 東部、奥羽南西部、北海道南東部、千島南部 樺太南部、滿洲北東部などでは一〇〇日以 上一五〇日内外を測り、温泉岳、筑波山、箱根 山、岩手山、北海道西岸、千島南部では一八 〇日乃至二〇〇日内外を數へ、伊吹山では二 九二日を觀測した。 雷雨 全國發生日數は平年に比し相當に多 く内地の發現回數は三、八〇五回の多數を示

Table with 10 columns and 10 rows of meteorological data for various locations including 伏木, 金澤, 福井, etc. Columns include location names, numerical values, and directional indicators.

してゐる。前半年は平年よりも少かつたが後 半年に入るにおよび俄然活況を示し最盛期の 八月のごときは平年の二倍以上の發生回數を 數へた。また發生回數は十一月に比較的少か った反面、十二月は比較的多くの發生があり 平年の殆んど二倍におよんでゐる。なほ本年 は關東、本州中部、北陸西部および同東部に 特に多かつた。降雪を伴つた雷雨は内地一〇 三回で比較的少く外地四〇回であつた。雷雨 を伴つた雷雨の發生は内地一五七回、外地一 三回で平年より少し多かつた。なほ落雷によ る燒失家屋數は内地四九棟、犠死者は内地五 三名で平年より多かつた。 低氣壓 一ヶ年間の發生數は五三三個で平 年(昭和十二年)に至る六ヶ年平均の四一五個 に比すれば約三割の増加である。颶風は二三 個で平年(前同様)の二三・二に比し平年並み である。最多は八月の七個(平年は九月が最 多であり八月は第二位)である。これを地域 別にみれば日本海、東支那海、滿洲、北海道 沖などに多く發生する傾向がみられる。低氣 壓の年變化をみるとその變化の傾向は殆んど 平年並であるが、十二月だけが平年減少する のに比しや、増加し、また六月以後に平年よ り約三割程増加してゐる。その速度をみるに 一年を通じ進行速度の最も大きいのは東洋洋 上の四三・〇°時で昨年と同様であり例年よ り多少最大速度の區域が北に寄つてゐると思

Table with columns for location (e.g., 上海, 天津, 北京), direction (e.g., 東, 南, 西), and numerical data representing meteorological observations.

はれる。第二位は東南方海上の四一・四時... 高氣壓 その發生を月別にみると九月の一...

年血であつた。その進路は北支那より黄海、日本海、奥羽を経て奥羽東方海上に出るもの...

噴出したが、後半において静穏を續け一年を通じて大爆發と見做すべきものはなかつた...

気象観測の整備統制 従来我が國の氣象観測事業は文部省管轄の中央氣象台ならびにその支台、測候所、海洋、高層氣象台のほか内務省管轄の測候所が...

甲湯園 つもりの家本店  
 京都岡崎 つもりの家  
 大阪今むし  
 つもりの家本店

天文氣象

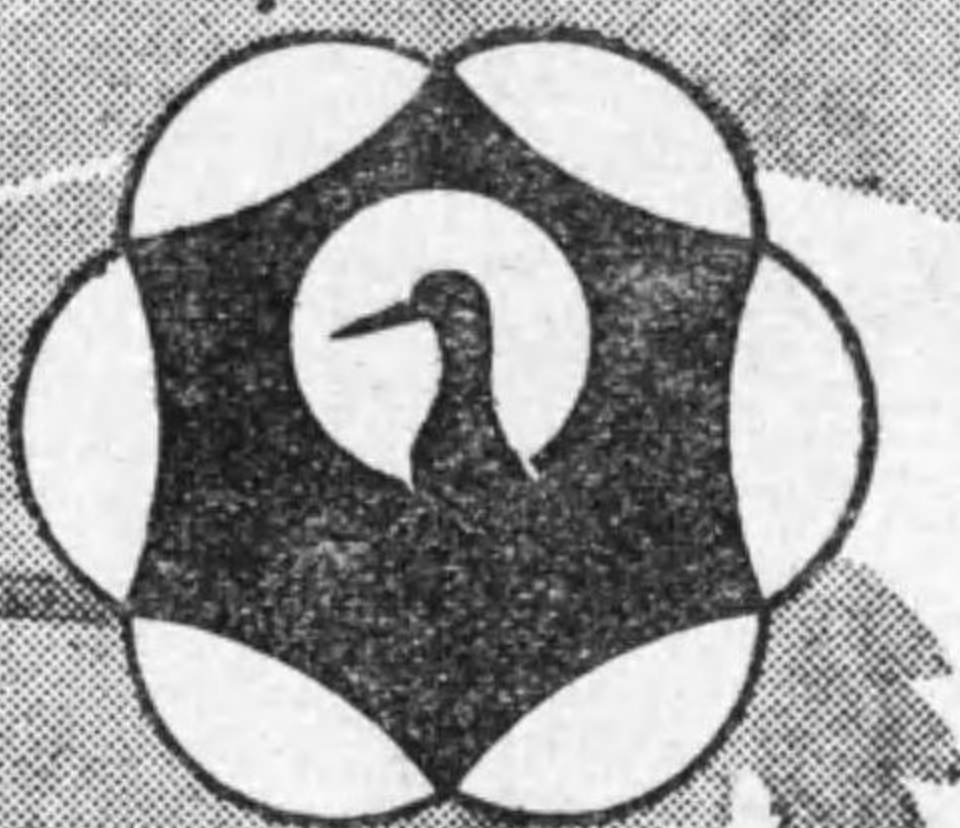
太陽 水星 金星 地球 火星 木星 天王星 海王星 月

太陽	水星	金星	地球	火星	木星	天王星	海王星	月
1261	1262	1263	1264	1265	1266	1267	1268	1269
太陽の固有運動	太陽の速度	太陽の速度	太陽の速度	太陽の速度	太陽の速度	太陽の速度	太陽の速度	太陽の速度
1270	1271	1272	1273	1274	1275	1276	1277	1278
太陽の固有運動	太陽の速度	太陽の速度	太陽の速度	太陽の速度	太陽の速度	太陽の速度	太陽の速度	太陽の速度

太陽・惑星・月(理科年表)

1279	1280	1281	1282	1283	1284	1285	1286	1287	1288	1289	1290	1291	1292	1293	1294	1295	1296	1297	1298	1299
太陽の固有運動	太陽の速度	太陽の速度	太陽の速度	太陽の速度	太陽の速度	太陽の速度	太陽の速度	太陽の速度	太陽の速度	太陽の速度	太陽の速度	太陽の速度	太陽の速度	太陽の速度	太陽の速度	太陽の速度	太陽の速度	太陽の速度	太陽の速度	太陽の速度

1300	1301	1302	1303	1304	1305	1306	1307	1308	1309	1310	1311	1312	1313	1314	1315	1316	1317	1318	1319	1320
太陽の固有運動	太陽の速度	太陽の速度	太陽の速度	太陽の速度	太陽の速度	太陽の速度	太陽の速度	太陽の速度	太陽の速度	太陽の速度	太陽の速度	太陽の速度	太陽の速度	太陽の速度	太陽の速度	太陽の速度	太陽の速度	太陽の速度	太陽の速度	太陽の速度



甲湯園 つる家本店

京都岡崎 つる家

大阪今むし

つる家本店

天文氣象

太陽・惑星・月(理科年表)

太陽	水星	金星	地球	火星	木星	土星	天王星	海王星	月
1932	1932	1932	1932	1932	1932	1932	1932	1932	1932
1932	1932	1932	1932	1932	1932	1932	1932	1932	1932

「ミラ」星の  
変化  
ケプラー  
太陽の自轉  
宇宙引力  
光の速度  
週期彗星  
恒星の固有運動  
光行差  
天王星

フアブリキウス  
ケプラー  
フアブリキウス  
ニュートン  
レーマー  
ハリ  
ブラッドリー  
ハーシェル

太陽系の空間運動  
小惑星「ケレス」  
連星  
Cyclopsの視差  
太陽黒點の週期  
海王星  
雙星と流星  
恒星の視差

ビヤソー  
ハーシェル  
ベツセル  
ヘンダーソン  
シワーズ  
ルヴェリエ  
アダムス  
ファルネー  
スキヤパレリ  
ハツギンス

分光學的連星  
緯度の變化  
小惑星「エロス」  
逆行衛星  
「フエーバ」  
「トロヤ」群小惑星  
「アキレス」  
「ケフェウス」種  
太陽黒點の磁性  
大陽黒點の磁性  
恒星の「スペクトル」と絶對等級との關係  
恒星の分光  
干涉計にて恒星の直徑の實測  
恒星の質量と絶對等級との關係  
「シリウス」の  
「スペクトル」  
「エチングトン」  
「アダムス」  
「クトル」  
「ライムストーン」  
「ライムストーン」

ピツカリング  
チャンドラー  
キユスナー  
ウイット  
ビツカリング  
ヘルツスブルグ  
ウォルフ  
リアウイット  
ヘール  
ラツセル  
アダムス  
ピース  
エチングトン  
ミ  
ミ  
ライムストーン

酒 鋁

# 忠 勇

忠勇無双！  
芳醇無比！



農林若 露

## 交通通信

道	昭和十年末	昭和六年末
國道	八、四三三・〇元	八、一三三・〇元
府縣又は地方道	一〇九、三三三・〇元	一〇〇、三三三・〇元
市道	一、三三三・〇元	一、三三三・〇元
町道	八、〇七・〇元	八、〇七・〇元
村道	八、〇七・〇元	八、〇七・〇元
計	一二〇、〇〇〇・〇元	一一〇、〇〇〇・〇元

（注）「×」は付したるは准地方道なり。

種別	昭和十一年	十年	九年
自動車	七、七〇七	七、七〇七	七、七〇七
人力車	一、七〇七	一、七〇七	一、七〇七
荷馬車	一、七〇七	一、七〇七	一、七〇七
荷牛車	一、七〇七	一、七〇七	一、七〇七
乗用馬車	一、七〇七	一、七〇七	一、七〇七
乗合馬車	一、七〇七	一、七〇七	一、七〇七

### 自動車種別累年表

種別	昭和十一年末	十年末	九年末
普通車	一、三三三	一、三三三	一、三三三
特殊車	一、三三三	一、三三三	一、三三三
小型車	一、三三三	一、三三三	一、三三三
合計	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇

### 自動車運轉者種別表

種別	昭和十一年末	十年末	九年末
普通免許	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇
特殊免許	一、三三三	一、三三三	一、三三三
小型免許	一、三三三	一、三三三	一、三三三
合計	五、六六六	五、六六六	五、六六六

（注意）△印はそのうち就業免許證を所有する者

## 信通・通交

### 列國の自動車（一九三六年末）

一九三六年末各國における自動車數を見ると、アメリカの二千八百九萬台が第一位で世界總數の七割二分を占め、これにつぐはイギリスの二百十三萬台、フランスの二百十萬台、ドイツの百二十四萬台、カナダの百二十二萬台などである。これを人口一萬に對する割合から見ると、アメリカの二千八百七十七台最も多く、ニュージーランドの一千三百六十五台、ハワイの一千二百四十九台、カナダの一千百十六台、臺灣の一千二百二十台これにつき、以下フランス、イギリス、デンマー

ク、南阿聯邦、スエーデン、ノルウエー、ベルギー、スイス、アルゼンチンの順位である。

國名	總數	乗用車	荷用車	人口一萬に付
アメリカ	八、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇	二、八六九
イギリス	二、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇
フランス	一、〇〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇
ドイツ	一、〇〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	九〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇
カナダ	一、〇〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	九〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇

信通・通交

列國の自動車(一九三六年末)  
 一九三六年末各國における自動車数を見ると、アメリカの二千八百九万台が第一位で世界總数の七割二分を占め、これにつぐはイギリスの二百十三万台、フランスの二百十万台、ドイツの百二十四万台、カナダの百二十二万台などである。これを人口一萬に對する割合から見ると、アメリカの二千八百七十七台最も多く、ニュージーランドの一千三百六十五台、ハワイの一千二百四十九台、カナダの一千百十六台、臺灣の一千二百二十台これにつき、以下フランス、イギリス、デンマーク

ク、南阿聯邦、スエーデン、ノルウェー、ベルギー、スイス、アルゼンチンの順位である。

國名	總數	乗用車	荷積用車	人口一萬に付
アメリカ	八、〇六六、〇〇〇	七、〇三三、〇〇〇	一、〇三三、〇〇〇	二、八六六
イギリス	二、〇三六、〇〇〇	一、六六六、〇〇〇	三六六、〇〇〇	一、〇〇〇
フランス	二、〇〇〇、〇〇〇	一、六〇〇、〇〇〇	四〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇
ドイツ	一、二四四、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	二四四、〇〇〇	一、〇〇〇
カナダ	一、一三三、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一三三、〇〇〇	一、〇〇〇

交通通信

種別	昭和十年末	昭和六年末
國道	八、四三三、〇〇〇	八、〇〇〇、〇〇〇
府縣又は地方道	一〇、〇〇〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇、〇〇〇
市道	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
町道	八、〇〇〇、〇〇〇	八、〇〇〇、〇〇〇
村道	八、〇〇〇、〇〇〇	八、〇〇〇、〇〇〇
計	二八、〇〇〇、〇〇〇	二八、〇〇〇、〇〇〇

(計内譯)  
 陸路 二八、〇〇〇、〇〇〇  
 水路 一、〇〇〇、〇〇〇  
 航空 一、〇〇〇、〇〇〇

(註)「X」を付したるは准地方道なり。

全國諸車現在數(各年末、内務省譯)

種別	昭和十一年	十年	九年
自轉車	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
人力車	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
荷馬車	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
荷牛車	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
乘用馬車	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
乘合馬車	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇

自動車種別累年表

種別	昭和十一年末	十年末	九年末
普通車	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
特殊車	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
小型車	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
普通免許	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
特殊免許	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
小型免許	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
合計	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇

(注意) △印はそのうち就業免許證を所有する者

酒 鋁

# 忠 勇

忠勇無双!  
 芳醇無比!

藤林若 齋

Table of international telegraph rates for various countries including Europe, Asia, and the Americas, listing rates in yen and cents.

鐵道

關門鐵道海底トンネル

科學日本の眞價を世界に問ふ關門鐵道海底トンネルの工事はあらゆる意味においてその完成を注目せられてゐるが、昭和十一年末起工以來著々と工事が進み、試掘導坑は本年十月までに貫通するはずであり、本道も昭和十四年中に竣工する豫定となつてゐる。

この關門鐵道海底トンネルは既に明治四十年ころから論議にのほり、一度は關東の大震災で中止せられ、その後も政府の緊縮方針のため断念するなどの経緯があつたが、昭和十一年に至り四ヶ年總費事業上費二千萬圓の豫算を以て着手されたものである。すなはち昭和十一年九月起工式が行はれ門司側は十月十七日、下關側は翌十二年一月七日から堅坑の開鑿にとりかかり前者は四十五尺、後者は五十五尺の地底から各々海峽の腹部めがけて二材半角の試掘導坑を掘りはじめ、本年四月からはこれと併行して既に本道の開掘もはじめられてゐる。この海底トンネル工事は、さきに丹那トンネル工事の極小部分に用ひたシ

和十一年九月起工式が行はれ門司側は十月十七日、下關側は翌十二年一月七日から堅坑の開鑿にとりかかり前者は四十五尺、後者は五十五尺の地底から各々海峽の腹部めがけて二材半角の試掘導坑を掘りはじめ、本年四月からはこれと併行して既に本道の開掘もはじめられてゐる。この海底トンネル工事は、さきに丹那トンネル工事の極小部分に用ひたシ

鐵道局管區一覽

一、ル下工法(俗に舟虫式工法ともいふ)が門司側の海底の花崗岩風化地帯約七五〇尺にわたつて用ひられてゐる

當野線、吾妻線、北谷線、川崎發電區赤羽發電區間(新鶴見、武藏境經由)藤澤發電區金町發電區の各電線路

線、廣島線  
△大阪鐵道局 東海道線(米原以東を除く)、山陽線(姫路、佐用以東および石見以北)、山陰線(石見大田以東および那岐以北)、關西線(名古屋線を除く)、京福線、龜山線、紀南線、關條線、雲霧線、尾道新宮間電線路  
△廣島鐵道局 山陽線(姫路、佐用以東および石見以北を除く)、山陰線(石見大田以東および那岐

國有、地方鐵道事業累年比較

Large table comparing railway statistics from 1911 to 1926, including categories for national and local railways, and sub-categories for passenger, freight, and revenue.

以北を除く、四國全線(自動車を含む)、兩備線、廣瀨線、岩日線、防長線、宇野高松間、安島高島間、下關釜山間、下関門司間および下関小森江間、各航路、岡山、津山間、府中町上下間、宇野高松間、阿波池田高松間、伊豫大洲宇和島間、安島高島間および下関福浦間の各電線(福浦ケーブル庫を含む)

△新瀉鐵道局 北線(市振以東)中央線(清里以南を除く)小海線、線の井線及大系南線(東北線)石打以南を除く上越線、十日町線、横黒線(中川川尻以西及毛馬内以東を除く)花輪線、越後線(喜多方以東を除く)奥羽線(白濁以北を除く)五能線(中野山以南を除く)羽越線、越前線(國羽西線を除く)十和田線、白中線、仙人峠大橋間電線  
△札幌鐵道局 北海道全線(自動車線を含む)青森、函館間、稚内港、大泊港間の各電線

列國の鐵道(一九三五年)

Table with columns for country names (e.g., 帝國內, 朝鮮, 支那, 暹羅, 爪哇, 英領インド, ソウエート聯邦, アメリカ, フランス, オランダ) and rows for statistics like 延長 (Length), 面積 (Area), 人口 (Population), 貨物 (Freight), 旅客 (Passengers).

Table with columns for country names (e.g., ブラジル, イギリス, イタリア, 南アフリカ, スウェーデン, スイス, ヴェネチア, ルーマニア, 中華民国, ユーゴスラ, ヴェネチア, ヨーロッパ, アメリカ, ドイツ, フランス, オランダ, ポルトガル) and rows for statistics like 延長 (Length), 面積 (Area), 人口 (Population), 貨物 (Freight), 旅客 (Passengers).

昭和十一年度  
都市名 幹線 車輦數 旅客人員 旅客運賃 (千人) (千圓)

軌道事業累年比較

Table with columns for years (昭和九年 to 十一年) and rows for statistics: 營業線 (Operating Lines), 車輦數 (Number of Trains), 旅客人員 (Passenger Personnel), 旅客運賃 (Passenger Fare), 貨物運賃 (Freight Fare).

水運

主要港間運程

Table listing shipping routes between major ports (e.g., 東京, 神戶, 大阪, 横濱, 名古屋, 京都, 神戸, 岡山, 広島, 福岡, 釜山, 大邱, 仁川, 漢城, 東京, 神戶, 大阪, 横濱, 名古屋, 京都, 神戸, 岡山, 広島, 福岡, 釜山, 大邱, 仁川, 漢城) and their respective distances.



Table of shipping routes and schedules. Columns include destination (鹿兒島, 石垣, 名島, etc.), ship name (鹿兒島, 石垣, etc.), and dates (昭和九年九月, etc.).

Table of shipping routes and schedules. Columns include destination (鹿兒島, 石垣, 名島, etc.), ship name (鹿兒島, 石垣, etc.), and dates (昭和九年九月, etc.).

Table of shipping routes and schedules. Columns include destination (北米航路, 南洋航路, etc.), ship name (桑港線, etc.), and dates (昭和九年九月, etc.).

Table of shipping routes and schedules. Columns include destination (日本海航路, etc.), ship name (敦賀浦線, etc.), and dates (昭和九年九月, etc.).

主なる汽船會社

Main shipping companies table. Columns include company name (日清汽船, 大阪商船, etc.), ship name, dates, and various statistics (船數, 船客數, etc.).

△、寄港補助  
近東寄港 寄港回数 受命者  
シヤブア、ハイフア 二月〇 日本郵船  
ブイルト、スタタン 二月〇 日本郵船  
アレキサンドリヤ 二月〇 日本郵船  
中南米寄港  
ラガイラ、キングス 二月 日本郵船  
トク又はウイレムス 二月 日本郵船  
ボイト・オブ・プリ 二月 日本郵船  
ハバナ又はトルヒーヨ 二月 日本郵船

○地方命令航路

官廳 航路名 航海度數 航路 受命者  
週、月、年  
△北海道廳 北海道航路  
函館小樽線 月八 函館—小樽 藤山海運  
函館樺捉線  
函館釧路線 月又は二月 函館—釧路 金森商船  
函館根室線 月又は二月 函館—根室 近海郵船  
函館根室乙線 月又は二月 函館—根室 近海郵船  
函館占守線 月又は二月 函館—占守 近海郵船  
根室占守線 月又は二月 根室—占守 藤山海運  
函館鹿部線 月〇 函館—鹿部 渡島商船

主要港乘降船客數(昭和十一年)

港名 乗込人員 上陸人員 合計  
小樽 七〇、七三三 五〇、七三三 一二〇、四六六  
函館 四〇、七三三 四〇、七三三 八一、四六六  
室蘭 四〇、七三三 四〇、七三三 八一、四六六

藤 三宅島線 月二回 東京—三宅島  
伊豆諸島線 月二回 東京—伊豆諸島  
三宅島線 月二回 東京—三宅島  
御津島線 月一回 東京—御津島  
大島線 月一回 東京—大島  
八丈島線 月一回 東京—八丈島  
△島根縣 隱岐線 月三又は三松江—西郷 一村組合

七尾 六、八八五  
敦賀 二、五三三  
清水 五、三三三  
名古屋 一〇、九七七  
宮津 一、二七六  
大阪 八、四〇六  
伏木—清 新北陸汽船  
伏木朝鮮線 月二 伏木—清 新北陸汽船  
岸線 月二 伏木—清 新北陸汽船  
佐渡線 月二 伏木—清 新北陸汽船  
佐渡乙線 月二 伏木—清 新北陸汽船  
佐渡甲線 月二 伏木—清 新北陸汽船  
佐渡丙線 月二 伏木—清 新北陸汽船

小樽樺内線 月二又は三 小樽—樺内 藤山海運  
月交は、小樽—樺内 藤山海運  
根室近海線 月二又は三 根室—色丹 藤山海運  
月三乃至根室—白糠 藤山海運  
月三乃至根室—國後 藤山海運  
月二又は三 根室—泊 藤山海運  
稚内香深線 月二又は三 稚内—香深丸一水産  
△東京 府  
小笠原島線 月二又は三 東京—小笠原島 近海郵船  
母島群島線 月一回 母島—沖繩—前田 藤  
父島群島線 月一回 父島—見港 浅沼  
父島群島線 月一回 父島—見港 浅沼  
父島群島線 月二回 父島—見港 浅沼  
父島群島線 月二回 父島—見港 浅沼  
伊豆諸島線 月二回 東京—伊豆諸島 浅沼  
三宅島線 月二回 東京—三宅島 浅沼  
御津島線 月一回 東京—御津島 浅沼  
大島線 月一回 東京—大島 浅沼  
八丈島線 月一回 東京—八丈島 浅沼  
△島根縣 隱岐線 月三又は三松江—西郷 一村組合

△鹿兒島 縣  
五箇島線 月二 鹿兒島—赤佐 大阪商船  
十島線 月三 鹿兒島—名瀬 大島郡十島村  
與論島線 月六回 那覇—與論—大島郡  
種子島線 月三 鹿兒島—宮 鹿兒島商船  
△沖繩 縣  
先島線 月四 那覇—先島—各 大阪商船  
各離島線 月三乃至四 那覇—各 沖繩近海  
△長崎 縣  
九州壹岐對馬線 月三 長崎—對馬—博多  
對馬壹岐對馬線 月三 長崎—對馬—博多  
長崎壹岐對馬線 月六 長崎—比田勝 九州郵船  
馬線 月六 長崎—比田勝 九州郵船  
五島線 月六 長崎—比田勝 九州郵船  
長崎玉ノ浦線 月二 長崎—玉ノ浦 九州商船  
長崎五島佐保線 月六 長崎—佐保 九州商船  
世保線 月六 長崎—佐保 九州商船  
△富山、石川 縣  
伏木朝鮮線 月二 伏木—清 新北陸汽船  
岸線 月二 伏木—清 新北陸汽船  
佐渡線 月二 伏木—清 新北陸汽船  
佐渡乙線 月二 伏木—清 新北陸汽船  
佐渡甲線 月二 伏木—清 新北陸汽船  
佐渡丙線 月二 伏木—清 新北陸汽船

本邦登録船現在及積量別

(昭和十三年二月末、調査省調査)

船種	積量(トン)	内地		朝鮮		台灣		關東州		合計	
		船數	噸數	船數	噸數	船數	噸數	船數	噸數	船數	噸數
帆船	100	1	100	1	100	1	100	1	100	1	100
帆船合計	100	1	100	1	100	1	100	1	100	1	100
汽船	100	1	100	1	100	1	100	1	100	1	100
汽船合計	100	1	100	1	100	1	100	1	100	1	100
合計	100	1	100	1	100	1	100	1	100	1	100

Table of shipping statistics for various ports including 神戶, 宇野, 尾道, 廣島, 糸島, 下關, 今治, 門司, 博多, 長崎, 鹿島, 那覇. Columns include ship counts and tonnage.

全國港灣貨物總數 (昭和十一年中)

Table showing cargo statistics for various ports in 1911, categorized by port type (e.g., 第一種重要港, 第二種重要港).

海難船舶積量別累年表

Table showing cumulative statistics of shipwrecks by type (e.g., 全損, 全損, 損傷) from 1910 to 1911.

造船所及進水船舶累年表

Table showing annual statistics of shipbuilding and launching from 1908 to 1911, categorized by ship type (汽船, 帆船, 合計).

列國の船舶 (一九三七年六月末)

Table showing the number of ships by country/region (e.g., 帝國內, 帝外地) as of June 1937, categorized by ship type.

各國新造船進水高 (單位噸)

Table showing the height of newly built and launched ships in tons for various countries like 英國, 日本, 美國, etc.

Table showing ship statistics for 日本 (Japan) in 1911, including ship counts and tonnage.

Table showing ship statistics for 美國 (USA) in 1911, including ship counts and tonnage.

(備考) 總トン數百トン未満のものを除く。△印は植民地を含む。

(備考) 合計にはその他の國をも含む。

本邦國際觀光事業概況

昭和十二年中の入國外人は支那事變の勃發によつて數的に内容的に影響を受けた。即ち昭和七年來逐年増加の線を辿つて來た入國外人數はその上半期において前年同様上向を繼續してかなり著しい増加を示して來たが、七月の事變勃發以後は各月とも著しい減少を來してゐる。従つて十二年全體としての入國外人數は昭和十一年中のそれよりも二、二六六名(五・二%)の減少となつてゐる。然しこれは主として支那人の入國者數が減少したため

で、その數は三、一三三名にも及んでゐる。この外に減少したのは英、蘭兩國よりの入國者で、米、獨、ソ聯、印、暹、滿の各國は却つて増加し昭和十一年に比し米は四二二名、獨は三七〇名、印は三二一名、暹は四六一名増加してゐる。

見ると英、米、加三國である。更に避暑客數は主として支那方面からであるため、事變の影響によつて當然不況を被つてゐるが、それでも米の五、八六六名を筆頭に英の四、二四八名、獨の二、〇四三名その他合計で一六、六九三名を數へた。なほ昭和十二年中における入國外人の本邦内消費額は未だ判明しないが、昭和十二年中のそれは貿易入超額に近いものがあり、國際收支の改善に貢獻するところが少なくない。

世界巨船調 (昭和十二年六月現在)

Table with columns: 船名 (Ship Name), 速力 (Speed), 總噸數 (Total Tonnage), 進水年 (Year Launched), 機關 (Engine), 船客數 (Passenger Capacity), 所屬會社名 (Company Name), 國籍 (Nationality). Lists various large ships like ノルマンディ, クルシーン, プレンガリア, etc.

渡來外人國籍別 (各年末)

Table showing the number of incoming foreigners by nationality from 1914 to 1927. Columns include Year (Year), 英國 (UK), 米國 (USA), 獨逸 (Germany), 佛國 (France), 支那 (China), 其他 (Others), 合計 (Total).

入國外人數並に消費額 (單位千圓)

Table showing the number of incoming foreigners and their consumption amount in thousands of yen from 1914 to 1927. Columns include Year (Year), 入國外人數 (Number of Incoming Foreigners), 消費額 (Consumption Amount).

海外への旅客運賃

Table showing passenger fares to overseas destinations like シンガポール, コロンボ, スエズ, etc. Columns include Destination (Destination), 一等 (1st Class), 二等 (2nd Class), 三等 (3rd Class).

歐洲航路 (日本郵船、横濱起點、單位圓)

Table showing shipping routes to Europe (Singapore, Colombo, Suez, etc.) with fares for different classes (A, B, C) and ship types (A, B, C).

日本—南米航路

Table showing shipping routes to South America (Manzanillo, etc.) with fares for different classes (1st, 2nd, 3rd).

Table for shipping routes to the Caribbean (O-Day, etc.) with fares for different classes (1st, 2nd).

Table for shipping routes to various ports (Sasebo, etc.) with fares for different classes (1st, 2nd, 3rd).

Table of shipping routes and rates. Columns include destination (e.g., 香港, シンガポール, ヨロロンボ), ship name (e.g., パルボア, ユラ), and rates for different classes (一等, 二等, 三等).

通信

Table showing communication statistics. Includes '通信事業概況 (昭和十一年度)' with data for postal employees, telephone operators, and other communication-related figures.

郵便電信電話局所数

Table of post office and telegraph station counts. Lists various regions (内地, 台湾, 朝鮮, etc.) and counts for different types of stations (郵便局, 電信局, etc.).

Table of air mail and express mail statistics. Includes '航空郵便及速達郵便' and '電話加入者数' (Telephone subscribers) with data for various regions and the total count.

外国行通常郵便到着日数

Table of arrival dates for international mail. Lists countries (e.g., アメリカ大陸, シカゴ, ワシントン) and their respective arrival dates.

郵便物取扱数

Table of mail handling statistics. Lists various regions (内地, 台湾, 朝鮮, etc.) and counts for different types of mail (郵便物, 電信, etc.).

# 曇 後 快 晴

重くるしい頭腦から生活の明朗化は期待し得ません。

鎮痛と鎮静には必ず、頭腦の甦るソボリンの二錠を

ソボリンは三種の貴重薬(ボンピリン、バルピタール、アミノピリン)より成り各成分の總和よりも遙かに強力なる作用(薬物相乗作用)を収め、腦神經の疼痛興奮、發熱に優秀な治療作用を發現する申分のない家庭薬です。



### 【ソボリンの優秀点】

- ◆鎮痛鎮静効果が相乗(増強)して發現し且つ持續します。
- ◆胃腸や心臟を害せず、嫌な發汗やピリン疹を起さない。
- ◆一回僅か二錠、一日二回で十分な効果を収めます。

### 【ソボリンの主効】

- 頭痛 感冒 神經痛
- 頭重 齒痛 肩凝症
- めまひ 船車暈 結核熱

製薬人(吉鐘) 錠入(吉鐘) 二錠入(二國) 五錠入(三國) 知名藥店にあり

元賣發 武田長兵衛藥行 大阪市道修町

57(2)12)



# 頭痛・頭重・感冒に ソボリン

## 航空界

### 航空界一年の回顧

#### のわが國民民間航空界

##### ◇軍用機獻納運動

支那軍機發給直後の十二年七月二十日を期して朝日新聞社が提唱した事變下における一大運動たる軍用機獻納運動は愛國の血に燃ゆる一億同胞の熱烈な實同を得て八月中早くも五百萬圓を突破し、第一次獻納として四百萬圓をもつて最優秀軍用機六十機(陸、海軍各三十機)を製作することとなり、陸、海軍側委員並に朝日新聞社側委員が東朝社に参集、獻納實行委員會を開いた結果獻納機には「全日本號」と命名することとなり、八月下旬から九月上旬にかけて完成した「全日本號」は早速北支の戦線へ出動した。「全日本號」は全日本國民の熱誠に應へて北支の敵の空を縦横に翹けて赫々たる武功を樹て、獻納運動はまた一段と拍車をかけ十一月中旬には實に六百萬圓を突破したので、十一月二十七日

第二次獻納として二百萬圓(陸、海軍各百萬圓)を提出、獻納委員會の結果最新鋭軍用機を三十機(陸、海軍各十五機)を製作するに決し、こゝに「全日本號」が九十機獻納され戦時下我空軍に一大威力を加へた。この運動は事變一周年後も依然繼續して十三年九月二日現在六百五十九萬八千餘圓に達してゐる。

##### ◇帝都中心に大防空演習

大陸の戦線いよ／＼擴大した十二年九月十五日から五日間にわたり帝都を中心に、特に時局に鑑みて實戰的訓練を目標とする一大防空演習が未曾有の規模をもつて舉行された。先づ帝都一帯に防空燈の照射訓練が行はれた後十五日は「豫告訓練」、十七日から十九日にかけては「不時訓練」を實施、帝都附近は全機能を空の護りに集中、民間の護勇飛行隊、國防自動車隊、國防消防隊なども参加して事變下に尊い訓練の効果を擧げた。

##### ◇台南一馬公間定期航空開始

豫て計畫されてゐた台南一馬公間定期航空は十二年九月二十日から開始された。

◇海軍豫備航空團福岡支部設置  
海軍豫備航空團では福岡に支部を設置し、雁の巢の福岡國際飛行場に格納庫、事務所、教室などを建設した。

##### ◇學生鳥人の從軍

日本學生航空聯盟の學徒鳥人達は、沸る愛國の熱情から日ごろ鍛練の技倆と若き日の意氣を祖國に捧ぐ可く關東、關西兩支部の二等飛行機操縦士免狀所有者十四名が事變勃發間もなく「空の義勇軍」たらんと支那事變從軍願を提出してゐたが、當局において慎重検討の結果

東京帝國大學經濟學部三年杉山好彦(三三)早稻田大學理工學部三年金井哲夫(三三)同第一高等學院三年藤澤清太郎(三三)明治大學專門部二年熊谷正三(三三)關西學院大學經濟學部二年中來田隆二(三三)

の五君が念願叶つて北支從軍の名譽を荷ひ、朝野の期待を應肩に十二年十月十八日東京驛發勇躍征途に上り、同月二十五日北支に到着直ちに我陸の空中部隊に配屬され、從軍十ヶ月、北支の戦場の空に活躍三萬キの尊い記録を残し、數々の武功を樹て十三年八月四日無事東京に歸還した。

##### ◇朝日新聞四鳥人の從軍

朝日新聞社の飯沼、川崎兩機士、塚越、

永田兩機士は「神風」機とともに十二年八月二十八日より、同月中旬まで北支の我空中部隊に従軍、遠距離捜索に赫々たる武功を樹てて〇〇部隊長より榮譽の感謝状ならびに記念品を贈られ、十月二十六日陸軍省から感謝状全文とともにこの旨發表された。

◇第四回學生航空選手権大會

朝日新聞社主催第四回全日本學生航空選手権大會は長くも東久通宮殿下の台臨を仰ぎ奉つて十二月二十二日事變下に一入意義深く大阪の眉津陸軍飛行場で舉行された。東久通宮殿下には本大會の特殊飛行賞として大優勝カップを下賜あらせられ、特殊飛行の優勝者森謙吾君に御手づから御授與遊ばされた。大會は數萬觀衆固睡をのむ緊張の中に七十九名の選手によつて堂々烈々火の出る如き競技が行はれた。各種競技の優勝者は左の通りである。

- 水平直線飛行、螺旋降下、制限地着陸 山ノ内正一(早大)
- 高度目測八字飛行 楠 正信(日大)
- 制限地着陸 山田 保三(早大)
- 特殊飛行 森 謙吾(法大)
- 通信筒吊上 關西チーム
- 森重(關西學院)竹内(關大)
- 永井 要(關學)
- 模倣爆彈投下

發動機分解組立 神戸高工チーム (米田松人、吉田博、石津二雄、井原匡平、大熊正三郎)

◇「幸風」機東京—大阪間に新記録

東京—ロンドン間に輝く世界新記録を樹立した朝日新聞社の「神風」機の兩勇士飯沼操縦士、塚越機士は十二年十二月二日「神風」と同型の「幸風」機に搭乗して大阪から東京へ四百二十五キロを五十四分で突破し、この年三月二十七日に兩氏が「神風」機で作った東京—大阪間五十九分を五分縮めて驚異的記録を樹立した。

◇夜間郵便飛行復活

一時中止してゐた日本航空輸送會社の東京—大阪間夜間郵便航空は十二年十二月十一日から復活、午後五時東京、大阪兩地を出発する郵便専用航空の實施を見た。

◇日本最初の落下傘降下塔

青年パラシューター大阪府三島郡吹田町栗須久治君(註)の多年の苦難を稿ふ知人、有志らの床しい心盡しによつて十二月十二、十三日新大阪電車本線東方五千坪の敷地に我國初めての落下傘降下塔を建設完成した。この降下塔は高さ五十尺と三十尺の二個の降下台が設けられてゐる。

◇航空局外局に昇格

民間航空の總元種郵便航空局は十三年二月一日からいよいよ外局に昇格、初代長官に藤原保明氏、勅任部長二人—監理部長に福原敬次氏、技術部長に海軍少將櫻井忠武氏が任命され、支那事變に活躍した陸軍の柴田信一大佐は航務課長に、海軍の千田貞敏大佐は乗員課長としてともに航空局に入り、柴田氏は同年八月少將に進級とともに參與となつた。

◇東京—北京間定期航空

東京—北京間を結ぶ定期航空は日本航空輸送會社と專通航空会社の聯絡により十三年二月二日からダグラスD.C.2型機を使用して開始された。福岡—青島—天津經由で兩地間が結ばれ、所要時間は約十時間、我帝都と新北支の首都北京との間に變期的交通時代を齎したものである。

◇加藤、横山兩氏國際飛行競技に参加

世界の注目の中に行はれた一九三八年のイタリー飛行協會主催リビア周回三千五百キロの國際飛行競技に日本から加藤敏雄(註)横山八男(註)の兩氏機士となり岡本、石川、清部三機士同乗、ドイツ製ヘインケル機によつて参加、二月二十二日リビアのガタメス飛行場から獨、佛、伊の参加二十二機に伍して第

九番目にスタートを切つて三日間は極めて好調を續けイタリー機を除く参加外國機中の最高位を占めてゐたが、四日目の二十五日機關の故障により無念の不時着によつてやむなく棄權したが日本航空界の意氣を十分に發揮した。

◇航空工業學校の誕生

航空日本の將來を擔ふ若き技術者養成のために東京府が中等學校として最初の航空工業學校を荒川区南千住十丁目に設立、十三年四月より開校した。初代校長として東京府立工業學校教諭であつた徳丸芳男氏が任命された。修業年限五ヶ年、一學年定員百六十名、入學資格は尋常小學卒業程度である。

◇空の博覽會開催

支那事變における我空軍の活躍と航空日本の現状認識の強化を目標に帝國飛行協會が主催して陸、海軍、逓信、文部各省および大阪朝日新聞社後援の下に京阪沿線枚方に「躍進日本航空博覽會」を開催、航空に關する新舊あらゆる資料を蒐めて非常な注目をひき十三年四月一日から五月十五日までの會期を六月五日まで延長した。

◇名古屋の航空ペーチェント

近代戦大ペーチェントの名の下に大阪朝日新聞名古屋支社主催、陸、海軍省、第三師團飛行第一、第二、第三、第七各聯隊、濱松陸

軍飛行學校、濱松高射砲隊、海軍航空本部後援によつて一大空中ペーチェントが十三年三月十二日名古屋國際飛行場で舉行された。觀衆實に二十萬、各種種を網羅した陸海軍の空の精銳七十機に高射砲及び歩兵部隊を加へて實戦さながらの大活躍は東海地方空前の盛觀であつた。

◇大學、專門學校に航空學科新設

大阪、九州兩帝大の航空學講座は、航空界の發展飛躍に伴つていよいよその重要性を認識されるに至つたので、十三年四月の新學年から獨立部門として航空學科を新設した。更に東京帝大でも專修學生十名を二十五名に増員、横濱高工でも航空學科を新設して四十名の學生が入學し、また昭和十四年度には東北京部兩帝大、東京工大にも新設されることとなつてゐる。

◇内地—台灣間毎日航空と島内環狀航空路の完成

從來一週三往復であつた日本航空輸送會社の福岡—台北間の内台航空路は十三年四月一日から毎日一往復飛行となり、同時に島内航空路の台北—宜蘭—花蓮港線を更に台東—高雄—台南に延長、台北—台中—台南線と結んで完全に環狀航空路となり、運轉回数も増加した。

◇航空局島人の大量養成決る

時代の要求に應じて航空局では民間島人の大量養成に着手、毎年各四名にすぎなかつた陸、海軍委託操縦生を十三年度から陸軍十五名、海軍九名に増加、更に直轄養成所で訓練する九十名と民間各飛行學校に委託養成する八十名(中水上八名)合計百九十四名を同局の費用で養成することに決定、四月一日から着手した。

◇少年滑空大會

大日本飛行少年團の第一回少年滑空大會は江戸川べりの松戸飛行場で舉行、東京近郊の同團クライダー部に關する少年少女達約百名が参加、空の子の意氣を示した。

◇戸田橋滑空場完成

東京板橋區戸田橋下の荒川の河原を府立第一商業、市立杉並工業、帝國商業、大成商業、集體商業、明治中學、日本中學の生徒延人員三千五百名が自發的に労働奉仕して十三年三月十六日から十日間にわたり地均し作業を行ひ、廣さ十萬坪の理想的滑空練習所を實現した。

◇第一回關東地方中等學校クライダー訓練競技大會

帝國飛行協會、關東地方七府縣共同主催の第一回關東地方選抜中等學校クライダー訓練競技大會は十三年四月六、七の兩日戸田橋滑

空場で開かれた。参加中學生二百名、木戸文相の揮毫になる晴の優勝旗は神奈川縣厚木中學校が獲得した。

◆満洲航空會社ハイネケル機のべルリンー東京飛行

滿洲航空會社がドイツから最新鋭ハイネケル一六型旅客輸送機二機を購入、そのべルリンー東京間空中輸送飛行は加藤鐵雄、横山八男、中尾純利、杉井勝吉の四機組、岡本虎男、石川金吾兩機組、鹽田陽三、滿都誠一兩無電通信士の分乗によつて行はれた。兩機は東京を運んで十二月四月二十三日午後三時半（日本時間）日滿官民の盛大な見送りをうけてべルリンの空港テンベルホフ飛行場を出發、以來順調確實なる飛行を續けてロードス島、バスラ、カラチ、カルカッタ、ラングーン、バンコックを經由して四月二十八日午後五時二十六分無事台北飛行場に母國最初の車輪を押し、翌二十九日天長節の佳き日に勇躍東京のゴールに到着、午後三時十三分羽田の東京飛行場に到着見事大使命を果たした。この飛行距離實に一萬四千八百キ、總計所要時間百四十三時間四十三分、實飛行時間五十二時間四十四分、二機雁行、しかも旅客輸送機としてまさに世界的快記録を樹立した。

△福岡に航空検査所  
支那事變以來北、中、南支からの交通量増

加に伴ふ各種傳染病の侵入を慮り厚生省防疫課では福岡飛行場に日本最初の航空検査所を設置、十三年七月一日から開所した。十四年度には東京、大阪にも開設される。

◆帝大航研機世界記録を樹立す

東京帝大航空研究所が昭和八年計畫を樹てて以來研究と努力の五ヶ年、十二年三月末見事完成した長距離機は航空日本のホープとしての絶大な期待と世界航空界注視の中にその快翔の日を待たれてゐたが、同年七月三十一日羽田東京飛行場での試験飛行において引込脚の故障から片方の車輪が出ず、そのまま着陸して惜くも大破し、修理を急いで十一月十三日午前五時五十八分木更津海軍飛行場を離陸し、同日午後五時五十分同飛行場に片車輪の故障を發見したため快調の飛行を惜みつゝ、飛行九時間にして同飛行場に殆んど片車輪の着陸をなし、破損を免れた。また十三年五月十日午前五時九分木更津海軍飛行場を離陸、再度の壯舉に上つたが、この時も飛行十時間餘自動操縦装置に故障を發見し壯途半ばにして無念にも着陸の餘儀なきに至つた。さて遂にその日が来た。昭和十三年五月十三日午前四時五十五分、四時半のカソリンと搭乗員三分の糧食を積み込んだ全備重量九ト餘の巨

體は、木更津飛行場の暗闇を射る燦々たるホムライトの光を浴びて三度目の壯舉を飛行したのであつた。西洋流にいへば丁度この日は「十三日の金曜日」だが飛行條件は誠に絶好、世界注視の中に世界新記録を自指す我が航研機は、木更津一銚子一太田一平塚一木更津の梯形コース一周四百キの周回飛行を繼續して行つた。かくて二十七周目先づ一萬キスピード新記録を樹立、一九三二年佛のホストロ、ロツシ兩氏によるF・A・I公認記録一〇、六〇一キ四八〇における時速一四九・八五三キを三五キ以上の大差（平均時速一八六キ強）をもつて打破し、輝く世界記録の王座を掌握したのである。スピード新記録の樹立によつていよいよ全世界の驚異の的となつた我が「空の王者」は白銀の巨體も悠々と更に暴進を續け、遂に第二の世界記録をも輕々と征服、飛び出してから三日目の十五日午後七時十八分、滯空六十二時間二十三分、周回飛行距離實に一萬一千六百六十七キの大記録を空のお土産として、地上に湧き立つ歡呼の聲に無事木更津飛行場へ着陸した。この飛行距離は假に東京から大圏コースを東に飛んだとすれば儘にニューヨークを突破して大西洋上に達し、南すれば遙かロンドンをも飛び越すほどの長距離であり、一舉にして赫々たる二大金字塔を世界航空史上に押し立てた航研

機不滅の業績は絶續に値するものであらう。なほ從來世界航空界において後進國の名に甘んぜざるを得なかつたわが國が、昭和十二年本社神風號によつて樹立した亞歐聯絡飛行の新記録とともに、これによつて三つの世界記録の王座を獲得、勇躍航空日本の聲名を高めるに至つたことは注目すべきである。

◆日本の誇り、三大世界記録

神風亞歐聯絡飛行（往航）發着一覧  
（自四月六日—至四月十日）

地名	發着日時	距離	平均時速
立川	發着 九・三〇	二・三〇	七・七
北川	發着 九・三〇	二・三〇	七・七
ハノイ	發着 一〇・三〇	一・七〇	二・二
ワイヤンチ	發着 一〇・三〇	一・七〇	二・二
カルカッタ	發着 一〇・三〇	一・七〇	二・二
シヨドプル	發着 一〇・三〇	一・七〇	二・二
カラチ	發着 一〇・三〇	一・七〇	二・二
バスラ	發着 一〇・三〇	一・七〇	二・二
バグダッド	發着 一〇・三〇	一・七〇	二・二

アテネ	發着 九・三〇	一・七〇	二・二
ローマ	發着 九・三〇	一・七〇	二・二
パリ	發着 九・三〇	一・七〇	二・二
ロンドン	發着 九・三〇	一・七〇	二・二
往航小計	九・三〇	一・七〇	二・二
飛行時間	五・一九	一・三三	四・五八
給油休養時間	四・二五	一・三三	三・五八

航研機記録飛行

第一日 (十三日 金曜)	出 發	午後	四時五五分
一	同	七時一〇分	二六秒
二	同	九時一六分	八秒
三	同	十一時二〇分	五七秒
四	同	一時二六分	五七秒
五	同	三時三二分	二四秒
六	同	五時三五分	三七秒
七	同	七時三七分	
八	同	九時三九分	二三秒
九	同	十一時四二分	四二秒
▼第二日 (十四日 土曜)	一	一時五五分	一秒
二	同	四時	六分三二秒

十二周	同	六時一六分	五一秒
十三周	同	八時二一分	五五秒
十四周	同	十時三一分	二七秒
十五周	午後	零時四四分	七秒
十六周	同	二時五三分	五四秒
十七周	同	五時	四分
十八周	同	七時一〇分	二三秒
十九周	同	九時二二分	一五秒
二十周	同	十一時二九分	三四秒
▼第三日 (十五日 日曜)	一	一時四三分	一五秒
二	同	三時五九分	二秒
三	同	六時一二分	五八秒
四	同	八時三二分	二五秒
五	同	一〇時四一分	五〇秒
六	午後	零時五二分	四九秒
七	同	三時	五分一二秒
八	同	五時一分	一秒
九	同	七時一七分	四九秒
十	同	七時二一分	着陸
一周回距離	四〇一キ	七五九	
全飛行距離	一一、六五一キ	〇一一	
全飛行時間	六二時間	二二分	四九秒
最初より計測したる場合の一萬キ速度	一八七キ	七五七	
第二周より計測したる時の一萬キ速度			



平均時速 一八七杆〇一六 一八六杆七七五

△全日本學生グライダー訓練競技大會

澎湃たる大空への關心を集めて全日本學生グライダー訓練競技大會が、帝國飛行協會、大日本青年航空團、朝日新聞社共同主催、陸軍、逓信、文部、厚生各省後援の下に第一會場信州霧ヶ峰、第二會場菅平兩高原で行はれた。先づ十三年八月二日から第二會場菅平では初心學生七十餘名を集めて基礎訓練を開始霧ヶ峰は全國中等、高等、大學各校のグライダー部學生ら百五十名が十日の開會式に續いて合宿練習を行つた。親しく學生鳥人の指導に當つた大日本青年航空團指導大佐以下各教官の熱心な指導でメキメキと腕前を伸ばし、同月二十八日から練習の總決算ともいふべき絢爛たる競技大會が霧ヶ峰高原で催された。軍民各航空關係者多數參列、四萬の觀衆會場を壓する中に頼もしい航空日本の躍進繪巻を繰り展げた。

○ 飛 行 機

○中等學校グライダー直接滑空決勝 1古富(帝高) 2有安正男(明治中) 3猪俣秀雄(石橋中) 4橋井良夫(同上) 5栗田敏郎(靜中) 6野田文一郎(郡島工) 7田山多志雄(熊本商) 8神野裕喜雄(明治中) 9助川武男(茨城工) 10大和正

司(石橋中) ○大學高専セコンダリー・シヨックコイド九〇度旋回 1岡田忠治(倉澤商工) 2寺田孝一(同上) 3岡義雄(同上) 4三浦正文(慶大) 5大塚隆之(一高) ○大學、高専セコンダリー・ウインチ旋回、同三百六十度旋回 1森羅吾(法大) 2仁禮景康(早大) 3尾田幸雄(同志社) 4橋本元雄(同上) 5坂井和雄(關大)

航空の發達に伴つてますますその重要性を加へて來た航空醫學研究の殿堂として陸軍航空醫學研究所(正確の名は陸軍軍醫學校軍陣衛生學教室分業所)が富士山一萬二千尺の頂上に完成し、八月二十四日小泉醫務局長、寺師軍醫學校長ら登山參列の下に開所式を挙げた。從來世界一といはれてゐたアルプス、モンテローザのイタリイ國立航空醫學研究所よりも遙かに完全な設備を有し、正に我が航空界が世界一の誇りを恣にするに足るもので本屋の建坪七十餘坪、物置二十坪、陸軍技術部苦心の設計になり、二つの研究室をはじめ寢室、風呂場はもちろん、自家發電の電燈、電話、無線など完璧の設備を持ち、今まで未解決のまゝ、残されてゐた嚴冬の研究も安々と行はれるわけである。研究所員は一年交代でこゝに籠城するもので、第一回所員は、岡

世界航空記録 (國際航空聯合會公認)

○ 飛 行 機

Table with columns for speed, altitude, aircraft type, pilot, and date. It lists various aviation records from different countries and eras.

田中佐、水野、吉川兩大尉、光岡技師、田口技手ら五名の科學戰士である。

○十四年度航空關係新規豫算

逓信省の十四年度豫算は新規要求七千萬圓と決定、この中約七割が航空局關係で、大型航空機時代に處する地上設備の改善、航空機乗員養成並に縣案の南洋定期航空路の新設など、平戰兩時に備へての民間航空充實に重點をおいてゐるのは注目される。航空關係豫算は左の通り。

○歐米民間航空界

◇親子飛行機の出現

イギリスのインベリアル・エヤーウエイの總支配人R・H・マヨイ少佐設計になる親子飛行機が完成した。エンバイヤ型飛行機の背中に、一つ小型の水上げ機を載せたもので、背中の子飛行機が親飛行機におんぶして飛翔中どこでも都合の良い空中で親飛行機から離脱し目的地へ單獨飛行するといふ遠距離飛行を目的とするものである。最も困難視されてゐた飛翔時の離脱にもすでに成功、明日の航空機としてその將來を期待されてゐる。

◇イルズ嶺新記録

佛女流飛行家マリズ・イルズ嶺は十二月十九日ル・ブルジェ飛行場發、パリトサイゴン間スピード記録飛行の壯途に上り、九十二時間二十二分の快記録をもつて一九三六年十二月アンドレ・ジャビー氏の作つた九十八時間五十二分の記録を更新した。

◇伊空軍の西、伯長距離飛行

伊空軍の至寶的飛行士マリオ・ストツパニ及びエンリコ・コマニ、機師レラト・ボリアーニ氏は水上機(CANT・Z・506、アルファロメオ發動機三、七五〇馬力をもつて一九三七年十二月二十八日スペインカデイス飛行場出發、一氣に六、八二〇キロを突破してブラジルのカラウエラ飛行場に到着、平均時速二六〇キロの驚異記録を樹立した。

◇アラスカに米空軍根據地

ニューヨーク・タイムズ紙の報道によれば近く米空軍はアラスカへ最初の恒久的空軍根據地を建設するといはれる。

◇サモアン・クリツパー機遭難 汎米航空會社サモアン・クリツパー機はミ

飛行	無着陸	高度
飛行	線直	機水
回周	線直	機水
三、四、二、二	三、五、二、二	一〇、〇八米
ベリトニエ	スカルチニス	ニクロット
フアルマン	SK・W・D	CF・NT・AA・CC
九五馬力	ポロランド	リトリオ
昭和六年八月七日	昭和八年五月七日	昭和八年二月廿四日

○ゲライダー

種別	記録	保持者	使用機	航空路	滑降日時
最長直線	三〇、三〇〇	エルチユナ	デ・ロイナ	獨逸	昭和十年七月二十九日
最長滑降	三六時間五分	ミット・シユ	ベビイ	獨逸	昭和八年八月四日
最大高度	四、三三米	リツヒ・デツ	コンドール	獨逸	昭和九年二月二十七日
出発地より	・〇六米	ドイツトマー	ドイ	獨逸	

○航空船

航線距離	航線時間	操縦者	航空路	飛行距離	飛行時間	機體	發動機	馬力
六、八、五、〇〇	七、一時間	ブルーレー	パリ・ロンドン	一〇、〇〇〇	三、二〇〇	コイドロ	ス・ロー	二、五〇〇
同	同	同	同	同	同	同	同	同

世界大飛行一覽

年月日	操縦者	航空路	飛行距離	飛行時間	機體	發動機	馬力
一九三〇年	ブルーレー	パリ・ロンドン	一〇、〇〇〇	三、二〇〇	コイドロ	ス・ロー	二、五〇〇
一九三〇年	スミス中尉	外三名	二〇、〇〇〇	七、三〇〇	ダグラス	リバティ	二、五〇〇
一九三〇年	マクラレン	少佐	四、〇〇〇	一、二〇〇	ヴァルチ	ネビオン	一、〇〇〇
一九三〇年	ドアジー大尉		三、〇〇〇	一、〇〇〇	プレゲ	ロレーヌ	一、〇〇〇
一九三〇年	ザンニ中佐		一七、二七〇	五、三三〇	フォツカ	ネビオン	一、〇〇〇
一九三〇年	デ・ビネト	中佐	一七、〇〇〇	五、〇〇〇	サヴオイア	ロレーヌ	一、〇〇〇
一九三〇年	グロモフ		一〇、八八〇	三、六三〇	B型(露)	イヴアテ	一、〇〇〇
一九三〇年	安達浩、河内彦		一六、二五〇	五、〇三〇	プレゲ	ロレーヌ	一、〇〇〇

ユヅク艇長以下乗組員七名をもつて一月十一日ツツイラ島バゴバゴからオーランドに向ふ途中バゴバゴ島北西洋上で行方不明となり、十二日殉職と認定された。

○ソ聯二番機も北極圏飛行に成功す

一九三七年六月二十日チカロフ飛行士らによつてモスコ、ヴァンクーヴァ間の「スタリン空路」開拓に成功したソ聯では同年七月十二日更に第二番機ANT25號機が壯舉を決行、モスコ、カリフォルニア州サンジヤシント間を六十二時間九分の大記録をもつて征服、再び偉勳をたてた。第一番機の記録を更新すること一時間十六分、使用機は一番機と同種、搭乗者はグロモフ、ユマシエフ、グリン三鳥人で、このにおいて北極圏の空は完全にソ聯によつて征服された感がある。

○ゲライダー競技オリンピック正式種目として承認された

式種目となる

十三年三月十七日會議船ビクトリア號上で開かれた國際オリンピック委員總會第六回會議(通稱カイロ會議)で、ドイツ提案のゲライダー競技はオリンピック大會の正式種目として承認された。

○米シコルススキー旅客機墜落

汎米グレース・ライン定期旅客機シコルスキー水陸兩用サンタ・マリア號は旅客十一名乗員三名を載せてペナマのクリストバル附近

○ヒューズ機の世界早廻り

飛行家としてよりも百萬長者、スポーツマン、映画プロデューサーなどで有名だったアメリカのヒューズ氏が愛機「一九三九年ヒューズ機」(ロッキンヒード・スピーエレクトラ)を操つて突如一九三八年七月十日ニューヨークを出発、全世界が「あつ」と驚きの眼を刮つてゐる間に文字通り単の如く快翔を續け、ニューヨークを出てから僅々丸三日と數時間で世界をぐるりと一廻り、十四日午後一時三十七分再びニューヨークへ安着した。所要時間九十一時間四分、翔破距離一四・六〇八呎、平均時速二〇六呎七一といふ記録で、故ボスト氏の七日十八時間四十九分をも破りも破つたり三日十九時間四分といふ大差をもつて超人的新記録を樹立、地球をして三日の距離に短縮してしまつた。

彈丸男のハワード・ヒューズ氏はテキサス州ヒューストン市生れ、本年三十四歳の青年實業家で、父親から受け継いだ莫大な資産を抱へて現在ヒューズ産業社社長で未だに獨身、飛行機は十數年前から道楽にやつてゐるうち一九三五年に陸上機の速度記録を、一九三七年にロサンゼルス・ニューヨーク間の速

航空界

Table of flight routes and schedules on page 442. Columns include destination (e.g., 至自), aircraft type (e.g., ヲオツカ), and other details. Includes a section for 'ヒューズ機飛行經過' (Hewlett-Packard aircraft flight record).

航空界

Table of flight routes and schedules on page 443. Columns include destination (e.g., 至自), aircraft type (e.g., ヲオツカ), and other details. Includes a section for 'ハワイ・クリップ機運離' (Hawaii Clipper aircraft departure).

度記録を取った。このほか映画にも手を出し「地獄の天使」「犯罪都市」「暗黒街の顔役」などのプロデューサーとして大儲けをした。今回の紐育萬國博覧会の原型はロックヒード航空機社の最新鋭ロックヒード十四型十人乗り雙發快速旅客機で、ポスト氏の場合にはロックヒード・ヴェガ機といふ中型機とは大分違ふ。ヒューズ機の一級性能は左の通り。

△重量二萬五千ポンド▽發動機プラット・アンド・ホイットニー・スプー五五五馬力二基▽機體全幅一九・九五メートル、全長一三・四〇メートル、全高三・四九メートル、翼面積五一・二平方メートル▽速度最大四二六キロメートル巡航三八六キロメートル▽搭乗者主操縦士ハワード・ヒューズ氏、航空士ハリソン・チャールズ、同トーマス・サロー氏、機師エドワード・ルンズ氏、無線技師リチャード・ストツグ・ダウド氏(R・C・A社員)

ヒューズ機飛行經過

ニューヨーク發 米國東部標準時十日午後六時二十分(日本時間十一日午前八時二十分)
パリ發 グリニッチ標準時十一日午後三時五十分(日本時間十二日午前零時五十分)
パリ發 グリニッチ標準時十二日午前零時四十分(日本時間十三日午前九時四十分)
モスコウ發 米國東部標準時十四日午後七時七分(日本時間十五日午後五時十五分)
モスコウ發 米國東部標準時十四日午後八時八分(日本時間十五日午後六時八分)
ヤクーツク發 米國東部標準時十三日午後八時八分(日本時間十四日午後九時八分)
ヤクーツク發 米國東部標準時十三日午後九時一分(日本時間十四日午後九時一分)
フエアバンクス發 米國東部標準時十三日午後七時八分(日本時間十四日午後九時八分)
フエアバンクス發 米國東部標準時十四日午後八時八分(日本時間十五日午後九時八分)
ミネアポリス發 米國東部標準時十四日午前九時一分(日本時間十五日午後十一時一分)
ニューヨーク發 米國東部標準時十四日午後一時七分(日本時間十五日午後三時七分、所要時間三日十九時十七分)

ハワイ・クリップ機運離
アメリカからフィリピンへ飛揚中の汎米航空會社ハワイ・クリップ機は、一九三八年七月二十八日「現在フィリピン海岸から五百六十五哩の位置にあり、雲深くコンデيشオンや、照し」といふ最後の無電を寄せた

Table with 10 columns and 10 rows listing flight routes, aircraft models, and times. Columns include route (至自), aircraft name, departure/arrival times, and aircraft specifications (type, engine, etc.).

まゝ遂に行方不明となつた。アメリカははじめ我が國でもこれが捜査をなし、一時日本近海を漂流してゐるのを発見されたとも傳へられたが、百方捜査の甲斐なく海底の藻屑となつたものと見られる。同機はアメリカお自機の豪華旅客飛行艇で、その遭難は航空界に種々の研究問題を提起してゐるが、當時の搭乗員は旅客六名、乗員九名であつた。イヤハート機の遭難とともに一九三八年における最大の空の悲劇である。

Table with 10 columns and 10 rows listing flight routes, aircraft models, and times. Columns include route (至自), aircraft name, departure/arrival times, and aircraft specifications (type, engine, etc.).

つき締約國の提議をうけ、または締約國に提議をなし、採擇したる變更修正を通告する。
△國際航空聯合會 各國の航空團體より成り、主として民間航空に關する協議をなし、その發達をはかり相互に利便をはかる機關として世界航空記録の認定なども本聯合會で行ふ我國からは帝國飛行協會が加盟してゐる。
△航空研究所 大正五年四月東京帝大内に設けられた航空學調査委員會の業務を繼承し、航空機、航空船、氣球、發動機、航空心理その他航空に關する諸般の研究を目的として大正七年四月一日創設、東京市越中島に研究所を建てたが大震災で烏有に歸したため東大舊農學部跡に移轉、昭和六年工事完成、風洞飛行機、物理、化學、冶金、材料等々各部に中央工場など世界一の設備を誇るものである。所長は東大教授和田小六博士。

Table with columns for aircraft model (e.g., ニューポール式), engine (e.g., ルロリン), capacity (e.g., 10名), and other specifications.

本邦民間飛行機要目

Main table listing various aircraft models like ニューポール式, アドロ式, and their technical details.

本邦民間飛行練習所

Table listing flight training schools across Japan, including names, locations, and representative figures.

Table listing aircraft models such as 三式式T, 三式式M, and their specifications including engine and capacity.

本邦航空無線電信局一覽

Table listing radio telegraph stations in Japan, including station names and locations.

普通郵便		東京、北京、南京線 (昭和十三年十月一日ヨリ實施)	
東京	福	東京	福
大新平京大	大新平京大	連州	連州
義	義	二、一、三	二、一、三
各	各	各	各
便	便	便	便
同	同	同	同
社	社	社	社
送	送	送	送
行	行	行	行
急	急	急	急
一	一	一	一
便	便	便	便

へた。同月八日大阪の森田新三氏機から飛した  
四十五馬力軍用機で城東練兵場まで本邦最初の民間  
飛行をなす。四月所港陸軍飛行場開設さる。

明治四十五年 六月六日から三日間阪神沿邊西  
宮海濱で大阪朝日新聞社の招待したアット・ウオ  
スター氏の本邦最初の水上飛行があり、久瀨宮邦  
彦王、同妃、多喜王三殿下台臨あらせられた。七  
月全国師團から第一回練習隊五名を選抜して飛  
行術の教育開始さる。

大正元年 秋季大演習に飛行機、飛行船参加す。

大正二年 二月帝國飛行協會設立さる。五月四  
日大阪朝日新聞社主催の下に武石浩敏氏の馬尾一  
大尉、京都の神市勝路大飛行を行ったが、不幸深  
草練兵場滑空の際墜死して我が國民間飛行最初の  
犠牲となつた。

大正三年 六月馬尾で帝國飛行協會主催の民間  
水陸飛行競技大會あり。日獨戦に軍用機初めて實  
戦に参り青島市上空で偵察、爆撃等は敵機との交  
戦に威力を示す。

大正四年 十二月大阪朝日新聞社後援の民間飛  
行大會を開く。陸軍航空大隊編制さる。

大正五年 一月十五、六兩日馬尾で米人ナイル  
ス氏の宙返り飛行あり。四月二十四、六兩日同所で  
米人バード・スミス氏の曲技飛行を行ひ、同月二  
十七日は我國最初の夜間飛行に成功す。

大正六年 航空大隊を航空第一、第二大隊及び  
氣球隊とさる。四月再びスミス氏を招いて各種高等  
曲技を公開す。

日滿支比定期航空路	
航空線路	日
所要時間	一、東京、大連、新京線
旅客運賃	一等、二等
貨物運賃	一等、二等
飛行回数	毎日一往復
機種	三菱式、中島式
最大重量	二、三噸
最大速度	二、三時
最大高度	一、二萬
最大航程	一、二萬
最大燃料	一、二噸
最大乗客	一、二名
最大貨物	一、二噸
最大重量	二、三噸
最大速度	二、三時
最大高度	一、二萬
最大航程	一、二萬
最大燃料	一、二噸
最大乗客	一、二名
最大貨物	一、二噸

本邦航空發達小史

明治十年 西南役の際氣球二個を製作したこと  
がある。

明治二十四年 二宮忠八氏鳥型飛行機模型を獨  
創の設計で完成、同二十七年鳥型の模型を考案す  
明治三十年 山田猪三郎氏が風式氣球の發明特  
許を得、その二個は日露役旅順攻圍戦に参加した  
明治四十年 中野電信隊に氣球隊編成さる。

明治四十二年 六月臨時軍用氣球研究會創設。

明治四十三年 三月戸山ヶ原で日野式軍用第一  
號の滑走試験あり。十月奈良原式(アンゼーニー二  
五馬力装機)の試験飛行をした。十二月十九日代々  
木原で徳川中尉アルマン式を操縦して四分間、  
距離三千米を飛行した。續いて日野大尉もまたグ  
ラフ式を操縦した。これが本邦最初の飛行。

明治四十四年 春、山田式第二號飛行機大崎陸  
納庫を出でて野外飛行に成功した。三月廿一日大  
阪朝日新聞社は米飛行家バート・マース氏を聘し  
て大阪城東練兵場にその妙技を公開した。この日  
久瀨宮邦彦王、多喜王兩殿下特に台臨遊ばれ、見  
物人八十萬と稱せらる。四月一日東京目黒練馬場  
に同氏の飛行大會を催し異常な刺激を觀衆人に與

航空航

Table with columns for route (航空路線), distance (距離), time (所要時間), carrier (輸送種類), price (運賃), operator (経営者), and flight frequency (飛行回数). Rows include routes to Manila, Cebu, Singapore, and various Japanese cities.

航空航

Table with columns for route (航空路線), distance (距離), time (所要時間), carrier (輸送種類), price (運賃), operator (経営者), and flight frequency (飛行回数). Rows include routes to various Japanese cities like Tokyo, Osaka, and Nagoya.

昭和二年 六月航空法施行。朝日新聞社はドルニエ式メルクワル型及びコミット型を、日本航空株式會社は同式ワル型を各購入す。これわが國最初の旅客飛行機なり。五月國防義賣會の日本一周飛行完成。十月海軍大演習で、ユス三號大航空船懸破。昭和三年 四月羽太飛行士ライオン機にて航十三時間二十三分、二千キロメートル翔破の新記録を作る。七月大阪で大防空演習行はる。昭和四年 日本航空輸送株式會社創設され東京大阪、福岡の間に定期飛行を開始す。後京城、大連まで定期航空路を延長す。陸軍の八八式偵察機二機飛行して太刀洗、屏東湖を無着陸で飛び内台聯絡のレコードを作る。歸路一機は十五時間十五分を要し本邦航空記録を破る。昭和五年 日本學生航空團が結成され東西の各大學、專門學校に航空研究會を設けらる。吉原清治飛行士ベルリンからシベリヤを經て東京まで十一日間で飛ぶ。吉原機入京に一日おきて東洋飛行士がロサンゼルス、ニューヨーク、ロンドン、ベルリンを經てシベリヤを飛んで歸り入京す。昭和六年 露海軍航空隊の純國產半硬式八號飛行機(露吉少佐以下十二名乗組)は三月十四日午後十一時三十分離陸、十七日午前十一時二十八分着陸、滞空六十時間一分の新記録を示し、ノビレ少將北極探検の半硬式船世界新記録四十四時間三十五分を破る。五月十一日世界第一の航空研究所

大正七年 四月初めて民間飛行家後藤正雄氏所屬、大阪間の無着陸飛行に成功す。大正八年 二月一日から四日間米國女流飛行家ルース・ロー夫人飛行す。四月陸軍航空部及び航空學校建設さる。十月二十二日東京、大阪間に第一回郵便飛行を行ひ、大阪朝日新聞社は兩地間に新聞の空中輸送をなす。大正九年 東京月島に航空研究所設けらる。五月イタリアのフェラタン、マレエロ兩中尉飛來。大正十年 三月航空取締規則施行さる。大正十一年 秋、日本航空輸送研究所が現、四國間に水上機の定期航空路を開く。大正十二年 陸軍航空兵科創設さる。一月から大阪朝日新聞社は東京、大阪間に定期航空を始め。七月から日本航空株式會社大阪、別府間に瀬戸内海定期航空路を開く。大正十三年 三月十九日SS第三號爆發す。九月二十五日新造航空船アストラ飛ぶ。大正十四年 四月二十日から郵便飛行開始さる。七月二十五日午前九時大阪朝日新聞社の訪歐飛行機は、安達、河内、篠原、片桐の四勇士を乗せ代々木練兵場を發し、八月二十三日モスコに着、九月二十八日パリ着、十月十二日ロンドン着、十月二十七日午後四時五十八分ローマに到着す。この航程一萬六千キロメートル。大正十五年 海軍はイタリアからエヌ三號航空船を輸入す、我國初めての半硬式である。

本邦定期航空統計

(昭和十二年四月)

Table with columns: 種類 (Type), 距離 (Distance), 飛行距離 (Flight Distance), 旅客数 (Passenger Count), 貨物量 (Cargo Volume), 郵物量 (Mail Volume). Rows include 日本航空輸送株式会社, 日本航空輸送研究所, 東京航空株式會社.

本邦民間航空成績累年比較

(定期航空及不定期航空を含む)

Table with columns: 年次 (Year), 飛行回数 (Flight Count), 飛行距離 (Flight Distance), 飛行時間 (Flight Time), 事故回数 (Accident Count), 搭乗者死 (Passenger Deaths), 搭乗者負傷 (Passenger Injuries), 機體破損 (Aircraft Damage), 發動機破損 (Engine Damage). Rows from 大正十年 to 昭和十一年.

開く。日本學生航空團法政大學訪問團「青年日本」五月二十九日羽田東京飛行場發八月三十一日ロイヤル、目的を達す。九月滿洲事變起るや我空軍は青島戰以來初めて實戰に参加、朝日新聞社機は事變の爲原稿輸送に大活躍をなす。十月四日日本空輸會社「オッカー」M機内地、台灣聯絡飛行に成功す。

昭和七年 二月二十三日上海において我空軍創設以來初めての空中戦闘飛行は小谷大尉は戦死、敵機ボーイングを生田大尉に射撃す。四月二十日、五月二日兩日東京、太刀洗間夜間定期航空試験飛行に成功す。九月二十四日報知新聞社の太平洋横断機淋代出發後還歸。十月十五日日本社オートジャイロ大阪にて初めて飛ぶ。十一月三日日滿合辦滿洲航空株式會社創設。

昭和八年 滿洲事變以來國民の空中國防熱心にて七月初旬まで國民獻納の航空機八十六機、海軍機三十六機に達す。十一月一日日本航空輸送株式會社の夜間定期飛行開始。

昭和九年 五月四日太刀洗飛行機隊の八八式三機は大阪まで往復一千キロの無照明天候通報なしの野戰的夜間飛行を敢行す。五月十五日東京「富山」の定期航空始まる。九月六日大阪より朝日新聞社機飯沼機、十日羽田より同新聞社による北平訪問飛行成功す。

本邦飛行場一覽

Table with columns: 名稱 (Name), 所在地 (Location), 水陸/水 (Water/Land/Water), 滑走區域 (Runway Area). Lists various airports like 東京飛行場, 大阪飛行場, 那覇飛行場, etc.

昭和十年 一月朝日新聞社長友傳東京大田山探梅隊に協力成果を収む。三月廿日同新聞社による南京訪問飛行成功。六月五日朝日新聞社により大阪、富山、新潟間定期航空開始。十月八日日本空輸會社の瀋陽、台北間千六百キロの内台飛行開始。十一月十九日台灣總督府において日本航空旅客機をもつて台灣、瀋陽間の新航空路開始。



用共公非

中島大井飛行場	東京市品川區大井南濱町	水	所在地先水面
川西鳴尾飛行場	兵庫縣武庫郡鳴尾村	水	鳴尾村鳴尾字大東地先水面
城崎飛行場	兵庫縣城崎町	水	圓山川水面
堺大濱飛行場	堺市大濱南町新公園第公八號地海岸	水	所在地先水面一〇〇〇平方
高知飛行場	高知縣吾川郡長濱町大字横濱	水	東西七〇〇〇以南南北六五〇
宮島飛行場	廣島縣佐伯郡大野村字鼓ヶ濱	水	長五〇〇〇以南幅三〇〇
桐生愛國飛行場	群馬縣新田郡笠懸村大字鹿ノ川	陸	東西約三〇〇〇以南南北約四三〇
滋賀飛行場	滋賀縣下坂本村永上	水	附近ノ琵琶湖水面
大津飛行場	大津市馬場中	水	附近ノ琵琶湖水面
中越飛行場	新潟縣北魚沼郡千田村	陸	長約八五〇〇以南幅約四〇〇
山梨飛行場	山梨縣中巨摩郡玉籠村玉川	陸	東西約四〇〇〇以南南北約五〇〇
衣夕原飛行場	愛知縣西加茂郡豐母町 大字豊母字中細谷	陸	東西約五〇〇〇以南南北約三二〇

本邦飛行場統計 (航空局調査、昭和十二年三月分)

飛行場	飛行機	定期	航空		不定期航空
			通過	發	
東京	10	1	1000	1000	1000
名古屋	10	1	1000	1000	1000
大阪	10	1	1000	1000	1000
その他	10	1	1000	1000	1000

空研研究所落成す。支那大陸の戦線における國、海軍空中部隊の活躍いよ／＼目ざましく軍機動員以來撃滅せる敵機千五百を數へ航空日本の威容輝く。

**主要各國民間航空豫算額比較**

一九三六年 一九三七年

イギリス(單位千ポンド) 700 800  
 (換算額(單位千圓)) 11,500 12,500  
 補助獎勵金 700 800  
 フランス(千フラン) 8,000 6,000  
 (換算額(千圓)) 11,500 8,000  
 航空豫算總額 11,500 11,500  
 (換算額(千圓)) 11,500 11,500  
 補助獎勵金 11,500 11,500  
 ドイツ(千マルク) 11,500 11,500  
 (換算額(千圓)) 11,500 11,500  
 航空豫算總額 11,500 11,500  
 (換算額(千圓)) 11,500 11,500  
 補助獎勵金 11,500 11,500  
 アメリカ(千ドル) 11,500 11,500  
 (換算額(千圓)) 11,500 11,500  
 航空豫算總額 11,500 11,500  
 (換算額(千圓)) 11,500 11,500  
 補助獎勵金 11,500 11,500  
 日本(千圓) 11,500 11,500  
 航空豫算總額 11,500 11,500  
 補助獎勵金 11,500 11,500

**本邦航空燈台一覽** (昭和十二年十月現在)

航空燈台名	所在地	燈台種類	晴天の暗夜	霧天の暗夜	霧天の暗夜	霧天の暗夜	霧天の暗夜
東京飛行場	東京市品川區品川	閃白光	二二〇萬	二二五萬	二二五萬	二二五萬	二二五萬
平塚飛行場	神奈川縣鎌倉郡平塚町	閃白光	二二〇萬	二二五萬	二二五萬	二二五萬	二二五萬
真鶴飛行場	神奈川縣足柄下郡真鶴町	閃白光	二二〇萬	二二五萬	二二五萬	二二五萬	二二五萬
十國飛行場	靜岡縣田方郡海濱町	閃白光	二二〇萬	二二五萬	二二五萬	二二五萬	二二五萬
沼津飛行場	靜岡縣富士郡沼津町	閃白光	二二〇萬	二二五萬	二二五萬	二二五萬	二二五萬
三浦飛行場	清水市三保	閃白光	二二〇萬	二二五萬	二二五萬	二二五萬	二二五萬
三浦飛行場	靜岡縣志太郡東金谷村	閃白光	二二〇萬	二二五萬	二二五萬	二二五萬	二二五萬
三浦飛行場	靜岡縣小笠原郡河津村	閃白光	二二〇萬	二二五萬	二二五萬	二二五萬	二二五萬
三浦飛行場	靜岡縣濱名郡吉野村	閃白光	二二〇萬	二二五萬	二二五萬	二二五萬	二二五萬
三浦飛行場	愛知縣八名郡石巻村	閃白光	二二〇萬	二二五萬	二二五萬	二二五萬	二二五萬
三浦飛行場	愛知縣幡豆郡幡豆町	閃白光	二二〇萬	二二五萬	二二五萬	二二五萬	二二五萬
三浦飛行場	愛知縣知多郡西浦町	閃白光	二二〇萬	二二五萬	二二五萬	二二五萬	二二五萬
三浦飛行場	三重縣伊賀郡北津村	閃白光	二二〇萬	二二五萬	二二五萬	二二五萬	二二五萬
三浦飛行場	三重縣河津郡若松村	閃白光	二二〇萬	二二五萬	二二五萬	二二五萬	二二五萬
三浦飛行場	三重縣鈴鹿郡加太村	閃白光	二二〇萬	二二五萬	二二五萬	二二五萬	二二五萬
三浦飛行場	三重縣阿山郡西竹原村	閃白光	二二〇萬	二二五萬	二二五萬	二二五萬	二二五萬
三浦飛行場	三重縣阿山郡長田村	閃白光	二二〇萬	二二五萬	二二五萬	二二五萬	二二五萬
三浦飛行場	京都府相樂郡笠置村	閃白光	二二〇萬	二二五萬	二二五萬	二二五萬	二二五萬
三浦飛行場	奈良縣生駒郡生駒町	閃白光	二二〇萬	二二五萬	二二五萬	二二五萬	二二五萬
三浦飛行場	大阪市大正區船場	閃白光	二二〇萬	二二五萬	二二五萬	二二五萬	二二五萬
三浦飛行場	神戸市須磨區鉢伏山上	閃白光	二二〇萬	二二五萬	二二五萬	二二五萬	二二五萬
三浦飛行場	兵庫縣揖保郡室津村	閃白光	二二〇萬	二二五萬	二二五萬	二二五萬	二二五萬
三浦飛行場	岡山縣巴久郡玉津村	閃白光	二二〇萬	二二五萬	二二五萬	二二五萬	二二五萬
三浦飛行場	岡山縣那珂郡早島町	閃白光	二二〇萬	二二五萬	二二五萬	二二五萬	二二五萬

列國民間航空概見表 (昭和十二年度調査)

國名	飛行機數	操縦士數	飛行場數	航空運送距離 (哩)
英	一、六六六	三、三六六	三六	三、三六六
米	九、二一六	一、四四四	二四	一、四四四
佛	二、三三〇	一、四四四	二四	一、四四四
獨	一、八二二	二、五〇〇	一六	二、五〇〇
伊	四六	POK	一	POK
日	一	一	一	一

各國定期航空輸送統計 (一九三六年)

國名	飛行回数	飛行總距離	輸送旅客數	輸送貨物量	輸送郵便物量
イギリス	一	三、三三三、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	一、八八八、〇〇〇	二、四四四、〇〇〇
フランス	一	二、二二二、〇〇〇	五五、五五五	一、〇〇〇、〇〇〇	一、三三三、三三三
アメリカ	一	一、一〇〇、〇〇〇	二二、二二二	四、八八八、八八八	二、二二二、二二二
ドイツ	一	一、一〇〇、〇〇〇	二二、二二二	三、三三三、三三三	一、一〇〇、〇〇〇
ソ連	一	一、一〇〇、〇〇〇	二二、二二二	一、〇〇〇、〇〇〇	二、二二二、二二二
オランダ	一	一、一〇〇、〇〇〇	二二、二二二	一、〇〇〇、〇〇〇	二、二二二、二二二
ベルギー	一	一、一〇〇、〇〇〇	二二、二二二	一、〇〇〇、〇〇〇	二、二二二、二二二
日本	一	一、一〇〇、〇〇〇	二二、二二二	一、〇〇〇、〇〇〇	二、二二二、二二二

各國定期航空路線總延長

國名	總延長 (哩)
滿洲國	二、四〇〇
中華民國	一、九〇〇
フィンランド	一、八〇〇
ハンガリー	一、七〇〇
チェコスロヴァキヤ	一、六〇〇
ポーランド	一、五〇〇

各國航空記錄所持數

國名	飛行機	操縦士	飛行場	合計
イタリヤ	一〇〇	一〇〇	一〇〇	三〇〇
アメリカ	二〇〇	二〇〇	二〇〇	六〇〇
フランス	一〇〇	一〇〇	一〇〇	三〇〇
ソ連	一〇〇	一〇〇	一〇〇	三〇〇
オランダ	一〇〇	一〇〇	一〇〇	三〇〇
ベルギー	一〇〇	一〇〇	一〇〇	三〇〇
ドイツ	一〇〇	一〇〇	一〇〇	三〇〇
ポーランド	一〇〇	一〇〇	一〇〇	三〇〇
イギリス	一〇〇	一〇〇	一〇〇	三〇〇
米	一〇〇	一〇〇	一〇〇	三〇〇
佛	一〇〇	一〇〇	一〇〇	三〇〇
獨	一〇〇	一〇〇	一〇〇	三〇〇
伊	一〇〇	一〇〇	一〇〇	三〇〇
日	一〇〇	一〇〇	一〇〇	三〇〇

安産のために

プロタカルシウム錠

なぜ母体は疲弊するか?

胎児の刷しいカルシウム要求と食物よりのカルシウム攝取不足は必然的に母體を疲弊に陥らしめ、妊娠中多發する母子體の諸種の疾病は實にかゝる所に重大原因をもつてゐる事は醫學界に認むる所である。

大阪帝大教授片瀬漢博士は多年之が研究に没頭され、母體のカルシウム攝取によつて妊娠分娩が安全に經過し、且授乳期に偶發する母子體の疾病を豫防し乳質を可良ならしむる事を實驗されたがワダカルシウムこそは諸妊婦に必要不可欠の常備薬でなければならぬ。

妊娠の方へ急告

正しい分娩日が一と目で判る安産メーター及び大阪帝國大學教授醫學博士片瀬漢氏述安産のための冊子ハガキにて申越次第無代進呈

元賣發 店商助卵田和 町修道阪大



書籍名記入御申込の方に  
文獻贈呈

お奨めする方

一般虚弱者、産前産後に  
腺病質 肺結核 肋膜  
腹膜炎 せむし 夜盲症  
榮養不良による眼疾  
感冒にかゝり易き人

一番よい

經濟的國民榮養素

# 眼鏡肝油

本舖 伊藤千太郎商會  
大坂道修町

## 保健衛生

### 事變下の保健衛生

現在我が國の長期暫體制下にあつて最も重要な眼目は生産の擴充と人的資源の涵養である。しかして人的資源の涵養は一に國民の心身を強化ならしめるにあり、その根本は健康の増進、心身の鍛錬、疾病の預防にある。さなきだに近年低下の傾向にある我が國民體位の向上を計ることは現下の我國として最も重要な問題といはねばならぬ。新たに厚生省が設けられたのもこのためであり、十二年夏内務省指導の下に行はれた心身鍛錬運動、十三年五月厚生省指導の下に行はれた國民精神總動員健康週間をはじめ各種の健康運動はみなこの大目的を目ざして行はれたものにほかならぬ。

しかして國民體位向上の對策は誠に多岐にわたり枚擧げに違ないが、最近の健康週間に於いて厚生省が首唱してその實踐を國民一般に求めた左の十項目はよくその一斑を示すものと思はれるから左にこれを記述して目下我國における保健衛生運動を概観するとする。一、保健衛生思想の涵養 我國民一般の保



健衛生に關する知識は極めて乏しく保健衛生などには殆ど無關心の人が多い。また國家の衛生行政も從來は取締衛生に偏する傾きがあり、保健衛生に關する國民教育の方面は殆ど等閑視されて來たが、今後はこの缺陷を補ふために國の衛生行政は取締行政と同時に指導衛生にも力を入れることになつた。

二、心身の鍛錬 旺盛な精神力と強靱な身體は國家活力の根本である。心身を鍛錬しかなる困苦缺乏にも堪へ國家の要求に副ひ得る體力を育成することは刻下の急務である。これがためには體力運動を單なる個人的享樂的のものとして國民全般に普及し且つこれを生活化することが肝要である。個人的に或は團體的に登山、遠足、徒歩通學、運動、戶外運動、體操などを勵行し、或は體育會、武道會などを開催するもよく、特に集團的勤勞運動により汗を流して心身の鍛錬をはかり産業の開發、社會公共への奉仕を行ふことは望ましいことである。

三、環境衛生の改善 我國の保健状態を積極的に向上させるためには衣服、住宅その他環境の衛生的改善とその清潔整頓が必要で、衣

服、腰具の清掃、日光消毒の勵行、台所、寢室などの改善は速かに實行されるべきで、更に部落協議會などによつて共同的に衛生改善を實行することも必要である。

四、榮養改善 榮養は吾人の生活上重要なもので、殊に結核預防、乳幼児保健のためには榮養改善が最も大切である。廉價榮養品の供給、榮養品の自給などは農山村の最も適切な榮養改善策である。一般に白米食を廢止し胚芽米、七分搗米食とすること、正しき食べ方の奨励、共同炊事による榮養の改善、榮養料理職立表の作成配布、榮養料理試食會の開催など實行されねばならぬ。

五、結核の預防 我が國における結核の蔓延は他の文明國にその比を見ないほどで、結核は死亡原因中の首位を占め年々十三、四萬の人がこの悲惨な病の犠牲となつてゐる。これが國民保健に及ぼす影響は實に甚大で、殊に結核蔓延の豫想される事變下にあつては結核預防が最も重要な課題である。これが預防の眼目は感染の防止、發病の預防ならびに正しい療養の徹底にあり、これが指導施設として健康相談所、保健所などが設立され、療養施設として官公立結核療養所が増設され、更に事變下の對策として傷痍軍人療養所を至急増設することとなつた。しかして結核預防に關する知識の普及、特に兒童の結核問題に

關聯して學校教職員に結核預防知識の普及、更に患者の隔離、患者周囲の物の消毒、貧家消毒の勵行、喀痰排棄習慣の矯正などの徹底を期し榮養、休養に注意し外氣生活を奨勵することなど何れも必要である。

六、花柳病豫防 花柳病は本人の生活能力の減殺、子孫に對する影響などからしても甚だ恐るべき惡疾で、殊に戰爭と隣る密接な關係があり、これが豫防は現下の急務である。その豫防法は感染の機會を絶つことが第一であるから接客業者の保健向上と一般に對する花柳病豫防に關する知識の普及が極めて肝要で、接客業者の保健組合設置普及と衛生設備の整備をはかり、更に病毒の有無、血清試験の無料検査、相談所の臨時開設などを行つて早期發見と療養の徹底を期せねばならぬ。

七、消化器傳染病豫防 近時大陸との交通が頻繁となり痘瘡、コレラなど惡性傳染病發生の危險が増したから、これが豫防に萬全を期せねばならぬ。種痘、コレラの預防注射、糞の撲滅、寄生蟲驅除、捕鼠の勵行、保衛者の検察など警戒を嚴にしねばならぬ。

八、母性、乳兒の保健 我が國の乳兒死亡は年とともに漸減の傾向にあるが、なほ歐米諸國に類例のないほどの高位にある。母の會の開催、妊産婦、乳兒健康相談所の臨時開設、保健所、小兒保健所の活用、青兒

相談會の開催、優良乳兒の表彰などにより保育指導、榮養指導などの徹底がはからねばならぬ。

九、公衆衛生道德の向上 我が國民の公衆衛生道德心の乏しいことは歎はしい。汽車、電車、公園、廣場、劇場、映画館、浴場など公衆出入の場所では平然と痰を吐き塵紙を捨て喰べ屑を投げる人の餘りに多いのは驚くのはかはない。これらを見て不快なばかりでなく病菌を傳播する危険な行爲である。その他道路に汚水を撒き、不必要に騒音、不快音を出し、殊にラヂオの高聲音を發するなどのづれも公德心の缺けてゐるため、これらの防止も重要なことである。

一〇、保健施設利用 病氣にかゝらぬ前に保健生活に留意すること健康増進の本道である。保健指導施設は近時大いに發達しつつあるが一般のこの種施設に對する理解は甚だ幼稚で、これが利用は不十分である。指導衛生主義確立の大筋の下に保健國策として十一年度において全國に四十九ヶ所の保健所が設置され、十三年度から事業を開始し、なほ引續き年々多數の保健所が設置される計畫で、一般國民が保健所、健康相談所などの保健指導施設の意義と使命に關する理解を深めこれを利用することは保健状態の飛躍的向上のために最も肝要のことである。

各國の生産率 (人口千につき)

Table of production rates for various countries from 1900 to 1935. Columns include Year, Japan, UK, France, Italy, Germany, USA, and others. Values range from approximately 100 to 400.

各國の死亡率 (人口千につき)

Table of mortality rates for various countries from 1900 to 1935. Columns include Year, Japan, UK, France, Italy, Germany, USA, and others. Values range from approximately 10 to 40.

各國民の平均壽命比較 (生命表)

Table showing average life expectancy by age group (0-100 years) for various countries including Japan, UK, France, Germany, Italy, etc.

備考—平均壽命とは各歳の年齢者が今後生存し得べき年数の平均をいふ。表中本邦は大正十五年、昭和五年、イギリスは一九二〇—一九二二年、フランスは一九二〇—一九二二年、ドイツは一九三三年、イタリは一九三〇—一九三二年、オランダは一九二一—一九三〇、スウェーデンは一九二六—一九三〇年、ノルウェーは一九二一—一九二二年、デンマークは一九二六—一九三〇年の事實に依りて算出したるものである。

死亡原因別 (昭和十年)

Table of causes of death for 1935, listing categories like pneumonia, tuberculosis, and other diseases with corresponding death counts.

各國の死亡原因別比較 (人口一萬につき)

Table comparing causes of death across different countries (Japan, UK, France, Germany, Italy, Belgium, etc.) per 10,000 population.

その他の傳染病	11,500	1.4	10.0
悪性腫瘍	9,111	1.1	4.3
良性腫瘍及腫瘍の別	2,286	0.3	0.9
不明の腫瘍	2,286	0.3	0.9
急性關節レウマチス	373	0.0	0.1
慢性レウマチス及痛風	1,108	0.0	0.4
糖尿	2,577	0.0	1.0
ビタミン缺乏症	10,433	1.3	4.0
(再掲)脚氣	10,031	1.3	3.8
甲状腺及副甲状腺の疾患	101	0.0	0.0
その他の全身病	1,811	0.0	0.7
貧血	828	0.0	0.3
白血病、その他の血液及造血器の疾患	11,133	0.0	4.1
アルコール中毒	309	0.0	0.1
その他の慢性中毒	1,029	0.0	0.4
脳膜炎(結核性を除く)	3,613	0.0	1.3
脊髄(進行性運動失調)	910	0.0	0.3
脳出血、脳栓塞及脳血拴	1,414	0.0	0.5
麻痺性癱瘓	2,266	0.0	0.8

心臓の疾患	5,566	0.7	2.1
その他の血行器の疾患	6,933	0.9	2.5
氣管支炎	3,550	0.4	1.2
肺炎	15,177	1.9	5.4
その他の呼吸器の疾患(結核性を除く)	4,046	0.5	1.2
下痢及腸炎	2,199	0.3	0.7
腸標突起炎	1,181	0.1	0.3
肝臓及胆道の疾患	1,181	0.1	0.3
その他の消化器の疾患	7,998	1.0	2.4
腎臓炎	1,181	0.1	0.3
その他の腎臓、腎盂及尿管の疾患(妊娠によるものを除く)	3,089	0.4	0.9
排尿道の結石	1,181	0.1	0.3
膀胱の疾患(腫瘍を除く)	1,181	0.1	0.3
尿道の疾患	1,181	0.1	0.3
攝護腺の疾患	1,181	0.1	0.3
生殖器の疾患(花柳病性を除く)	1,181	0.1	0.3
妊娠中の不慮の傷害	1,181	0.1	0.3
産による出血	1,181	0.1	0.3

早發性癱瘓、その他の精神病	2,266	0.3	0.8
眼、耳及その附屬器の疾患	5,566	0.7	2.1
心臓炎	5,566	0.7	2.1
急性心臓内膜炎	6,933	0.9	2.5
慢性内膜炎及心臓膜の障害	3,373	0.4	1.1
心筋の疾患(心臓の動脈瘤を含む)	2,266	0.3	0.8
冠状動脈の疾患及狭心症	8,811	1.1	2.8
その他の心臓の疾患	8,811	1.1	2.8
動脈瘤(心臓の動脈を除く)	8,811	1.1	2.8
動脈硬化(冠動脈を除く)	8,811	1.1	2.8
その他の血行器の疾患	8,811	1.1	2.8
氣管支炎	3,550	0.4	1.2
(再掲)急性肺炎	15,177	1.9	5.4
肺の疾患	15,177	1.9	5.4
肋膜炎	10,031	1.3	3.8
その他の呼吸器の疾患(結核性を除く)	1,811	0.0	0.7

胃及十二指腸の潰瘍	11,500	1.4	4.1
下痢及腸炎(二歳未満)	2,199	0.3	0.7
腸標突起炎	1,181	0.1	0.3
脱腸及腸管閉塞	5,566	0.7	2.1
肝硬變	4,046	0.5	1.2
その他の肝臓及膽道の疾患(膽石を含む)	8,811	1.1	2.8
その他の消化器の疾患	8,811	1.1	2.8
腎臓炎	1,181	0.1	0.3
その他の腎臓、腎盂及尿管の疾患(妊娠によるものを除く)	3,089	0.4	0.9
排尿道の結石	1,181	0.1	0.3
膀胱の疾患(腫瘍を除く)	1,181	0.1	0.3
尿道の疾患	1,181	0.1	0.3
攝護腺の疾患	1,181	0.1	0.3
生殖器の疾患(花柳病性を除く)	1,181	0.1	0.3
妊娠中の不慮の傷害	1,181	0.1	0.3
産による出血	1,181	0.1	0.3

産褥熱	1,181	0.1	0.3
妊娠中毒(蛋白尿子癩等)	1,181	0.1	0.3
その他の産による疾患	1,181	0.1	0.3
分娩による産兒の瘧疾(三ヶ月未満)	1,181	0.1	0.3
その他の幼若乳兒固有の疾患(二ヶ月未満)	1,181	0.1	0.3
早産(一歳未満)	1,181	0.1	0.3
先天性弱質(一歳未満)	1,181	0.1	0.3
先天性畸形(性を除く)	1,181	0.1	0.3
疾患(結核性及レウマチスを除く)	1,181	0.1	0.3
不明の診断及不明の原因	1,181	0.1	0.3

結核死亡累年比較 (比率は人口一萬に對する割合)

Table showing tuberculosis death rates from 1900 to 1926. Columns include year, total deaths, and rates for different regions (All, Inside, Outside).

年齢別肺結核死亡累年比較

Table showing age-specific tuberculosis death rates from 1900 to 1926, categorized by age groups and gender.

各國の結核死亡率 (人口一萬につき)

Table comparing tuberculosis death rates across various countries (Japan, UK, France, etc.) from 1900 to 1926.

Textual notes and footnotes regarding the tuberculosis statistics, including a note about the data source for the 1900-1908 period.

農村住民の寄生蟲

Table listing parasites found in rural residents, including species names and the number of individuals examined.

Table showing the prevalence of various parasites (Ascaris, hookworms, etc.) in rural residents from 1900 to 1926, including a note about the survey methodology.

年齡別死亡率 (各年齡層級人口につき)

Table showing age-specific death rates for males and females in 1925. Columns include age groups (0-4 years, 1 year, 2 years, etc.), male rates, female rates, and total rates.

原因別乳兒死亡 (昭和十年)

Table showing causes of infant death in 1925. Categories include congenital defects, pneumonia, diarrhea, etc., with counts for total deaths and deaths per 1,000 live births.

各國の乳兒死亡率 (出生百につき一歳未満者の死亡)

Table comparing infant mortality rates across various countries (Japan, UK, France, Italy, etc.) from 1910 to 1925. Includes columns for country, year, and mortality rate.

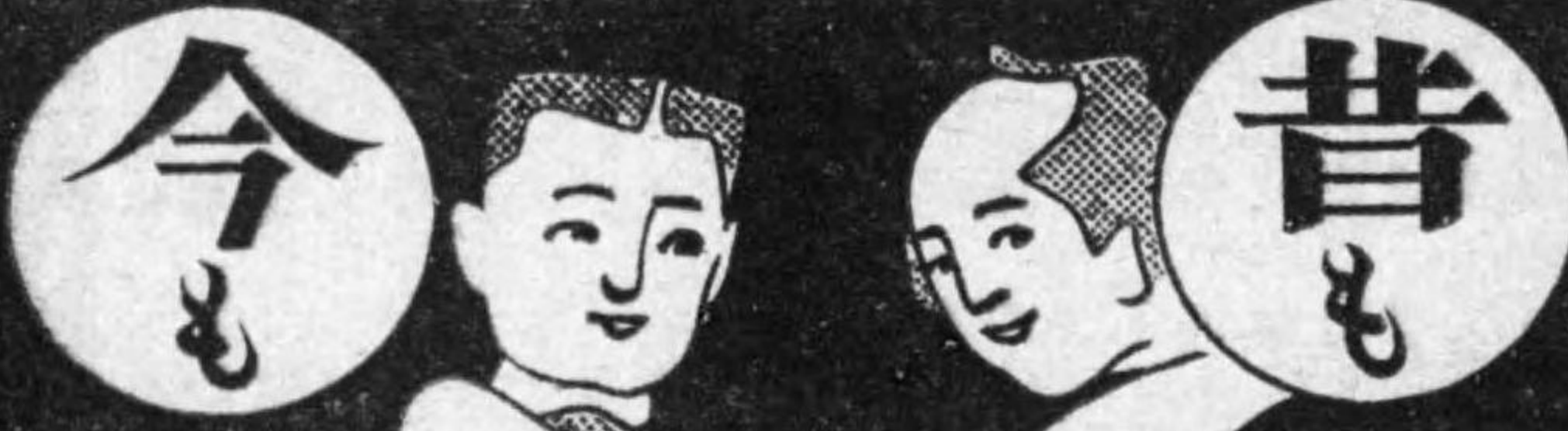
學生、生徒及兒童近視累年比較 (百分比)(文部省調査)

Table showing the percentage of nearsightedness among students and children from 1923 to 1929. Lists categories like elementary school, high school, etc.

醫師、藥劑師 産婆累年比較

Table showing the cumulative number of doctors, pharmacists, and midwives from 1923 to 1929. Includes sub-headers for each profession.





本家七ふくや伊藤長兵衛

七ふく  
「ニセモノ」あり御注意  
ひよりの

効能で賣れる

効逆上を引下げ便通をよくし  
能ばい毒りん病諸毒を下す

薬價  
半週分廿五錢 三週分一圓卅錢  
一週分五十錢 五週分一圓  
▲送料十錢 海外四十二錢

大阪高津表門筋

九二七南電・三七九阪替振

醫師、藥劑師、産婆數(昭和十年末)		人口一萬當り	
總數(内地)	七、五八六	七、五八六	七、五八六
北海道	一、九四七	一、九四七	一、九四七
青森	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
岩手	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
宮城	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
秋田	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
山形	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
福島	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
茨城	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
栃木	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
群馬	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
千代田	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
東京	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
神奈川	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
新潟	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
富山	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
石川	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
福井	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
長野	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
岐阜	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
静岡	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
愛知	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
三重	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
滋賀	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
京都	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
大阪府	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
堺市	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
和歌山	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
奈良	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
兵庫	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
京都府	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
大阪府	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
徳島	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
香川	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
愛媛	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
高知	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
福岡	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
佐賀	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
長門	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
熊本	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
大分	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
宮崎	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
鹿児島	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
沖縄	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
朝鮮	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
南洋	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇

司法警察

民事事件一覽表(昭和十三年四月中)

Table of civil cases with columns for court type (e.g., 第一審, 控訴), case category (e.g., 假押, 假處分), and counts.

△地方裁判所

Table of civil cases for local courts, including categories like 第一審, 控訴, and 抗告.

民事事件累年比較(昭和十二年裁判所及檢事局取扱事件表による)

Table comparing civil cases from 昭和七年 to 昭和十二年, categorized by court type (e.g., 區裁判所, 地方裁判所).

刑事事件累年比較(昭和十二年裁判所及檢事局取扱事件表による)

Table comparing criminal cases from 昭和七年 to 昭和十二年, categorized by court type (e.g., 區裁判所, 地方裁判所).

有罪犯人の全貌

Table showing the total profile of convicted offenders, including counts for males and females across different court levels.

第一審刑法犯有罪被告年齢別

Table showing age distribution of first trial criminal defendants from 1912 to 1917. Columns include age groups (e.g., 十六歳未満, 二十歳未満) and years (昭和十一年, 昭和十年, etc.).

地方別犯罪地及人口十萬人に對する

Table showing crime rates by region (e.g., 宇都宮, 水戸, 千葉) and population of 100,000. Includes a section for '地方裁判所管轄別' (by local court jurisdiction).

罪名別犯罪年齢別百分比例 (昭和十一年)

Table showing percentage ratios of crime types by age group (e.g., 未成年者, 壯年者, 老年者) for various offenses like 竊盜, 強盜, 殺人, etc.

Table listing specific crime types (e.g., 犯人隠匿及證據隠滅, 竊盜, 強盜) and their corresponding counts or ratios across different categories.

Table with multiple columns listing crimes such as 有價証券偽造, 印章偽造, 誣告, 偽造, 強盗, 窃盗, 詐欺, 横領, etc., with corresponding counts.

Table with columns for crime categories like 略取及誘拐の罪, 名譽に對する罪, 信用及業務に對する罪, 竊盗, 強盗, 詐欺, 恐喝, etc., and reasons for crime such as 有罪人員, 懲罰, 憐愍, etc.

備考 年齢不詳は各年これを除く、未成年者(廿年未満)未成年者(二十年以上四十年未満) 老年者(四十年以上六十年未満)老年者(六十一年以上)

一審有罪被告罪名累年比較(第六十二刑務統計年報)

Table showing annual comparison of first trial guilty defendant names from 1911 to 1917. Categories include crimes like 'Public Service Obstruction', 'Fugitive', 'Armed Robbery', etc., with corresponding counts for each year.

昭和二年 (各府縣別)

警察官署及職員數累年、地方別比較(各年末)

Vertical text labels for the second table: 警察官署 (Police Office), 水上警察署 (Water Police Office), 派出所駐在 (Substation Stationing), 總數 (Total), 警視 (Keishi), 警部 (Keibu), 警部補 (Keibucho), 巡查部長 (Chosabanchou), 巡查 (Chosabun), 巡查一人 (One Chosabun), 付人口 (Population).

Table showing annual comparison of police officers and staff by region from 1911 to 1917. Regions listed include Hokkaido, Tohoku, Kanto, etc. Columns show counts for various ranks and total population.





警察・法司

興行場累年比較 (各年末現在、内務省調)

類別	昭和十一年	十年	九年	八年	七年
劇場 (常設)	1,143	1,188	1,187	1,188	1,188
劇場 (臨時)	1,143	1,188	1,187	1,188	1,188
活動寫眞 (常設)	1,143	1,188	1,187	1,188	1,188
活動寫眞 (臨時)	1,143	1,188	1,187	1,188	1,188

消防組數及消防職員 (各年末現在、内務省調)

組數	昭和十一年	十年	九年	八年	七年
消防組數	11,377	11,377	11,377	11,377	11,377
消防職員	10,245	10,245	10,245	10,245	10,245

料理屋、藝妓、女給等累年比較 (各年末現在、内務省調)

類別	昭和十一年	十年	九年	八年	七年
料理屋	1,143	1,188	1,187	1,188	1,188
藝妓	1,143	1,188	1,187	1,188	1,188
女給	1,143	1,188	1,187	1,188	1,188

寄席 (常設) 臨時

類別	昭和十一年	十年	九年	八年	七年
寄席 (常設)	1,143	1,188	1,187	1,188	1,188
寄席 (臨時)	1,143	1,188	1,187	1,188	1,188

地方別は昭和十一年末現在、但し(一)は昭和九年末現在、(二)は昭和十年八月現在、(三)は警手を(四)は巡捕を(五)は巡警を(六)は支那警察係

地方別	昭和十一年末現在	昭和九年末現在	昭和十年八月現在	警手	巡捕	巡警	支那警察係
(一)朝鮮	2,111	1,200	1,200	1	1	1	1
(二)台湾	1,200	1,200	1,200	1	1	1	1
(三)南洋	1,200	1,200	1,200	1	1	1	1
(四)東京及關東	1,200	1,200	1,200	1	1	1	1
(五)神戶	1,200	1,200	1,200	1	1	1	1
(六)大阪	1,200	1,200	1,200	1	1	1	1
(七)東京府	1,200	1,200	1,200	1	1	1	1
(八)大阪府	1,200	1,200	1,200	1	1	1	1
(九)神戶市	1,200	1,200	1,200	1	1	1	1
(十)大阪市	1,200	1,200	1,200	1	1	1	1
(十一)名古屋市	1,200	1,200	1,200	1	1	1	1
(十二)京都市	1,200	1,200	1,200	1	1	1	1
(十三)神戸市	1,200	1,200	1,200	1	1	1	1
(十四)大阪市	1,200	1,200	1,200	1	1	1	1
(十五)名古屋市	1,200	1,200	1,200	1	1	1	1
(十六)京都市	1,200	1,200	1,200	1	1	1	1
(十七)神戸市	1,200	1,200	1,200	1	1	1	1
(十八)大阪市	1,200	1,200	1,200	1	1	1	1
(十九)名古屋市	1,200	1,200	1,200	1	1	1	1
(二十)京都市	1,200	1,200	1,200	1	1	1	1

二十二年 貯蔵



「國産ウキスキーがこんなに旨く飲める」……サントリーに對する一致した意見

ウキスキー



警察・法司

**興行場累年比較** (各年末現在、内務省調)

劇場(常設)	昭和十一年	二十	十九	十八	十七	十六
劇場(臨時)	昭和十一年	一、八〇〇	一、七〇〇	一、六〇〇	一、五〇〇	一、四〇〇
活動寫真館(臨時)	昭和十一年	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
合計	昭和十一年	二、八〇〇	二、七〇〇	二、六〇〇	二、五〇〇	二、四〇〇

**料理屋、藝妓、女給等累年比較** (各年末現在、内務省調)

寄席(常設)	昭和十一年	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
寄席(臨時)	昭和十一年	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
料理屋	昭和十一年	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
藝妓	昭和十一年	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
女給	昭和十一年	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
合計	昭和十一年	五、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇

**消防組數及消防職員** (各年末現在、内務省調)

消防組數	昭和十一年	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇
消防職員	昭和十一年	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
合計	昭和十一年	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇

二十二年貯蔵

「國産ウキスキーがこんなに旨く飲める」……サントリーに對する一致した意見

サントリー ウィスキー

# 世に於ける

# スベロイン



一日一服

高貴藥配合

氣管支カタル

せきの諸症

ぜんそく

百日咳

主治効能

感冒

**價 藥**

三分六拾錢、六日分  
壹圓、十五日分貳圓、  
廿五日分參圓、四十五  
日分五圓、百日分拾圓

りあに店藥國全

園藥亞東 元賣發

目丁三町野平東區寺王天市坂大

番四一五七 阪大 替振

番五一〇四寺王天話電



察警・法司

遊廓累年比較 (各年末現在、内閣調査)

管区	昭和十一年	十年	九年	八年	七年
北海道	1,257	1,257	1,257	1,257	1,257
青森	1,257	1,257	1,257	1,257	1,257
岩手	1,257	1,257	1,257	1,257	1,257
宮城	1,257	1,257	1,257	1,257	1,257
秋田	1,257	1,257	1,257	1,257	1,257
山形	1,257	1,257	1,257	1,257	1,257
福島	1,257	1,257	1,257	1,257	1,257
茨城	1,257	1,257	1,257	1,257	1,257
栃木	1,257	1,257	1,257	1,257	1,257
群馬	1,257	1,257	1,257	1,257	1,257
埼玉	1,257	1,257	1,257	1,257	1,257
千葉	1,257	1,257	1,257	1,257	1,257
東京	1,257	1,257	1,257	1,257	1,257
神奈川	1,257	1,257	1,257	1,257	1,257
新潟	1,257	1,257	1,257	1,257	1,257
富山	1,257	1,257	1,257	1,257	1,257
石川	1,257	1,257	1,257	1,257	1,257
福井	1,257	1,257	1,257	1,257	1,257

管区	昭和十一年	十年	九年	八年	七年
山梨	1,257	1,257	1,257	1,257	1,257
長野	1,257	1,257	1,257	1,257	1,257
岐阜	1,257	1,257	1,257	1,257	1,257
静岡	1,257	1,257	1,257	1,257	1,257
愛知	1,257	1,257	1,257	1,257	1,257
三重	1,257	1,257	1,257	1,257	1,257
滋賀	1,257	1,257	1,257	1,257	1,257
京都	1,257	1,257	1,257	1,257	1,257
大阪	1,257	1,257	1,257	1,257	1,257
兵庫	1,257	1,257	1,257	1,257	1,257
奈良	1,257	1,257	1,257	1,257	1,257
和歌山	1,257	1,257	1,257	1,257	1,257
鳥取	1,257	1,257	1,257	1,257	1,257
島根	1,257	1,257	1,257	1,257	1,257
岡山	1,257	1,257	1,257	1,257	1,257
広島	1,257	1,257	1,257	1,257	1,257
山口	1,257	1,257	1,257	1,257	1,257
徳島	1,257	1,257	1,257	1,257	1,257
香川	1,257	1,257	1,257	1,257	1,257
愛媛	1,257	1,257	1,257	1,257	1,257
高知	1,257	1,257	1,257	1,257	1,257
福岡	1,257	1,257	1,257	1,257	1,257
佐賀	1,257	1,257	1,257	1,257	1,257
長門	1,257	1,257	1,257	1,257	1,257
熊本	1,257	1,257	1,257	1,257	1,257
大分	1,257	1,257	1,257	1,257	1,257
宮崎	1,257	1,257	1,257	1,257	1,257
鹿児島	1,257	1,257	1,257	1,257	1,257
沖縄	1,257	1,257	1,257	1,257	1,257

は物買お  
店貨百急阪



店貨百急阪 梅田 大阪

道 府 縣

歳出及租稅負擔累年比較

参照 人口、財政、經濟、軍事、宗教、教育、司法  
警察、衛生の各欄参照。地方長官、道府  
縣會議長名は巻末「人名録」中にある。

本表は内務省地方局調査にかゝる「地方財政概要」に據り(1)國庫歳出および國稅は昭和十年度まで決算、十一年度は實行豫算、十二年度は豫算  
(2)地方稅は道府縣稅中市町村分賦額および郡縣分賦額(大正十一年度迄)を控除(3)地方歳出および地方稅は昭和十年度まで決算、同十一年  
年度は豫算である。

年 度	國庫歳出		地方歳出		國 稅		地 方 稅	
	實數	指數	實數	指數	一戸當	一人當	實數	一戸當
明治三十四年	2,668,770	100	1,381,811	100	8.23	1.51	30,000	3,600
三十四年	5,637,770	211	1,910,111	138	16.88	2.95	9,388	1,127
大正一〇年	1,498,811	178	1,023,011	74	12.51	2.38	15,666	1,880
昭和元年	1,788,811	186	1,160,011	84	14.21	2.68	18,333	2,200
二年	1,752,733	181	1,000,011	72	13.98	2.61	18,333	2,200
三年	1,814,811	184	1,133,333	82	14.58	2.74	18,333	2,200
四年	1,788,811	182	1,133,333	82	14.58	2.74	18,333	2,200
五年	1,788,811	182	1,133,333	82	14.58	2.74	18,333	2,200
六年	1,788,811	182	1,133,333	82	14.58	2.74	18,333	2,200
七年	1,788,811	182	1,133,333	82	14.58	2.74	18,333	2,200
八年	1,788,811	182	1,133,333	82	14.58	2.74	18,333	2,200
九年	1,788,811	182	1,133,333	82	14.58	2.74	18,333	2,200
一〇年	1,788,811	182	1,133,333	82	14.58	2.74	18,333	2,200
一一年	1,788,811	182	1,133,333	82	14.58	2.74	18,333	2,200
一二年	1,788,811	182	1,133,333	82	14.58	2.74	18,333	2,200



(註)

道府縣別面積、推計人口及人口動態

面積は參謀本部陸地測量部五萬分の一地形圖上における昭和十年三月末現在の調査で、琵琶湖(滋賀)七六方軒三一、八郎(秋田)二三・二九、震ヶ浦(茨城)一八九・一七、サロマ湖(北海道)一五〇・五三など大小の湖沼、瀧などを包含し、滿干兩潮界間の二分の一も陸地面積として計上されてゐる。推計人口は國勢調査の結果による現在人口に基づき内閣統計局において推計したものである。人口動態は當年届出られたる計數を掲ぐ。

推計人口(昭和十二年十月一日)

人口動態(昭和十一年)

道府縣	面積(方軒)	人口總數	人口動態		人口動態		人口動態		人口動態	
			男	女	婚姻	離婚	出生	死産	死亡	死亡の増し
總數(内地)	三三、四四〇・四三	七二、三三三、〇〇〇	三六、七九一、〇〇〇	三五、五四二、〇〇〇	三、〇四九、〇〇〇	一、〇一〇、〇〇〇	一、〇一〇、〇〇〇	一、〇一〇、〇〇〇	一、〇一〇、〇〇〇	一、〇一〇、〇〇〇
北海道	八、七五〇・四〇	一、〇〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
青森	九、七五〇・九〇	一、〇〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
岩手	一、三三三・三三	一、〇〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
宮城	一、二六六・六六	一、〇〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
秋田	一、二六六・六六	一、〇〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
山形	九、七五〇・九〇	一、〇〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
福島	一、二六六・六六	一、〇〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
茨城	一、二六六・六六	一、〇〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
栃木	一、二六六・六六	一、〇〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
群馬	一、二六六・六六	一、〇〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
千葉	一、二六六・六六	一、〇〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
東京	一、二六六・六六	一、〇〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
神奈川	一、二六六・六六	一、〇〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
新潟	一、二六六・六六	一、〇〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
富山	一、二六六・六六	一、〇〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
石川	一、二六六・六六	一、〇〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇

道府縣	面積(方軒)	人口總數	男	女	婚姻	離婚	出生	死産	死亡	死亡の増し
山梨	一、二六六・六六	一、〇〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
長野	一、二六六・六六	一、〇〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
岐阜	一、二六六・六六	一、〇〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
靜岡	一、二六六・六六	一、〇〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
愛知	一、二六六・六六	一、〇〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
三重	一、二六六・六六	一、〇〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
滋賀	一、二六六・六六	一、〇〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
京都	一、二六六・六六	一、〇〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
大阪	一、二六六・六六	一、〇〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
奈良	一、二六六・六六	一、〇〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
和歌山	一、二六六・六六	一、〇〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
鳥取	一、二六六・六六	一、〇〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
島根	一、二六六・六六	一、〇〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
岡山	一、二六六・六六	一、〇〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
広島	一、二六六・六六	一、〇〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
山口	一、二六六・六六	一、〇〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
徳島	一、二六六・六六	一、〇〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
香川	一、二六六・六六	一、〇〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
愛媛	一、二六六・六六	一、〇〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
高知	一、二六六・六六	一、〇〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
福岡	一、二六六・六六	一、〇〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
佐賀	一、二六六・六六	一、〇〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
長門	一、二六六・六六	一、〇〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
熊本	一、二六六・六六	一、〇〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
大分	一、二六六・六六	一、〇〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
宮崎	一、二六六・六六	一、〇〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
鹿児島	一、二六六・六六	一、〇〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
沖縄	一、二六六・六六	一、〇〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇



沖鹿宮大熊長佐福高愛香德山廣岡島鳥和奈兵大京滋三雙靜  
兒 歌  
關島崎分本崎質岡知媛川島口島山根取山良庫飯都寶重知簡

Table with 10 columns of numerical data for various locations in the left page, including values like 1,000, 2,000, etc.

岐長山福石富新神東千崎群栃茨福山秋宮岩青北  
早野梨井川山須川京葉玉馬木城島形田城手森道  
奈

Table with 10 columns of numerical data for various locations in the right page, including values like 1,000, 2,000, etc.

農家戸數、米作、養蠶戸數、繭絲産額一覽

農家戸數(昭和十年末) 米作(昭和十一年) 繭絲産額(昭和十一年)

神鹿宮大熊長佐福高愛香德山廣岡島島和奈兵大京畿三愛靜  
兒 歌

龜島崎分本崎買岡知媛川島口島山根取山良庫阪都買重知國

Table with 10 columns and 10 rows of data for various prefectures in the Kanto region, including values for agricultural products, forest products, and population.

岐長山福石高新東千崎群栃茨福山秋鳥岩青北全  
奈 海(内地)

草野梨井川山獨川京葉玉馬木城島形田城手森道

Table with 10 columns and 10 rows of data for various prefectures in the Tohoku and Kanto regions, including values for agricultural products, forest products, and population.

道府縣別生産額及順位一覽 (昭和十年—價額單位千圓)

農産物 價額 順位 畜産物 價額 順位 林産物 價額 順位 礦産物 價額 順位 水産物 價額 順位 工業物 價額 順位 合計 價額 順位 人口一人 當生産力 價額 順位



國富推計額道府縣別(昭和五年末、單位千圓)

Table showing national wealth estimates by prefecture for the end of Showa 5 (1930). Columns include Prefecture (e.g., 北海道, 青森, 岩手), Total (總額), Government (官有), Public (公有), and Private (私有).

Table showing national wealth estimates by prefecture for the end of Showa 12 (1937). Columns include Prefecture (e.g., 北海道, 青森, 岩手), Total (總額), Government (官有), Public (公有), and Private (私有).

道府縣別市町村數及  
府縣會議員定數

(昭和十三年八月一日現在)

Table listing the number of cities, towns, and villages, and the number of members of prefectural and county assemblies for various prefectures (e.g., 東京, 神奈川, 埼玉).

衆議院議員定員一覽

(大正十四年五月五日公布)

Table listing the number of members of the House of Representatives for various prefectures (e.g., 東京, 神奈川, 埼玉).

# 用藥 クラブズ 歯磨



體位低下の最大原因はムシ歯や歯槽膿漏の増加です。優れた科學的齒磨で早速健康生活の設計を始めませう



殺菌清掃力が強い……  
唯一の科學的な藥用齒磨  
藥用クラブ齒磨には專賣特許の殺菌劑クロール・カルヴアクトールとヨードテモールが配合されて、ムシ歯や口臭の因となる口中のバイキンを死滅して根本的に齒を強く美しくいたします。

## 地方年観

昭和十二年七月から十三年七月にわたる一年間の重要な出来事をはじめ地方の動き、人事の移り變りを知り得る一冊三府四十三縣の鳥瞰記録で、大阪朝日東京朝日兩社通信部の調査記述にかゝる。

### 關東地方

**京 東**  
【人口】帝都大東京を管内に包含する本府の人口は昭和十二年十月一日現在推計人口六百七十七萬八千九百九十九人で、その密度もまた全國平均の十倍以上に達し、その比を見ない、毎年平均約十九萬人以上の激増を示してゐる、そのうち東京市は六百二十七萬四千九百九十九人に相當し、八王子市六萬三千九百九十九人、島嶼は四萬一千人といふ分布状態であり武蔵野、立川兩町は二萬人以上、府中三鷹、小宮、青梅、東村山各町村は一萬人以上に及んでゐる【財政】十三年度一般會計豫算額は七百三十四萬五千九百九十九圓（十萬圓）前年度に比較して百八十餘萬圓を増加し、そのうち二千六百三十八萬圓即ち三割

六分は警察費（警視廳の分）が占め、その他は都市計畫事業一割、教育費一割二分、府債費土木費、衛生費等その主なるものである、税収入は財界の好況により逐年増収を示してゐる【産業】十一年中總生産額は二十億八千餘萬圓で工業物が大部分を占め、十九億九千七百五十四萬圓即ち九割六分に當り、その大半は商工都市大東京市の生産するところである、その他農産物三千五百九十九萬圓、畜産物二千三百八十八萬圓、水産物千九百九十七萬圓、林産物三百六十九萬圓を合算しても總額の四分に過ぎない、工場數（但し職工十人以上）一萬四千二百四十一、これに對する職工は三十四萬六千七百八十二人で機械器具工業がその首位を占めてゐる、また會社數は一萬七千二百七十七を算ぶ【教育】十二年三月における學齡兒童總數は百四萬五千八百八十九人で前年に比し三萬九千四百八十八人増加し小學校は官公私立および分教場を合して八百四十二校、兒童總數八十四萬二千六百五十五人を算し尋常科入學者は年々十數萬以上に達し毎年學校の増改築を行つてゐるが、なほ二部教授百二十三校あり大部分東京新區内の學校である、中學校は五十九、高等女學校八十五、實業學校百

### 川奈神

三十五、大學二十二、專門學校七十四、これらに類する學校百九十三、青年學校三百三十八、その他の學校二百二十三校あり  
十二年七月十八日京濱運河起債認可  
九日集團放火事件二十八件全部の豫審終結し大量の免訴者を出す、十日新市城編入に伴ふ川崎市議補選、十三日集團放火免訴の刑事補償請求トツプ出る、十六日豪雨西湘を襲ひ被害萬六、三十日拷問警官行政處分で警察界明朗化八月十六日日本鋼管の毒ガス事件發生、死亡五名、重傷十名、二十日臨時縣會召集、三十一日小學校教員與動發表九月十六日放火團の人權蹂躪特別調査に東京控訴院檢事團來縣取調始まる、縣市大疑獄中市電氣局關係公判始まる十五日十九日關東防空演習、東京街關國者體出十月一日陸士座間新校舍へ移轉、八日横濱市議選舉違反上告棄却六市議失格、十九日練習艦隊横須賀へ歸る（六月七日出港、二十二日ソーカイの本陣へ遂に詐欺罪の爆彈、二十七日神奈川區青木橋際で出征見送者中へ京濱電車突入、二十五名即死、二十四名重傷、二十九日上海陷落祝賀十一月一日京濱運河起工式、十六日防空長期間管制訓練、二十二日縣會始まる、電力料値下と拷問事件花咲く、三十日大藏省で鶴見川改修費削減十二月十八日謎の誘拐事件、清ちゃん（？）の死體十ヶ月目に発見、南京完全陥落に

歡喜沸く、二十日陸士卒業式へ行幸遊ばさる
軍部開村の町制布かる、二十二日人民戦線
派の二十一名檢舉發表、人権蹂躪問題責任者
の大處分發表、二十五日湘南海岸公園五ヶ所
内務省より指定、三十一日中國國民黨直屬廣
濱支部正式解散△十三年一月十三日縣警察
部再建の大異動、十七日中等校の入試一科目
制に決定、二十日相模川河水統制事業案の臨
時縣會始まる、都總領事關國、二十二日南京
街華僑の新政權成立祝賀大會△二月二日人
民戦線第二次檢舉、縣市大疑獄判決に大量
無罪、七日廣濱中國總領事館閉鎖、十日高座
郡縣議補選無投票當選決定、警察部第二次異
動△三月十五日廣濱市議選選舉(民政第一黨)
二十二日川崎日本鋼管カス中毒事件、死者四
軍輕症六十三、三十一日中小學校教員大異動
△四月二十四日學校報國團生、二十五日
自治制發布五十周年の縣記念式典、二十九日
思想國防陣地會結成△五月一上旬相模原軍
都樹立計畫の叫び上る、十日高松宮妃殿下御
來縣、東京開港反對の叫び熾烈、中旬鶴見の
放火魔跳梁、十七日城ヶ島放火事件無罪組二
十五名刑事補償(一萬九千餘圓)決定、二十六
日伏見若宮妃殿下第三陸軍病院へ御成り、三
十日東京開港反對の縣會全員協議會開く、三
十一日與瀾ダム補償の神奈川、山梨兩縣折衝
大綱決定△六月一日鎌師に校長排斥の不祥
事件、九日多額補選で磯野幸氏當選、十日

縣地方物價委員會設置、十六日川崎市水道
管破裂騒ぎ、二十三日半井知事の訪問で勝瀬
郡落民納る、二十八日機事正秋山要氏行刑局
長に榮轉、二十九日臺雨のため縣下堤所に大
被害、三十日鶴見川氾濫で交通杜絶
十二年七月十三日百萬人事件の「百
萬人返還請求訴訟」の第一回準備手
續は非公開のまま開かれた、十五日
高麗川氾濫、入間郡野村東條セメ
ント會社採掘所崩潰、武蔵野鐵道貨物四十四
輛墜没、廿日百萬人事件第一回公判浦和地裁
に開廷、廿一日東朝社主催縣下中等學校野球
大會大宮球場に開始、二十四日浦商チーム優
勝△八月十八日臨時地方財政補助金の臨時
縣會開かる△九月十五日縣下一齊に最初の
防空演習を開始、十六日國民精神總動員委員
會を結成、十三日より國民精神總動員強調週
間開始、十九日警務課に防空係を新設△十一
月一日百萬人事件の第六回公判開廷、浦和
檢事局の八木檢事痛烈な論告ののち、福田清
次、有浦七藏兩名に對し懲役十年を求刑した
十一日比企郡縣議補選の結果吾間藤平(民政新)
鈴木庸三(中前)兩氏當選、また南埼玉郡は平
澤常三郎氏(政新)當選、北足立郡は無投票橋
本喜平(政元)平野嘉吉(民政新)兩氏當選、十六
十七兩日朝香宮殿下台覽の下に縣中等學校育
年團の聯合演習を岩槻町を中心に舉行、十五
日通常縣會開會、二十五日縣議石橋要(政)出

玉 埼

千城村傷痍軍人養護所地均し工事に若人一萬
五千人の勤勞奉仕、臺雨に鐵路、田畑大被害
十二年八月一東朝夕刊千葉茨城版創
設、葉煙草豐作で賠償金四六〇萬圓
縣會議長石川市郎氏その他東京控訴
院で禁錮刑金判決、陸稻その他早
害四百五十萬圓減收、中小教員大異動△九月
一臨時縣會たつた一日で追加豫算編成、麥
作實收一五七萬石、新警察部長宮田寅内氏
△十月一日現在縣人口一、五八三、〇四二
人と發表△十一月一縣會議長宮原庄助氏、
樽山與三郎巡査で三人目の功勞章を受く△
十二月一府田派連反連坐古川文三縣議失格、
山本派連反連坐で熊木榮太郎、新井忠兩縣議
失格、豊田派連反連坐で高谷芳夫、海老澤直
石川市郎、横島西之助各縣議失格△十三年一
月一新事決問茂氏、新機事正西堀元道氏、
日本商事に絡る株券詐欺縣下被害十九萬圓△
二月一費用超過で赤城宗徳代議士失格、山本
象吉氏線上當選、水戸カフエ女給糧風會生る、
滿蒙開拓青少年義勇軍訓練所成る、收容人員
一萬人、縣議七名補選、二郡無投票五郡棄權
五割三分△三月一縣價九十萬圓縣内金融機關
が引受、警察署長勇退五名、異動廿一名、中
小教員異動千八百八十名△四月一滿蒙開拓青少
年義勇軍第一次七千名内原縣より出發、縣立
中等學校生縣外修學旅行禁止△五月一縣民貯
蓄獎勵目標八千萬圓と決る、皇后陛下より御

十二年七月一石原知事、川久保總務
部長退職、多久知事着任、經濟部長
も更迭、東葛、安房兩郡縣議補選、
市町村長會議、縣下中等野球に千葉
商優勝△八月一中等野球南關東大會、縣出動
將士後援會生る、縣時局事務協議會結成、臨時
縣會で議長に島田彌久氏當選△九月一防空演
習、國民精神總動員縣實行委員會成る△十
月一東朝社軍用機獻納に縣警系聯から一千
圓△十一月一通常縣會開き總豫算九百九
十六萬八千餘圓で前年度より約七十萬圓を減
ず△十二月一上野村役場の兇刃、南京陥
落祝勝の賑ひ、公定米價最低で三圓の値上り
△十三年一月一縣で工場誘致の對策成る、長
期對處の市町村長會議△二月一市原郡千種
村の財政案亂摘發、元巡査警備の一家四人心
中、紀元節の表彰、縣下中等學校生徒の時局
示威大會△三月一千葉刑務所で脱獄凶あり、
中學校にグライダー部創設、清海塾に閉鎖命
令△四月一松戸町八柱村を合併、幕張町パタ
ヤ殺し、土屋代議士「清海塾塾」でネバる、
自治制發布五十周年旗幟、皇后陛下御名代
北白川宮妃殿下縣下五陸軍病院および縣
廳に御成△五月一千葉工業校修く、航研機の
長距離記録飛行、警察部異動、市町村長プロ
ツク會議△六月一縣價協定委員會初の標準掛
目決定、市川幸殺しの犯人山口喜男男機學、
一宮校久我郁子嬢健康兒准日本一に選ばれる、

千 葉

茨 城
千城村傷痍軍人養護所地均し工事に若人一萬
五千人の勤勞奉仕、臺雨に鐵路、田畑大被害
十二年八月一東朝夕刊千葉茨城版創
設、葉煙草豐作で賠償金四六〇萬圓
縣會議長石川市郎氏その他東京控訴
院で禁錮刑金判決、陸稻その他早
害四百五十萬圓減收、中小教員大異動△九月
一臨時縣會たつた一日で追加豫算編成、麥
作實收一五七萬石、新警察部長宮田寅内氏
△十月一日現在縣人口一、五八三、〇四二
人と發表△十一月一縣會議長宮原庄助氏、
樽山與三郎巡査で三人目の功勞章を受く△
十二月一府田派連反連坐古川文三縣議失格、
山本派連反連坐で熊木榮太郎、新井忠兩縣議
失格、豊田派連反連坐で高谷芳夫、海老澤直
石川市郎、横島西之助各縣議失格△十三年一
月一新事決問茂氏、新機事正西堀元道氏、
日本商事に絡る株券詐欺縣下被害十九萬圓△
二月一費用超過で赤城宗徳代議士失格、山本
象吉氏線上當選、水戸カフエ女給糧風會生る、
滿蒙開拓青少年義勇軍訓練所成る、收容人員
一萬人、縣議七名補選、二郡無投票五郡棄權
五割三分△三月一縣價九十萬圓縣内金融機關
が引受、警察署長勇退五名、異動廿一名、中
小教員異動千八百八十名△四月一滿蒙開拓青少
年義勇軍第一次七千名内原縣より出發、縣立
中等學校生縣外修學旅行禁止△五月一縣民貯
蓄獎勵目標八千萬圓と決る、皇后陛下より御

茨 城

井門中(政)兩氏縣議失格となる△十二月一五
日縣ならびに縣警廳の北支車馬の治療慰問班
緒方技師ほか八氏の出發を祝ふ、十一日南京
路落機買會を縣下一齊に舉行、十三日通常縣
會閉會、二十七日川口市醫師チフス細菌屬高
橋貞三郎(憲)に係る殺人ならびに殺人未遂事
件の豫審終結△十三年一月一十一日和田學務
部長は香川縣警察部長に榮轉、後任として秋
田縣學務部長伊藤久松氏が來縣、二十五日十
二年末浦和市高砂町四ノ一〇四人心劇座主渡
邊三雄(憲)妻つな、養女かづ子(憲)の三名を
殺殺、放火逃走中の同家の居候村瀬安(憲)を
に東京で捕はる△二月一十八日熊谷陸軍飛行
學校練習機高木、笠井、井上三天尉同乗、松
田技手、竹澤、丸山通信手搭乗のいはゆる高
木機行方不明となる△三月一十六日高木機群
馬縣と新潟縣の境片貝澤に墜見、搭乗者殉職
確定、三十一日小學校教員の大異動發表さ
る、十九校長勇退、新校長廿二名、訓導轉補
六百四十八名△四月一九月滿洲事變の護國の
英靈二十九任大宮町縣招魂社に合祀さる△十
六日川西實三知事長輪船へ榮轉△五月一五日
百萬人愛縣公債を發行、十四日御差遣の宮
秩父宮妃殿下には所澤陸軍病院及び縣廳に成
らせらる、十五日秩父町國幣小社秩父神社に
おいて當代六百の劍豪爭鬪戦が行はれた△六
月一六日縣價協定委員會開會、不調に終る、
十六日地方物價委員長任命または囑託さる。

木 柝

差遣の東久運宮妃聰子内親王殿下水戸陸軍病
院日赤支部病院に傷病兵御慰問、縣下一帶強
震被害續出△六月一春蠶意外に安値三十掛前
後、新總務部長久保田峻氏、縣物價委員會成
る、縣下未曾有の臺雨二十八日より三十日に
至り雨量四八三mmの大記録で縣内各河川湖沼
大氾濫し死傷者八十二名、倒壊流失家屋五百
戸、浸水家屋三萬七千戸、浸水面積九萬町歩
堤防決潰二百四十九ヶ所、橋梁流失二百七橋
縣内各鐵道全線及び電車バス等交通機關不通
停止、電話、郵便も一部不通となる
十二年七月一三日栃木市長神原經武
氏に決定、六日足利市長前長輪船總
務部長赤土正強氏に決る、十、十一
兩日防空演習舉行、二十八日縣中等
野球大會にて栃木商業優勝、三十日臺雨のた
め河内郡藤井村日東ダム崩潰し附近四十町歩
泥沼となる△八月一二十四日縣情報委員會生
る、二十六日臨時縣會を開き補給金配分決定
三十一日大雷雨のため四名感電死す△九月一
二日縣統後援會生る、同日足利郡養村燃茶
業中村大平妻さとはか四名を殺害、十一日臺
雨のため日光華嚴瀧下流古河發電所裏山崩潰
し主任神山隆吉ほか七名生埋めとなる△十月
一七日縣知事足立收氏着任、同日精神總動員
縣第一回實行委員會開く、廿五日縣種畜場養
鶏横班プリマスロック年三百六十一個産卵の
世界記録樹立△十一月一十五日縣會議長長菊地

何八郎氏と決定、二十七日縣電燈料値下意見書提出△十二月十五日人民觀線山田長司外十七名檢舉△十三年二月六日社大、全農日勞合同大會で國家主義轉向聲明、七日より四日間知事以下東京、神奈川方面に野州米宣傳に赴き好評を得△三月十二日から十六日まで宇都宮市に水道バルブの故障で断水、十九日傷痍軍人支部發會△四月十九日縣議政聯縣信聯委員會で合併に決定、廿九日上都賀郡船尾村中船尾金井方より發火し、九十八戸、百五十棟燒失、卅日招魂社遺囑委員會で同社移轉改築に決定△五月十日統後相談所を全村に置くことになる、十二日縣議鬼怒川河水統制意見書知事に提出、十七日御差遣宮東久瀨宮妃殿下御來縣、十八日縣議、陸軍病院に御成り遊ばさる△六月十四日芳賀郡市羽村齋藤辰一、同郡祖母ヶ井町吉水ふみはか二名殺害、二十七日縣物價委員決る、二十九日豪雨のため各河川氾濫、縣南方面特に甚大で床上浸水三千七百六十八戸、死者六名、農産物被害甚大

馬群

十二年七月四日退職金審査會委員決定、七日知事更迭、十三日土屋知事着任、十六日縣下に豪雨襲來、被害二百萬圓、死者二名、畑前代議士禁錮六月に處せらる、十八日木暮代議士政友會支部長當選、三十日縣下中等野球大會に前中優勝△八月十四日北關東中等野球大會に高商優勝、十四日男女青年團愛國大會、十日前

橋市、多野郡縣議補選、二十三日各神社で武運長久祈願祭、二十八日臨時縣會招集さる、知事統後援護の告諭を發す△九月十三日長野原署事件不起訴と決定、四日縣下産組緊急大會で勤勞奉仕班の結成決議、十七日生方前代議士禁錮決定、十八日杉山陸相太田視察、二十八日國民精神總動員縣地方實行委員會成る△十月三日吉妻郡澤田村女子義勇隊生る、六日防空係生れ初代係長に長岡警部、二十五日給仕婦、藝妓營業、興行の縣稅廢止決る△十一月十七日縣體協主催東朝社後援第一回縣體操大會、十一日上信國境小串嶺山崩れで死者二百四十五名、負傷者五十餘名、十五日通常縣會開く、十六日防空訓練始まる、十八日時高課長更迭、十九日前橋市大火△十二月十日南京陥落、十八日前橋江原市長再選、二十二日皇后陛下より戰死者遺族に御下賜品あり、廿四日日赤病院患者に金品を賜はる△十三年一月十七日土木課長更迭、八日民政黨支部長飯塚代議士死亡、原市町郵便局燒失、十二日北甘栗郡小坂嶺山落岩死亡六名、負傷二名、下仁田大火、八月二十六棟燒失、十四日邑栗郡千江田村廣部長松氏、藤岡町雨町共勵會に有栖川宮記念厚生資金を賜はる、十七日金澤氏代議士繰上當選、廿八日皇太后陛下より學生寮京園に御下賜品あり△二月十五日北支經濟視察團出發、十日青少年義勇軍先遣隊出發、十一日憲法發布五十周年記念功勞者

東北・北海道

表彰、十五日皇后陛下より應召遺家族へ御下賜品あり、廿二日關東水卒社解散、前橋市火事、一家五名燒死、二十五署長異動、廿八日新田郡選出飯塚縣議失格△三月十一日甘栗社重役辭職、十二日傷痍軍人會支部設立、十六日群馬社役員總辭職、荒砥小學校火事、十九日學務部長更迭、二十五日早川群馬社長辭任、五十嵐同專務以下再選、甘栗社官選理事決定、三十一日中小學校教員異動△四月八日前橋地裁檢察正異動、九日ピーコック中尉事件起る、長野原町大火、十六日縣製鐵試驗場落成、十七日自治制度發布五十周年記念表彰、卅日總務部長異動△五月十六日新田郡縣議補選、十六日東久瀨宮妃殿下親王殿下御來縣、十七日縣廳お成り、十九日署長大異動、二十二日新田公六百年大祭△六月十二日署長小異動、七日安中町日本並給工場沈没池決潰、八日黒田獅郎、小池昇作兩氏初の複權、十六日縣價協定委員會成立、二十三日川岸中將東部防衛司令官となる、二十九日物價調整委員會結成、綿布の非常管理開始

島福

十二年七月三日ヘレン・ケラー女史來福、同日元本縣知事村井八郎氏郡山市長に當選、七日縣首腦部異動出石總務部長長野へ、後任は宮崎上

り眞崎長年氏、小田警察部長青森へ、後任は上海より青柳一郎氏、迫野警部長徳島へ、後任は千葉より坂井貞一氏着任、九日熊谷機伊達郡大木戸村に不時着、長澤少將重傷、十日相馬野馬追千年祭、同日平市第一回市議選舉を行ふ、當選新十六、元、前十四、十二日常磐線木戸驛でバス、急行列車と衝突、死傷二十二名、三十日諸橋學務部長裁判所行政評定官となり後任は山梨より和田貞臣氏來任す△八月十三日縣議補選福島市佐藤元治、双葉郡早川清久兩氏當選△九月一日縣議後會結成、十六日臨時縣會開く△十月二日中村町消防自動車官城縣岩沼町で轉覆、七名死傷、同日國立種羊育成所十三原と決定、六日阿武隈發電所工事場で落壁、十七名生埋、十二日招魂社遷座祭△十一月十六日防空演習はじまる、十五日人民觀線派十四名檢舉△十三年一月十六日八田代議士急逝、湊末弘氏繰上當選、三十一日縣廳舎百五十萬圓で落札△二月十五日郵便遞送團會津駒止峠で雪崩に逢ひ死傷六名、阿武隈發電所工事場で落壁、十一名生埋内一名死亡、二十八日石城郡鳳城炭坑出水、九名溺死△三月十七日菅野代議士失格確定、堀切善兵衛氏繰上當選、二十二日東白川郡豐里村に二人殺し事件發生、二十八日相馬郡山上村でバス轉落、死傷八名、卅日教員異動千五百四十六名△四月十日東北本線藤田驛でバス列車と衝突、即死二名、重傷十

七名、十五日自治制發布記念式に本縣六氏内務省より表彰を受く、十六日朝香中將官邸下陸軍病院御慰問のため御來縣遊ばさる、廿九日縣の自治制發布記念式に表彰者七十六名、二十八日鷺倉温泉に雪崩あり四名壓死△五月十一日御名代北白川宮大妃殿下御來縣、飯坂、若松兩陸軍病院御慰問遊ばさる、十四日縣下に大雪霜、損害四百二十萬圓、廿五日小名濱築港完成す△六月十四日若松市議選舉、新七名、同日編初取引最高五圓十五錢

宮城

十二年七月十一日神風號を迎へ航空パイジエント開催、十三日上林市太郎氏仙臺局長となる、十九日仙台太田氏仙臺局長となる、二十一日縣下郷軍大會事變に對し氣勢揚る、二十七日強震各地に被害△八月十七日夕祭で仙台賑ふ、十三日應召者の子弟に授業料免除、廿一日縣軍事扶助事業團生る△九月一日船岡中村間省營バス運轉開始、三日青葉城址に多門中將の胸像除幕、九日臨時縣會開く、十九日鶴山陸道開通△十月十五日大泉郡隊長戰死、二十六日二高五十周年記念式舉行△十一月十日仙山線開通、志田縣議補選、十五日通常縣會開く、十六日初雪降る△十二月二日陸羽經濟會議開會、六日大雪でダイヤ混亂、八日署長異動△十三年一月十日幼年學校仙台に復活開校十一日市町村長會議、十五日米實收高二、一四一、五五五石と公表、廿三日松島電車軌道

外さる、二十九日中華民國旅仙華僑聯合會發會△二月一日人民觀線檢舉、宇野東北大助教授以下十七名、六日ハンガリー卓球選手全仙台軍と對戦、九日荒雄小學校燒く△三月十二日松井石根大將慰問、二十六日豫備士官學校設置、卅一日教員異動△四月一日仙台地方海軍人事部開設、七日黒川郡大松澤村大火、十六日朝香中將官邸下傷病兵御慰問に御成り、二十一日臨時縣會招集、二十七日東北北海道市長會議、二十九日前田櫻氏仙臺局長となる△五月二日女川町大火、七日御差遣官邸下御成、十二日全日本專門店會聯盟大會開く、春蠶捕立九二六、九五五等と豫想さる、十三日降霜、二十二日青年校演習、國婦第二師管本部成る△六月一日水産品縣營検査實施、五日幼年校開校式體操大會舉行、十日六縣縣會聯盟總會、乘員養成所入所式、十六日H.K.開局十周年、十五日大成丸ノ輪に不法拿捕、草刈競技會に参加決定(縣大會七月二十三日)、十六日愛國少年團江刺四郎君イタリへ出發、十七日看守妻子三人を殺す、産組二百五十萬圓貯蓄を決定、十八日埋木職工妻子三人殺害

手岩

十二年七月十六日雪澤知事統後縣民に告諭を發す、二十八日縣中等學校野球大會に盛商優勝△八月十一日二日國防婦人會盛商支部誕生△九月

十四日財政補給金使途決定の臨時縣會召集
十月十四日國民精神總動員岩手縣委員會生る
七日輕米署勤務巡查新里庫吉(三)の千七百圓
の横領事件發覺、廿八日釜石製鐵所和實行男
君神宮大會で走高桃一枝九五の新記録で優勝
十一月三日岩手縣體操大會盛中校庭に開
催、參加一萬人、十九日縣民熱誠の結晶愛
國岩手號命式行はる十二月十五日壽遠野
警察署長あい子夫人(三)發作的精神異常から
三兒を殺し自殺、十七日通常縣會閉會、十三年
豫算七百二十一萬七千圓、十月十三日一月
十四日寒波全縣を襲ふ、氷點下一七・九、同
日縣に霧絲謀を新設二月一日人民戰線陣
屋の嵐に盛岡市議横田美重氏(三)被擧、二十
七日盛岡市會は十三年度豫算九十六萬四千圓
を可決三月十六日中央一流實業家を顧問
に縣工業振興委員會生る、十八日陸中銀行誕
生、資本金百三十五萬四千餘圓、十七日報國
一六八號水上偵察機(釜石號)命名式東京羽田
空港で舉行、二十九日總數九百二名に上る小
學校教員異動發令四月五日山田縣船越大
船間一・六軒開通、六日大雪で今冬の農作
物被害二百八十萬圓、十七日自治制發布五十
年式典で縣下一町村十一功勞者内相より表
彰さる、二十四日縣出身の今事變殊勳者二十
六氏に金鷄勳章を賜る五月一日李玉根
妃殿下傷病兵慰問のため御來縣、十二日花
登町に少年店員(三)の慘殺事件發生、十三

山形

日百四十萬圓の負債に縣縣解散、二十三日
盜岡市長大馬矢郎氏再選、三十日元農林省技
師堀江繁氏一家三人殺し犯人熊谷善代志(三)
に死刑宣告、十六日郷土出身の板垣、米内、
東條、多田四將軍を招き在京本縣人帝國ホテ
ルで朝食會を開く、二十八日南部鐵瓶製造禁
止さる七月一日縣職業課新設、七日事變
一周年記念日に縣出身戰死者合同慰靈祭執行
十二年七月一日滿蒙移民訓練場
大高根道場焼く、七日リンチ事件か
ら鶴中生の盟休、八日神風號の本縣
初訪問、十日最上地方豪雨襲來、浸
水千戸損害百萬圓八月六日關山トシネ
ル貫通、十四日應召遺族の税金、授業料減
免、二十四日臨時縣會開く九月十日警備
協議會結成、二十四日東北中等陸上競技大會
開く十月九日庄内地方に初雪、三名凍死
十日鶴岡高女の實彈射擊十一月十日仙山
線開通、二十日通常縣會開會、十六日防空演
習始まる、二十八日國防婦人會縣本部發會式
十二月二十九日吹雪猛襲上り急行七時間
運る△十三年一月二十一日全縣スキー大會
開く△二月十六日二十年振り本縣でも男
女混席禁止の興行取締改正△三月十三日關
山村に大雪崩襲來、三名凍死、二十日鶴岡の
放火魔捕まる、犯人は意外にも秋山第一消防
部長、二十四日温海村に昇格、二十九日縣
土木疑獄事件發生△五月十六日御差遣官李王

青森

根妃殿下御成り、十日第二學生號福島縣に不
時着、二十九日縣體操大會開催△六月十一
四日最上飛行場公認決定、十五日工業振興策
決定す、二十一日李玉根殿下御來縣
十二年七月十三日第一回縣下體操大
會(青森)、七日瀧溝橋事件に青森
市出身鹿内清准尉戦死、事變第一の
犠牲者となる、同日總務、經濟、學
務三部長更迭、十七日事變に關する全縣代表
者會、二十八日全國中等野球豫選に青中優勝
△八月二日八師團長更迭、候補前田利爲中
將新任、十三日中津輕郡目屋村大火二十二
戸焼失、十九日臨時縣會補給金六十五萬圓割
當決定、二十一日西津輕郡大戸瀨村大火四十
四戸焼失△九月十五日米百五十萬石突破、未
曾有の豐作確定、十一日颶風襲來、林檎被害
百萬圓と概算、下北郡下風呂温泉に山津波あ
り家屋倒壊三十戸、半壊九戸、流失漁船二十
五艘、死亡十六人、十五日第一回秩父宮殿下
奉迎記念日、二十二日下元兵團出發△十月一
十三日國民精神總動員縣内事變色濃し、二十
七日下北郡東通村白糠大火五十七戸焼失△十
一月十六日から一週間防空演習、二十二日
兼田秀雄前代議士逝去△十二月十日南京陥
落祝賀、十三日反英縣民大會、十七日通常縣
會終了、豫算七百八十九萬六千五百五十圓無修
正通過△十三年一月十八日縣中等校スキー大
會(大鰐)、同日八戸大火、二十二日焼く、

北海道

大會二萬八の集團美、絢爛の繪巻を展く、女
子附屬校小原トシ嬢准日本一に選ばれる、本間
知事警保局長に榮轉し後任は東京府警務部長
佐々木芳遠氏△七月久慈總務部長(島)に轉
じ内務省道路課長阿部邦一氏來任
十二年七月一舊土人改訂保護法實施
躍進小樽港に百萬圓の豪華北海道博
覧會、道廳遠山經濟、高辻學務兩部
長新任△八月一第七師團長に藤部和
一郎中將親任さる、巷の皇軍慰問千人針獻金
熱島揚す、控訴院檢察長猪俣治六、函館稅關
長川又公平兩氏新任、臨時道會開く△九月一
札鐵局長手塚操氏新任△十月國民精神總動
員實施案決る、七師團秋季演習北見十勝平野
に舉行、新井道廳水産課長ら拘引され水産疑
獄進展△十一月道廳防空課誕生、全道に
大規模な防空演習實施、通常道會二十日蓋明
け△十二月一南京陥落に全道沸く、小樽の博
士夫人殺し犯人就縛、日本無黨黨事件解決△
十三年一月一シーズン明けの朝日杯爭奪スキ
ージャンプ大會に安達五郎君優勝、札鐵局長
に安田丈助氏新任、水産疑獄に出町道水産會
長收容、全日本スケート大會札幌に、全日本學
生スキー大會セコ、小樽に(早大優勝)開
催、室蘭市長に土居通次氏當選、昭廣丸沈没
す△二月一全日本スキー大會花々しく札幌近
郊に開催、雪嵐全道に襲來し被害多數、南條
代議士失格、深澤吉平氏繰上り當選△三月一

秋田

二十七日全日本スキー豫選(大鰐)△二月一
大雪近年の記録、十三日社大黨分裂し勤勞農
組生る、二十一日弘前放送局開く△三月一十
四日遠洋漁船八戸丸太平洋に遭難、二十五名
溺死、二十七日弘前市長更迭、助役丸井英夫
氏新市長に當選、二十七日青森市漁船第三彌
彦丸尻屋沖に遭難、十名死亡△四月一二十五
日工事中の青森市石森橋落つ△五月一三日國
母陛下御差遣李王根妃殿下傷病兵慰問に御
來縣二十日再建共產黨事件記事解説、△六月
一三日健康兒童審査、珠玉の六兒は菅浩三、
林崎隆一、平山伊太郎、佐藤テツエ、信平澄
葛西きよ、二十五日弘前市制五十周年祝典
十二年七月一選肅風で失格の縣議補
選、南秋田、平鹿、仙北の三郡執行、
學團一致體制の各種團體長會議開く
△八月一中等野球興行代表秋田中學
に決る、應召軍人遺族に縣稅減免、ヘレン・
ケラー女史に小笠原巡查秋田犬を贈る、前田
新師團長初巡視△九月一地方財政補給金一八
一七、一七九圓(一世帶當り一〇圓二六錢)の
交付、尾去澤ダム決潰事件の責任で吹原鐵山
長以下業務上過失致傷で起訴、全縣青年團總
動員で事變下若人の意氣揚る、中等學校入學
試験讀方、算術の二課目に決る、保定陥落の
戰捷祝賀で全縣沸きたつ△十月一米收豫想二
百十七萬石で前年より一割一分増と發表、秋
田銀行の平鹿銀行合併認可△十一月一神宮大

小野宮三郎少將新任、北千島漁業八社合同成立す、小樽市長に河原直孝氏決定△五月一詔の失院能優補助助ノ湯温泉で発見、御差遣宮買陽宮妃殿下御來道各陸軍病院を御慰問、彌生大火約二百戸焼く、兩館後任市長五ヶ月振りで齋藤與一郎氏に落つ、八民戦線派檢舉解禁、東部觀光地帯に激震△六月一青葉炭礦優待、十二名惨死、暴風黄塵十勝地方を襲ひ被害百萬圓、水産疑獄豫審終結、北洋漁業出漁期にソ聯不誠意を拒否し國際問題化したがソ聯側折れて落着

中部地方

静岡

十二年七月一日日本一優良健康兒童河野芳子さんの表彰記念式濱松市縣居校に舉行、八日皇太后陛下三島神社御参拜、靜岡市縣議補選、棄權七割八分、外山金作氏(中立)當選、十日清水市長に山田勝太郎氏當選、十三、四日縣下に豪雨あり石部隧道不通、二十五日熱海初代市長に樋口修次氏當選、濱松にゲ氏菌中毒三十名發生、小泉策太郎翁鎌倉の別邸で逝く、三十日東京鐵道山縣管局持越踏業所を告發△八月一このころより銃後の熱誠全縣に普し、二日下田港修築竣工、五日沼津の秋穫取引始まる、ナレ二七七七の安値、二十六日富士郡縣選補選、渡邊久太郎氏(政)當選、二十八日

遠州鐵物輸出不振に四割増拓實施、三十日費子八名殺しの江間さいや松原に捕はる△九月一臨時縣會招集、補給金交付に伴ふ更生豫算を審議、十五日より五日間全縣防空訓練、○日森口、加藤兩縣議職召失格、二十三日駿東郡教員總會で三百名中毒△十月一七日伏見軍令部總長宮田代高橋第二部長を護海軍病院へ御差遣、八日縣立學校入試に筆記試験停止と決る、十九日沼津市外片濱村羽切四郎上等兵妻しん子(三)の夫の戦死に殉ず△十一月一日より軍用機納納週間、三日中泉の消防演習で四十名中毒、二十一日第一回體操大會、二十二日通常縣會開く、豫算一、三三二萬圓、二十七日駿東郡議補選永井保氏(政)當選、二十九日紛糾の議長問題改選の結果議長に金子彦太郎氏、副議長に鈴木政太郎氏當選△十二月一八日沼津二十戸焼く、九日引佐志田兩郡縣議補選、杉田松一郎(民)加藤利八(政)兩氏當選、二十一日元代議士高柳覺太郎氏逝く、十五日人民戦線派縣下で二十三名檢舉△十三年一月一六日伊東線宇佐見段道工事完了△三月一十一日小笠郡縣議補選、鈴木正一氏(政)當選、二十八日濱松市土木技手川合治吉五兒を軍刀で斬り割腹、二十九日伊國使節團一行伊東、熱海、川奈に遊ぶ△四月一一日田方郡土肥村町制施行、二日一俣西線三ヶ日金指開通、二十七日、八日御差遣宮田院宮春仁王妃直子殿下御來縣白衣勇士御慰

梨山

同△五月一三日朝宮殿下御來縣白衣勇士御慰問、伊國經濟使節團來縣交歡、二十七日濱松白蠟初取引ナレ四圓九十三錢、二十八日沼津黃蠟同四圓六十一錢△六月一十二日濱松に編糸切符偽造事件起る、十七日靜岡に團子による赤疫痢七千餘名發生、二十九日より一週間全縣豪雨に打たれ各河川氾濫、鐵道、農作物、土木關係の被害三千萬圓を突破す  
十二年七月一六日土屋知事辭馬に去り後任は藤原孝夫氏と決定、十日縣下葡萄酒に大陸電、被害百町歩に及ぶ、十六日東山梨郡縣議補選選舉に政友派勝ち縣會の過半数を占む、十七日各河川増水、中央線不通となり、家屋、橋梁の流失莫なし、十九日全町村の町議職終る、新入の進出目覺まし△八月一、二兩日縣會甲府球場に山靜大會開かれ島田商業優勝、十九日甲府縣隊長更迭し後任は中山淳大佐△九月一一日地方財政補給金交付に伴ひ臨時縣會召集、十四日赤山支那の看護婦で救護班を組織戦地へ向ふ、二十六日保定陥落に全縣下で旗行列、提燈行列△十月一一行惱みの甲府博覽會は戰勝博の名で十三年十月開催に延期、二十二日御岳昇仙峽の吊橋墜落、東京府女師生四十名重傷傷△十一月一十七日縣會男頭議長問題で政民兩派泥試合を演じ民政派議事堂に籠城、流會三日の末政友派横田司朗氏議長に當選△十二月一八日南京陥落に

新潟

二十日徐州陥落萬歲に山河搖く△六月一五日縣體操大會、十三日縣下のトップを切る坂城初獲取引ナレ四圓四十錢、二十日六百萬圓貯金運動、上田市長伊藤傳兵衛氏に決る  
十二年七月一十日小柳新潟市長選舉違反で辭表提出、十五日豪雨魚野川氾濫△八月一五日二十二署長大災動六日寺泊海岸でドイツ人技師オット・クロイツェル氏溺死、二十四日新潟期米大暴落先物二十七圓三十錢の新安値、二十八日長岡市外浦瀨小學校燒失、廿九日臨時集會召集△十一月一通常縣會召集、早軍に激動電報打電△十二月一三日越佐海峽大荒れ相川で二十餘戸倒壊、五日新鐵局管内大雪、八日小柳前新潟市長選舉違反で禁錮八ヶ月求刑さる十七日新潟市長に村松武美氏當選、二十八日大竹貢一翁勸選となる△一月一二十日縣下百四十二ヶ町村議選舉、二十三日能生櫛屋敷間で土砂崩潰、進行の列車脱線、二十九日縣出身荒井賢太郎氏逝去△二月一師範校、小學校長會議で入學準備教育禁止の指令を發す、十八日新潟市月町から出火二十戸焼く△三月一十日滿洲國名譽領事館新潟に設置、十六日所澤飛行學校高木機操境山平附近で発見さる二十五日見付町新田山に山津波襲來、六戸倒壊△四月一八日西蒲原縣議補選、岡田幸平氏當選、十二日島原之助氏新潟鐵道局長に新任、十八日朝香中將宮殿下御來縣傷兵

長野

全縣擧げて大祝賀、二十一日甲府放送局放送開始△十三年一月一八日甲府中學率先してグライダー部創設△二月一六日甲府縣前の大火、山梨縣教育會館も類焼、二十二日縣警察部大異動斷行、十三署長更迭△三月一十一日甲府舞鶴城頭で恩賜杯下賜記念式舉行、二十五日中央線長坂驛前大火、丸中彌生も燒失△四月一一日縣下小學校教員四百七十一名の大異動、十二日朝香中將宮殿下甲府陸軍病院御慰問、十六日知事更迭、後任は土居章平氏△五月一十五日竹田宮恒徳王妃光子殿下御差遣宮として御入甲、甲府陸軍病院に白衣の勇士御慰問、十八日東朝社後援第二回山梨體操大會を縣營運動場に開催、一萬五千の若人運動、二十一日徐州陥落に山都をあげて祝賀、二十九日甲府市議選終り新入過半数を占む△六月一八日甲府市會議長に中西松氏當選、二十三日甲府市に關東市長會議開催  
十二年七月一七日新總務部長出石於菟彦、經濟部長上原參良兩氏決定、十五日日本アルプス白馬頂上に無電局設置、二十二日緊急市町村長會議開催、支那事變に縣一致の體制を固む△八月一十三日三信鐵道開通、二十三日百瀨與政氏松本市長となる、二十八日地方財政補給金に關し臨時縣會召集△九月一十七日高野忠衛氏長野市長となる、二十二日還山部隊涿州占

領△十月一十一日諏訪郡富士見村豪農樋口仲嗣(三)は妻子六人を殺傷投身自殺を企て、上海陥落で全縣下歡喜に沸く△十一月一十一日群馬縣境小串硫磺鑛山に大崩雪襲來、埋没家屋三十八棟、百二十世帯、燒失家屋二十五棟五十世帯、慘死者三百名を出す、二十日縣會開會、豫算千三百三萬五千圓提案さる、二十日伊那谷の名門中村しず、同弟原謙謀殺事件被告西村なほ(三)に懲役二年、中村すの(三)に證據不十分無罪の判決下る、廿七日御牧原修養場で八名の渡瀧青年慘死△十二月一十一日沼京陥落萬歲に全縣下搖く、十五日追加豫算百廿萬圓縣會に提案、十九日縣明年度豫算、總額に於ては無修正で可決さる△十三年一月一八日近藤知事石川縣へ榮轉、後任に大村社會局長決定、廿一日土肥土木部長福岡へ榮轉、城戸土木部長(宮崎)來任△二月一五日須坂配郵便局集手宮川秀男(三)赤行囊を破り五千三百圓を拐擄逃走同夜捕はる十六日御宮電技スキー大會野澤温泉に開催△三月一五日世界一の百八尺觀世音十一年ぶりに湯田中温泉に完成す、二十二日英國武官ピコック中尉上信國境でスキー遭難、二十五日上田野專針塚校長辭職す、三十一日夜飯山鐵道列車信濃川へ墜落死傷十名を出す△四月一三日諏訪神社御柱祭始まる△五月一七日上田成輝市長任期満了、十二日御差遣宮竹田宮妃光子殿下傷病兵御慰問に御來縣遊ばさる、

山富

御慰問△五月十七日御差遣皇太子娘妃殿下... 出荷、十六日北蒲原縣議加藤孝一氏補缺當選... 【縣市政】十二年十月十日高岡市會... 議員選舉執行△十一月二十日通常縣... 會召集、縣會議長森正唯氏退いて... 飛見文繁氏就任△十二月十六日通常... 縣會終了、十三年度豫算可決△二月一日富山... 市會召集△同十九日小西縣電氣局長辭任、小... 早川總務部長事務取扱を命ぜらる△四月十七... 日自治制發布五十周年記念に際し功勞者十九... 名表彰さる△同二十一日自治制五十周年式典... を縣會議場で舉行△同十八日知事土岐銀次郎... 氏境玉へ轉出、後任に矢野兼三氏決定【雜】... 朝日新聞社主催全國中等學校優勝野球大會北... 陸豫選第二次豫選大會は十二年八月二日から... 富山市神通グラウンドで開幕、四日の優勝戦... に七△三で高岡商業優勝富山縣初の代表とな... る△十三年二月十九日野澤で開催の神宮スキ... ー大會において福野農學校の山縣勝太郎君滑... 降競技に一位となる△三月二日滿蒙開拓青少... 年義勇軍先遣隊九十七名出發△三月四日第三... 十五聯隊長として寺垣忠雄中佐着任△三十一... 日教員定期大異動發表、小學校七百八十名、... 中等學校七十名△四月十日滿蒙開拓青少年義... 勇軍第一次本隊百名出發△六月二十五日朝日... 新聞社主催健康優良兒童表彰會に下新川郡内山... 校の水野義定君特選となる【社會】十二年十...

月二十五日縣民の鑿金で出来あがつたグライ... ターの命名式を富山市電氣ビル北側で舉行、... 「雄山」「二上」「神通」と命名さる△十二... 月十二日縣下一齊に東京陸海軍會開催△同... 日眞川發電所土工遭難、七名死亡△同二十六... 日關西學院大學山岳部員剣岳早月尾根で遭... 難、二名死亡

石川

朝倉宮鳩彦王殿下には十三年四月二... 十日、竹田宮恒徳王妃光子女殿下には... 五月八日白衣の勇士御慰問のため御... 來縣あらせられ御仁慈のほどに縣民... 感激す△十二年八月十七日小松四高校長勇... 退、後任は菰田萬一郎氏、二十七日第九師團... 長連沼中將中防衛司令官に轉じ後任に吉住... 良輔中將來任△九月二十八日國民精神總動... 員石川地方委員會の結成△十一月廿四日... 通常縣會召集、十三年度豫算八百廿五萬六千... 餘圓を無修正可決△十二月一日金澤大聖... 寺開國道改良事業は十三年度から實施に決定... 總額二百七十萬圓、六ヶ年間繼續事業、四日... 金澤市議改選、自治會二十五名を得て十五日... の組織市會で正副議長を編占す、十一日南京... 陥落祝賀の旗、提燈行列△十三年一月八日... 兒玉知事厚生省に入り後任は近藤駿介氏、十八... 日齋藤警察部長内務省に轉じ後任に高橋庸... 彌氏着任△二月十七日金澤市會召集、十三年... 度豫算八百三十三萬五千餘圓は無修正で成立... す、十八日白山山麓矢作水力の發電工場に...

大雪崩襲來土工即死十六名を出す△三月十... 四日政友會縣支部長神田重義氏逝去、十九日... 中川經濟部長轉任、後任は鷲野重光氏、二十... 二日羽咋郡西浦村赤崎口の大火で百四十戸... 焼失△四月二十日山口學務部長轉出、後任... は達林正吉氏、二十三日自治制發布五十周年... 記念式舉行△五月三十一日新裝共產黨事件... で山本清編以下六名起訴さる△七月十五日石... 川地方物價委員會で縣下の標準物價を公表、... 十七日青年團中小學校の勤勞報國隊は金澤市... で結成式を舉ぐ、十日金澤飛行場開場式舉行

井福

十二年八月一日縣聯合青年團臨時... 大會を福井市で開き聖殿下の青年の... 覺悟を強調、八日未明豪雨のため日... 野川上流氾濫、死者三名、家屋流失... 浸水等二千戸、山林崩潰二百町歩、田畑破... 害二千町歩△九月一我國最初の統後山村振興... 施設として大野郡瀧見村に縣立山村指導所設... 置、十九日開所△十月四日から三日間九師... 團防空演習實施、二日福井商工會議所議員改... 選△十一月一日羽生知事三重縣に轉じ後任... 知事に中野與吉郎氏新任、二十日から七日間... 中部防空演習實施、二十四日通常縣會開會、... 議長辭職問題で揉めぬいたが十三年度臨時體... 制豫算總額六百七十九萬五千圓無修正可決△... 十二月二十一日小濱町、近江津津開會營、ハ... ス若江線全通△十三年四月一陸軍中將朝倉宮...

鳩彦王殿下二十二、三兩日縣下各陸軍病院に... 野傷病兵御慰問、一日縣水産試驗場福井市か... ら敦賀市へ移轉△五月一竹田宮恒徳王妃光子女... 殿下、七兩日縣下各陸軍病院に野傷病兵御... 慰問、縣警察部長更迭、新任青木重臣氏六日... 着任、二十日から五日間福井市別格官幣社藤... 島神社で新田義貞公六百年大祭を盛大に執行... 廿三日大日本聯合女子青年團大會福井市で開... 催、二十六日今立郡北中山村川島で南朝盡忠... の河島權頼公六百年大祭執行△六月一四日福... 井警察署移轉新築落成式

愛知

【縣政】十二年十一月通常縣會を開... き、二、六八二萬餘圓の巨額豫算を... 無修正で可決、岡崎工業學校の縣移... 管をはじめ二宮商業學校の新設、稻... 澤、中川、千種各警察署廳舎新築等の新事業に... 着手△十二年度通常縣會に於る市部會の建議... 案に端を發し名古屋帝大創設準備成る△十二... 年八月縣農會長松山兼三郎氏就任△同十月松... 澤清次郎氏死亡、補缺貴族院議員に磯貝活氏... 當選△同月總務部長足立收氏栃木縣知事に、... 後任は森部隆氏警視廳から△同九月民政黨支... 部長大野一造、幹事長富田彦吉兩氏新任△同... 十二月政友會支部長瀨川嘉助、幹事長宮地太... 市兩氏再選△十三年一月學務部長永井浩氏厚... 生省施設課長に、後任は越野菊雄氏大分縣か... ら△十三年五月學務部長越野菊雄氏傷兵保護...

岐阜

院に、後任は小田成就氏和歌山縣から△十三... 年二月第二區選出代議士丹下茂十郎氏死亡△... 同四月新縣廳舎落成移轉△十二年十月警察部... 防空課新設、初代課長に銅手眞吾氏就任△同... 十一月學務部に軍事援護課新設、初代課長に... 末廣榮氏就任【市政】十二年十月名古屋市中... 區制實施△同月知多郡半田、龜崎、成岩の三... 町合併、半田市制實施、初代市長中野半左衛... 門氏就任△十三年一月瀬戸市長古村直三郎氏... 就任△同七月豊橋市長神戶小三郎氏死亡【社... 會】十二年八月愛知縣防空聯盟結成、十三... 年七月高射砲四門を獻納△十二年十月日赤支... 部基金十三萬餘圓積領事件發覺△同月覺王... 山日蓮寺金蓮盜難事件起る△十三年一月名... 古屋住吉町放火五人殺傷さる△同月名古屋矢... 田町元鐵道副參事殺し△同月名古屋老妻殺し... △同月名古屋瑞穂町の少年墮取り事件發生△... 同月名古屋枇杷島町で曝白軍人歡送の群集が... 列車に妨げられ三十餘名死傷す

阜

十二年八月十三日遭難行方不明中... の陸士生田目機三ヶ月目に不破郡岩... 手山で發見さる、二十八日臨時縣會... 召集後強化の諸議案を可決す、三... 十日舉行岐阜市會の四市議選役六月（五年間... 執行猶豫）の判決言渡さる△十月十九日昭和... の孫六養成を目指す關町日本刀鍛錬塾竣工△... 十一月十三日縣學校衛生會朝日新聞社の日本...

一桃太郎捜しに拍車をかけて第一回健康中等... 學生の表彰を發表す、十八日縣會開く、豫算... 總額一千二百二十九萬二千九百四十九圓、前... 年より七十一萬三千六百五十一圓の増△十二... 月一日岐阜、愛知を結ぶ木曾川橋七十萬圓... を投じて竣工、二十四日岐阜藥專不正入學事... 件裁斷下され比良野元校長後任一年二月△十... 三年一月一二十七日岐阜商工會議所豫算議員... 間の軋轢から撤回問題を惹起す△二月一十六... 日傷病軍人會縣支部生る、十八日豫算七十三... 萬圓審議の大垣市會始まり初日から混濁、十... 九日岐阜市會開く、豫算總額二百二十二萬四千... 八十圓、廿一日高山市會開幕、豫算總額三十... 九萬六千二百四十九圓、劈頭直井市長辭職を... 勸告されて一蹴△三月一三日渡邊岐阜商工會... 議所會頭辭任、九日社大岐阜支部解體を聲明... して全體主義に轉向、三十一日笠松町の民家... に屋根をぶち抜いて七百名の隕石落下△四月... 一三日五中學リーグに岐阜連續制覇△五月一... 二十五日寶曆治水の薩摩烈士を祀る津島千本... 松原の治水神社造營成る△六月一四日大垣市... 議選舉開票、三十六選良の頭觸れ決る、九日... 高山市初代市長直井兵衛氏辭職す、後任詮... 考難から縣職務管掌を派遣、十六日改選初の... 大垣市會開く、議長は鈴木利太氏、副議長は... 畑鉦次氏と決定、二十五日、縣一“の健康優... 良兒童郡今渡校岩田辰子嬢、特選”の榮冠... を射止めて健康岐阜の氣を吐く

近畿地方

都京

十二年七月一日同大豫科生體休、春以來の上申、被上申組の對立抗爭とからんで當局を悩ませたが結局兩成敗的に處断、總長湯淺八郎博士は同年十二月十四日辭任す、京大理學部一書記の公金横領に疑端した京大疑獄事件はつひに岸書記官長、岸田會計課長の收容となり、これと進行して濱田耕作博士の總長就任とともに藤學士作が行はれ十一月には醫學部松尾、岡林兩教授が辭職、理學部山本一清教授も幾多曲折のち十三年五月辭職す八月十六日夜陸軍火藥製作所爆發し附近民家の焼失破壞するもの多く死傷者も多數に上る十月一日入通官多田王殿下薨去あらせられ勅使、宮殿下方の御用向があり御喪儀は泉涌寺御墓所で執行あらせられた、市内中心街の流しタクシー禁止、神戸にコレラ發生し二日同地方からの移入を禁止し業者一萬人に豫防注射、十日から京阪開省線電車開通十一月一日京都市學區會議員總選舉(一四八名)、十日夜戰捷防共協定成立祝賀提燈行列、十六日實茂別當神社本殿遷座祭(大風害復舊)、二十八日日獨伊防共協定成立祝賀大會、獨總領事、伊特命全權大使ら出席、十一、二日南京陥落祝賀、十五日十三年度府當初豫算一、七七〇萬圓、鴨川改修工事附帶追加豫算一三七萬圓

を可決、二十二日第十六師團軍水道の經營を京都市に寄託△十三年一月十七日から燃料節約のため朝風呂營業禁止△二月一日からタクシーの休車制、運行時間の短縮、上映フィルム切下實施△三月一日からタクシーのメーター制、福引材料金箱收書發行實施、二十九日京都市十三年度當初豫算七、三二七萬圓を可決、三十日昭宮成子内親王殿下には關西地方御見學のため初の御入浴、八日間御滞在あらせられた△四月一日から第十回日本醫學會京大を中心に開催、三日伊國親善使節の一行入浴し市民歡迎會を開く、十三日府主催の戰死者慰靈祭、十九日傷病將兵慰問のため皇后陛下より御差遣の東伏見宮故依仁親王妃周子殿下御入浴、廿日府主催自治制發布五十周年記念式、二十一日京都市制實施五十年記念祝賀△五月一日孝明天皇を平安神宮に奉祀申し上げることにつき平安神宮御祭神御増加の儀仰せ出され、十日會長近衛首相の出席を得て奉祀奉贊會發會式を舉行、十三日高音取締規則實施、大本政事件豫審終結、十六日鴨川名物、床の遊興午後十二時以後を禁止、二十日徐州陥落祝賀△六月十四日舞鶴、東舞鶴(新舞鶴、中舞鶴陸送三ヶ村合併)の兩市制施行の上申を終りいづれも八月一日をもつて實施、二十二日傷兵保護院京都療養所洛南青谷村に設置することに決定

大阪

十二年八月一日「二戸一人以上出動主義」で國民精神總動員心身鍛鍊運動開始、十七日應召者遺家族に對し府稅免除す、十九日時局にかんがみ池田知事府民に對し告諭を發す、二十五日から三日間銃後後援費その他に關し臨時府會開會△九月十二日府下全青年團員訓練開始、十五日防空演習開始さる、二十四日國民精神總動員大阪府實行委員會開かる、二十五日吉野商相來阪△十月一日防空課新設、四日防空演習開始、十三日國民精神總動員強調週間開始さる、二十日滿洲國駐日大使阮振鐸氏一行來阪、二十七日大場鎮、廟行鎮の陥落祝賀大提燈行列行はる△十一月一日北白川宮多惠子女王殿下女子學府院生徒六十名とともに御來阪、九日中之島公園で日獨伊防共協定成立祝賀大會、提燈行列舉行、十日實業相來阪、十三日秩父宮殿下御代參として今村別當御廟御奉告のため住吉神社に御參拜、二十七日龍電院總裁來阪△十二月五日全國最初の市民體力テストを實施、十二日府會本會議開會、十三日府、市、商工會議所共同主催の南京陥落官民合同祝賀會開催△十三年二月八日ハンガリー文化使節メッセー博士來阪△三月十八日大阪府皇軍慰問團歸阪△四月十五日昭宮成子内親王殿下御來阪、造幣局、大阪城、電氣科學館を御見學、仁徳御陵

兵庫

十二年六月十七日明石市市長選舉青木重三郎氏當選、二十二日林田、灘兩區區會議員補缺選舉△七月十六日神戸市電從業員此花丸にて淡路洲本に逃避難城、罷業開始、十五日神戸市電爭議團此花丸で復歸、罷業解決、同日明石、多

紀兩郡縣會議員補缺選舉△九月十二、三日山陰地方防空演習實施、十一日颶風襲來潮風のため播州地方農作物の被害激甚、死者十三、重傷傷白六十餘名、農作物被害高約二千萬圓十五日第二次阪神防空演習、二十日臨時兵庫縣會召集、約五十五萬圓の負擔軽減案、廣都市計畫事業費など提案、三十日神戸市林田區駒ヶ林町よりコレラ患者發生防班班大活動開始、同日神戸市海水使用漁撈禁止の縣令公布さる△十月四日より三日間防空演習實施さる、九日神戸市海水使用漁撈禁止解除、十日明石京都間省線電車延長運轉實施△十一月一日明石郡垂水町にて二少女絞殺死體發見され犯人捜査大活動を開始す、十三日神戸市會電燈料金値下案可決、二十日より三十日まで防空訓練行はる△十二月十五日左翼陣營の全國一齊檢舉行はる日本無産黨神戸支部潰滅す、二十日神戸市長選舉行はる藤山品次郎氏再選、同日西宮市長選舉も行はる藤山品次郎氏再選△十三年一月十七日灘中學校校舍四棟三十二教室燒失、十日明石中學校より出火二階建八教室一棟燒失△二月七日北神商業學校より出火、校舍二棟燒失、同日支那總領事館閉鎖、二十二日三原郡縣會議員補缺選舉△四月一日節禮都妻堤町を節禮町に合併、明石郡大久保村町制を實施す、三日播磨造船所亞鉛鑛工場にて十六名の重傷者出づ、十

一日イタリ親善使節パウリツチ侯の一行十二名港都訪問、十三日皇后陛下の恩召により東久邇宮裕彥王妃嬪子内親王殿下には縣廳に御成り、統後援助事業概況を御召され篠山陸軍病院に白衣の勇士を御慰問遊ばさる、次いで十四日には姫路、二十日には淡路岩屋に成らせらる、二十日自治制發布五十周年につき縣の記念式舉行され功勞者の表彰あり、二十一日神戸市も記念式を舉行、永年勤続者の表彰行はる、二十二、三日防空訓練實施、二十九日姫路招魂社創建され鎮座祭行はる△五月一日二日香住町下の濱に大火あり人家十八戸その他燒失、十六日川崎造船所にて軍艦艦體進水式舉行、神戸市職制大改革△六月四日林田區役所の怪奇、火葬認可證事件にて警察大緊張、二十日神戸中央卸賣市場類似業者の市場規則違反事件に對し無罪の判決あり

奈 十二年八月支那事變出動將士慰後援會設立され統後活動開始す、阪原神宮宮司に菟田茂丸氏新任す、臨時縣會で時局豫算を可決す、東大寺管長に鷲尾隆慶師選舉さる、暴風雨襲來し被害百萬圓に上る△十月中等學校入試に畫期的改正發表され小學校長の内申と嚴格検査で證考に決定、石原奈良市長任期満了し市政、公政兩派聯合して松井貞太郎氏を名譽市長に選舉、助役に瀧清藤吉氏新任す、修理中の興福寺東金堂で奈良朝前期の金銅製大佛頭發見さ



る十一月一秩父宮殿下御歸朝奉告のため  
攝原神宮に御参拜、通管縣會で政友、民政兩  
派提携を聲明したが議長交代問題で忽ち瓦解  
す十二月一西大寺で古代金貨の開基勝寶を  
發掘す、縣會は十三年度豫算四百六十一萬六  
千圓を十五年振りに全會一致可決、倉橋溜池  
築造案通過す、政民の提携を期し兩派少壯縣  
議が常盤俱樂部を結成す△十三年一月一若草  
山麓の開發が史蹟破壞で問題化し文部省で縣  
に工事の一時中止を命ず、政友は福井、民政  
は松尾代議士を縣支部長に新任す、京都等持  
院の寶物荒し半歳振りに奈良で檢舉さる△二  
月一紀元二千六百年縣奉祀會が朝日新聞社と  
共同で攝原神宮外苑に日本青年道場の建設を  
發表す△三月一山邊郡二階堂村で肉親七人殺  
しの慘劇行はる△四月一イタリ・フアンス  
ト使節團古都を訪ふ、紀元二千六百年奉祀會  
で工費四百萬圓の攝原神宮境域擴張工事を決  
定す、東伏見宮故依仁親王妃周子殿下奈良陸  
軍病院の白衣の勇士御慰問遊ばさる、事變初  
の論功行賞で岡田茂中佐ら十二勇士が晴國神  
社に合祀さる△五月一事變戦病疫二百九十三  
柱の慰靈祭が奈良で執行さる、攝原神宮境域  
擴張工事の起工執行はる、國民貯蓄の縣民一  
年間の目標を三千五百萬圓と決定△六月一建  
國奉仕隊の結成式が攝原神宮で行はる勸勞奉  
仕運動聖地に集中さる、高橋孝太郎氏突如奈  
良警長を辭職、龍泉寺が大峰山主號を使用し

山歌和

十二年七月一九月歌の串本港に五十  
七萬圓で漁港の起工式、七十翁の出  
征志願十五乙女の從軍願願出、廿  
九日第一次防空演習に鋼鐵の防岩△  
八月一十九日縣署卅六度一世紀ぶりの現象  
△九月一十一日風速廿五以猛風紀州を襲ひ蜜  
柑王國大慘害△十月一九月新宮市議選、十七  
日靈場高野勸額奉掲の大法要、廿八日上海全  
戰線大勝祝賀△十一月一十日太原陷落祝捷譜  
に縣下沸く、戰時豫算七百五十五萬圓を粗上  
に非常時縣會開く、廿二日大和歌山の南北幹  
線築港秋月線着工、廿三日和歌山市で神武  
天皇御上陸二千六百年記念祭執行、白濱陸軍  
轉地療養所開設△十二月一縣會正副議長改選  
十一日南京攻略で祝賀の一色、二十日映寫中  
フィルムに引火した南富田の劫火八十一の生  
靈を奪ひ十一名負傷△十三年一月一十二日關  
西激震で大搖れ、四師管の優長壯丁表彰展五  
本中四本を獲得△三月一十九日井上大将臨場の  
もとに縣下郷軍大會、三十一日中、小學校教  
員七百七十名の異動△四月一十五日白衣の勇  
士御慰問軍事後援事業御祝賀のため東伏見宮  
故依仁親王妃周子殿下御成り、白聖四層の縣  
政の殿堂新縣廳舎竣工、十九日友邦シヤム潛

重三

水艦和歌浦に入港、廿日太平洋上漂流二ヶ月  
奇蹟の串本町降樂丸かへる、二十五日町村で  
自治制實施五十周年記念式△五月一六日本  
國龍山神社正遷宮の嚴饗、十三日和歌山城  
に縣招魂社地鎮祭、十六日和歌山市二ヶ所  
大火六十數戸全半燒、十六日海南市議選△六  
月一一日海草郡下津町誕生、九日捕獲以來一  
年半新宮鐵道疑獄の判決下り體刑四名(執行  
猶豫)罰金五名、無罪三名、二十五日山陽線  
列車事故で修學旅行中の橋本小學校三訓導、  
十八學童鐵路に散る、二十四日健康優良兒表  
彰に有田八幡校高垣修君は准日本一、海南大  
野校奥しげよさんは特選に堂々入選  
十二年七月一三日阿山郡縣會議員補  
缺選舉荒木甚吉氏當選、十七日臨時  
縣會百二萬四千圓の大演習豫算を議  
んで可決、三十日鹽減稅審議の臨時  
縣會開く△九月一十日から十一日にかけて暴風  
雨の被害甚大△十月一四日から三日間防空訓  
練實施、十四日國民精神總動員週開開幕、二  
十八日縣民上海戰捷の歡喜に沸く△十一月一  
日安藤知事土木局長に榮轉、福井から羽生  
知事來る、二十日から八日間防空訓練實施、  
二十二日通常縣會はじまる△十二月一一日縣  
會議長に佐藤邦則氏、副議長に平井茂八郎氏  
當選、十一日から三日間南京陷落の歡びに縣  
民沸立つ、廿四日羽生知事内務次官に榮轉、

中國・四國地方

岡  
【政治】十二年七月一知事多久安信氏  
千葉へ轉じ後任伊藤武彦氏福島から  
來る△八月一知事會會長に軍人遺家  
族救濟募金委員會生れ統後援護に乗  
出す、地方補給金で臨時縣會開く、伊藤知事岡  
山市深抵校で時局講演中腦溢血で倒る△十月  
一伊藤知事休職、後任は菅野軍藏氏、縣議補  
選で兒島郡政友平野最大郎氏、吉備郡長尾俊  
憲氏當選△十一月一中等校入試に國語、算術  
の二科目制實施に決る、十三年度豫算一千二  
百萬圓の通常縣會開會、議長に政友西原金藏  
氏、副議長に民政佐藤恒夫氏當選△十二月一  
西村丹治郎代議士東海道線車中で急逝△十三  
年一月一縣議補選で赤磐郡中立加賀美章氏、  
邑久郡政友小林壽太氏、眞庭郡中立落原初二  
氏當選、重井康治氏獄中から代議士に繰上當  
選△四月一邑久郡縣議補選で政友横山善次郎  
氏當選、縣總務部長矢野兼三氏富山縣知事に  
△五月一宇垣一成大將外相に就任、郷里に歡  
聲湧く△六月一岡山、倉敷間國道竣工、兩市  
十五分で結ばる【社會】十二年七月一縣北部に  
豪雨、死傷十數名に上る、岡山驛で特急富士  
に臨急追突、死者三名、重傷傷三十餘名の大  
慘事發生△十一月一有元前津山市市長選舉  
事件で起訴收容△十二月一人民戰線派の全國

後任は佐藤香川縣知事△十三年一月一四日還  
洋漁船大霧丸房州沖で消息を絶つ△二月一七  
日縣産業組合聯合會發給發生、中野務務收容  
さる、十一日國民精神總動員強調週開幕、  
△三月一二十六日朝香中將宮殿下津陸軍病院  
御成△四月一十二日東伏見宮故依仁親王妃周  
子殿下津陸軍病院に御成、二十五日自治制發  
布五十年記念式舉行△五月一一日津市制五十  
年記念式舉行、三日津市會議員補缺選舉山田  
(民)大原(中立)兩氏當選、二十一日徐州陥落  
祝賀會各地に催さる、三十一日潰滅した人民  
戰線運動の全貌發表さる△六月一十四日馬岡  
次郎氏縣産業組合聯合會會長に就任、二十一日  
貯蓄報國強調週開幕、二十九、三十兩日防  
空訓練實施  
滋  
十二年七月一四日天台宗に勸額を下  
賜せらる、十一日内務省長馬場監監  
賀  
豐湖開發築堤計畫調査を開始、十六  
日内務省神社調査打合會で、近江神  
戶御創建内定、十七日北支事變對應のため、  
知事縣下各種團體幹部に進む道を明示懇談す  
二十日から三日間第三回豐湖祭執行△八月  
一四日大津地裁で證の老殺し増井庄藏にか  
かる陪審公判開廷、九日懲役十年の判決△九  
月一十八日國威宣揚縣民大會を十一ヶ所開  
催、二十五日保定陥落祝賀旗、提燈行列△十  
月一六日近江神宮御創建奉賀會設立を神社局  
で認可、十四日縣廳舎改築地鎮祭執行、二十

八日上海要衝の占領で祝賀會、旗行列△十一  
月一三日報國救國號水上偵察機獻納式と海軍  
豫備航空團大津支部格納庫で舉行、七日第二  
回縣下體操大會大津大會を縣立大津高女で開  
催、廿日朝日新聞社の支那事變國貨品移動展  
大津市役所前で開く、二十八日縣警綜合グラ  
ウンド地鎮祭を彦根市の敷地で舉行、三十日  
近江神宮御創建國庫補助十二萬圓豫算會議で  
決定△十二月一十九日比叡山上阿彌陀堂入佛式  
法會嚴修、二十日今津小濱間の若江省營バス  
開通式、三十日白晝日野町蒲生銀行にピスト  
ルギヤング事件勃發、九千三百圓の現金を盜  
まる、犯人は一月七日大阪で逮捕さる△十三  
年一月一十一日代議士服部岩吉氏政友會支部  
長に就任、二十五日門跡の妻帯問題で天台宗  
僧止不二門光順師自裁(未遂)卅日國威宣  
揚祈願に全縣職員伊勢神宮に参拜△二月一  
十六日勸銀農工合併案を農工株主總會で可決  
△三月一十一日から五日間縣下青年團員大津  
陸軍病院に、防共の花團、獻納の作業開始△  
四月一二十三日自治制發布五十周年奉告祝賀  
式舉行△五月一一日近江神宮御創建の儀御裁  
可、四日全縣的に奉祝行事、九日奉賀會長近  
衛首相來縣、近江神宮御造營敷地を視察、二  
十日徐州陥落祝賀△六月一十日近江神宮地鎮  
祭執行、二十四日野輪主寺門跡任命から天  
台宗第二の妻帯問題で揉める

的檢舉で社大黨縣執行委員長黒田壽男代議士、書記長重井鹿治、縣議中原健次氏ら檢舉△二月人民戦線第二次檢舉で縣議江田三郎、全農の老闘將山上武雄氏ら檢舉△四月一竹田宮故恒久王妃昌子内親王殿下には白衣の勇士御慰問と縣下銃後援護状況視察のため御來縣遊ばさる、阿哲郡新見町大火で二百戸全焼す△五月一若田郡西加茂村の青年都井陸雄獵銃で村民二十人を殺害、世界的大量殺人犯の記録を作る△六月一山陽線和氣、龍山間で豪雨のため列車上下線二本轉覆、和歌山縣橋本小學校訓導、児童ら死傷者九十九名

廣島

【事變關係】事變勃發するや富田知事は十二月十五日まづ諭告を發して重大時局に處する縣民の奮起を促し△八月二十四、五日兩日銃後の萬全を期する臨時縣會を召集、二十六萬餘圓の事變費追加豫算を可決△十月二日縣教育會館で國民精神總動員運動第一回實行委員會を開催縣一致總動員運動のスタートを切る△十月二十四日廣島市出身の賀屋龍相を迎へ廣島西練兵場で國威宣揚縣民大會を舉行△十三年一月二十五日長期戦に備へ縣民の決意を新にする市町村長會同を廣島縣立高女で開催△八十億貯蓄國策に順應し十三年度において最小限度二億圓の貯蓄目標を樹て五月二十四日縣教育會館で戰時財政經濟協力計畫に關する國民精神總動員縣實行委員會を開催、報國貯

山口

【政治】十二年六月一山口市會正副議長に有吉彦三郎、龍本政義兩氏當選、山口商工會議所會頭に笠原音五郎氏當選△七月一防府、防府、大津二郡一市の縣議補缺選舉執行さる△十一月一縣會正副議長に田邊謙、田熊文助兩氏當選△十二月一一般、特別兩會計合して二千九百二萬餘圓の形大豫算が無修正で縣會を通過す【産業】十二年九月一縣では利水事業計畫のため内海博士を委嘱す、縣利水事業委員會成立△十月一工業用水を旨指して工費一千萬圓を要する銅川ダム事業の計畫成り、地元民の一部反對を押切り臨時縣會を通過、直ちに着手す△十三年一月一縣産米實收高は平年作より七分七厘増收【兵事】十二年十月一上海戦捷の報に縣下各地で祝賀會行はる△十一月一太原路落に各地で提燈行列△十二月一山口赤十字支部病院が陸軍病院に變る、南京路落に縣下各地沸く△十三年二月一縣から皇軍慰問團北支へ赴く△三月一徳山に要港設置さる△四月一皇后陛下の御差遣により竹田宮故恒久王妃昌子内親王殿下御來縣、白衣の勇士を陸軍病院に御慰問遊ばさる△六月一傷損軍人會館支部設置さる【教育】十二年九月一中等學校入學試験方法を算術、國語二科目の筆記試験に改む△十三年五月一縣學務課の調査にて縣下小學生の平均體位不良なること判明【社會】十二年六月一神風號の飯沼、塚越兩勇士

の凱旋祝賀會が山口驛前で催され空前の盛況を呈す、辻野總務部長逝去、全國にさきがけて縣が飛行機を購入△七月一暴支膺懲の叫び縣下各地にあがる△九月一颯風襲來し漁船二十一隻難破す△十一月一山口高校教授獨人ブライピツシユ氏皇軍從軍を陸軍省へ嘆願す△十三年一月一防府放送局設置決定△四月一宇部の本山坂火災あり死傷三十六名を出す△五月一新興佛教運動記事解禁本縣では十七名檢舉され、三名が起訴猶豫となる、豪雨のため縣道、橋梁、河川、農作物などの被害三百萬圓に達す

根島

十二年七月一松江市に氣象觀測所建設に決定、江津に日本人職スタッフ工場建設さる、重成警察部長、加藤學務部長榮轉、古原庶務課長秋市長に就任、鳥取松江間にバス全通、並川總務、友末警察、新見學務二部長着任、松江探木、濱田原田兩警察署長更迭、松江の水郷祭盛大に舉行、電氣料値下げさる△八月一大田中學優勝し山陰の代表となる、底曳網船の大整理に着手、大田中興真港中學に善戦して敗る、赤十字島根支部病院の新設計成る、總工費百二十五萬圓△九月一縣民の輿論統制を期する情報委員會結成さる、八束郡大瀧村が徴兵模範村として再び表彰さる、軍事救護團體へ御下賜金△十月一松江市の招魂慰靈祭盛大に舉行さる、石家莊陥落に大提燈行列、唄の名橋松江

鳥取

大橋竣工△十一月一中國山脈横斷の木次線全通す、非常時の通常縣會開かる、那賀郡石見村杉戸の遺火事で幼女二人焼死す△十二月一雪の大山で四名遭難、梶谷大朝社員のみ奇蹟的に生還、南京路落し全縣下歡聲に沸き立つ△十三年一月一縣下在任の支那人國民政府を離脱す△二月一流感猛威を逞し罹病者一萬を突破す、縣會議員選舉開始さる△三月一縣會議員選舉好成績裡に無事終了、非常時下の陸軍記念日盛大に舉行、防空訓練始る、揮發油の使用が切符制度となる、臨時縣會召集され議長に山崎定道氏、副議長に土谷連之助氏當選す△四月一東久通宮妃殿下傷病兵御慰問のため御來縣遊ばさる、松江市で中國、四國市長會議開催、今市町の大火、全半焼六十餘戸に達す△五月一徐州路落で大提燈行列舉行、隱岐神社御造營新初式執行さる、大社漁港竣工、工費五十五萬圓△六月一隱岐水産學校を濱田水試へ同併問題起る、百萬圓を投じた大橋川の浚渫完成に近く、風水害で損害多額に上る、松江市北堀校の石原安雄君特選健康優良児として表彰さる

鳥取

【縣政】十二年九月臨時縣會が開かれ四十一萬餘圓の財政補給金使途を原案通り可決、十一月から暮を明けた通常縣會も六百六十餘萬圓の豫算を編み込んだ△全國有数の貧乏縣の上に昭和九年以來風水害相次ぎ縣債約二千萬圓、その元利償還に迫られ台所は窮乏の極に達してゐる、あたかも事變下にあるので縣政もこの影響をうけ國民精神總動員運動に續いて各種の統後諸運動が行はれ、十三年六月には官民有力者十五名からなる地方物價委員會を設け織維品と皮革製品の高標準價格を定め、經濟警察制度も確立された、なほ物價公定の機運さへ見える△十二年七月の部長級異動で總務に沖繩總務清水谷徹氏、經濟に社會局の原保雄氏、學務に高知學務の上村靖氏來任（市政）十二年七月鳥取市政五十年記念に六ヶ年繼續都計プランなる、總工費五十六萬九千餘圓、十三年三月市會は警告付で八十餘萬圓の豫算原案可決、四月百萬圓の鳥取築港設計を内務省に提出、大正村との合併問題は手續まで終つたが大正村一部反對で揉め抜き六月村長と村議抱合の總辭職、改選の新村議は合併派多数で好轉を認められる、この間に米子市は福生、福米、加茂三村をアッサリ合併、十三年三月祝賀式舉行、同月市會は無修正で五十六萬餘圓の豫算可決、六月米子國際飛行場と航空乘員養成所竣工式で同市飛躍の素地なる【銃後】十二年八月各市町村に銃後相談所、十三年一月鳥取市在住半島婦人の護國婦人會、五月縣市町村に軍事援護事業相談所など新設、縣民の愛國熱は隨所に感激風景を展開した【雜】十二年九月颯風で被害四百萬圓、縣下大半の町村議改選に悪質違反釀出、十二月鳥

取地裁で稻田代議士違反に禁錮二月、當選無効の判決、一月山根代議士逝去で由谷義治氏繰上當選、中等入試は國語と算術

香川

野庄太郎氏、副支部長中村俊久氏、幹事長三木將雄氏以下選定、九月臨時縣會招集、縣稅減免案、統後後援事業を讀す、十一月通商縣會正副議長今井浩三、中村俊久兩氏選定、豫算六、四三三、八九六圓をはじめ中等學校廢合、新設縣警飛行場擴張、測候所移轉を議決、十二月二月から二百六十一町村議改選、二月高松市豫算一、九〇九、九一九圓通過、三月同市議改選、正副議長細後宗次郎、中村俊久兩氏、十二月十二月坂出商工會議所新設、正副議長喜七、久米金九郎兩氏、九月九日市議改選、正副議長長谷川治郎、菅五郎兩氏、十二月七月佐藤知事諭告を發し縣民に呼びかけ市町村會、各學校長、各團體長會を開き統後の結束を固む、九月國民精神總動員香川縣實行委員會及び香川縣統後援聯絡委員會を組織、十二月六月香川縣建設期成會組織、香川縣中央軍事援護相談所開設、六月十九日香川縣川野神社舉行六月縣是八千圓貯蓄報國運動起る、八月八月歩兵第十旅團長柳本重治少將憲兵司令部總務部長に轉じ後任天谷直次郎少將來任、同月第十一師團

長多田駿中將參謀次長に轉じ後任は砲兵監山室宗武中將來任、十一月丸龜縣隊司令官若生清大佐少將に昇進待命、後任間宮信三郎大佐來任、知事佐藤正俊氏三重縣に轉じ玉田昇次郎知事十二月十四日來任登壇、翌日より入院、十二月十六日逝去、三月新知藤岡長敏氏着任、三月丸龜第十二聯隊長安達二十三、大佐少將に昇進某地へ赴任、後任西山種太郎大佐着任、六月一日高松市長富家政市氏再選、七月香川縣地方工業協會組織、七月縣會高松港灣改修調査に乘出し、十三年三月權威者十名來高調査、七月縣警内場池築造工事、十三年度より着工に決定、二月高松市御殿山貯水池着工、四月坂出港第二次改修工事に着手、【社會】北支南苑戦線の花と散つた大朝特派員岡部孫四郎氏の遺骨八月十四日郷里に無言の凱旋、同二十八日琴平町葬を執行、十二年度中等學校野球香川縣選は高中對高商の優勝、八回六對六九回で臺雨のためドロンゲー、八月十三日六月十二日屋島山上で弘法大師の遺徳を偲ぶ學童を主とした第一回讀岐いろは祭を、いろは讀會、主催大朝社高松通信局後援で執行

愛媛

十二月七月一日六日知事大場鑑次郎氏勇退し佐賀縣知事古川靜夫氏後任に決定、八月十一年度中の縣下生産總額三億二千二百四萬二千二百二十一圓と發表、十四日縣下四商工會議所で排日毎日網

減と政府續接を決議し市町村各種團體でも大會を開き氣勢をあぐ、二十三日開始された中等野球第一次豫選で松商優勝す、九月十五日城北練兵場で縣主催の皇軍武運長久祈願祭執行、十月十八日上海における皇軍の大戦捷で縣下祝賀行事に賑はふ、十一月三日新居濱、金子、高津の三ヶ町村合併し人口三萬三千餘の新居濱市誕生す、十二月南翔墜落で縣下祝賀に沸く、十三日より三日間防空演習を實施す、十二月十五日地方民待望の銅山川分水第一期工事始まる、八日三十名の初代新居濱市議決定す、十一月南京陥落で縣下の祝賀陣賑はふ、十八日縣政開始以來未曾有の膨大豫算九百五萬九千五百七十七圓を丸呑みして通商縣會終る、二十日新居濱初代市長に白石響二郎氏就任、二十一日、日赤縣支部病院戰傷兵の收容を開始し道後公會堂に陸軍温泉療養所設置さる、二十二日國婦健團使松本、木下、前谷三女史前線へ出發す、二十三年一月十四日相前後して行はれる二百二十五市町村議員選舉のトップを切り松山市議選舉行はる、十日東久瀨宮殿下御來縣、新居濱市の住友諸工場を御視察遊ばさる、二月十一日吉田、立間尻兩町村合併す、二十日縣民の赤誠により獻納した海軍機二機の命名式梅津寺で行はる、三月十五日縣民より獻納せる陸軍機第二愛媛號命名式松山市城北練兵場で行はる、十八日縣民代表皇軍慰問使かへる、四月

月一日朝香中將宮殿下御來縣、傷病兵を慰問遊ばさる、十一日安部黨首をむかへ松山で社大黨四國大會開かる、十五日面河觀光道路開通式行はる、十六日閑院宮春仁王妃直子殿下御來縣、戰傷病兵を慰問遊ばさる、二十一日、縣師團共同主催の慰靈祭松山市城北練兵場で行はる、二十九日愛媛報社へ英靈合祀、五月十二日ドイツ少年代表來縣、六月十六日井上松山市長辭職

徳島

十二月八月十三日徳商チーム朝日新聞社主催全國中等學校優勝野球大會四國豫選に優勝、宿望の大繁藤を郷土に飾つたが甲子園の全國大會では十五日紀和の強豪海草中學に敗る、歩兵第二十二旅團長與動し黒岩義勝少將着任、阿波徳島夏の豪華版阿波盆踊りは事變のため中止、十月一日國民精神總動員運動開始に當り清水知事七十五萬縣民に諭告を發した、二十二日徳島市會議員選舉執行、當選三十六(再選二十、新十二、元四)で分野には大した變化はなく、新人の躍進之し、二十九日上海戰大勝祝賀で縣下沸く、十一月一日徳島初市會開き富永正徳氏議長に、立石一輝氏副議長に再選さる、三日明治神宮競技で行道に小松島高女生山中千鶴子、走幅跳に香蘭高女生吉野とよ子の兩嬢それく優勝、スポーツ徳島のため大いに氣を吐く、十二日名東郡縣會議員補選に原田量之氏當選、二十三日波瀾を生

高知

んだ後任徳島市長は藤岡前市長退任後三ヶ月で漸く工藤隆治氏に決定、二十七日淺間少將凱旋、十二月十二日山田庄市氏退任に伴ひ岸野牧夫氏縣會議長に、副議長には立木眞一氏當選、二十五日警察署長大異動、徳島署長に西田永一氏任命、十三年一月十二日縣下に三十年ぶりの強震、二十六日徳島市富田小學校三輪訓導案の行進遊戯が帝都で公演、日本一の折紙をつけらる、二月十六日美馬郡三島村に三名殺傷の兇變、二十日徳島市新設治屋町に九戸全焼、七月半燒の大火あり、原因は同町木村信明が保險金ほしさの放火から、三月一日美馬郡脇町小學校舎放火魔の放火で灰燼に歸す、四月十三日閑院宮妃殿下傷病兵慰問のため御來縣、十七日自治制發布五十周年記念で優良町村として松茂、生比奈兩村、功勞者谷六三郎氏ら九氏内務大臣から表彰さる、五月三十一日阪神、高知定期船湊川丸突噴町沖で沈没、六月十八日朝日新聞社主催全日本健康優良児の縣下一は三木忠夫君(大山村神宅校)坂東悦子さん(徳島市富田校)に決定、二十三日貴族院議員三木與吉郎氏逝去、二十八日柴山縣警察部長山梨縣に榮轉、後任は池田長吉氏青森縣から來任、十二月七月二十日緊急市町村長會開會、知事より事變の重大性を縣下に飛散、二十日中等優勝野球高知縣豫選開幕、二十七日城東中學と高

知商業の優勝戦に高知商業優勝、二十八日香長平野の槍熱病被害四千町歩に及び免稅運動起る、八月二十八日縣軍軍援總會の發會式、九月二十日猛颯風襲來し縣下の被害五百萬圓の見込、十月二十日國民精神總動員第一日に七十萬縣民緊張、二十七、八日上海戰大捷の祝賀催し、十一月十八日戰時下政民の協調裡に通常縣會開く、二十三日縣下防空演習の幕開き二十五日好成績に終了、十二月十七日安藝郡縣議補選に大西、野町兩氏當選、十一月南京陥落の祝賀催し、十七日豫算六百四十七萬圓を無修正可決して縣會閉幕、二十三日縣下の全評系兩組合解散、十三年三月二十四日縣政界の大先輩富田幸次郎氏逝去、四月一日待望の高知開港實現す、八日薩多郡三輪村に四名殺傷事件突發、十四日傷病兵慰問のため閑院宮春仁王妃直子殿下御來縣、十六日松山へ御出發、五月二十日高知開港祝賀式舉行、二十七日大朝社高知通信局後援の中等校體操大會開會、三十一日吉川郡秋山村の名刹種間寺に毒殺事件發覺、六月一日土佐商船湊川丸が徳島縣境沖合で沈没す、二十五日朝日新聞社主催の日本一健康兒童查會で高知市中島町黒岩篤子嬢は准日本一、中村町林玄三君は特選の榮譽を膺ふ

九州地方

福岡

十二年七月一日縣下一齊の邪教狩りで六十八名檢査、有名な筑紫郡大野村の千早眼少女も引かゝる△八月十六日縣稅のうち地租附加稅、特別地稅、雜稅の三稅廢減に決る、廢減稅額七十一萬六千圓△九月一六半出市に赤痢發生し二十九日の確定患者六千名を突破、世界にも珍らしい猛流行ぶりを呈す△十月十一日縣の實行委員決り國民精神總動員實踐へ第一歩を踏み出す△十一月一日新知事は内務省土木局長赤松小直氏に決定、畑山前知事は東京市教育局長に轉ず△十三年一月一福岡市百貨店の夜間營業廢止を實施、一年を通じ夜間は九十五日だけ營業△二月一日福岡少年審判所の事務開始、燃料國策に順應し福岡市の自動車は深夜運轉を二十一日から廢止△三月二十日北支航路第一船白河丸博多港發天津へ向ふ△四月十一日縣下青年團整明運動はじまる、二十八日縣、市、町村長會共同主催の自治制發布五十周年記念式典を福岡市武徳殿で舉行△五月十四日筑紫、朝倉、山門三郡で縣議補缺選舉を執行し筑紫郡有吉勝三郎氏(政友)朝倉郡中島茂喜氏(中立)山門郡増幹一氏(政友)が當選、政府の鑛業法改正委員會特別委員一行は九日から三日間縣下の鑛業被害地を視察、十二日縣廳に開催の鑛業法改正委員會懇談會で地元から鑛業對策を要望、コミンテルンの新裝戰術指令下にある再建共產黨へ

大鐵道下り九州無産者同盟派の幹部ら三十八名檢査の事件三十日記事解禁となる△六月一縣中等學校のグライダー滑空場は中等學生の努力奉仕で福岡市外香椎灣に建設され七日開場式を舉行、八日糟屋郡の海軍燃料廠志免探炭部炭礦でガス爆発し五十名の殉職者を出す十二日夜來縣下一帯に豪雨が襲ひ農作物その他被害額約七百萬圓に上る△七月一日縣下の公立職業紹介所を國營に移管

佐賀

【支那事變關係】十二年七月十一日本縣出身香月清司中將支那駐屯軍司令官となる、二十九日前支那駐屯軍司令官故田代統一郎中將の參謀本部參謀を佐賀市公會堂で舉行△十月六日國民精神總動員佐賀縣實行委員會生る△十二月二日縣出身吉田善吾中將聯合艦隊司令長官に、古賀峰一中將軍令部長に補せらる△十二年二月二十二日陸軍病院佐賀分院の開院式を舉行△四月二十一日皇后陛下御差遣の梨本宮守正王妃伊都子殿下には佐賀陸軍、海軍海軍兩病院の白衣の勇士御慰問のため本縣へ御成り遊ばさる△六月廿四日佐賀縣地方物價委員會生る【縣政】十二年十二月九日、七月の水禍による災害復舊工事費五十六萬九千七百餘圓を通常縣會に追加提案【選舉】十三年六月九日岸川長太郎氏の急死に伴ふ東松浦郡の縣議補缺選舉を執行、民政派の岡崎嘉一郎氏當選【交通】十二年十月一日北九州鐵道の國營移管な

り筑出線として更生【雜】十二年八月一日縣產業會館落成、總工費十八萬餘圓△十月十九日佐賀市岸川町妙覺寺境内において日親上人銅像除幕式を村雲尼公參列のもとに舉行△十一月十七日縣會議事堂の落成式を舉行、總工費十六萬七千二百圓△十三年一月三十日縣立春日山道場落成△二月九日佐賀新北村高等小學校全焼△六月十三日縣下に豪雨あり農作物その他の被害額約百九十萬圓に達す△六月二十五日昭和八年以來紛糾の佐賀商工會議所問題に對し知事より訴願人の請求相立たずとの裁決を下す【人事】十三年一月十一日警察部長今井久氏警保局勤務となり後任は大坂府土木部總務課長島田敬氏△三月三十日縣町村長會長野口能毅氏勇退し後任は瀧川村長南里琢一氏△四月五日眞崎三郎大將歸省、十五日縣町村長會長南里琢一氏逝去、二十日縣醫師會長に毛利源三氏就任

崎長

十二年七月一日縣に農政、農産、體育、工場建築の四課新設さる、五日長崎電信局開局式舉行、縣の諮問機關生産力擴充對策委員會開催、廿日中等野球第二次選出出場校決定、二十二日縣に時局通報委員會新設、二十六日龍風縣下を襲ひ被害百萬圓△八月一五日中等野球九州第二次選の結果、福岡工業代表校と決定六日岡田知事により自衛生活運動提唱さる、支那事變により支那在留邦人體々引揚げを期

始す、十三日大村縣區司令官松本大佐着任△九月七日臨時縣會召集さる△十月十一日國民精神總動員長崎地方實行委員會開かる十八日東亞同文書院臨時開校△十一月二日岡田知事明年度豫算七百七十八萬圓の査定を終る、七日長崎カトリック教區山口新司教の叙階式行はる、二十日通常縣會召集、議長問題で紛糾、二十五日永安氏新議長に就任△十三年一月十日長崎在住華僑新政權に歸屬、十二日新經濟部長松澤美雄氏と決定、十四日縣に地方行政企業委員會新設さる、二十九日川越大使歸國す、三十日縣下の青壯年により自強奉仕團の結成を勸奨す△二月十四日國民長崎領事館臨時閉鎖し任領事ら歸國す、二十三日南高來郡千々石町に大火あり家屋三十五棟全焼△三月一十七日伊國訪日親善使節團來朝第一歩を印す△四月一二日伊國巡洋艦モンテ・クツコリー號入港す、十八日岡田知事傷兵保護院副總裁に榮轉、後任は川西實三氏と決定、十九日久瀨宮大妃殿下傷病兵御慰問のため御來縣遊ばされ廿一日熊本縣に向はせらる、二十六日川西新知事着任△五月一二日長谷川、杉山、大川内三提督凱旋第一歩を印す五日伊國經濟使節團來朝す、十日倉成代議士の死亡により則元卯太郎氏續上當選す、十三日在留華僑により新華僑民團結成さる、三十日優良託兒所表彰式舉行さる△六月一二日健康優良兄弟女六名決定、十二日傷病軍人會

熊本

縣支那總會式舉行さる、二十日長崎縣一健康優良兒は長崎師範附屬小學校三木村路君、島原第二小學校宮崎八重子さんと決定、大村灣に海上刑務所開辦さる、二十一日から四日間にわたる暴風雨により縣下の農作物被害四百七十七萬圓と判明、二十三日縣に職業課新設さる、二十八日望月職業課初代課長着任

熊

十二年八月七日暴支騰飛軍縣支那臨時大會、同日古木醫學士の母親殺し事件發生、十八日第二次對支縣民大會、廿七日防空演習、同日民間飛行場石原に敷地決定△九月一二日臨時縣會、七日六師管下團隊長會議、八日六師および管下地方長官懇談會、二十四日保定陥落に縣下各地歡聲あがる、二十九日大牟田市の爆發的赤痢縣下に飛火し罹患者二百五十名△十月一日市會改選公友二五、政友七、民政一社大一、中立六となる、七日防空演習、十日五高開校五十年記念祭、廿四日谷千城將軍銅像熊本城に建つ△十一月一日市内朝湯廢止四日神宮野球場に熊工優勝、九日縣民の新銃兵器獻納式、十三日吉田司家で双葉山横綱授與式、同日對英防共縣民大會、廿三日通常縣會開幕、豫算一千四百九十九萬圓△十二月十二日南京陥落し提燈行列などで賑ふ、二十七日阿蘇觀光ホテル着上△十三年一月八日在留華僑將政權離脱聲明、卅一日選舉違反容疑の中山元代議士無罪と判決△二月一三日縣下市町

大分

村長會議、四日縣下署長會議、十七日豫算市會廿日防空演習△三月一四日戦死者遺族慰問、廿二日防空演習、三十一日大森仁一郎氏熊本高工校長就任△四月一二日アルコール原料甘藷納入成績悪し、廿八日古木醫學士に長崎控訴院で懲役十五年判決言渡△五月一二日山隈市員任期満了し再選、六日招魂祭、廿一日徐州陥落で縣下旗の波、提燈の海、廿九日横井小楠七十年祭執行△六月一二日縣下の貯蓄目標は前年の倍加、四日球磨川改修工事起工式六日不良學生取締を當局聲明、八日縣下市町村長會議、十日原修氏熊本稅務監督局長就任、廿日連日の霖雨で麥作被害豫想七百萬圓に上る二十六日豪雨襲來し浸水家屋五百戸、ほかに土木被害甚大△七月一日廣北銀行は閉後銀行に合併さる【産業】十三年春豫算六百二十四萬圓、十二年米作百八十五萬八百石、十二年麥作九十八萬五千五百石

第に横溢す、中津市自性寺の雷池大雅の名... 幅竊盗犯人岡本勝吉三年半越しに廿三日宇部市で逮捕さる、大分縣隊長藤田定市大佐は第六師團司令部附に轉じ後任は第三師團司令部附長谷川正憲大佐に決定二十六日發表さる

崎宮

連勝の記録を樹立、大分市議選舉三十一日執行、民政十二、政友八、聯盟八、中立七、社大一の分野となる六月十三日の初市會で小野廉氏大分市長に當選す

鹿兒島

十二年七月一縣廳部長級異動、田島總務勇退して後任山内義文氏、坂警署長玉へ後任西井一孝氏、森本經濟勇退、後任堀口功氏、時局認識縣市民大會、早魁(植付不能五千町歩)ついで豪雨により洪水、再度颶風來(浸水床下三萬戶住家全半潰五百戸、損害四十萬圓)八月一

沖繩

二百四十五百八十一棟、損害十七萬圓、九名死傷、罹災者一千五百名に達す三月一鹿兒島國際飛行場起工式、開業青年隊誕生、肝屬郡牛根海岸に大水柱の異變、原因迷宮入り、警野學務部長轉出、後任伊藤秀警氏、宮崎檢事正勇退、後任佐藤伊惣治氏、署長異動四月一教員異動小學校八百名、海軍人事部

澤町一帯全焼住家七七、非住家二〇、半燒二棟を出す十一月二十二日非常時下の通常縣會開かる十二月二日延岡火災全年燒十一月、廿一日縣會開會、七百九十五萬圓の豫算無修正で通過三月十一日一閣内學務部長秋田縣に轉じ神奈川縣秘書課長から上塚弘氏着任、三十日縣警電氣實現のため臨時縣會開會二月十四日白晝延岡市にまた復大火、二十一棟を全半燒、七日ナチス青年團代表シユルツエ氏一行來宮、各神社に參拜、祖國振興隊の奉仕作業を視察、十七日小丸川水利權認可され縣電第一歩を踏出す、二十五日宮崎市大火、常設映畫館帝國館など十六戸全半燒三月十四日臨時縣會を開き縣電事業豫算一千七百四十五萬八千圓成立、二十四日都城市長會木重貴氏辭職、三十一日教員大異動一千名動く四月二日都城飛行場に西部訓練大會舉行、四國、九州の雛鷺五十餘名參加、十八日新田經濟部長厚生省に轉じ多田雄次郎氏鹿島縣農務課長より轉任、二十一日警野警察部長休職、福岡縣農務課長本田忠男氏來任、二十六日皇后陛下の有難き思召を奉じ久邇宮大妃殿下都城陸軍病院に白衣の勇士を御慰問、宮崎市御一泊五月二十四日縣電建設部の陣容整備、二十七日西部訓練大會終了、五十餘名の雛鷺集立つ六月十六日型破り警察署長會議を開會、銃後強化の大方針を決定

作物被害甚大十一月三日那覇市の電話共電式、五日ガソリン満載の貨物船大安丸(二六四ト)島尻郡南端沖航行中爆沈、損害五十萬圓、二十八日通常縣會召集、百九十四萬一千六百餘圓の縣費豫算可決、卅日助役改選的那覇市會開かれ當間重剛氏再選十二月一四日十三年度沖繩振興事業費豫算決定總額二百卅二萬餘圓、前年より十五萬餘圓減、五日日米親善を日指し縣下のアメリカカ生れ二世達百餘名が星條二世俱樂部を組織、十四日南京陷落祝賀會および提燈行列を各地で開催、六十萬縣民の歡喜爆發、二十四日沖繩教育疑獄事件新聞記事解禁、關係者二百餘名、縣教育界に大動搖を與ふ二十三年一月二十五日那覇放送局設置認可さる、二十九日縣會の要望容れ縣では糖業、社會教育、臨時軍事援護の三課を新設、人事異動を斷行三月二十日首里市市長選舉で伊豆見元永氏當選四月十七日盛島代議士の選舉違反事件大審院で上吉棄却、小田榮氏(社大)繰上當選、七日移民史に燦と輝く北島開殺の恩人故大城孝藏氏胸像除幕式を那覇市開洋會館で開催五月三十日小學校教員ら十三名の共產黨事件記事解禁、首魁三名起訴六月十五日員那覇市防護團を結成、十五日十四年度沖繩振興事業費豫算は六百卅八萬圓要求に決定、一村一社の招魂社建設、二十四日藏重知事鹿兒島縣へ榮轉、後任は廣島縣總務部長瀨上房太郎氏



# 本日の名所



## タカラヅカ

大阪より僅か半時間で行けます

**寶塚少女歌劇**

年中休みなし上演

於 寶塚大劇場

寶塚新温泉

寶塚動物園

寶塚植物園

寶塚ルナパーク

共通 入場料 卅 錢

お子達 半額

# 阪急電車

市 都

我國に初めて市制が發布されたのは明治二十一年四月十七日で翌二十二年四月一日より施行せられ、當時人口二萬五千以上の都會三十九を選んで市とした。これらの市は昭和十三年をもつて市制施行滿五十年に達した。その後人口の標準を三萬以上と改めたにも拘はらず、昭和十三年八月末現在で市の數百四十八となつた。そのほか市域の擴張を實現したものの最近一ケ年の間にも五十市を越え我國都市の膨脹發展はまことに刮目に値する。都市増加の大勢を數字的に示すと(各年末)

明治二十二年	三〇	昭和五年	一〇九
同三十二年	三三	同九年	一三三
同四十二年	三六	同一〇年	一四六
大正二年	三九	同一年	一五九
同九年	四二	同二年	一七二
同十四年	四五	同三年	一八五

(八月末現在)

外地はこの數字に加へないが、樺太にも十二年四月一日市制が發布され、七月一日から

都市大觀



豊原に施行した。市の數が増加するのみでなく、實質的に見て面積も人口も非常な勢ひをもつて膨脹しつつある。これは町村が膨脹して市となるのみでなく、内務省の獎勵に基づき地方廳が活動して町村の合併、または市の隣接町村編入が盛んに行はれ、形式的には都市膨脹となり、一面大勢を成す人口の都市集中の傾向と相まつて、左の如き勢を成すにいたつた。

市	大正二年	昭和十年	十三年
市	三、六三三	一、二〇〇	一、三六〇
町	一、一四三	一、一六三	一、一七三
村	三、六三三	二、一〇〇	二、一七〇

また人口を市都別に觀察すると(國勢調査單)

位千人	市數	市部人口	郡部人口	市部比
大正九年	八三	一、〇〇六	四、八六六	一八・〇
同十四年	一〇一	一、八六六	六、八六六	二一・〇
昭和五年	一〇九	一、五〇四	七、〇〇四	二一・〇
同十年	一三三	三、六六五	八、六六五	四一・七

右のごとく昭和五年を轉機として郡部人口の絕對數は減退しはじめ、昭和十年のごとき遂に市部人口は總人口の三分の一に近づいて來た。これは隣接町村の都市編入と、新しい市の増加も要因ではあるが、人口と富との都市集中の現象がいかに加速度的に増進しつつあるかを窺ふにたるものがある。この顯著なる社會の都市化現象を各國のそれと比較する一助として左表を示す。これによると我國人口の都市集中は既にフランス、イタリー、ロシアを凌駕し人口は都市に集中しつつあるのである。

總人口一〇〇	一萬一	二萬一	五萬一	十萬
に對し下記各	一萬	二萬	五萬	十萬
階級市町村人	未滿	二萬	五萬	十萬
口割合				以上
日本内地	五・三	八・九	七・三	六・八
朝鮮	三・五	三・六	五・九	〇・八
台灣	一・一	九・九	六・一	七・七
イギリス	三・七	八・四	二・九	八・八
フランス	六・七	七・五	八・四	六・七
ドイツ	七・〇	七・〇	七・七	七・七
イタリー	四・五	一・四	三・四	六・七

市 都

ロシア 八〇・一 三八 二八 二八 六五  
 アメリカ 五五 五五 七〇 五五 二九六  
 (備考) 調査年次は日本米國一九三〇年、英佛一  
 九三二年、獨一九三三年、ロシア一九二六年  
 また産業別人口によつて都市と郡部とを比較  
 してみると左の通りである。(この調査は東京  
 市の大擴張以前に屬し、新市域の人口は郡部となつ  
 てる)

昭和五年國勢調査産業及職業別  
 人口比較(單位千人)

産業	全國	市部	郡部
總人口	六〇、四〇〇	一五、四四〇	四五、〇〇〇
農 業	一四、一三三	三六	一三、六六六
水 産	五、六	五	五八
工 業	一、一三一	一三	一、〇〇〇
商 業	五、八七五	二、三三七	三、五〇〇
交 通	四、〇五五	二、二二五	一、八三〇
公 務	九、〇〇〇	四、〇〇〇	五、〇〇〇
家 事	八、〇〇〇	一、〇〇〇	七、〇〇〇
其 他	七〇	〇	七〇
無業者	六、六六六	三、〇〇〇	三、六六六
以上合計	五〇、八八七	一五、四四〇	三五、四四七

歳出から見ると、昭和十  
 二年度一四一市の豫算歳出總計九四六、二〇  
 四千圓(前年に比し八六、九八五千圓増加)こ  
 のうち六大都市のそれが七一九、九〇二千圓  
 を占めてゐる。明治卅八年の市部豫算總額が

市 都

取引所營業稅附加稅	三三四	100
特別地稅附加稅	一三三	一
家屋稅附加稅	五、六六六	七、七〇〇
營業稅附加稅	七、〇〇〇	一、一〇〇
雜種稅附加稅	三、七二七	一、四二六
段別割	三、三三三	三三
戶數割	二、二二二	一
戶別割	一、一一一	六
家屋割	四、三三三	四、三三三
所得稅	五、五五五	二、二二二
其他	五、八八八	五、八八八
稅收入合計	一八、〇〇〇	一三、一八一
△稅外收入	九、一七七	六、六六六
財產收入	二、二二二	二、二二二
使用料及手数料	三、三三三	三、三三三
國稅徵收交付金	二、二二二	二、二二二
道府縣稅徵收交付金	三、三三三	三、三三三
國庫下渡金	一、一〇〇	一、一〇〇
國庫補助金	二、二二二	二、二二二
道府縣補助金	六、六六六	六、六六六
前年度繰越金	四、四四四	四、四四四
寄附金	五、五五五	五、五五五
市債	七、七七七	七、七七七
納付金	八、八八八	八、八八八
報償金	九、九九九	九、九九九
繰入金	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
財產賣拂代	一一、一一一	一一、一一一

二四、四三三千圓であつたことを考へると、昭  
 和二年度の市歳出豫算總額は百貳市合計六  
 九〇、二二二千圓であつたが、十一年度には  
 此間新に市制を施行した二十七市を加へて百  
 貳拾九市合計八五九、二一九千圓を約二四％  
 の増加を示した。この増額のうち一五、四五  
 九千圓が新市二十七市の歳出であり、八  
 六、一六二千圓は六大都市の歳出増加により  
 殘額六七、三七六千圓はその他の都市の歳出  
 増加によるのである。もつて都市の中でも特  
 に六大都市の歳出膨脹が如何に大であるかと  
 判る。これを費目別にみると

市歳出費目別  
 (昭和十二年豫算—單位千圓)

教育費	一四一市	六六都市
土木費	一、九七七	一、〇七〇
衛生費	八、八八三	六、七三三
勸業費	一三、八八〇	八、七五〇
社會事業費	一、九七七	六、〇三三
電氣瓦斯事業費	三、九六六	一、九一三
都市計畫費	三、七〇六	一、九二一
役場費	三、三三三	三、三三三
會議費	三、三三三	三、三三三
警備費	三、三三三	一、八二九
公債費	三、三三三	三、三三三
諸稅及負擔	三、三三三	四、三三三

積立金及基本  
 財產造成費  
 其他諸費  
 歳出總計  
 一方歳入はその中樞たる市稅收入において  
 昭和二年度は豫算總額一、二〇〇、七六一千圓で  
 あつたものが十二年度には一、八八八、四〇二と  
 約五六％の増加を示した。この大増収の内容  
 を見るに家屋稅附加稅の増加が最も顯著で二  
 七、七五九千圓を増し、地租附加稅、雜種附  
 加稅、戶數割などがこれに次いで増加し、一  
 般に大眾負擔の増加が比較的に大であること  
 を示してゐる。

市歳入細目  
 (昭和十二年豫算—單位千圓)

地租附加稅	一四一市	六六都市
營業收益稅附加稅	一、九七七	一、〇七〇
所得稅附加稅	八、八八三	六、七三三
營業稅附加稅	一三、八八〇	八、七五〇
雜種稅附加稅	三、九六六	一、九一三

雜收入  
 稅外收入合計  
 歳入總計  
 都市計畫法  
 大正八年四月都市計畫法及  
 び市街地建築物法が制定せられ、都計法は同  
 九年一月一日より、建築物法は同年十二月一  
 日より六大都市に施行せられたが漸次中小都  
 市におよび、昭和八年三月末には全國百十一  
 市中百五市まで適用を見るに至り、昭和八年  
 三月都計法大改正により市は指定をまたず、  
 當然都計法の適用を受けることになり、町村  
 に限り内務大臣の指定により適用されること  
 となり、同年五月十日實施された。町村にて  
 指定を受ける規格は(一)人口増加顯著なるも  
 の(二)人口一萬人以上のもの(三)温泉地、海  
 水浴場、史蹟地、遊覽地などを有するもの  
 (四)港灣の修築、工場、停車場などの設置に  
 伴ひ市街地の構成せられんとするもの  
 四つで該當町村は全國に一千以上上つてゐ  
 るが、昭和十二年五月一日現在で指定町村は  
 三四四であつた。なほ改正前は都計區域は必  
 ずしも市町村の區域に限らず隣接町村を區域  
 内に包含することができたのと、大都市構成  
 の風潮から東京市の地域約六倍、人口七百萬  
 をはじめ大體左の如き目標をもつて集中主義  
 の計畫方針を樹立した。

東京	六〇	七〇〇萬
大阪	四〇	三〇〇萬
京都	九〇	一六〇萬
名古屋	四〇	一三〇萬
神戸	三五	一六〇萬
横濱	四五	一三〇萬

市名 郡計包容地域 豫想人口  
 東京 六〇 七〇〇萬  
 大阪 四〇 三〇〇萬  
 京都 九〇 一六〇萬  
 名古屋 四〇 一三〇萬  
 神戸 三五 一六〇萬  
 横濱 四五 一三〇萬

その後この集中主義の市民生活の禍害を報告  
 せられるやうになつたのと、都計法改正によ  
 つて市町村の區域と一致するのが原則となつ  
 て來たため、一轉して市町村の協力によるい  
 はゆる地方計畫の時代に移行せんとしてゐ  
 る。これは一都市の單位に止まらず數府縣、  
 または數都市にわたる大地方計畫なるものと  
 なり、この具體化しつゝあるものは東京を中  
 心に半径一二八キロの地域一府六縣にわたる  
 地域の健全なる發達と防空にも備へようと  
 する東京地方計畫、福岡縣の門司、小倉、八  
 幡、戸畑、若松の五都市を連れた地方計畫な  
 どがそれであるが、この福岡縣の五都市は合  
 併して大都市となす計畫が進められてゐる。

都市防空 今後の戰爭においては必然  
 的に都市の空襲が豫想せられる。従つて都市  
 をいかに防護するかは今や緊切な問題となつ  
 て來た。政府は第七十議會に防空法案を提  
 出、異議なく可決され、昭和十二年十月一日

市 都

から實施された。その防空計畫の具體的方針は次の如くで緊急を要するものから順次實行に移すことになつてゐる。

- 一、防空陣地の配備、その聯絡、幹線道路網の實現、架空式各種通信機關の地下埋設
- 二、各種建築物の新築、改築に際し、形態、色彩、光澤等の特異性をなくする
- 三、爆弾の被害率を減らすため工業生産力の都市集中を改め分散的配置とする
- 四、重要建築物には防弾屋根、防弾壁、制動床構造等の設備をなし、高層建築物には耐震性を保持せしめる
- 五、焼夷彈の被害を少くするため細防火區の設定、空地の保有、都市防火壁の築造、消火施設の充實
- 六、毒瓦斯の被害を少くする恒風の方向、地形等を考慮して道路網計畫を樹立する
- 七、毒瓦斯防禦のため瓦斯検査所、消毒所等を各地に配置し地下室には防護室を特設する
- 八、市民避難を迅速ならしめるため避難放射道路の實現

國土計畫

都市計畫法發布せられてからすでに十八年、その適用區域の範圍も年とともに擴張せられて來たが、時代の要求はさらに單に都市を中心とする區域のみでなく農村僻地をも覆らず含んだ國土全般にわたつて総合的計畫樹立の必要が叫ばれるにいたり最近毎年の全國都市計畫協議會においてはゆ

る國土計畫が討議せられてゐる。

都市美化運動

都市美化運動は近年著しき進歩を示し、その主流をなしてゐる都市美協會では年中行事の植樹祭のほか昭和十一年十一月月上旬には都市美強調週間を催して全國各都市における都市美の達成、都市美の排除に相當の成績を挙げ、十二月五月には東京に第一回都市美協議會を開催し都市美と都市環境改善に關する諸問題を協議した。なほ東京においては萬國博ならびにオリンピック大會を控へて官民協力の下に電柱の撤去、廣告看板の取締等を実施することとなり、すでに新橋、日本橋間においては共同溝を設置して一切の架空線をこの中へ埋設し電柱を一掃することとなつた。

東京都制案

人口六百萬を超える巨大都市が人口數萬の小都市と同一の法規「市制」によつて規律せられることは都市の經營上合理的でないところから東京市をしてこの市制の縛りを脱せしめ東京都制といふ特別法を新たに設けたいといふのが都制案の主張で、これは明治二十一年市制制定の當時から爾來五十年の久しきにわたる懸案である。しかもこれは單に東京のみの問題でなく、他の五大都市にもかつて特別市制制定の要望があり、東京都制は大都市特別市制の先驅をなすものと見られ、特に注目されてゐるのである。この

久しい懸案もいよいよ第七十四議會には提出される豫定で、地方局で十三年六月その基礎案を完成、同月二十九日開催の地方制度調査會都制案特別委員會に提出、これが審議を急ぐこととなつた。今回の地方局案は都の區域は現在の東京府の區域により、都長官は官吏をもつて、都の議決機關として府縣の參事會に準ずる如き都參事會設置を中止し新たに都參與を設けて都會と都長官との間の公正な中間機關として兩者の相剋摩擦を緩和せしめんとしてゐるのが注目されてゐる。その他理事、專門委員、審査會制度なども從來の案に見ないものがあるが、都の下級組織として區の下に町會を認めることとしたのも今回の案の特徴である。

公營事業

昭和十年度末の調査によれば主なる公營事業は左の如くである。

- 市營軌道事業（電鐵）十一市
- 六大都市、仙台、札幌、熊本、鹿兒島、富山市營バス（二十一市）
- 六大都市、札幌、熊本、鹿兒島、佐世保、小倉、徳島、青森、富山、若松（福岡縣）山形、今治、松江、一宮、尾道、首里
- 市營電氣供給事業（九市）（ほかに縣營六）
- 東京、大阪、京都、神戸、仙台、金澤、静岡、都城、酒田
- 市營瓦斯事業（七市）
- 横濱、金澤、久留米、宇部、福井、松江、高田

全國都市一覽

（一四八市）昭和十三年九月末日現在

市 都

市名(道府縣)	昭和十三年十月一日國勢調査		昭和五年		大正九年		市制施行年月日
	月推計人口	人口總數	男	女	世帯數	同人口	
東京(東京)	3,770,000	3,770,000	1,910,000	1,860,000	1,150,000	1,150,000	明治三・一
大阪(大阪)	2,330,000	2,330,000	1,180,000	1,150,000	700,000	700,000	明治三・一
名古屋(愛知)	1,280,000	1,280,000	650,000	630,000	370,000	370,000	明治三・一
京都(京都)	1,130,000	1,130,000	580,000	550,000	310,000	310,000	明治三・一
神戸(兵庫)	980,000	980,000	500,000	480,000	270,000	270,000	明治三・一
横濱(神奈川)	870,000	870,000	450,000	430,000	240,000	240,000	明治三・一
廣島(廣島)	860,000	860,000	440,000	420,000	230,000	230,000	明治三・一
福岡(福岡)	800,000	800,000	410,000	390,000	220,000	220,000	明治三・一
吳(廣島)	780,000	780,000	400,000	380,000	210,000	210,000	明治三・一
八幡(福岡)	770,000	770,000	390,000	370,000	200,000	200,000	明治三・一
仙台(宮城)	760,000	760,000	380,000	360,000	190,000	190,000	明治三・一
長崎(長崎)	750,000	750,000	370,000	350,000	180,000	180,000	明治三・一
函館(北海道)	740,000	740,000	360,000	340,000	170,000	170,000	明治三・一
靜岡(靜岡)	730,000	730,000	350,000	330,000	160,000	160,000	明治三・一
札幌(北海道)	720,000	720,000	340,000	320,000	150,000	150,000	明治三・一
札幌(北海道)	710,000	710,000	330,000	310,000	140,000	140,000	明治三・一
横濱(神奈川)	700,000	700,000	320,000	300,000	130,000	130,000	明治三・一
熊本(熊本)	690,000	690,000	310,000	290,000	120,000	120,000	明治三・一
佐世保(長崎)	680,000	680,000	300,000	280,000	110,000	110,000	明治三・一
金澤(石川)	670,000	670,000	290,000	270,000	100,000	100,000	明治三・一
鹿兒島(鹿兒島)	660,000	660,000	280,000	260,000	90,000	90,000	明治三・一
和歌山(和歌山)	650,000	650,000	270,000	250,000	80,000	80,000	明治三・一
川崎(神奈川)	640,000	640,000	260,000	240,000	70,000	70,000	明治三・一
岡山(岡山)	630,000	630,000	250,000	230,000	60,000	60,000	明治三・一

各市歳出一覽

市名	昭和十二年度豫算(内務省地方財)
札幌	5,750,000
函館	4,900,000
小樽	4,600,000
旭川	4,600,000
室蘭	4,600,000
釧路	4,600,000
帯廣	4,600,000
青森縣	4,600,000
弘前	4,600,000
青森	4,600,000
八戸	4,600,000
岩手縣	4,600,000
盛岡	4,600,000
釜石	4,600,000
宮城縣	4,600,000
仙台	4,600,000
石巻	4,600,000
秋田縣	4,600,000
秋田	4,600,000
山形縣	4,600,000
山形	4,600,000





市 都

福島(福島)	若松(福島)	尾道(廣島)	半田(愛知)	浦和(埼玉)	直方(福岡)	船橋(千葉)	明石(兵庫)	豊中(大阪)	三原(廣島)	岸和田(大阪)	平塚(神奈川)	飯塚(福岡)	米子(鳥取)	徳島(徳島)	釜石(岩手)	鶴岡(山形)	桑名(三重)	東舞鶴	津山(岡山)	松山(愛媛)	倉敷(岡山)	岡谷(長野)	三條(新潟)	徳島(徳島)
昭和三十二年十月推計人口	昭和三十二年十月推計人口	昭和三十二年十月推計人口	昭和三十二年十月推計人口	昭和三十二年十月推計人口	昭和三十二年十月推計人口	昭和三十二年十月推計人口	昭和三十二年十月推計人口	昭和三十二年十月推計人口	昭和三十二年十月推計人口	昭和三十二年十月推計人口	昭和三十二年十月推計人口	昭和三十二年十月推計人口	昭和三十二年十月推計人口	昭和三十二年十月推計人口	昭和三十二年十月推計人口	昭和三十二年十月推計人口	昭和三十二年十月推計人口	昭和三十二年十月推計人口	昭和三十二年十月推計人口	昭和三十二年十月推計人口	昭和三十二年十月推計人口	昭和三十二年十月推計人口	昭和三十二年十月推計人口	昭和三十二年十月推計人口
男	男	男	男	男	男	男	男	男	男	男	男	男	男	男	男	男	男	男	男	男	男	男	男	男
女	女	女	女	女	女	女	女	女	女	女	女	女	女	女	女	女	女	女	女	女	女	女	女	女
世帯数	世帯数	世帯数	世帯数	世帯数	世帯数	世帯数	世帯数	世帯数	世帯数	世帯数	世帯数	世帯数	世帯数	世帯数	世帯数	世帯数	世帯数	世帯数	世帯数	世帯数	世帯数	世帯数	世帯数	世帯数
昭和五年	昭和五年	昭和五年	昭和五年	昭和五年	昭和五年	昭和五年	昭和五年	昭和五年	昭和五年	昭和五年	昭和五年	昭和五年	昭和五年	昭和五年	昭和五年	昭和五年	昭和五年	昭和五年	昭和五年	昭和五年	昭和五年	昭和五年	昭和五年	昭和五年
大正九年	大正九年	大正九年	大正九年	大正九年	大正九年	大正九年	大正九年	大正九年	大正九年	大正九年	大正九年	大正九年	大正九年	大正九年	大正九年	大正九年	大正九年	大正九年	大正九年	大正九年	大正九年	大正九年	大正九年	大正九年
市制施行年月日	市制施行年月日	市制施行年月日	市制施行年月日	市制施行年月日	市制施行年月日	市制施行年月日	市制施行年月日	市制施行年月日	市制施行年月日	市制施行年月日	市制施行年月日	市制施行年月日	市制施行年月日	市制施行年月日	市制施行年月日	市制施行年月日	市制施行年月日	市制施行年月日	市制施行年月日	市制施行年月日	市制施行年月日	市制施行年月日	市制施行年月日	市制施行年月日

大阪府	京都府	京都府	京都府	京都府	京都府	京都府	京都府	京都府	京都府	京都府	京都府	京都府	京都府	京都府	京都府	京都府	京都府	京都府	京都府	京都府	京都府	京都府	京都府	京都府
1,279,330	1,279,330	1,279,330	1,279,330	1,279,330	1,279,330	1,279,330	1,279,330	1,279,330	1,279,330	1,279,330	1,279,330	1,279,330	1,279,330	1,279,330	1,279,330	1,279,330	1,279,330	1,279,330	1,279,330	1,279,330	1,279,330	1,279,330	1,279,330	

市 都

秋田(秋田)	郡城(宮城)	四日市(三重)	福山(廣島)	川口(埼玉)	高岡(富山)	刈路(北海道)	一宮(愛知)	奈良(奈良)	郡山(福島)	防府(山口)	大垣(岐阜)	松江(島根)	宇治山田(三重)	今治(愛媛)	米澤(山形)	沼津(静岡)	弘前(青森)	佐賀(佐賀)	瀬戸(愛知)	宇和島(愛媛)	足利(石川)	市川(千葉)	鳥取(鳥取)
昭和三十二年十月推計人口	昭和三十二年十月推計人口	昭和三十二年十月推計人口	昭和三十二年十月推計人口	昭和三十二年十月推計人口	昭和三十二年十月推計人口	昭和三十二年十月推計人口	昭和三十二年十月推計人口	昭和三十二年十月推計人口	昭和三十二年十月推計人口	昭和三十二年十月推計人口	昭和三十二年十月推計人口	昭和三十二年十月推計人口	昭和三十二年十月推計人口	昭和三十二年十月推計人口	昭和三十二年十月推計人口	昭和三十二年十月推計人口	昭和三十二年十月推計人口	昭和三十二年十月推計人口	昭和三十二年十月推計人口	昭和三十二年十月推計人口	昭和三十二年十月推計人口	昭和三十二年十月推計人口	昭和三十二年十月推計人口
男	男	男	男	男	男	男	男	男	男	男	男	男	男	男	男	男	男	男	男	男	男	男	男
女	女	女	女	女	女	女	女	女	女	女	女	女	女	女	女	女	女	女	女	女	女	女	女
世帯数	世帯数	世帯数	世帯数	世帯数	世帯数	世帯数	世帯数	世帯数	世帯数	世帯数	世帯数	世帯数	世帯数	世帯数	世帯数	世帯数	世帯数	世帯数	世帯数	世帯数	世帯数	世帯数	世帯数
昭和五年	昭和五年	昭和五年	昭和五年	昭和五年	昭和五年	昭和五年	昭和五年	昭和五年	昭和五年	昭和五年	昭和五年	昭和五年	昭和五年	昭和五年	昭和五年	昭和五年	昭和五年	昭和五年	昭和五年	昭和五年	昭和五年	昭和五年	昭和五年
大正九年	大正九年	大正九年	大正九年	大正九年	大正九年	大正九年	大正九年	大正九年	大正九年	大正九年	大正九年	大正九年	大正九年	大正九年	大正九年	大正九年	大正九年	大正九年	大正九年	大正九年	大正九年	大正九年	大正九年
市制施行年月日	市制施行年月日	市制施行年月日	市制施行年月日	市制施行年月日	市制施行年月日	市制施行年月日	市制施行年月日	市制施行年月日	市制施行年月日	市制施行年月日	市制施行年月日	市制施行年月日	市制施行年月日	市制施行年月日	市制施行年月日	市制施行年月日	市制施行年月日	市制施行年月日	市制施行年月日	市制施行年月日	市制施行年月日	市制施行年月日	市制施行年月日

上田	岡谷	飯田	岐阜	大垣	高山	静岡	沼津	清水	熱海	愛知	名古屋	豊橋	岡崎	一宮	半田	津	四日市	宇治山田	松阪	桑名	滋賀
1,279,330	1,279,330	1,279,330	1,279,330	1,279,330	1,279,330	1,279,330	1,279,330	1,279,330	1,279,330	1,279,330	1,279,330	1,279,330	1,279,330	1,279,330	1,279,330	1,279,330	1,279,330	1,279,330	1,279,330	1,279,330	1,279,330

市 都

Table with columns for city names (e.g., 山口, 新居濱, 川越), population counts for various years (昭和十年, 大正九年), and administrative dates. Includes a note about the survey methodology.

Summary table listing population figures for various prefectures and counties (e.g., 米子, 島根, 松江, 岡山).

朝 鮮

Table listing population data for various cities in Korea (e.g., 京城, 釜山, 大邱, 仁川) with columns for city name, population, and administrative status.

Table listing population data for cities in Taiwan (e.g., 台北, 台中, 台南, 嘉義) with columns for city name, population, and administrative status.

Table listing population data for various villages in Taiwan (e.g., 真岡町, 知取町, 泊居町) with columns for village name, population, and administrative status.

市 都

Table listing population data for various cities in Taiwan (e.g., 基隆, 台北, 台南, 高雄) with columns for city name, population, and administrative status.

市 部

Table of population data for various municipalities on page 534. Columns include municipality names (e.g., 藤澤町, 茅ヶ崎町), population counts, and gender breakdowns. Includes a note about the survey date: (昭和五年十月一日國勢調査)

大 都 市 の 晝 間 人 口

晝間人口は地域外への通勤者及通學者と地域外上りの通勤者及通學者との差を調査人口に加減したるものである (昭和五年十月一日國勢調査)

Table of population data for various municipalities on page 535. Columns include municipality names (e.g., 北花, 此花, 東花), population counts, and gender breakdowns. Includes a note about the survey date: (昭和五年十月一日國勢調査)

市 都

Table of city populations for the right page, listing cities like 四谷, 牛込, 小石川, etc., with their respective population figures and survey years.

列國大都市の人口

世界において人口三十萬以上の大都市は百七十七で、そのうち百萬以上のもの三十八、二百萬以上は十一で、ニューヨークの七百二十七萬第一位にあり、東京は昭和七年十月一日の市域擴張により六百二十七萬を算して一躍第二位を占め、ベルリンの四百二十五萬、ロンドンの四百十四萬、上海の三百七十六萬、モスコの三百六十四萬、シカゴの三百六十一萬、大阪の三百二十一萬などこれにく。

Table of world city populations, including rankings (順位), city names, and population figures for major cities like ニューヨーク, 東京, ベルリン, etc.

市 都

Table of city populations for the left page, listing cities like 京(中), 京(日), 京(獨), etc., with their respective population figures and survey years.

二三	スウェーデン(ソ聯)	一九三〇	四〇〇
二四	チーリー(印)	一九三〇	四〇〇
二五	シンガポール(海植)	一九三〇	四〇〇
二六	東京	一九三〇	四〇〇
二七	南(中)	一九三〇	四〇〇
二八	チニスボルグ(獨)	一九三〇	四〇〇
二九	ベルフアスト(英)	一九三〇	四〇〇
三〇	ジュットガルト(獨)	一九三〇	四〇〇
三一	タヴイア(蘭印)	一九三〇	四〇〇
三二	ホー(印)	一九三〇	四〇〇
三三	フリス(ソ聯)	一九三〇	四〇〇
三四	カンサス・シチー(米)	一九三〇	四〇〇
三五	レ(伊)	一九三〇	四〇〇
三六	リス(英)	一九三〇	四〇〇
三七	ニルンベルヒ(獨)	一九三〇	四〇〇
三八	ウツペルタル(獨)	一九三〇	四〇〇
三九	州(中)	一九三〇	四〇〇
四〇	ラング(印)	一九三〇	四〇〇
四一	スライグランド(ソ聯)	一九三〇	四〇〇
四二	イ(ナイ)	一九三〇	四〇〇
四三	パダ(ナイ)	一九三〇	四〇〇
四四	ガ(ラトヴィア)	一九三〇	四〇〇
四五	ドニエプロベト(ソ聯)	一九三〇	四〇〇
四六	フスク	一九三〇	四〇〇
四七	インディアナポリス(米)	一九三〇	四〇〇
四八	大	一九三〇	四〇〇
四九	津(關東州)	一九三〇	四〇〇
五〇	アト(ル(米))	一九三〇	四〇〇
五二	州(中)	一九三〇	四〇〇
五三	サン・サルヴァド(伯)	一九三〇	四〇〇
五四	ル(バイア)	一九三〇	四〇〇
五五	イクトリア(香港)	一九三〇	四〇〇
五六	マ(比律賓)	一九三〇	四〇〇
五七	ヴァレンシア(西)	一九三〇	四〇〇
五八	フウイス(米)	一九三〇	四〇〇
五九	ラバ(蘭印)	一九三〇	四〇〇
六〇	イスヴィル(米)	一九三〇	四〇〇
六一	ラト(ソ聯)	一九三〇	四〇〇
六二	ブレイメン(獨)	一九三〇	四〇〇
六三	ロチエスタ(米)	一九三〇	四〇〇
六四	ムニツツ(獨)	一九三〇	四〇〇
六五	ケニスベルヒ(獨)	一九三〇	四〇〇
六六	フ(イ)	一九三〇	四〇〇
六七	ポルト・アレグレ(伯)	一九三〇	四〇〇
六八	ジャージンチ(米)	一九三〇	四〇〇
六九	ゲルゼンキル(獨)	一九三〇	四〇〇
七〇	島(日)	一九三〇	四〇〇
七一	コ(米)	一九三〇	四〇〇
七二	キングストン(ア(英))	一九三〇	四〇〇
七三	ボン・ハル	一九三〇	四〇〇
七四	グデブルグ(獨)	一九三〇	四〇〇
七五	員(中)	一九三〇	四〇〇
七六	テ(イラン)	一九三〇	四〇〇
七八	チューリッヒ(瑞西)	一九三〇	四〇〇
七九	ポオ(波)	一九三〇	四〇〇
八〇	デレイド(豪)	一九三〇	四〇〇
八一	ポートランド(米)	一九三〇	四〇〇
八二	ボ(獨)	一九三〇	四〇〇
八三	アマダバード(印)	一九三〇	四〇〇
八四	ベ(伯)	一九三〇	四〇〇
八五	ラ(ス(米))	一九三〇	四〇〇
八六	ラ	一九三〇	四〇〇
八七	ヴォシヒルスク(ソ聯)	一九三〇	四〇〇
八八	福	一九三〇	四〇〇
八九	封(中)	一九三〇	四〇〇
九〇	レ(米)	一九三〇	四〇〇
九一	パンガロ(印)	一九三〇	四〇〇
九二	プリスベ(獨)	一九三〇	四〇〇
九三	セントポール(米)	一九三〇	四〇〇
九四	オンクラ(米)	一九三〇	四〇〇
九五	南	一九三〇	四〇〇

# 六大都市



## 東京市

### 沿革

東京といへば江戸、江戸といへば武蔵野の昔を回顧する。人口六百三十萬、世界第二の大都會を誇る東京市も千餘年の昔は「あづま」と呼ばれた草深い荒野に過ぎなかつた。江戸の名は隅田川口に位し江の門戸であるところからこゝに住んでゐた秩父四郎重繼がその庄を江戸といひ自ら江戸氏と稱したに始まる。その子太郎重長は治承四年源頼朝を石橋山に攻め、のち頼朝に降り武蔵の國を治めたが室町時代にその勢は衰へた。以來久しく顧みられなかつたこの荒野が、關東、奥羽の咽喉を扼し水陸交通の便を兼ねた形であることを發見したのは關東管領扇ヶ谷定正の家臣太田持資入道道灌で、遂に長應元年四月武蔵野の一角に江戸城を築き、帝都、大東京の礎石とした。今から四百八十二年前のことである。道灌の治政三十年、次第に繁榮して關東樞要の市街となつたものゝ文明十八年道灌歿し、

上杉氏、北條氏に敗れてその繁華は小田原に奪はれた。かくてまた百餘年後の天正十八年八月一日徳川家康關八州の領主となり江戸を居城と定め續いて慶長八年征夷大將軍に任ぜられ幕府をこゝに開き、一方萬難を排して附近の沼澤原野を開拓し、江戸は一躍日本六十餘州の政治的中心地となり、徳川十五代、一百六十八年、八百八町より天保年間には千六百七十八町に擴大され、人口二百萬を算へて版賑を極めた。しかも嘉永六年黒船の襲來は幕府の鎖國政策に致命的打撃を與へ、威令行はず將軍政治は遂に没落して徳川三百年の榮華は権花一朝の夢と化し、政治的覇權の京都移行は花の大江戸に悽愴な風を呼んだ。が没落した江戸にまた輝かしい王政復古、明治維新の曙光が訪げれ明治元年五月江戸鎮台が設置され、越えて七月十七日大詔により天下の顯都は「東京」と改稱、翌二年三月七日畏くも皇居は江戸城に遷された。かくて古き江戸の衣を脱した東京は國運の進展に伴ひ名實ともくも文化の中心として躍進した。十一月一月區制を施行、廿二年には市町村制が實施され、同六月六十名の議員によつて市會

成立、特別市政の形態をとつて市長は東京府知事高崎五六氏が兼職した。次いで三十一年十月一日市制特例の撤廢により獨立自治體の東京市に進み、松田秀雄氏が初代市長に就任翌三十二年第一回の市會を召集して市政を確立した。あたかも昭和十三年は光輝ある真都七十年に相當するので東京市ではこの秋十月を期して盛大な記念式典を舉行すべく諸般の準備を進めてゐる。

**大震災と帝都復興** 大正十二年九月一日關東一帯を襲つた大地震、それに伴ふ大火災により明治維新以來營々築かれた帝都五十餘年の文化は一瞬全滅にも等しい大打撃を被つたが、同十二月帝都復興の詔書發せられ畏くも御内帑金一千萬圓の下賜あり、更に第一次復興豫算八億二千六百餘萬圓の巨費と復興に燃ゆる市民の不撓不屈の精神により遂に舊に倍する近代都市を建設した。昭和五年三月二十六日帝都復興に關する勅語を下賜、東京市はこの日をもつて帝都復興記念日とし第二次復興豫算五億五千萬圓を計上し世界的代表都市建設の途につき官民協力の實績は僅か七ヶ年をもつてその面目を一新した。

**大東京の建設** 大震災を契機として郊外の發展目覺ましく市民の生活は次第に擴大し隣接町村と緊密不離の關係を結び昭和七年

十月一日迄にその隣接五郡八十二ヶ町村を市域に編入、従来の十五區から一躍三十五區の大東京に飛躍、人口では世界第二位、面積世界第五位となつたが、さらに昭和十一年十月一日千歳、砧兩村(面積二十一、九六)を加へて世田谷區に編入し、總面積五百七十七、九四五、總人口六百廿七萬四千人となつた。

△土地種別(平方米)

御料地六、三九九、〇五七、國有地七三、三三三、三三八、民有地四〇四、八六八、〇六八、總面積四八四、四九九、四五三、民有地のうち有租地は三八一、五七九、三七九あり、その種別割合は宅地四四・八一%、畑地二九・〇三%、田地二〇・四五%、山林三・〇三%、池沼〇・四九%、原野一・四七%、雜種地〇・七二%

△公園(昭和十二年三月末)

開園せる總面積は二、八九八、六一二平方(北多摩郡の井ノ頭、狭山兩公園を含む)一、二八ヶ所あり、主なるものは上野公園六一一、七九二平方、芝公園五一七、八〇四平方、日比谷公園一六四、五六六平方、淺草公園二二〇、五五八平方、後樂園六〇、二五二平方である。なほ以上のほか工事中のもの一五ヶ所、三六四、八九七平方、未着手一五ヶ所、五、七八三、七三九平方あり、この未着手の中には伊豆大島に開設する

大島公園(十三年五月に一部開園)五、六一九、八六〇平方が含まれてゐる。

最近の市政重要事件

東京市政は市勢の飛躍的發展に伴ひますます複雑繁劇を加へてゐるが、支那事變勃發以來はその主力を統後援事業、國民精神總動員運動に置き十二月末と十三年五月の二回にわたり職制の大改革を断行、更に東京多年の懸案たる東京都制案について最近内務省でも本腰となり十三年六月末同省地方局試案一都長官選による都制案を發表、市理事者市會に大衝動を興へ、その前途を刮目されてゐる。今年七月より十三年六月に至る一ヶ年間の重要な事件を列記すると次の通りである。

△事變と東京市(一・二・七、九) 支那事變勃發するや七月十四日府正廳に東京非常變災要務規約に依る防護委員會を開き緊迫せる時局に關し種々協議、同十六日應召雇員給料支給規程の改正を行ひ應召者の待遇を改善、同十九日には市長の告諭を發して市民の自重を促し、同日各局部長を招集し國是の遂行に萬全をつくすやう訓示した。一方市會は廿二日全員協議會を開き、派遣部隊ならびに關係大臣宛の感謝状と激勵文を可決し各區では出動將士後援委員會の依頼を受け八月一日から資金募集を開始した。次いで同十日には全市

の方面委員を日比谷大音楽堂に集めて訓諭、各區役所では應召軍人家族臨時相談所を設け出征將兵遺家族の相談に應じ、九月六日には時局對應の緊急市會を開會、出動將士遺家族救済事業ならびに皇軍慰問使派遣と慰問文を可決した。

△東京信用保證協會成立(二・二・九) 東京府、市の協力により社團法人東京信用保證協會即ち中小商工業者に信用を附與して金融の便宜を計る協會が設立され、九月二日から業務を開始した。

△市電百五十萬燈記念式(二・二・九) 東京市電燈は百五十萬燈を突破したので、九月二十七日有樂町電氣俱樂部に記念祝賀式を舉行し、翌二十八日電燈關係者及物故者の慰靈祭を舉行した。

△國民精神總動員實行部設置(二・二・一〇) 東京市國民精神總動員實行部が設置され、その實行委員を任命、非常時局の折から本運動に向つて積極的活動を開始したが、十月十二日小橋市長は再度告諭を發し市民に對し國民精神總動員の成果を擧げるやう希望した。

△皇威宣揚愛國市民大會(二・二・一一) 日本精神の發揚と時局認識の確立を期し、國民精神總動員の主旨徹底を計るため、十一月三日午後一時より宮城前廣場に市内各種學校、各種團體の代表五萬二千名參集、皇威宣揚愛國

市民大會を舉行、杉山陸相、米内海相、木戸文相ら出席、嚴肅裡に學式、皇軍の武運長久を祈願、式後參加團體は六班に分れ市内の大行進を行つた。

△舊區區會議員選舉(二・二・一一) 麹町區以下十二區(淺草、牛込、本所を除く)の區會議員選舉は十一月二十八日に行はれた。市では例により選舉廳正廳權防止に努めたが、棄權率は三割九分一厘で昭和八年十一月の同區選舉の二割六分五厘よりは相當高率を示した。純棄權率は三割六分三厘であつた。

△瑞江葬儀所(市營火葬場)竣工(二・二・一二) 江戸川區に建設中の瑞江葬儀所一市營火葬場は總工費(土地買収費を含む)三十六萬圓をもつて十二月十五日竣功式を擧げた。敷地面積は一萬二千坪、建物の周圍には泉水などを造り公園的設計の中に白聖の火葬場が建設され使用料も極めて低廉である。

△市職制の大改革(二・二・一三) 市勢の發展と事務の膨脹に伴ひ従来の職制では各解相互の聯絡を缺く傾向があるため十二月十八日を以て相當廣範圍にわたる職制の改正を断行した。その概要は(一)企業局を新設し調査並に企業事務の統合調整を計り(二)經理局を設置して公債、主税、徴收、經理、地理、會計の大課を置き經理事務一般の所管局とし(三)監査課を廢止して監査部とし(四)市民動員部を新設、國民精神總動員課、防衛課、軍事援護課

の三課を置き戰時對策の萬全を計り(五)從來保健局に屬してゐた清掃事務をきりはなし清掃課を清掃部に昇格させた。なほ職員課を人事課と改稱した。

△牛込、淺草、本所の區會議員選舉(二・三・三) 牛込、淺草、本所三區の區會議員選舉は二月二日に執行されたが棄權率は三割八分六厘(前回の棄權率二割二分八厘)

△自治制發布五十周年(二・三・四) 四月十七日自治制布かれて五十周年に相當するので、帝都に二つの祝典が擧げられた。その一つは午前十時半から二重橋前廣場の内務省主催の記念式で、式場には長も聖上陛下の親臨を仰ぎ奉り、自治に對する勸語を賜はり參列の地方自治關係者一萬六百廿二名は無上の光榮に感激した。隨いて午後零時半に日比谷公園廣場に自治制發布五十周年記念會および東京府市主催の祝賀會が開かれ末次内相以下一萬三千餘名が參集、この日東京市會は祝賀市會を開會した。

△六義園市公園となる(二・三・四) 岩崎久彌男は四月十四日日本郷駒込上富士前の別邸を東京市の公園用として寄附する旨申出で、十八日市公園常設委員會を開き受領するに決定。同園は面積三萬千六百餘坪、天下の名園で時價一千萬圓といはれる。

△市廳舎新築敷地確定(二・三・四) 市廳舎敷地の問題は三月二十八日の市會でいよいよ月島案が採られ麹町區大手町二丁目一、二番地の御料地、面積一萬千二百六十二坪と決定、右土地拂下方を市長より宮内省に出願中であつたが四月二十五日付で許可になり、こゝに市廳舎敷地は確定した。右土地の引渡時期は大藏省が新廳舎に引移つてからで土地代金は五ヶ年賦償還である。

△第二次職制改革(二・三・五) 二千六百年記念事業、市廳舎の建設、電氣局事業の合理化を計るため五月九日第二次職制の大改革を行つた。すなはち電氣局には總務課、勞動課、經理課、會計課を局に直屬せしめ他の課は全部運輸部と電燈部を設けてこれに屬せしめた。また産業局には貿易課を新設、紀元二千六百年を記念すべき事業のため紀元二千六百年記念事業部を設けた。

△町會整備(二・三・五) 四月十七日の自治制發布五十周年を期して東京市町會規程を設定理想的町會の型を示し更に町會規約準則を定め町會整備方針を明かにした。この方針を宣明するため五月十六日全市三千餘の町會長が日比谷公會堂に參集、歴史的な町會大會を開き自治の振興に寄與せんことを宣誓し町會整備統制の第一歩を印した。

△小河内村との紛争解決(二・三・六) 小河内貯水池を繞つて東京市と西多摩郡小河内村との係争は七年の久しきにわたつたが立派村民

への慰料問題は永らくの紛争を打切り急轉直下解決するに至つた。即ち市より土地代金その他諸補償額とは別に同村五百三十二戸に對し五十萬圓の更生資金と同村一切の公共諸費充當のため三萬圓、合計五十三萬圓の支給を申し出たところ同村ではこれを承認し六月六日覺書に正式調印を終つた。

△都長公選と内務省地方局案(一三・六) この一年間もまた前年同様都制促進運動史上極めて多端な年であつた。即ち都長官、公選をめぐつてしばしば大都市關係者、區關係者が會議し、また監督官廳方面とも懇談會を開き、更に内務省で地方制度調査會を設け東京都制に關する成案を急ぐや東京市會は六月十一日市會を開き「東京都長公選を強調した意見書」を滿場一致議決、右意見書には小橋市長も信念の一端を附記して近衛首相、末次内相に上申するところがあつた。かくて六月二十八日に至り内務省地方局は地方制度調査會に提出すべき東京都制に關する基礎案を發表した。本案は都長官選制が必須條件の一つとなり、また都會の權限を極度に縮小してゐるため市關係者のこれに對する反對運動が猛烈に展開され出した。

市政の現状

Table listing various city officials and their names, such as 侯 蜂須賀茂韶, 富田鐵之助, 三浦 安, etc.

Table listing various city officials and their names, such as 副収入役 成田 潤, 經理局長 小原 正樹, etc.

Table showing population and area statistics for various wards and districts, including 全市, 舊市部, 新市部, etc.

Table showing population and area statistics for various wards and districts, including 品川, 目黒, 荏原, etc.

人口及び面積(昭和十三年十月一日現在、人口は推計)
赤城 宮澤 文作 四谷 石森 勳夫
本郷 井上 桂 小石川 市川 守吉
浅草 筒井 茂也 下谷 千葉 胤次
目黒 三好 義 荏原 川 土生文之助



鈴木正之助【日本橋】渡邊明、石島參郎、平島東策、細田福吉、小幡敏男【京橋】篠原虎之輔、黒田保次、小坂梅吉、早川庄太郎、柴崎輔、富田富治郎【芝】高橋義次、中塚榮次郎、矢田直三、鹽坂雄策、野高定行、林武一、徳安實藏【麻布】染谷關太郎、佐藤信一郎、石原美行【赤坂】羽田如雲、馬越旺輔【四谷】本田義成、道家齊一郎、橋本祐幸【牛込】島田辰太郎、菊池氏一、横井春野、溝口信【小石川】安部謙雄、川口壽、井上卓一、松永東、荒木丈太郎【本郷】友成四郎、高久清一、萩原利右衛門、安部利七、大島正徳【下谷】長野高一、小澤佐重喜、伊木寅雄、小野利三郎、森富太、倉持忠助、佐伯健【浅草】茂木太市、松崎權四郎、吉田真一郎、伊藤仁太郎、大久保重直、上條實、泉留吉、加藤榮助、有竹雅己【本所】山田竹治、阿部茂夫、瀧澤七郎、森繁道、糟谷磯平、小野孝行、坂本一角、小椋善夫、中野勇治郎【深川】浅沼稻次郎、本多市郎、廣瀬新平、宮村龜一、一又安平、中西雄洞、卯木國三郎【品川】大橋清太郎、石原永明、松原傳吉、石山賢吉、西本啓【目黒】加藤勤十、高梨三男、島崎七郎、神田鏡五郎【花原】安平隆一、橋本小平次、石井良太郎【大森】原虎一、横溝直也、松野喜内、平林涉次郎、杉崎欽八【蒲田】吉田直治、仙波虎五郎、藤卷多一【世田谷】廣川弘、東條英、鈴木堅次郎、吉川末次郎【澁谷】丸山鶴吉、川田友之、關口彌三郎、北田一郎、吉峰誠一【荏原】葛島茂留、佐藤榮志、替我祐邦、小針孫太郎【中野】森茂成、花村四郎、小池長太郎【杉並】内田秀五郎、平野學、三上英雄、鈴木茂三郎【豊島】菊池寛、中村

梅吉、須藤喜三郎、爲藤五郎、山口玉造、佐藤徳松【瀧野川】横瀬精一、匠田秀雄、折本勝治【荒川】遠山丙市、山口久太郎、林連、天野精義、岩内善作、一之瀬藤之助、高野納康、田中榮藏【王子】鈴木仙八、濱野清吾、松永義雄、高木徳市【板橋】鈴木義顯、澁谷常三郎、瀬田鶴一【足立】新井京太、鴨下榮吉、板垣信春、西野吉三郎【向島】有馬秀雄、山田七郎、大越半忠、瀧澤逸平【城東】山田清、熊本虎藏、鈴木菊太郎、宇田川啓輔【葛飾】安藤徳雄、伊東金太郎【江戸川】野口辰五郎、島村一郎

教育

Table with columns: 幼稚園, 小學校, 各種學校, 高等女學校, 指定各種學校, 青年學校, 師範學校, 私立各種學校, 女子高等師範學校. Rows show school names and counts.

社會事業施設

Table with columns: 臨時教員養成所, 專門學校, 高等學校, 圖書館, 官立, 市立, 私立, 合計. Rows show facility names and counts.

人、女三七二人、收容男四二五人、女三三三人、年度未現在男七〇六人、女四二七人  
△虐待兒保護 施設六、入所一五六人、年度未現在一三〇人、年度中延入員四四、一四〇人  
△少年保護 施設一五、入院一、二二六人、年度未現在五三八人  
△兒童健康相談 施設五四、相談事項九六、四七三件  
△異常兒保護 施設一六、前年度より越員男七四五人、女四二一人、入學及收容男二、二二六人、女三四八八人、年度未現在男七〇九人、女四一八八人  
△貧兒教育 施設七八、前年度より越員男三、五七五人、女一、八八二人、入學及收容男三、〇一四人、女一、六二七人、年度未現在男三、五七七人、女一、八八一人  
△兒童鑑別審査 施設四、男五五、四三三人、女三八、五八〇人  
△總 濟 保 護 事 業  
△住宅供給 施設七六、棟數二、六八二、戸數九、二二一、建物延坪數九九、八八九、家賃最高七二、最低二  
△宿泊保護 施設六〇、宿泊人員二二八六、九三一人  
△父子ホーム、母子ホーム 施設一四、前年度より越員八四二人、本年度新規人員二、〇〇三人、年度未現在九三三人、收容延人員三三

七、四二七  
△公設浴場 施設三、入浴人員七六七、三九一人(二日平均二、一六七)入浴料一六、六七二圓〇二(二日平均四六圓九六)  
△公衆食堂 施設一五、利用者五、二〇四、八〇二人(二日平均一四、二六〇)金額五五九、三三〇圓四三(二日平均一、五三三圓三九)  
△公益質屋 施設三〇、前年度より繰越口數一六五、六五〇、同金額七七二、四八二圓二九、貸出口數五四二、七八〇、同金額二、六九一、五七六圓二九、受戻口數五一八、五七〇、同金額二、五一八、八一八圓九九、年度未現在貸口數一七五、七二六、同金額八九三、五五八圓二三  
△小資本融通 施設四、運轉資金二五、五〇〇圓、貸出件數一四〇、同金額二、七九二、年度未現在貸四、四五三圓  
△公益市場 施設四五、現在店舗數直營二二二、同指定五七〇  
△失業保護事業  
△一般職業紹介 施設四九、求人數男三七一、七〇六人、女二二一、六一〇人、求職者數男四〇三、四二七人、女二二一、六〇〇人、就職者數男八一、八三七人、女五一、二二一人  
△日傭勞動紹介 施設三七、求人數三、二三八、六一五人、求職者數三、七九六、四一四

人、就職者數三、二二六、八五九人  
△授産 施設三三、就業者數男九五四人、女五、九九四人、年度未現在男四三七人、女二、六九七人、延入員男一四一、八三三人、女一、九五一、七三五人  
△職業輔導 施設一四、入所者男八三三人、女三、一五三人、就業延入員男一〇八、八六〇人、女五八三、六五六人  
△失業者推定數 年度未總數男八二、七四七人、女六、一七〇人、うち給料生活者男一八、三七一人、女一、九三九人  
△救護事業  
△窮民救助、遭難者救護、軍事保護 施設三五、窮民救助人員三九、六九三人、給與金額五一、九六一圓、遭難者救護人員四、七六六人、金額三、九三〇、九九六圓、出征軍人軍事保護(出征兵、廢兵及び遺族慰問)人員一四、四一〇人、金額一八七、七三〇圓、同(生活扶助)人員一八六、一七四、金額七〇五、六九四圓、同(其他の保護)人員一七、六六一、金額二七四、七六七圓、就職人員一八六八人、女一、〇三二人、收容一、二六八人、女四八五人、年度未現在男一、三二二人、女一、〇二五人  
△司法保護 施設一四、前年度より越員二四六人、女七人、收容男一、三七九人、女三九

人、年度未現在男二五八、女一八八、延人員男九一、七九八、女六、八六〇人

△社會教化事業

△勞働者教育 施設五、前年度より職員男五二人、女無、入學男三〇六人、女一人、年度未現在男七十七人、女無、受講延人員男二八、三四六人、女八、〇三五五人

件數三七、三七四、課外學校收容人員四〇八五四五人、講習及び講演會收容人員一〇四、五一人、教化及修養二六七、四九八、圖書及び文庫利用人員二〇七、八七一、備物其他收容人員一二、八〇八、診療部三一八六五二、其他取扱人員四〇二、八九二

七二二、五一六、戸籍整理九、一〇八、福利教化八三八、六七六、育兒教化六二、一一九、周旋紹介二四、六二〇、金品給與三二二八一九、其他六九六、五五四

衛生と警察

(昭和十一年末現在)

△一般醫務保護 施設四〇、前年度より職員一、一四八人、女一、〇六三人、入院男一八七五一人、女二、七二六人、年度未現在男一、一九六六人、女一、〇九二人、外來患者延人員男二、五四六、一三五五人、女二、三三五四二二人

△傳染病患者及び死亡數 (昭和十一年末現在)

三五二、全科一四七、耳鼻咽喉科四二一、其他一、〇六三、醫師男四、二七二、女三八五患者男一、七二九、八九五、女一、四七〇、七六六、同延人員男一〇、九二五、一九三、女九、一四七、六六四

一、四五八戸 汚水處分現況(單位立方米) 汲揚下水水量一八七九二、三七三、一日平均四九六、一九七

警察署 七八、派出所、駐在所一、二〇二職員二二、〇二二人、警視廳職員二、四八二人

土木交通通信

本市は徒來實施中のもの、または實施計畫を樹てゐるもの及び將來の實施に殘されてゐる事業に關し、一日も早く之が實現を期するたためゆる方策を講じて來たが、土木施設促進の急務が叫ばれる情勢に鑑み、經常部支出によるもの、ほか昭和十二年度以後施行すべき繼續事業として左記のものが議定せられてゐる(單位千圓)

Table with 2 columns: Project Name (e.g., 街路修築費, 在來下水整理費) and Amount (千圓). Includes categories like 臨時部, 經常部, 臨時部, 臨時部.

昭和十一年末における市長管理の市内道路は、府、市道を含せて延長八、四一六、〇七九、面積四、〇二八、〇七二平方尺に及び、前年に比して延長約五六萬六千尺、面積約二七六萬五千平方尺の増加で、市域總面積五七二万平方尺に對し道路面積は約八%の割合で面積一方きにつき一四、七〇六尺の延長に相當する。

Table with 2 columns: Line Name (e.g., 東海道本線, 中央線) and Passenger Statistics (乗車人員, 降車人員, 乗客, 降客).

當してゐる。道路の舗裝狀況は剛質、簡易舗裝を合せて面積二五、四六六千平方尺におよび道路總面積の六一%である。道路現況(昭和十一年十二月末現在) 延長(米) 面積(平方米)

Table with 2 columns: Category (e.g., 菓子パン類, 酒、調味料) and Store Count (店舗數).

Table with 2 columns: Category (e.g., 使用電力量, 從業員, 乗車料) and Amount (千圓).

市内における物品販賣店は昭和十二年七月末現在において一六一、五〇三店を數へ、うち舊市部は七四、四八五店(四六・一%)、新市部は八七、〇一八店(五三・九%)の割合となつてゐる。これを昭和十二年十月一日現在の全市推計世帯數および人口との關係において見るに、全市では一店當り八世帯、三九人、うち舊市部は六世帯、三二人、新市部は九世帯、四五人に付一店の割合となる。これを品種別に見ると最も多いのは菓子パン店の一六、三九六店、一店當りは七八世帯、三三一人であつて、次いで酒、調味料、清涼飲料店の一〇、一一九店、白米店の七、八四六店、蔬菜果物店の六、五三五店、小間物、洋品店の六、一七九店、薪木炭、石炭店の五、二七七店、藥種、賣藥、化粧品店の五、〇七五店などの順位で、さすが生活上直接必需品に關する營業店舗が斷然多數を占めてゐる。今主發販賣店として店數二、〇〇〇店以上の品種を掲げると次の如くである。

Table with 2 columns: Category (e.g., 菓子パン類, 酒、調味料) and Store Count (店舗數).

較すれば、會社数は一、一六六(七・四%)を増し、資本金は公稱資本金において八〇七、四五八、三〇八圓(八・一%)、拂込資本金に...

△銀行

昭和十一年末における市内所在の銀行店舗数は三五二行で、うち本店銀行二四行、支店銀行三二七行であるが、支店中その本店の市内にあるもの二三四行、市外にあるもの九三行である。店舗数は前年に比して二七行の増減を示してゐるが、これは特殊銀行本店一行、貯蓄銀行支店、三六行の減少に基くもので、普通銀行にあつては支店が一〇行増設されてゐる。...

購買出高は六一、七七三、四四五、五七九圓に上り、資金の需要極めて旺盛であつて前年に比し三、八九九、〇九四、六六四圓(七%)を増加し、結局年末現在貸出高は三、九五二、〇〇八、五二二圓となつてゐる。

△工業

昭和十一年末現在市内における使用職工五人以上の工場および使用職工五人未満の工場總数は四二、八七〇(休業工場は含まず)職工数は三七六、七一八人、同年中の生産額は一、八三〇、二二七、四五四圓に達する。これを前年と比較すると工場數一、五四〇(四%)職工數三六、八六五人(一二%)生産額二三一、五三九、四九四圓(一五%)とそれぞれ増加してゐる。

事業別工場概況

Table with 2 columns: 主要事業別 (紡織, 金業, 機械器具工業, etc.) and 生産額 (24,300, 14,300, etc.).

○労働者總數(同) 男 三〇、〇〇〇人 女 一三、八七〇人 合計 四三、八七〇人

△市

本市の中央卸賣市場指定區域は現在の大東京市域と合致してゐるが、かかる膨大な面積でしかも人口稠密せる區域にあつては物資配給の圓滑を期するには自ら分場の設置を必要とするので東京市中央卸賣市場建設の當初の計畫は一本場(築地)、二分場(神田、江東)であつたのを、さらに第二次計畫として新市域に四箇所の分場(荏原、淀橋、豊島、足立)を建設することとした。...

島の二分場はすでにその業務を開始し、目下これが管理と第二次計畫に本づく渡橋、足立の二分場の開設のため準備を進めてゐる。 部類別取扱高(昭和十一年中) 埠地本場 魚類部 四、四三三、〇〇〇圓 鳥羽部 三、九七〇、〇〇〇圓 青果部 一〇、七三三、〇〇〇圓 計 一八、一三六、〇〇〇圓

△東京港

東京港の修築は明治二十九年に始まり、先づ隅田川口改良工事に着手し、その後幾多の波瀾曲折を経て隅田川口工事終了とともに更に東京港修築工事を起し着々諸設備の完成に努力し開港準備を進めてゐる。港灣設備及びその利用の概況は

(一)各台場と防波堤で圍繞された港内面積は九百十六ヘクタール四で、そのうち航路筋岸壁前面、本船泊地等で最も深い部分は七尺六までの水深を持つてゐる。 (二)出入航路は基準水面下六尺七、可航幅員四十五尺、延長五千二百六十尺の航路が設けられ、その兩外側に總延長四千三百八十尺十五連の防砂堤が築造され、そのところへく浮標が設置してゐる。

(三)繫船浮標は十八個で、このほかに解用浮標が二個合計二十個ある。

(四)繫船機橋および岸壁は全長千八百四十七尺で前面水深は六尺七乃至七尺六で繫船設備は接岸、浮標合せて四十六隻同時に繋留出来る。

(五)上層は一棟(二萬三千六百八十八平方尺)が設備されともに鐵骨造平家である。

(六)臨港鐵道は汐留驛を起點として芝浦驛に達し延長二、〇八の單線官營である。

(七)貨物集散状況 昭和十二年の吞吐貨物量は六百七十六萬噸に達し乗客は約五十九萬六千人で前年の約十倍に躍進してゐる。右貨物のうち六百一十一萬噸は船で河川を利用し直接陸揚卸される貨物は僅に六十五萬噸に過ぎない。

○出入船(昭和十二年)

Table with 2 columns: 入港 (船舶, 噸數), 出港 (船舶, 噸數), 出入貨物(同), 入貨 (噸數), 出貨 (噸數).

市の財政

△昭和十三年度概算

Table with 2 columns: 經濟別 (總歳入, 總歳出) and 金額 (千圓以下切捨). Rows include 皇太子殿下御誕生記念事業積立金, 中央卸賣市場費, 港灣費, etc.

市京東

職員貸付資金 員欠 員欠 員欠
用品及工場 員欠 員欠 員欠
計 員欠 員欠 員欠
△昭和十三年度各経路種類別歳入豫算

○附加税(本税一圓に對する課率)

普通市税 都市計畫特別税
地租 0.200
營業收益税 0.200
所得税 0.300
營業税 0.200
取引所税 0.100
特別地稅 0.200
家屋稅 0.200
營業稅 0.200
不動產稅 0.200
自轉車 0.200
其他 0.200

(重葦六十封度を超過するものは十封度を増す毎に一錢八厘を増加)

戸別割(坪に付年税) 0.000
埋立免租地(坪に付年税) 0.000
所得金額八百圓以下の金額 0.000
所得金額八百圓以上の金額 0.000
所得同 九百圓以上 0.000
所得同 千圓以上 0.000
法人特別所得税(所得税額一圓に付) 0.000
俱樂部税(一人に付年税) 0.000
儲人税 0.000
二人使用一人に付年税 0.000
三人使用同 0.000
四人使用同 0.000
五人使用同 0.000
六人使用同 0.000

不 大阪市

概観

△沿革 大阪は往古「難波」と呼んだ。足利時代「小坂」または「大坂」と呼び、明治三年「坂」を「阪」の字に改む。水陸交通の要衝に位置するをもつて神武天皇御東征の御御征船をこの地に泊め給ふ。紀元九百七十七年(徳天皇都をこの地に遷し給ひ「高津の宮」の御造營あり、隋、唐との交通頻繁を加ふるに至り、その後明應年間本願寺蓮如が「生玉」の譽、大坂に石山別院を置いてから大坂の名は俄かに有名となつた。後天正年間豊公築城の壯圖成るに及び、ここに近世大阪の發展の基礎をなし、商工業頓に興りまた豊田氏は市中諸堀川を開鑿して運輸を便にした。徳川時代に入つて經濟的發展いよ／＼著しく遂に汎く海内の商權を把握するに至つた。

維新以來國運の隆盛に伴ひ市勢次第に伸張し明治二十二年四月一日市制を實施し、東西南北の四區に分つたが、幾何もなくして市域擴張の必要に迫られ、明治三十年四月一日隣接二十八町村を市に合併した。これより先き市制中に特例を設け大阪府は東京、京都兩市

と共に知事において市長の職務を行つて來たが、明治三十一年十月一日この特例を廢止しここに純然たる自治制となつた。日露戰役および世界大戰を経てその經濟上の地位ますます進み市勢の發展いよ／＼急速を加へ餘勢の及ぶところ更に近隣町村を都市化せしむるに至り、大正十四年四月一日市域の第二次擴張を斷行し、東成、西成の二郡全部即ち四十四町村を編入すると同時に、從來の四行行政區を八行政區に、新編入地域を五行行政區に合計十三行政區に分割したが、港區及び東成區の著しい人口の膨脹その他の事情により、昭和七年十月一日更に兩區を分割して二區を増し、合計十五行政區となつた。かくて大阪市は今や廣袤百八十七平方キロ、三百二十萬餘人の大人口を包容し、世界屈指の大都市たるの地位を占むるに至つた。昭和十三年四月十七日は恰もその市制發布五十周年記念日に當つたが、この間の大阪市の發展振りは誠に驚異的のものであり凡ゆる方面に誇るべき模範都市を築き上げてゐる。

△人口の變遷(市勢要覽)

寛文五年 和元三三三
明和元年 三四四
明和元年 三五五
同十年 三六六
同二十年 三七八

△面積及人口

同三十年 二、五七〇
同四十年 二、三三〇
大正九年 二、三〇〇
昭和五年 二、四九〇
同九年 二、五三〇
同十年 二、五六一
同十一年 二、五九六
同十二年 二、五九七

區別 面積 人口
西成 一、〇〇〇 一〇〇,〇〇〇
住吉 一、〇〇〇 一〇〇,〇〇〇
旭 一、〇〇〇 一〇〇,〇〇〇
東成 一、〇〇〇 一〇〇,〇〇〇
東淀川 一、〇〇〇 一〇〇,〇〇〇
西淀川 一、〇〇〇 一〇〇,〇〇〇
浪速 一、〇〇〇 一〇〇,〇〇〇
南 一、〇〇〇 一〇〇,〇〇〇
天王寺 一、〇〇〇 一〇〇,〇〇〇
大正 一、〇〇〇 一〇〇,〇〇〇
港 一、〇〇〇 一〇〇,〇〇〇
西 一、〇〇〇 一〇〇,〇〇〇
東 一、〇〇〇 一〇〇,〇〇〇
此花 一、〇〇〇 一〇〇,〇〇〇
北 一、〇〇〇 一〇〇,〇〇〇

合計	一、七、七、〇、一、七、一、一、四、七、六		
△住	宅		
年次	住宅総数	空家数	空家%
昭和五年	五〇九、八四三	二六、九六三	五・六
十年	四四三、五三三	五、九三三	一・三
十二年	四二二、八九六	一八、九六六	四・五

△都市計画

大阪都市計画は明治十九年大阪市区改正案取調委員の設置に端を発し、大正六年都市改良調査會を設け基本調査を開始した。次で九年一月、大阪市区改正設計として議定されたる街路を告示し、十年その事業及び年度別を決定した。即ち第一次都市計画事業である。それによると大阪市の都市計画区域は面積二六〇平方町、事業は主として街路の擴張、新設改良である。その後大正十二年關東大震災の惨害に鑑み十三年十一月既定計画を變更して街路の新設擴張数を追加し且つ橋梁道路の橋梁を不燃質に架替へる工事も加へた結果、事業費の総額は二億二千二百四十萬圓、十三ヶ年の繼續事業に更正された。右は主として大正十四年市域擴張前の舊市域に行ふ事業で當初、財源に計上されてゐた土地増價税及び國庫補助金等が未収入に終つたため、さらに事業年度を三ヶ年延長し昭和十一年までとすることに決定、豫算も一億六千五百九十二萬圓に修正された。また追加事業の櫻屋川

附近都市計画事業（工費二百二十三萬圓）は昭和八年三月二十九日竣工した。このほか大阪市域内外にわたる國道及び府縣道に該當する十大放射路線は都市計画事業として大正十五年より昭和十一年度にいたる繼續事業として大阪府知事が施行することとなり現に工事が進められてゐる。

なほ地域の設定については全區域の三割を住居地域に、一割四分を商業地域に、二割七分を工業地域に指定し、未指定地域は一割八分である。また一定の地域を畫して防火地區に指定してゐる。

(イ)大阪府附近都市計画事業 昭和三年五月内閣認可、昭和九年三月變更大阪府附近街路新設擴張事業にして大阪市長執行、街路新設及擴張九路線▽地下道新設五路線▽驛前廣場新設約一四、〇〇〇平方町▽事業費四八五萬圓、昭和九年より昭和十四年度まで六ヶ年繼續事業、昭和十三年七月末の進捗状況約七〇%である。

(ロ)大阪府前土地區畫整理事業 昭和九年三月内閣認可、建築敷地達成の目的に基き會根崎中二丁目及び東梅田町の各一部、地積約一四、七〇〇坪の土地區畫整理事業を大阪府において事業費二、七〇〇千圓をもつて昭和十年より同十三年度にいたる四ヶ年繼續事業として執行中で約五〇%の進捗をみてゐる

○第二次都市計画

大阪市は大正十四年四月隣接の東成、西成兩郡四十四ヶ町村全部を市域に編入し行政の統一をはかるとともに將來有機的一體をなすべき地域に對して健全なる發達を期するため都市計画區域全部にわたつて街路、運河、公園、墓地および下水道に對する綜合的計畫を樹立した。すなはち第二次都市計画であつて昭和三年五月二十九日内閣の認可を経て告示された。左にその概略を示す。

- (一)街路 幅員十一尺乃至三十尺、全部で百一線、その總延長二十九萬三千二百六十尺
- (二)運河 幅員十八尺乃至四十七尺にしてその數十五、總延長四萬二千八百六十尺、工費概算二千七百五十五萬八千圓
- (三)下水道 全市域を五處理區に分ち各區に處理場、抽水所及び下水道幹線を敷設す、工費概算一億六千二百八十二千圓
- (四)公園 大公園、小公園の二種に分ち、大公園は三十三ヶ所、面積四百五十六ヘクタール、小公園は十三ヶ所、面積八ヘクタール、その他公園道路十二線、面積百十七ヘクタール、合計五百八十一ヘクタール、工費概算三千三百七十五萬三千圓
- (五)墓地 南北各一ヶ所づつ設置す、面積三

十六ヘクタール五三、工費概算三百二十一萬九千圓

○第二次都市計画

二次計画のうち緊急を要するものを選んでまず第一期事業として施行することとし昭和七年十月二十八日内閣の認可を得た。これ即ち第二次大阪都市計画事業であつてその大要は道路二十八線、道路鋪裝五十七萬平方町、運河二線で懸案の安治川筋源兵衛渡しの河底トンネルもこの事業で實現されるはず。豫算總額は四千六百九十一萬一千圓餘、昭和七年度より同十四年度に至る繼續事業として執行中で昭和十二年七月末における進捗状況約三五%である。

○土地區畫整理

都市計畫區域内における土地區畫整理事業には前記大阪府前土地區畫整理と新市域における建築地造成を目的とするものとの二種がある。執行方法は異なるものにも都市計畫の施設にして後者は土地區畫整理組合により實施せられ、大阪市はこれを助成するは受託施行する。既に事業完成せる組合八、地積約二百七十三萬四千平方町、設立認可済の組合五十六、地積約三千二百二十五萬七千平方町あり。他に設立認可申請中および認可申請準備中の組合二十一ある。

○第三次都市計画事業

昭和十二年より十八年度に至る七ヶ年繼

續事業として工費約二千六百萬圓を以て執行事業の概要は街路十二路線の新設擴張、百萬平方町の路面鋪裝、三十二橋の改善、二運河の新設擴張等である。

△公園及び動物園

市内公園、運動場は總計五十五ヶ所、面積約百一十一萬平方町である。主な公園は中之島大阪城、天王寺、城北の四公園で府の經營にかゝるものに箕面、濱寺、住吉、住之江の四公園がある。天王寺動物園は昭和七、八年度事業として擴張、現在面積六萬平方町を占め動物三百餘種、約二千四百點を收容し一ヶ年約百三十萬人の入場者がある。城北公園には農園及び通俗植物園がある。天王寺植物温室は建坪約七百四十平方町、それに附屬して面積九百五十平方町のロック・ガーデンあり、九十種以上の高山植物を栽植してゐる。

△大阪港

明治三十年十月起工、昭和四年三月竣工、引續き第二次修築事業を起し目下施工中、起工以來昭和十年までの工費は累計七千三百十四萬圓、これに維持經營費、公債費などを合すれば總經費一億五千六百九十九萬圓に上るこれに對する財源は公債借入金、國庫補助及び事業収入を充當したほか、市税収入、電車及び水道収入より補充した。防波堤延長一萬五千三百三十三、港内面積六百五十五萬平方町、

水深干潮面下九尺乃至十尺。緊船岸九ヶ所、延長二千九百九十四尺。棧橋五ヶ所延長千五百三十四尺、棧橋緊船岸のみに一千以上二萬以下以下の船舶三十五隻を同時に繋留することが出来る。港内に設置した緊船浮標三十隻分。市埋立地總面積四百七十一萬平方町、大部分港灣附屬業務その他各種用途に貸貸してゐる。埠頭地には上屋倉庫を建設し各種起重機を配置す。省線西成線は港北櫻島より大阪驛に達し臨海線は安治川以南埠頭地に發し、今官驛にて關西本線に聯絡、海陸の聯絡至便しかして大阪港の特徴は出入貨物のトン量において入超、價額において出超の現象でこれは原料品、食料品が入貨の大半を占むるに反し出貨は工業製造品が大宗をなすに因る。

○第二次築港修築計畫及び國際飛行場移轉

歐洲大戰を一轉機として大阪港利用増進の趨勢に鑑み神戸、横濱兩港と並ぶ我が國有数の貿易港として更に大擴張計畫が立案された即ち南は木津川を港域に取入れて大和川右岸まで、北は神崎川右岸までの沿岸に港灣設備をなさんとする計畫で昭和二年十二月港灣調査會の議を経て決定、うちかねて櫻島方面に新に五十六萬四千平方町の埋立工事中であつたが、うち三十六萬四千平方町だけ竣工した本地域に緊船岸その他港灣設備を施すべく工費二百四十五萬圓の豫定を以て昭和五年度着

工、同九年七月完成、竣工後備と共に利用を開始した。また第二次修築計画の内、最も急務を要する繫船突堤及び繫船岸の増設及び木津川港内取込その他については工費九百六十六萬圓の予定を以て昭和四年度着工、既に大部分竣工利用されつゝある。なほ飛行場及び港灣設備の用地に供するため住吉區地先海面約九十二萬平方呎埋立の計畫を樹て工費五百二十二萬圓、工期十年の予定で昭和八年七月工事に着手したが更に利用の趨勢にかんがみ一部埋立を速成せんとした。しかるに昭和九年秋未曾有の風水害を被るに及んで大阪市は單なる復舊に止らず、更に進んで恒久的復興計畫を樹て直ちにこれを施行することとなつた。即ち強大なる外郭防波堤の構築並に既設防波堤の補強、港域の擴張、その他陸上設備の修築、改良等の工費二千三百八十萬圓(昭和十一年計畫變更により増額)をもつて昭和九年度以降六年度間に遂行の予定をもつて目下工事進捗中である。これに對し千百萬圓の國庫補助を受けることになつた。

Table with columns: 年次, 輸出, 輸入, 輸出超過額, 輸入超過額. Rows for 昭和五年, 六年, 七年, 八年.

△外國貿易(單位百萬圓)

Table showing trade statistics for 1910-1912, categorized by goods like food, raw materials, and machinery. Includes sub-sections for '品種別輸出入割合' and '國別貿易額'.

Table showing trade comparison for Osaka, Kobe, and other regions from 1910 to 1912, including total trade volume and ratios.

○三天貿易港比較(單位百萬圓)
年次 輸出 輸入
昭和八年 大阪 神戸 横濱 大阪 神戸 横濱
昭和九年 大阪 神戸 横濱 大阪 神戸 横濱
昭和十年 大阪 神戸 横濱 大阪 神戸 横濱
昭和十一年 大阪 神戸 横濱 大阪 神戸 横濱
昭和十二年 大阪 神戸 横濱 大阪 神戸 横濱

設し同時に錦州に付大阪市商品館を設置して熱河方面への發展を計る傍ら在滿本邦公館滿鐵をはじめ滿洲輸入組合聯合會と提携し本邦對滿貿易の助長發展に奮進しつゝある。更に十一年度よりはシンガポール、パナマ、サンフランシスコなどの樞要地に嚮託員を置き情報機關の強化を計つたが、上記各地の出張所並に嚮託員のほかは在外帝國大使館、領事官、商務官、商品館、貿易通信員、貿易諸團體とも密接なる聯絡を保ち通信網の完備を期してゐるので現在における調査範圍は支那、インド、南洋からアフリカ、近東歐洲、南北アメリカ、濠洲等世界の隅々まで及び海外市場の實際的調査、貿易に關する合理的指導、商況調査の機關として活躍してゐる。また同十二年には北支の明朗化とともにその將來の發展に備へて張家口に海外貿易調査所を増設せられ、また青島にも設置すべく準備中である。新市場の開發については昭和十一年政府の輸出補償に二割の追加補償を行つて輸出業者の要望に應じ更に昭和十二年六月政府の規定改正に伴ひ大阪市も規則を改め業者の利便を一層増加した。貿易に關するこれら一般的調査研究の結果は週刊「東洋貿易時報」月刊「東洋貿易研究」および貿易經濟叢書等をもつて發表し、また「大阪市産業叢書」「海外商工人名録」「英文日本貿易業者名鑑」及び外國商社信用録を刊行し實費をもつて頒

布するのみならず貿易の指導、斡旋機關としての立場から取引紹介、信用調査、外國政府商標登録並に滿洲國特許意匠出願事務代理、競争見本の蒐集、外國語商業文の翻譯等を無料にて當業者の需めに應じてゐる。更にまた貿易業者のため大阪市が定期的に派遣せる海外旅商團は今日まで回を重ねること十八を算へその巡歴地域は滿洲、支那、インド、南洋、アフリカ、近東、中南米等の諸市場に及び以て大阪輸出協會、大阪貿易同盟會等の當業各團體を指導して貿易の實際的發展に努めつゝある。

△銀行

Table showing bank statistics for 1910-1912, including deposits, capital, and assets. Includes sub-sections for '貸付金を除き各年度末' and '各種官公私立學校'.

Table showing statistics for various educational institutions (師範學校, 青年學校, 同私立, etc.) including student numbers and tuition fees.

△郊外電車(昭和十二年三月末)

Table showing statistics for suburban tram lines (南海, 阪神, 阪急, etc.) including passenger numbers and revenue.

十年 乗客 一、〇七三、〇〇〇 乗客収入 一、〇七三、〇〇〇  
 貨物 一、〇七三、〇〇〇 貨物収入 一、〇七三、〇〇〇  
 郵便 一、〇七三、〇〇〇 郵便収入 一、〇七三、〇〇〇  
 乗客 一、〇七三、〇〇〇 乗客収入 一、〇七三、〇〇〇  
 貨物 一、〇七三、〇〇〇 貨物収入 一、〇七三、〇〇〇  
 郵便 一、〇七三、〇〇〇 郵便収入 一、〇七三、〇〇〇

昭和十一年中、乗客(千人) 降客(千人)  
 大 阪 一、〇七三、〇〇〇 三、〇七三、〇〇〇  
 天王寺 一、〇七三、〇〇〇 八、〇七三、〇〇〇

△市営電車 路面大貫輸送機調として地下  
 鐵、バスなどの發達せる今日においても依然  
 重要な地位を占めてゐる。昭和十二年十二  
 月末における營業路線百六・六、車輛數(乘  
 客用)七百六十五輛にして十一年中の乗客總  
 數二億七千六百九十九萬千人(前年に比し五・  
 〇%増)乗車料(金)千五百四十一萬圓(同四・六  
 増)である。

年次	營業路線	乗客總數	乗客収入
昭和元年	六・九	一、〇七三、〇〇〇	一、〇七三、〇〇〇
五年	一〇・五	一、〇七三、〇〇〇	一、〇七三、〇〇〇
十年	一〇・五	一、〇七三、〇〇〇	一、〇七三、〇〇〇
十一年	一〇・五	一、〇七三、〇〇〇	一、〇七三、〇〇〇
十二年	一〇・五	一、〇七三、〇〇〇	一、〇七三、〇〇〇

△大阪バス 昭和十二年末現在營業路線八  
 十八、九、營業用車輛六百五十九輛(うち遊  
 覽自動車六輛)十二年中の營業收入五百九十  
 萬五千圓にして前年度に比し十八萬四千圓の  
 増收。なほバス一車當りの營業收入は市バス  
 六千四百六十二圓、會社バス八千八百二十七  
 圓にして營業路線一、あたり収入は市バス三  
 萬千六百二十六圓、後者六千六百四十二圓  
 である。

△高速電車 大正十五年三月都市計畫法  
 により決定を見、昭和二年六月軌道法により  
 内務、鐵道兩大臣の特許を得た。左記四路線  
 で總延長三三、八六、建設費概算總額一億六  
 千二百三十萬圓、これを三期に分ち第一着手  
 として計畫第一號線中、南方一我孫子間延長  
 一〇、九を運び、昭和三年度下期より四ヶ  
 年半の繼續事業として豫算總額七千九百十二  
 萬七千餘圓を計上し昭和三年十月の市會で可  
 決された。全路線は左の通り。(第一號線)天  
 阪府豊能郡豊津村一住吉區我孫子町(二、二  
 四)△(第二號線)大阪市東成區森小路町一住  
 吉區天王寺町間(八、五二)△(第三號線)大阪  
 市浪速區敷津町三丁目一西成區玉出町(二、四  
 三)△(第四號線)大阪市港區三條通四丁目  
 一住吉區平野西脇町間(一〇、九六三)。まづ昭

和五年一月二十九日、梅田、心齋橋間三、〇の  
 地下鐵起工式を舉行、同八年五月二十日開通  
 を見、營業を開始し、さらに十年十月二十日  
 心齋橋、難波間の運轉を開始して一段と機能  
 を發揮した。梅田、心齋橋間の建設總工費  
 約千五百萬圓、すなはち一尺あたり千四百圓  
 の莫大な工費である。さらに十三年四月二十  
 一日には急上天王寺間まで開通し、こゝに南  
 北兩玄關梅田、天王寺間七、〇を僅かに十三分  
 (賃十錢)をもつて聯絡することになった。

昭和十一年 乗客 一、〇七三、〇〇〇 料金 一、〇七三、〇〇〇  
 貨物 一、〇七三、〇〇〇 乗客 一、〇七三、〇〇〇  
 郵便 一、〇七三、〇〇〇 貨物 一、〇七三、〇〇〇

△河川及橋梁 大阪は古來水の都として知  
 られ、河川の四通八達せるに伴ひ橋梁また頗  
 る多數に上り、昭和十三年一月末現在市内橋  
 梁數は千三百十八橋に達し河川の延長は十八  
 萬二千九百八十餘メートル大阪より岡山までの  
 距離に等しい。殊に關東震災以來、主なる橋  
 梁を鐵骨鐵筋コンクリートの不燃質橋に架替  
 へることになつてから各橋梁ごとに特異の意  
 匠を凝らし水の都に一段の光彩を添へてゐる  
 △定期航空 昭和十二年中に於ける大阪飛  
 行場の實績は次の如くで發着共一飛行平均乗  
 客二人にして乗客數は八月に最も多し。

項目	定期航空	不定期
乗客數	一、〇七三、〇〇〇	一、〇七三、〇〇〇
貨物量	一、〇七三、〇〇〇	一、〇七三、〇〇〇
郵便	一、〇七三、〇〇〇	一、〇七三、〇〇〇
飛行	一、〇七三、〇〇〇	一、〇七三、〇〇〇

交通事故が著しく減少せるは注目に値する。  
 △上 水 道  
 明治二十五年八月、水源地を櫻宮にトして  
 新設に着手、工費二百四十萬圓、同二十八年  
 十月竣工した。明治三十四年四月の隣接町村  
 編入により工費八十八萬圓を投じて擴張工事  
 を起し、三十四年十二月完成。次で同四十一  
 年一月市勢の伸張に應ずべく水源地を現在の  
 柴島に相し第二次擴張工事に着手し、大正三  
 年二月竣工した。この總工費千六萬餘圓。  
 その後櫻宮水源地の使用を廢し、柴島水源地  
 に補充設備を加へ給水能力一日百三十萬石に  
 達する。大正八年九月第三次擴張工事に着手  
 同十一年三月竣工、この工費千四十萬圓、か  
 くして本市の上水道は一日二百十萬石の能力  
 を有するに至つたが、上水の需要は年々増加  
 して止まず、よつて大正十一年琵琶湖より直  
 接引水する大計畫の調査を始めるとともに、  
 緊急の中繼計畫として柴島水源地の擴張(機  
 械濾過設備)と送水鐵管の増設計畫を樹て  
 た。すなはち第四回擴張工事であつて工費七  
 百七十一萬圓、大正十四年着手、昭和五年二  
 月竣工、これにより一日の給水能力は三百二  
 十萬石となつた。しかるに上水の需要  
 著しく増加し、給水に不足を生ずるおそれあ  
 るをもつて徳川の急に備ふるため、昭和八年

度以降五ヶ年繼續事業として工費千七百萬圓  
 をもつて給水人口三百三十萬人を自途に一日  
 給水能力を八十六萬二千立方尺(約四百八十  
 萬石)に増大すべく第五回擴張計畫をたて昭  
 和八年十一月着手、目下施工中である。とこ  
 ろが大阪市の素晴しい工業の發達と人口増  
 加とは遂に右の第五回擴張計畫の實現すら待  
 ち得ず、工費五千萬圓を投じて第六回擴張工  
 事として現在の柴島淨水所とは別箇に新しく  
 淀川上流北河内郡に大淨水所を新設する計畫  
 を樹て、十二年度以降二十一年度に至る繼續  
 事業として完成の曉は給水能力一日百三十三  
 萬立方尺に達する豫定である。

△下 水 道  
 明治二十七年より三十四年度にわたり費  
 約百萬圓を以て三回に分ち、その當時にお  
 ける市域の殆ど全部に工事を施した。これが  
 最初の下水道改良工事である。次で同四十二  
 四十三兩年度において工費十三萬圓を投ず。  
 明治四十四年度更に工事を起し、工費五百八  
 十八萬圓を以て大正十一年度に竣工。同年度  
 以降において新たに第一期都市計畫事業とし  
 て工費四十一萬餘圓、第二期都市計畫事業と  
 して工費四百八萬餘圓の二工事を起し前者は  
 十三年度に竣工、後者は昭和二年度に完成し  
 た。更に昭和三年第二次都市計畫の一部とし  
 て全市の下水道理計畫を確立し逐次施行する



こととなつた。なほ大正十年四月編入された新市域に對しては同年以後昭和二年間にわたる工費約百四十一萬圓をもつて下水排除の應急的工事を施したが、人家稠密にしてその發展最も著しく下水改良工事の急務を要する地域に對しては第三期都市計畫事業として工費千七百五十萬圓を以て昭和三年九月から半年にわたり施工することとし昭和三年九月着工、目下施行中である。右の全市下水處理計畫のうち最も急を要する市の中央部に對し昭和六年度から十年度までの繼續事業として工費千八百萬圓をもつて下水處理事業を施工することとし昭和六年十二月着工、目下施行中である。なほ第三期下水事業及び第一期下水處理事業(第四期下水事業に該管より除外せられた區域中最近發展著しき方面に對し昭和十一年度以降七ヶ年繼續事業として工費五千八百五十萬圓をもつて第五期下水事業を施行することとし目下認可申請中。

△病院と衛生試験所

○市民病院 病室百廿三、病床五百を有し中産以下の治療機關で昭和五年度より市内五ヶ所に診療所を設け外來者の診察を行ひつゝある。なほ北大阪にも市民病院を建設中。  
○衛生試験所 一般市民の保護衛生上各種の依頼試験、調査研究を行ふ。  
○桃山病院 傳染病患者を收容し、また細菌學的的研究をなす。病床千三百十七。

○刀根山療養所 豊中市にあり、療養の途なき結核患者を收容す。病床七百五十。  
○産院および乳児院 産院は扇町、今宮の二ヶ所、乳児院は堀川、今宮二ヶ所にあり共に中産以下に利用させ相談相手となる。

△社會事業と施設

△社會施設

○失業保護事業 (イ)職業紹介所 大正八年創設、現在は中央、九條、西野田、天六、天王寺、玉造、小橋婦人の七ヶ所あり小橋は婦人紹介を専門とする。支那事變直後の十二年八月以降應召軍人遺家族および引揚邦人に對しては積極的に優先的に紹介をなした。軍需勞務要員の充足には特に努力を拂つてゐる。  
(ロ)労働訓練所 十一年十一月の創設にかり、失業登録者その他より約百名を厳選、半練にわたり指導職員と起居を共にし、精神的肉體的に規律正しき訓練を経て健全なる産業従業員を養成するを目的とするものである。  
○經濟保護事業 (イ)住宅 中産階級以下の住宅難緩和、生活改善のため本市の提供せる住宅は大正八年以來現在戸數一、五〇七戸に達する。一定期間住宅料を完納すれば所有權が移轉されるいはゆる「月賦賣り住宅」は四五八所あり。改良住宅は昭和三年より天王寺、浪速兩區に跨る總面積約二萬坪の不良住宅地區の改良に着手し現在天王寺區の十一地區の改良を完了、浪速區における八地區の改良に着手してゐる。また小住宅建設助成のため土地會社、住宅會社、住宅組合に住宅建設資金の貸付をなし、その金額は三百二十萬圓建設された住宅は一、三〇〇戸を越ゆる。なほいはゆる水上生活者のために昭和十二年度の事業として約四十萬圓の創設費をもつて一六戸の住宅と六五室のアパートを建設中である。  
(ロ)宿泊施設 有料と無料とがあり、有料は大正八年創設、現在五ヶ所の一般宿泊所と昭和四年建設の海員宿泊所とがある。本市吏員雇員を對象とする寄宿寮(文化寮)、苦學生のための扇町學生寮(進修寮)、一般小額給料者の樂港寮、救護法による被救護者のための「西成厚生寮」、また「母子寮」がある。  
(ハ)市営賣舗 現在八ヶ所、資金六十一萬圓  
○兒童保護事業 託児所は大正八年創設、現在二十一ヶ所あり。このほか各市民館においもこの事業を行つてゐる。  
○社會教化事業 市民館は北、天王寺、港浪速、東、玉出、此花の七市民館あり。なほ南部に八萬圓の豫算をもつて一ヶ所建設の豫定。いはゆる隣保事業にして附近住民のため

講演會、講習會、補習教育などによつて習徳の修養と職業の技能の啓蒙をはかり、音楽、演藝會、活動寫眞などを催して清新なる趣味と慰安とを得せしめ別に健康、法律、身の上などの相談に應ずる。以上のほか共同宿舍、青年宿舍、簡易食堂、理髮所、浴場、地方改善事業などがある。

△中央卸賣市場

大正十四年三月市場開設認可を得て新船津橋の西方、川口波止場の北岸一帯三萬八千坪に豫算千八百萬圓をもつて創設に着手し昭和六年十一月十一日開業した。昭和十二年末卸賣人たる會社數七、その公稱資本金總額四千二百八十六萬五千圓、外に卸賣人五人あり、仲買人千二百二十四人、昭和十二年中の取引高は八千六百七萬圓にして前年に比し二・三%の増加を示し、平均一日の取引高は二十四萬五千九百圓である。なほ中央卸賣市場の機能を増ふため豫算七十萬圓を以て大量食料品の貯藏、荷捌所を擴充に建設し、且つこれを中央卸賣市場取扱品目に包含せぬ新炭その他の日用品の卸賣市場としようとして經營しつゝある。

△市設小賣市場

昭和十三年一月末現在五十三ヶ所で十二年中の賣上高は二千三百三十五萬圓、前年に比し

Table with 2 columns: 穀物類 (Wheat, Rice, etc.), 畜産物類 (Meat, Eggs, etc.), 農産物類 (Vegetables, Fruits, etc.), 其他 (Miscellaneous). Total value: 50,200,000 Yen.

△大阪市の要職

市長 坂間 棟治 助役 中井 光次  
助役 三宅 正三 助役 森下 政一  
収入役 椎野 信次 副収入役 福村 貞一  
電氣局長 木津谷 榮三郎 水道部長 島崎 孝彦  
運輸部長 岸本 熊太郎 土木部長 福留 並喜

電氣局長 橋本 敬之 同 燈部長 川内 權藏  
高木 貞治 港灣部長 内山新之助  
主計部長 高木 貞治 社會部長 田坂 茂思  
保健部長 藤原九十郎 教育部長 菅野和太郎  
經理部長 里村安二郎 財務部長 秋元 保一  
庶務部長 大塚 辰治 産業部長 伊東 俊雄  
監査部長 石原 孫市 秘書課長 金子金次郎  
人事課長 土井 登 秘書課長 金子金次郎  
○區長 (北區) 武川保人 (此花區) 櫻井忠義 (東區) 上島直之 (西區) 栗岡松次 (港區) 酒井利男 (大正區) 津山直一 (天王寺區) 塚本萬次郎 (南區) 森本頼平 (浪速區) 井上登圓 (西淀川區) 田中英一 (東淀川區) 北川定男 (東成區) 山本慶治 (旭區) 岩橋靜 (住吉區) 松村義太郎 (西成區) 梅原和二郎  
○市區職員 昭和十二年末における大阪市區職員數(給仕、使丁、雜役、現業員を含まず)八千五百六十六人、その給料年額七百七十九萬圓に達し、主なる職員の一一人一ヶ月平均給料は理事(部長)四百二十圓、市主事百九十圓、市書記九十五圓、區長二百三十二圓、區主事百五十六圓、區書記七十二圓である。同期の大阪市退職料(恩給)受給者は千九百四十八人、退職料年額七十一萬七千圓(一人一ヶ月平均五十一圓二十錢)同上大阪市遺族扶助料受給者は三百三十七人、十萬六千八百八十四圓、一人平均三百十七圓である。

△歴代市長(△印は物故)

氏名	就任年月日	退任年月日	在職年月
△田村太兵衛	明治三〇年三月	明治三〇年三月	三月
△田村定吉	明治三〇年三月	明治三〇年三月	三月
△山下重成	明治三〇年三月	明治三〇年三月	三月
植村俊平	明治三〇年三月	明治三〇年三月	三月
△肝付兼行	明治三〇年三月	明治三〇年三月	三月
△池上四郎	明治三〇年三月	明治三〇年三月	三月
△加々美武夫	昭和十一年七月	昭和十一年七月	七月
坂岡 檢治	昭和十一年七月	昭和十一年七月	七月

△市會

現在の大阪市會は昭和十二年六月一日施行の選挙によつて改選せられ従前の定員九十二名が十二名増員されて百四名となつた。改選の結果、最も著しい現象は無産議員の断然たる進出で社會大衆黨が一舉二十名當選した。すなはち改選後の分野は民政黨二十八名、社大二十名、政友會十九名、その他二十七名で社大は既成政黨の政友會を抜いて第二黨となつた。政友會では中立を標榜して當選したる者一名を自黨に引入れて辛うじて社大と同數としたがこの社大の進出に驚いた民、政兩派では對無産黨の立場から遂に右五十八名を打つて一丸として「市政聯盟」を組織し、ついで行はれたる正副議長の選挙にあたり改選前の正副議長として中立の川畑清藏、山野平一兩

氏への從來の義理その他一切の關係を無視して遂に議長には民政から中田守雄氏を、副議長には政友から田邊忠實氏を選挙した。これがため市會は市政聯盟、社大、中立三派が鼎立の情勢を醸成し將來事毎にこの傾向がいろいろな形であらはれることが豫想された。果せるかなその後、無理矢理に押立てた中田、田邊正副議長は各會派の意に満たざるものあり、なんとかして中立の川畑、山野前正副議長を復活せんとする運動が行はれたが川畑、山野兩氏とも正議長を望んで到底互譲妥協の色見えず、俄然川畑氏は十三年七月に至り自派の小會派を解消して政民兩黨合同の大會派に投じ次の議長を確保に獲得せんとするゼスチュアに出たため従前の山野氏一派の中立派との友黨關係も絶縁状態となり、山野氏一派十四名また七名づつに眞二つに割れて山野氏は純然たる孤立的中立となり、かくて市會は政民合體の大興黨と、社大、反理事者の色彩を帯びた一派および山野派の四つに分れデリケートな空氣をいよ／＼濃くしてゐる。

本敬一、古畑銀次郎、阪中繁市(西區五名)川畑清藏、吉岡彌市、田邊忠實、中田秀次郎、松本萬次郎(港區十一名)井上松五郎、大場木太郎、太田松太郎、金森嘉平次、高野保、掃繁夫、中西政三郎、青木新治、笹島榮助、菊澤雪治、樋口貞三(大正區四名)大西菊次郎、中野光義、淺野豐行、淺野藤太郎(天王寺區四名)甲斐績、有光岩次郎、澤虎之助、見野末次郎(南區四名)大谷正三郎、田中藤作、栗井岩吉、庄健一(浪速區五名)細松倉太郎、川西榮之祐、田村敬太郎、栗須喜市郎(西區川區七名)岩田慶、近森一、奥田泰治、名越民次郎、久野耕造、前田種男、木村信太郎(東淀川區八名)稻葉房藏、瀧川末一、田島政治郎、辻本富三郎、土田伊右衛門、長尾徳太郎、中川富三郎、北浦純一(東成區十一名)橋本民三郎、橋本吉五郎、百百基臣、大森種一、米田卯三郎、高谷喜三郎、松井強、澤竹宗雄、清水太一郎、森政憲、瀨社家敬治(旭區六名)磯野稔、徳永佐十郎、大谷辰造、加富彌市、田中七三郎、松尾順一郎(住吉區十名)濱田昌尾、金野太三郎、梶野嘉三、橋郷、橋本八郎、工藤精一、安部伊勢太郎、天野正儀、木下常吉、平井良太郎(西成區七名)吉宗貞之、田中正男、辻竹松、山口常治郎、松岡金太郎、寒川洋治、齋藤順次郎

○復興事業概要  
昭和九年九月二十一日の風水害直後、大阪

市は復興費總額一億五百萬圓(既決豫算千四百三十萬圓を含む)の概算計畫を樹て政府に對し大阪復興については七割五分乃至全額その他教育、土木等にありては關東震災の例にならひそれ／＼國庫補助、國庫貸付ならびに利子、補償などを要望したが、結局大阪港復興費(基本額千八百萬圓、このうち防波堤工事に對し七割五分、その他工事五割、計千九十九萬圓を昭和九年度より二十一年度までに補助)小學校復興費(九年度より二十四ヶ年にわたり事業費に對する元利償還額の八分の一補助)および結核療養所復興費(基本額約二十二萬圓の五割)の三事業に對してのみ國庫補助を受けることとなつたので同年十二月十四日の市會で可決され目下實施中である。その概要は左の通りである。

- 一、豫算總額千七百七十五萬圓(内譯——既決復舊豫算千四百二十九萬六千圓、復興豫算額五千五百七十七萬九千圓)
- 二、復興豫算内容
- 大阪港復興費 二千萬圓(六ヶ年繼續事業)(内譯——修築工事千八百萬圓、附帶工事二百萬圓)
- 教育事業 三千二百二十萬圓
- イ、小學校復興費 二千八百六十萬圓(五ヶ年繼續)被害小學校百七十六校、約十四萬二千延建坪の改築鐵筋コンクリート建八

市の財政

△大阪市歳計沿革  
明治二十二年市制施行以來大阪市の歳計は多少の出入はあつたが大體において年々膨脹し今日に至つたとは左表の示す通りである。(昭和十年年度迄決算、十一年度以後豫算、單位千圓)

年 度	歳 入	歳 出
明治二十二年	二七	一七
同 三二年	六〇	五八
同 四二年	四〇	三三
大正 八年	六四	四九
昭和 五年	三四	二八

昭和 六年	昭和 七年	昭和 八年	昭和 九年	昭和 一〇年	昭和 一一年	昭和 一二年	昭和 一三年
三〇、一六	三六、一七	四六、二〇	五九、〇九	六八、三六	七〇、三六	七三、三三	七五、三三
二八、六五	三〇、九六	三九、〇九	四九、〇九	五八、三六	六〇、三六	六三、三三	六五、三三

△昭和十三年度原豫算(單位千圓、以下四捨五入)

經 済 名	總 額
普通 經 済	八、九一
水 道 費	三、〇六
電氣事業業務勸定	四、〇六
同 資 本 勸 定	三、〇〇
同 用 品 勸 定	一、〇〇
高速鐵道建設費	一、〇〇
港 灣 費	一、〇〇
都市計畫事業費	一、〇〇
中央卸賣市場費	一、〇〇
實 業 費	一、〇〇
商科大學費	一、〇〇
受託事業費	一、〇〇
火災損害補填基金	一、〇〇
公 債 費	一、〇〇
合 計	一〇、九七

市阪大

△府税・市税・區稅率(昭和十三年度)

税目	府税	市税
國稅附加稅	府稅	市稅
地租	本稅一圓二付	本稅一圓二付
營業收益稅	同	同
所得稅	同	同
取引所營業稅	同	同
礦業稅	同	同
府稅附加稅	府稅	市稅
特別地稅	實賃價格百分の三・一〇五分の八占	實賃價格百分の三・一〇五分の八占
家屋稅	本稅一圓二付	本稅一圓二付
東大區	同	同
西大區	同	同
營業稅(本稅一圓二付九十錢)	千分ノ一・六	千分ノ一・六
物品販賣業	同	同
金銀貸付業	同	同
物品貸付業	同	同
製造業	同	同
運送業	同	同
倉庫業	同	同
請負業	同	同
印刷業	同	同

出版業	同	千分ノ一・六
寫眞業	同	千分ノ四・〇
旅人宿業	同	千分ノ五・〇
料理店業	同	千分ノ三・〇
周旋業	同	千分ノ三・〇
代理業	同	千分ノ五・〇
仲立業	同	千分ノ六・〇
問屋業	同	千分ノ六・〇
運河業	一ヶ年度稅金	八圓七九〇
棧橋業	同	八圓七九〇
船舶碇揚業	同	八圓七九〇
貨物貯揚業	同	八圓七九〇
兩替業	一ヶ年度收入金	千分ノ七・〇
湯屋業	同	千分ノ七・〇
理髮業	同	千分ノ七・〇
市特別稅	同	千分ノ七・〇
坪數割一	一坪ニ付	三圓〇〇〇
一等	二坪ニ付	三圓〇〇〇
二等	三坪ニ付	三圓〇〇〇
三等	四坪ニ付	三圓〇〇〇
四等	五坪ニ付	三圓〇〇〇
五等	六坪ニ付	三圓〇〇〇
六等	七坪ニ付	三圓〇〇〇
七等	八坪ニ付	三圓〇〇〇
八等	九坪ニ付	三圓〇〇〇
九等	十坪ニ付	三圓〇〇〇
軌道稅	軌道延長一材ニ付	一圓
但軌道條一材の重量六十噸を超過するものは十噸迄を増す毎に一材に付一錢八厘を増課す		
△都市計畫特別稅		
稅目	府稅	市稅
地租	本稅一圓	本稅一圓
營業收益稅	同	同

特別地稅 實賃價額千 實賃價額千  
 百圓ニ付 〇・七 分ノ四  
 本稅一圓 本稅一圓  
 家屋稅 圓ニ付 〇・三〇 圓ニ付 〇・四〇  
 營業稅 同 同 〇・四〇  
 雜種稅 同 同 〇・四〇

△大阪市の公債  
 大阪市の公債は昭和十三年六月一日現在で證券發行債・政府・銀行其他よりの借入金と併せ、其起債總額は六億五千七百四十三萬餘圓に達す。うち既に償還した六千四百三十九萬餘圓を差引けば公債現在額は五億九千六百四萬餘圓に上り、大阪市民は老幼を問はず一人當り約百八十五圓五十錢の負債を有する勘定となる。なほこの現在額を前年同期に比較すると約三千四百六十八萬圓の増加となつてゐる。

○市債内容一覽(單位千圓、以下四捨五入)

種別	起債額	現在額
證券發行債	四九、六三八	四九、六三八
銀行借入金	四六、八七六	四六、八七六
預金貯蓄金	一〇〇、一三三	一〇〇、一三三
借入金	一〇、五五六	一〇、五五六
簡易生命保險積立金借入金	一四〇	一四〇
大阪府借入金	一四〇	一四〇
合計	一〇七、四四二	一〇七、四四二



京都市

市都京

△沿革と廣表 京都は桓武天皇の御代延暦十三年に新京を營ませ給うてから千百有餘年間の帝都であつて世界最古の大都市の一つである。明治維新後發達に瀕したので長くも明治大帝は御軫念あらせられ明治三年産業基金十萬圓を御下賜に相成り、市勢は逐年發達を現回して漸次發展を示し同十二年市を東京、下京の兩區に分ち同廿一年東部九個村を編入し同廿二年特別市制が執行され市長の職務は知事これを行つてゐたが、同卅一年特別市制は廢止され獨立獨立歩の自治市となつた。同卅五年西西部一個村、大正七年東部を除く周圍部一町十五箇村を編入し昭和四年上京、下京の兩區を分つて新たに中京、左京、東山の三區を増設し、昭和六年近代的大都市を建設すべく近接の一市廿六箇町村を編入して右京、伏見の兩區を新設した。市域は極東西六里二十三町、極南北六里十四町、面積十八方里に達する大都市となり、洛中、洛外の由緒ある名勝史蹟、神社佛閣は山紫水明の自然美と相まつて世界における觀光都市として知られ、産業は美術工藝を中心として發展の一路を辿つ

てゐる。昭和九年の風害復興事業は大部分完成したが翌十年の水害による市内貫道の鴨、高野、御室、天神の四川を改修中の治水百年の大事業は同十二年七月再度の水害で破壊され再改修を進めてゐる。

△面積・人口・世帯(昭和十二年現在)

區名	面積	人口	世帯
上京區	〇・九	一〇八、〇〇〇	一八、八〇〇
左京區	三・〇	一〇八、〇〇〇	一八、八〇〇
中京區	七・〇	一八、八〇〇	三、四〇〇
東山區	三・〇	一八、八〇〇	三、四〇〇
下京區	六・〇	一八、八〇〇	三、四〇〇
右京區	九・〇	一八、八〇〇	三、四〇〇
伏見區	五・〇	一八、八〇〇	三、四〇〇
全市の面積は二八八方キ、人口總數一、一三三、九〇〇人(男五八一、六〇〇人、女五五二、三〇〇人)、世帯數二三五、七〇〇			
前年に比較して人口二六、五〇〇人、世帯五、五〇〇増、一世帯當人口四八八・一〇、女百人につき一〇五人三一、一方當人口密度三人九二八である。			

△都市計畫

【都市計畫區域】 四條烏丸を中心として半徑約九・六キの圓圈内に包擁される京都市、乙訓郡向日町、久世、久我、羽束師、大山崎、新神足、淀村、久世郡淀町、御牧村の一部、綴喜郡八幡町および美豆村の一部の二市

三町八村にわたる。

【都市計畫用途地域】 住居地域は東山一帯北白川、加茂、高尾、嵐山、桃山、醍醐、山科の靜寂なる方面、商業地域は舊市中心部の集團商業地と新市域に通ずる主要街道の路線商業地、工業地域は下京區、伏見區、西南郡部などの水利の便多き工場地、未指定地域は高野、西陣、梅津、山科などに散在する輕工業地である。

【防火地區】 四條通社園石段下、大宮間、烏丸通丸太町、鹽小路間、新京極通三條、四條間。

【風致地區】 鴨川沿岸、東山、北山、御所離宮、著名神社佛閣などを含む市の生命である風光明媚の地である。

△歴代市長

就職年月	退職年月
内貴三郎	明治三〇・〇 明治三〇・一〇(満)
西郷菊次郎	三〇・一〇 三〇・一〇(同)
西郷菊次郎	三〇・一〇 三〇・七(退職)
川上 親晴	三〇・一 大正元・三(同)
井上 密	大正二・三 五・三(同)
大野 盛郁	五・三 七・三(同)
安藤 謙介	七・三 七・三(同)
馬淵鏡太郎	一〇・七 一三・九(同)
安田耕之助	一四・二 昭和二・八(同)
市村 光惠	昭和二・八 二・二(同)

市都京

土岐 嘉平 三・二二
森田 茂 六・三三
大森吉五郎 五・三三
浅山富之助 一〇・一(退職)
市村 慶三 二・六(現任)

△市高級職員

市長 市村 慶三 第一助役 加賀谷朝藏
第二助役 石川芳太郎 収入役 五島 隆一
副収入役 西村 六郎 電氣局長 祝 島男
土木局長 高田 景 水道局長 杉山元之助
企業部長 中村三之助 財務部長 有本健三郎
教育部長 瀬谷 薫 産業部長 小泉 蒸
保健部長 飯野 斐 警務部長 三橋國太郎
電燈部長 山村 忠行 運輸部長 山田 民藏
秘書課長 芳賀 新助 上京區長 後藤 未久
左京區長 中山 邦明 中京區長 大石 右一
東山區長 中村長太郎 下京區長 西田 利八
右京區長 福本幸三郎 伏見區長 西村 光治

【解】恩賜京都博物館長職保之助、記念動物園長長田寛三、染織試験場場長猪飼博、工業研究所長仲井俊雄、宇多野療養所長三戸時雄、京都病院院長伊澤爲吉、衛生試験所長吉田房雄、児童院長福島滿帆、中央卸賣市場長井手久馬彦、大禮記念京都美術館長事務取扱石川芳太郎

△財 政(昭和十三年度)

市の財政は普通、特別、學區の三經濟に區分

されてゐるが、十三年度各經濟當初預算總額は七七、四四六、一〇六圓で、その内訳は【普通經濟】總額一五、二六八、五二一圓

Table with columns for various economic categories and their amounts. Includes sub-sections like '特別經濟' and '都市計畫事業費'.

公・物品購入資金 一、七七五、四八八
電氣事業用品購入資金 一、三三六、三三〇
染織試験場作業資金 四三三、三〇八
職員貸付金 四八七、四四八
基本財産 四三、三三三
積立金 二、四七五、七三三
合計 一、八〇七、三〇二

市都京

圓、専用自動車一・九〇圓、自動自轉車八〇圓、その他の自動車一・九〇圓、自轉車一圓、地方鐵道法または軌道法による電車専用電柱八・四〇圓、その他の電柱四・二〇圓、金庫三圓、犬一圓、狩獵一・五〇圓、不動産取得一・五〇圓、漁業一圓、藝妓祇園甲部、先斗町、七七軒、祇園乙部、宮川町、鳥原七五錢、北新地、七條新地五〇錢、伏見中書島、鐘木町六〇錢、犀川居橋市城八〇錢、新市城六〇錢、遊興一圓△特別稅戶別稅貸賃價格一圓、付三八三圓、商品切手發行稅發行高一圓に付一錢、軌道稅軌道延長一米に付一一七厘強

Table with columns for various categories and their amounts. Includes sub-sections like 'イタリ人' and '外人觀光消費額'.

昭和十年の水害は鴨川その他の大小河川一時に増水氾濫し護岸堤防決潰二八四箇所、三條、五條の名橋をはじめ橋梁の破壊流失八六橋、道路埋没流失延長三三、七〇〇米に達し昭和十一年度から鴨川その他の水害復舊は繼續事業として工事中のところ、昭和十三年七月再度の水害により復舊工事の破壊流失箇所相當數に及んだので府費支辨の鴨川を除く再水害復舊工事を六二九、五〇〇圓により着手することになった。

五箇年繼續事業として工費一〇、四八〇、六〇〇圓をもつて土地區畫整理を行ひ洛西工業地帯を完成せんとしてゐる。

【公園】圓山、岡崎、五條、船岡山公園のほかに兒童公園一個所を有し、さらに皇太子殿下御降誕記念事業として昭和十二年度から三箇年繼續で工費五〇〇、〇〇〇圓をもつて七箇の兒童公園を新設せんとしてゐる。

△交 通(昭和十二年度)

【電車】市電は有軌電車ほかに昭和七年わが國最初の無軌電車を四條大宮、西大路間に採用した。都市計畫外畫路線の軌道延長に伴うて車輛の不足を來たし、また車輛の約三分の一は廢車の運命にあるが、一時に廢車してこれが代車新調は電車經濟が許さないの昭和十一年度から五箇年繼續事業として小型ボギー車に取替中であり、壬生車庫及び工場は昭和十二年度から二箇年繼續事業として移轉改築することになつてゐるが未着手である。

營業路線 六九、九二七  
在籍有軌條車輛 四三、四四輛  
在籍無軌條車輛 六輛  
運轉車輛 一、一八、五四七輛  
現業人員 二、〇九九人  
乘車人員 一〇九、〇七四、〇〇〇人

乘車賃収入 伏見線以外六錢均一  
乘車賃収入 六、二二一、一三九圓  
【混合自動車】市電の補助機關として市電路線と並行する營業路線多く、ガソリン節約國策に順應してガソリン自動車二〇台を木炭自動車に改造し閑散な營業路線の運轉廢止および運轉時間の短縮をしてゐるが、さらに市電並行營業路線廢止までに至らんとしてゐる。

營業路線 七四、〇五六  
在籍ガソリン車輛 二一〇輛  
在籍木炭車輛 二〇輛  
運轉車輛 五四、七七七輛  
現業人員 八三〇人  
乘車人員 一五、〇五七、〇〇〇人  
乘車賃収入 特定區域十五錢以外十錢均一  
乘車賃収入 一、三六八、〇〇〇圓

△電氣供給事業  
琵琶湖より疏水を通して引水する水電八〇〇個のうち七五〇個をもつて發電し殘餘の百個は上水道、御所用水、濯漑用などに使用してゐる。

發電所 發電力 發電所 發電力  
蹴上 水力 七、七〇〇 夷川 水力 三、〇〇〇  
伏見 水力 一、六〇〇 横大路水力 一、六〇〇  
受電所 京都電燈および宇治川水電より九、〇〇〇キロワットづつを購入す。

電燈 需用家數 燈數  
定額 五、六六六 七〇、二七〇  
從量 六、六六六 七六、六六六  
合計 一〇三、三三二 一四六、九三六  
動力 需用家數 四、六九四  
需用家數 五、三三三 需用家數 四、六九四  
個數 六、六六六 個數 六、六六六  
電氣所一四、送電線延長一六〇キロ、配電線延長三六六キロ、電氣使用料二、九五六、二〇一圓、電力使用料一、三三四、七九〇圓、電熱その他使用料二、三五、六八二圓

△上 水 道(昭和十二年度)

上水道は琵琶湖から引水し山科、蹴上、松ヶ崎の三淨水場から六七〇、〇〇〇人に一日平均一二五立方メートルを給水することになつてゐるが、昭和十二年における給水人口は七十五萬人を突破するに至つたので同年十二月第十六師團と水道協定を締結し宇治川から引水する師團の桃山淨水場を擴張して源水の二元化をはかり、さらに蹴上淨水場を擴張して三十九萬人に給水すべく昭和十三年度から十七年度まで五箇年繼續事業として豫算五、八三五、〇〇〇圓を起債により擴張することになつてゐる。

配水管延長 六九八、六九三米  
給水戸數 一五七、一〇八戸  
給水人口 七五九、九七七人

△下 水 道(昭和十二年度)

下水道は昭和五年度失業救濟緊急事業として着手し同九年度主任、島原方面三二、〇〇〇人の汚水を處分する吉祥院處理場を完成し同十年度から十箇年繼續事業として二〇、四六〇、〇〇〇圓の豫算をもつて舊市域に下水道幹支線を敷設し六五〇、〇〇〇人の汚水を處分する上鳥羽處理場を設けることになり工事中である。

排水管延長 二二五、一三六米  
排水區域面積一、〇六〇、二六六ヘクタール  
水洗便所設置戸數 二四二戸

△校 園 教 育(昭和十三年度)

【小學校幼稚園】市は高等小學校二校を経營するのみで全市を一〇一學區に分ち小學校幼稚園に要する費用はその學區の負擔とし學區市税および特定財源をもつて經營せしめてゐるが、教員に對する諸給與は市において負擔し、さらに學區の財政状態に應じて市から補助してゐるが、十二年度の補助金總額は一、一五二、五三三圓を豫算に計上してゐる。

【小學校教員】  
種別 人員 俸給 俸給 平均  
本科正教員 男 一九六六 一八〇 一六〇 一六〇  
尋常科正教員 女 三三八 一六〇 一六〇 一六〇  
尋常科正教員 男 三三八 一六〇 一六〇 一六〇  
尋常科正教員 女 三三八 一六〇 一六〇 一六〇

專科正教員 三六  
代用教員 三六  
其他 三六  
【市立諸學校】  
種別 校數 學級數 收容數 教育數  
幼稚園 二 二六 二七二 八〇  
尋常小學校 二 一三六 一、六六六 一、六六六  
高等小學校 三 一六六 一、九八七 一、九八七  
尋高小學校 一 一六六 一、九八七 一、九八七  
男子中等學校 二 一六六 一、九八七 一、九八七  
女子中等學校 二 一六六 一、九八七 一、九八七  
繪畫專門校 一 一〇 一〇 一〇

【市立以外の諸學校】幼稚園三、小學校二、盲學校一、男子中等學校二、女子中等學校一、三、師範學校二、專門學校一、五、高等學校一、大學六。  
△社會 教 育(昭和十二年度)  
【青年學校】一般青年學校は男子のため小學校に併設し職業科は商業、工業、農業を授く。

種別 校數 學級數 生徒數  
男子青年學校 一 一 一〇〇  
松原商務青年學校 一 一 一〇〇  
商工專修學校 一 一 一〇〇  
實務女學校 一 一 一〇〇  
私立青年學校 一 一 一〇〇  
合 計 一 一 一〇〇  
【恩賜京都博物館】美術、歴史、美術工藝の三部門を合せて三、三三七點、うち國寶三九

○點を陳列、觀覽人員五四、〇三九人、  
【記念動物園】收容動物二三〇種類、一、〇七點、觀覽人員六五一、四四〇人。  
【音楽堂】使用回数七〇回。  
【記念京都美術館】使用回数七〇回、市展、文展開催。

【各種團體】帝國在野軍人會京都市聯合分會一分會數二二、會員約三〇、〇〇〇人、京都市聯合青年團一加盟團數一四九、團員約三〇、〇〇〇人、京都市聯合女子青年團一加盟團數八二、團員約一三、五〇〇人、京都市聯合婦人會一加盟團數七二、團員約二四、七〇〇人、少年團京都市地方聯盟一加盟團數三五、團員約六四〇人、社會教育委員會一〇一學區に學區社會教育委員會を設く。委員一、九五〇人。  
【體育】奉祝記念運動場、南禪寺、七條、二條公園の三水泳場を有す。

△社會 事 業(昭和十二年度)  
【窮貧救助事業】救護法による救護。  
實世帯 三、八〇九  
實人員 五、七三三  
延人員 一、一〇九  
金 額 一、一〇九  
なほ救護法によるもの、ほか慈善救濟、無料診療を行ひ市營の電燈料を免除してゐる。診

療券による救護は診療費人員七六一人、診療延日數一〇、九四七日、診療費三、〇〇〇圓で、救護の對象たるべき精神消耗弱者のため特に收容救護の施設を準備中である。

【経済的保護事業】貸付住宅は二四九戸で家賃は最高一八圓、最低八圓五〇、なほ供給住宅戸數二二二戸、住宅組合戸數七四七戸、風害住宅には復舊資金を貸付けてゐる。無料宿泊所の宿泊延人員は一六、二六八人、公設浴場の入浴人員は一、六七九、〇五〇人で入浴料二五、四五〇圓、公設食堂は利用人員七五、七八七人で金額九、七五三圓、公設質屋は貸付口數三〇、六五〇、金額二二九、二〇八圓、回収口數二四、五六〇、金額一一二、二六九圓、流失口數四二七、金額一、一八九圓。

【失業保護事業】労働者訓練道場は定員三〇名、訓練期間五箇月で年二回修了者二六名全部就職、失業者推定數は給料生活者一、三二七人、日傭労働者七、五〇六人、其他労働者二、七七八人。

職業紹介所成績  
求人數 男 四、七二七 女 四、四七六  
求職者數 男 四、七二七 女 四、四七六  
就業者數 男 三、〇七二 女 三、〇七二  
労働紹介所成績  
求人數 失業應急 四、八三九 一般 四、七二七

求職者數 男 四、七二七 女 四、四七六  
就職者數 男 三、〇七二 女 三、〇七二  
一般労働者失業應急小河川改修事業は労働者使用延人員一〇九、四八五人、勞賃一四九、七〇〇圓。

小額給料生活者失業應急事業は工業調査及び貧困者居住状況調査に使用延人員八、九七〇人、手當一〇、七六四圓。

授産場は洋裁、和裁、手工の作業延人員四一、一五五人、一日平均作業人員一五八人、一日一人當五一六圓。

【児童保護事業】児童院の成績は助産外代人員五、二八八人、入院二、二六四人、分娩二〇二〇人、健康相談一、〇〇五人、心理相談六、一五七人、家庭訪問五、一四五人、牛乳供給三五五人、數量一、二五升、農繁期託児所は春季三〇個所、平均開所日數二二日人員一、〇三八人、秋季一七個所、平均開所日數一九日、人員五五七人。

【隣保保護事業】隣保館七箇所の託児保育取扱人員三〇五、七二二人、家事講習受講者人員四〇、六四〇人。

【統後事業】支那事業による統後事業として百一學區において統後團體を組織し皇軍の歡迎、慰問袋發送、出征軍人遺族慰問などを行つてゐる。

物總額は九七八、五二五圓である。  
【中央卸賣市場】卸賣人七人、營業者三七六人、賣上高二〇、七九八、三〇四圓(昭和十一年)

【市設小賣市場】市場數二三、店舗數三五六賣上高二、五二八、九〇四圓(昭和十一年)

【市政問題】市では京都市ガス会社と明治四十年ガス管理設の道路占用料徴収に代ふる報償契約を締結し、總益金から總損金を控除したる總額の百分の五、總益金から一年一割の配當金および最低法定積立金を控除し、なほ餘剰あるときはその四分の一の報償金を納付せしめ、開業二十五年後は買収に應ずること、したが、昭和十二年開業二十五年に達し報償契約満了を機会に報償金増徴の契約改訂を交渉したところ會社側は應じないので、市は昭和十三年二月報償契約に伴ふ道路占用料徴収免除期限満了に際し報償契約無効により道路占用料徴収を通告し會社と交渉を進めたが、同年七月二十日遂に交渉は破裂し、市は道路占用料の三分分および上半期分四十餘萬圓の徴収通告を發することとなり、會社は報償契約有效の民事訴訟と道路占用料不當徴収不服の訴訟を提起し、市はこれに應訴して紛糾を醸してゐる。

【市會議員定數】六四名で上京區一五人、左京區七人、中京區一人、東山區七人、下京區一人、右京區五人、伏見區五人である。

【清掃】塵芥箱集二〇、九六四、九五〇貫、焼却場における焼却量横大路一四、〇三二、九八〇貫、伏見一、三九八、七〇〇貫、十條一、三九〇、七〇〇貫、殘餘は堆肥および埋立處分をなす。溝渠浚渫六一八、三九六間、屎尿汲取戸數一〇八、三三八戸、七七、三〇三石、處理場において處理石數十條四〇、二一二石、吉祥院三二、〇五八石、殘餘は拂下げまたは無料交付をなす。

【傳染病】患者 死亡  
赤痢 二、八三九 傷チフス 二、六二二  
パラチフス 二、二二二 猩紅熱 八六六  
チフス 五〇五 腸胃腸炎 一、二七二  
計 一、二六二

【施設】一般保健施設として衛生試驗所、屠場、宇多野療養所、花山、蓮華谷、歸命院の三次葬場、消毒所、墓地、京都病院、隔障所十條、伏見、横大路の三塵芥焼却場、十條、吉祥院の兩屎尿處理場、トラホーム治療所七箇所などを有す。

産業に従事してゐる人口數は總數の三割四分を占め官公吏、自由職業者および家事使用人が一割で残る五割六分が婦人、子供らに相當する。工業の分布状態は上京區が工場數の四割六分、工業額二割一分、労働者數二割五

【市參事會議員定數】一五名  
【學區會議員定數】全市一〇一學區に學區會を設け人口の一定標準により議員定數を二一人乃至一八人とす。

【市常設委員定數】教育、土木、庶務一一人宛、電氣九人、産業、保健、觀光七人宛。  
【市會各派】革正會三三名(民政派) 田中(議長) 田中三郎(副議長) 石田芳之助、石田杏左衛門、西村宗太郎、富林吉次郎、尾張惣七、大西太郎兵衛、太田和實三、小川半次、川端道一、川橋善治郎、川越直三郎、田中一男、竹内忠治、内藤清次郎、中村庄太郎、内山廣三、上野捨次郎、野田與三郎、藤井正次郎、藤井彦次郎、福田彌次郎、後藤彌太郎、東力進、釋村榮一郎、北村平三郎、木下彌次郎、宮崎又三郎、森米進、更生會一五名(中立) 伊藤庄兵衛、西尾林太郎、西村力、富松清、太田嘉兵衛、太田與一郎、長村清之助、横江善治郎、宅間佐助、坪田光藏、中川喜久、中塚保一、山村治三郎、比賣江金藏、菱野貞次、社會大眾黨九名 渡邊清一、津司市太郎、永井健藏、國島泰三、山村直三郎、阪本時三、水谷長三郎、生水徳松、森英吉、一新會七名(政友派) 生谷龜之助、橋本水太郎、久保元、江藤直三郎、北波長三郎、森川新太郎、無所屬一名 辻井民之助

分で第一位を占め、下京區、中京區これに次ぐ。市の工業額は昭和五年の一七一、六七九四七〇圓を底としてその後は毎年約二千萬圓の等差級數をもつて累進し、最近二八九、三八九、二七八圓に達したが、その主なるものは織物製品 八一、七八四、六八四圓、晒及染物 三三、二二九、八六一圓、紡績 一六、八二七、七二二圓、金屬製品 一三、一一一、七三五圓、絲物及袋物 七、八〇四、三四三圓、陶磁器 六、三五二、一〇五圓、漆器 四、三三九、七七九圓、武器及玩具類 一、五九四、一一二圓

輸出は昭和六年を底とし、その後累進して約六倍に達し、最近四二、四九〇千圓に及んだが主なる輸出品は絹、人絹織物、加工綿布、絹製品、電池、レース、ブッククロスなどの新興工業製品で北米、南米、インド、南洋方面に發展を示してゐるが對獨、對露輸出は減退してゐる。輸入は九、五二八千圓で輸出の二割三分に過ぎず、商業は中小商業者が大部分を占め、昭和十一年の農産物總額は二、二五七、〇二四圓で、その主なるものは米 一、三三〇、〇三〇圓、蔬菜花卉 二、三三三、七三三圓、粟 一、三三三、七三三圓、昭和十一年の林産物總額は二五三、一七六圓、水産物總額は二八、四五八圓、水産製造



名古屋

△廣表及び面積 濃尾平野の中央部に位し東部は概ね丘陵地帯だが、他は平坦、面積は一六〇・〇七九平方キロである。千種區一六・四二九平方キロ、東區一三・〇九八平方キロ、西區一七・六四五平方キロ、中區一・五二七平方キロ、中區七・七六九平方キロ、昭和區二・七二五平方キロ、熱田區七・〇七六平方キロ、中川區二・一四九平方キロ、港區二四・五二六平方キロ、南區一八・一四五平方キロ。

△沿革 古くから那古野、名護屋、那古屋の文字が使はれ、また古圖には浪越と書いたものもある。慶長十五年徳川家康、その子義直のために名古屋城の大事業を起し三代光友のころは人口五萬五千人になった。王政維新には名古屋藩、明治四年の廢藩置縣制に名古屋縣、幾何もなく愛知縣と改稱、明治十一年市制を施行、明治四十四年四月區制を實施、大正十年近接十六ヶ町村を編入、昭和二年、四年、五年の三回にわたつて名古屋港の一部を埋立て、同二年八月八事村の一部を、また同五年庄内村の一部を編入、かくて中部日本

における大都市となり、昭和十年十月一日の國勢調査においては人口百十一萬を突破、日本第三位となつた。さらに昭和十二年三月一日を期し隣接の庄内、下之一色、萩野の三ヶ町村を合併し、同年十月一日十區制が施行された。

△戸數及び人口(昭和十二年末公算) 戸數二五九・九四五、人口一、二一九、五五〇、男六二二、三三一、女五九七、三二九、人口動態(昭和十二年)婚姻一一、〇三二、離婚八六九、出生三三、一九九、死産一、五七五、死亡二八、三九四

△市の要職(昭和十三年七月現在)

(市長)大岩勇夫(助役)藤岡兵一(助役)神田純一(収入役)山田久米雄(電氣局長)高原匠水道局長)池田篤三郎(東區長)民尾慶次郎(熱田區長)吉田勝正(中區長)須藤林七(西區長)成田市太郎(中川區長)長谷川太平(中川區長)石田孫三郎(昭和區長)武内治資(千種區長)大河原昌勝(南區長)酒向興作(港區長)渡邊次郎(土木部長)花井又太郎(教育部長)坂本暢保(健康部長)三堀二郎(庶務部長)中原順平(社會部長)松橋基彦(産業部長)田中藏六(秘書課長)奥村國雄(會計課長)山田久米雄(調査課長)奥村國雄(市會書記長)林貞

△歴代市長

就職年月	在職年月
中村 修	明治三年三月
志村 忠平	同 三年二月
柳本直次郎	同 三年三月
志水 直	同 三年三月
青山 朝	同 三年三月
加藤重三郎	同 三年三月
坂本彰之助	同 三年三月
佐藤孝三郎	同 三年三月
大喜多寅之助	同 三年三月
川崎 卓吉	同 三年三月
田坂 千助	同 三年三月
大岩 勇夫	昭和二年八月

△市會議員(定員六十八名)

(議長)清井恒次郎(副議長)木村重正、大鹿由太郎、奥村鐵三(橋本金一、今堀辰三郎、淺井針次、松久好次、正田義助、成田秀雄、内藤一藏、安藤七郎、田中政友、近藤新助、山内誠一、市野徳太郎、須藤賢、伊藤甚八、石黒幸市、大澤賢雄、吉田謙、○熊谷治男、○加藤金之助、○富永一、○石黒一二、山根虎治、天野金松、山内金次郎、○井川一二、須永伊之助、榊原孫太郎、○佐々木信夫、廣田七郎、小栗作造、○横井龜吉、鈴木協藏、服部晴市、辻一、藤正次郎、○鈴木久夫、富田彦吉、太田百太郎、○石原秀治郎、野口令吉、伊藤銀之助、杉浦秋藏、○坪井研一、加藤一夫、松永秀則、大

△教育(昭和十三年七月現在)

○市立 商業三、工業一、機械修修一、高女三、幼稚園四、實務一、小學校一一九  
○私立 師範三、中學五、商業一、盲學校一、聾啞一、女學二、工業一、幼稚園一、小學校(師範附屬)二  
○官立 醫科大學一、高等學校一、高等商業一、高等工業一、同附屬夜學部一、同附屬教員養成所  
○私立 專門學校三、中學六、女學六、實務一二、幼稚園三六、各種學校五五、小學校一〇  
○社會教育 市立圖書館(藏書一三三、八七三冊)八館人員二二〇、一四二人(市の補助する圖書館七(藏書六七、八八八冊、入館人員九九、〇七七)

△産業及び經濟

○工業 本市産業の主體で職工數五人以上の工場生産總額は四億一千七百三十萬圓を示しわが國第三位、特に綿織物工業、陶磁器製造業はその重心をなし、航空機、精密機械など軍需工業の中心地となつてゐる。昭和十二年末の工場數および生産額左の通り(單位千圓)  
種別 工場數 生産額 種別 工場數 生産額  
紡 織 三三、三三三 機械器具 二二、二二二  
金 屬 二二、二二二 窯 業 三三、三三三  
化 學 二二、二二二 ガス及電氣 三三、三三三  
製材 二二、二二二 印刷 三三、三三三  
木製品 二二、二二二 及製本 三三、三三三  
食料品 二二、二二二 その他 三三、三三三

○名古屋港貿易總額(昭和十二年)

輸出入	輸出入
輸出 一四七、九〇九、五五〇圓	輸入 一四七、九〇九、五五〇圓
輸出 一四七、九〇九、五五〇圓	輸入 一四七、九〇九、五五〇圓
輸出 一四七、九〇九、五五〇圓	輸入 一四七、九〇九、五五〇圓

○重要貿易品(昭和十二年、單位千圓)

品名	輸出	輸入
綿織物	四、三九九	三、三三三
陶磁器	四、三九九	三、三三三
毛織物	六、二二二	五、五五五
車輪及び部分品	一〇、二二二	九、九九九
玩具	五、三三三	四、四四四
紡織機	六、六六六	五、五五五
飼料	一〇、二二二	九、九九九
ベニヤ板	五、五五五	四、四四四
箱板	五、五五五	四、四四四
肥料	四、四四四	三、三三三

○名古屋港 總工費二千餘萬圓の名古屋港第四期擴張工事もいよいよ十二年度をもつて完成、産業都の海の玄関としての名譽を備へる。昭和十二年中の寄航船舶數四、一四六隻一四、九八八、一三四隻に達した。

○市場 中央卸賣市場は未だ實現に至らない。小賣市場は市設一四、私設八九、市營家畜市場一、昭和十年四月全市場を打つて一丸とする名古屋食品小賣市場協會が生れ、市の統制監督のもとに市場内の聯絡協調ならび

○昭和十三年度當初豫算(總歲出)  
一 一般会計 三〇、四四、五八八圓  
特別會計 四、七四、四七六圓  
(内譯)水道事業費 六、四四、七九九圓  
電氣軌道事業費 九、三三、八七〇圓  
電氣軌道事業貯藏物品資金 九、三三、八七〇圓  
都市計畫費 五、四〇、七四三圓  
都市計畫土地區畫整理費 六、一〇、〇〇〇圓  
名古屋城並徳川園費 一〇、一五、〇〇〇圓  
公益質屋費 四、二四、五〇〇圓  
市債費 一、八八、二四〇圓  
児童就學獎勵費 一、八八、二四〇圓  
基本財産特別基本財産及積立金 一、八八、二四〇圓  
學校作業資金 三、七〇、〇〇〇圓  
合 計 六、一七、七九六圓  
○市債總額(昭和十三年四月一日現在)  
一三三、六一〇、一一〇圓 五九錢(うち外債一七〇、〇〇〇圓) 一七圓(一七圓) 換算して二、八九〇、〇〇〇圓を含む)

市屋古名

に市場經營の合理化を計つた。なほ協會設立後半年で共同仕入を實施し、さらにまた一ヶ...

△金 融

市内本店銀行數は農工銀行一、普通銀行五貯蓄銀行一、計七行でその他日銀、正金、興...

Table with columns: 長期, 短期, 實物, 總計. Values include 13,000, 11,000, 2,000, 15,000, etc.

△水 道 事 業

○上水道 目下施工中の市内配水管擴張工事竣工の時は一日最大給水能力二十三萬八千...

○下水道 明治四十年事業着手以來數次の擴張工事をなし、現在の排水總面積五、七一...

○市營プール (一) 振甫プール千種區振甫町に昭和八年六月竣工、公認プールで五十米競泳...

市屋古名

Table with columns: 長期, 短期, 實物, 總計. Values include 1,000, 1,000, 1,000, 1,000, etc.

○市内における省線各驛乗降人員

Table with columns: 名古屋, 熱田, 千種, 大曾根, 八田, 案内所, 總計. Values include 1,000, 1,000, 1,000, 1,000, etc.

○市内省線各驛發着貨物數量(昭和十二年)

Table with columns: 名古屋, 熱田, 千種, 大曾根, 八田, 案内所, 總計. Values include 1,000, 1,000, 1,000, 1,000, etc.

竣工、五十米競泳、二十五米練習プール、徒涉池...

△保健衛生事業(昭和十二年)

○傳染病患者 腸チフスおよびバチフス 一六 猩紅熱 一 赤痢および疫痢 三...

○市電運輸成績(昭和十二年度)

Table with columns: 運轉車輛數, 乗客數, 營業料程(十三年七月), 市營バス運輸成績(昭和十二年度)

○市營バス運輸成績(昭和十二年度)

Table with columns: 運轉車輛數, 乗客數, 營業料程(十三年七月), 市營バス運輸成績(昭和十二年三月)

△電氣及びガス事業

電氣事業中市電氣局の經營するものは市電のみで電燈、電力の供給は特殊のものを除いては東邦電力株式會社が供給してゐる。市は...

○方面委員助成會經營の診療所 市内に七ヶ所。

○塵芥焼却場(六ヶ所) 一六二、三六七、六八七。

○市立共葬墓地、火葬場、葬儀場 墓地總面積二二三、三四九平方米、新式の火爐三十基。

△土木事業

○街路の新設擴張 昭和十三年度施行のものとしては都市計畫第五回急設事業による一等大路第二類第六號線(則武線)はじめ四路線を...

○街路の舗裝 非常時局に對處する政府起債抑制方針の結果、十三年度施行決定事業は未だ着手の見込み立たざるも第五回および第六回失業應急事業として追加せる四路線ならびに昭和十二年度施行の第七回失業應急事業による市道、中川運河西線をはじめ十三路線延長一三、八二八、面積一四八、六九六平方...

○橋梁の新設改築 昭和十一年度より五ヶ年繼續事業に係り大瀨子橋をはじめ三十二橋梁の新設改築は前二ヶ年度の施行分たる二十二橋梁の繰越工事に對し目下工事施行中。



市屋古名

○都市計畫區畫整理 昭和十二年度より事業に着手せる名古屋屋前都市計畫土地區畫整理は土地家屋の所有者、權利者、賃賃價格等の基礎調査完了し十四年よりいよいよ本工事に着手せんとする。

○運動公園の新設 市民の體位向上に資する爲に計畫せられたる市設運動公園の新設は十三年度から着工、學生の勤勞奉仕による地均し工事の施行等目下着々工を進めつつあり。

○小公園の新設 公園綠地は市民の保健衛生上資する所大なるものあるは論を俟たざるも經濟的、地理的事務等よりこれらの施設およびその利用は甚だ遺憾の状態にあり然も都市生活をなす兒童に對するこれが施設およびその利用は眞に缺くべからざるものあるによつて市では十二年度より市内十ヶ所に小公園新設の計畫を樹て用地は地元の寄附にまち工費五〇〇、〇〇〇圓をもつてこれが施設をなすべく目下着々用地寄附の促進に努めつつあり。小公園一ヶ所二、〇〇〇坪乃至二〇、〇〇〇坪、計五三、九一四坪。

○東山公園 東洋一を誇る自然公園で十年四月開園、千種區田代町唐山山内にあり、總面積二十五萬坪、總工費八十萬圓、主なる施設としては東洋一の動物園(五十五萬圓)植物園(十八萬圓)兒童園およびドライブウェイ(六キロ)がある、動物園は四萬坪、十二年三月開園。ライオン、白熊、猿、鹿など各動物を放飼し名實ともに東洋一。植物園も十二年二月開園、東洋一を誇るもので温室及び二十二區の植物分科園があり、主要植物は二千五百餘種に及ぶ。

○鷗舞公園 昭和區鷗舞町にあり、七七、三四九坪、公園内に一周四百米のトラックをもつ陸上競技場があるが十二年四月第二種運動場に轉落したので、さらに五萬二千圓を投じて改装、維持費二千五百三十圓を出し第二種運動場として公認される。

- 中村公園 中村區中村町 三、〇二二坪
  - 志賀公園 西區志賀町 八、四四坪
  - 日吉公園 中村區下中村町 一、三三三坪
  - 下山公園 昭和區松原町 一、〇五五坪
  - 開道公園 昭和區松原町 一、三三三坪
  - 振甫公園 千種區振甫町 六、四四坪
  - 里山公園 中村區元中村町 一、〇二二坪
  - 那古野山公園 中區門前町 一、〇二二坪
  - 庄内公園 西區稻生町名塚町 八、四四坪
  - 松蔭公園 中川區下ノ一色町字千淵一、七六坪
  - 上野公園 千種區錦屋上野町 一、〇二二坪
  - 赤坂公園 千種區錦屋上野町 一、〇二二坪
  - 櫻木公園 西區櫻木町 一、〇二二坪
- その他市内に街園八ヶ所(一、九七七坪)があり、また公園預定地としては指定公園二十ヶ所、區畫整理組合公園百三十四ヶ所があり着々進行中である。

○名古屋城 元離宮で昭和五年下賜されたもの、同六年から一般に拜觀を許してゐる。資金の統をもつて天下に著名である。

○徳川園 昭和六年舊藩主徳川家から寄附された邸宅および庭園で同七年から一般に公開。

○公會堂 鐵筋コンクリートで五階建、總工費二百二十五萬圓を費し昭和五年九月竣工、大ホールは椅子席二千七百あり、その他の施設備も名古屋一で鷗舞公園にある。

△社會事業

社會館 二 授産所 二  
診療所 二 理髮所 二  
保育園 二 市營住宅 一七  
職業紹介所 四 公衆食堂 一七  
共同宿泊所 二 勞働紹介所 一  
公益質屋 三 養老所 一  
小兒保健所 二 賣店 一

○勞働紹介所成績(昭和十二年度)

求人數	求職者數	就職者數
男 三、三三三	男 二、〇〇〇	男 一、〇〇〇
女 三、三三三	女 一、〇〇〇	女 一、〇〇〇
計 六、六六六	計 三、〇〇〇	計 二、〇〇〇

○職業紹介所成績(昭和十二年度)

求人數	求職人員	就職者數
男 二、〇〇〇	男 一、〇〇〇	男 一、〇〇〇
女 二、〇〇〇	女 一、〇〇〇	女 一、〇〇〇
計 四、〇〇〇	計 二、〇〇〇	計 二、〇〇〇

神戸市

△市勢概説

○沿革 明治二十二年四月一日市制實施、同二十九年四月一日隣接三村を市域に編入し大正九年四月須磨町を、次いで昭和四年四月西灘村、六甲村(西平野を除く)、西郷町の三ヶ町村を併合し、同六年九月一日區制を實施、灘、葦合、神戸、湊東、湊、兵庫、林田、須磨の八行政区に分畫した。かくて面積八十三平方、餘、人口九十六萬四千(内閣統計局推計)にして國際的大都市として内容、外觀共に充實し更に同十二年五月此の膨大な市政の處理上能率増進を主とする職制の大改革が斷行され、部を單位とする市政の圓滑なる運用は益々將來の繁榮に拍車をかけるものとして期待されてゐる。

△將來の事業

○神戸港東部海面埋立事業 神戸港東部海面埋立工事計畫(四十四萬坪)は多年の宿願であり時局の進展に伴ふ軍需資材の生産擴充による工場地帯増設に必要不可欠のものとして實現を希望されてゐるが、起債抑制方針により前途に難色ある模様である。

○市公會堂の建設事業 皇太子殿下御降臨記念事業として昭和九年度より七ヶ年繼續工費五百餘萬圓を以て市の中央大倉山の高台約一萬坪を敷地とし、建坪二千坪、總坪數六千五百坪、鐵骨鐵筋地階共五階建の豪華殿堂たらしめんとするもので敷地造成工事は殆んど完成、建築の實施設計も決定したが支那事變の發生により鐵鋼材の使用制限を受け目下工事一時見合せの状況である。

○隣接町村合併問題 神戸を繞る町村一東郊都市計畫區域の御影、住吉、魚崎、本山および本庄の五町村、西郊の垂水町および北郊山田村などの合併問題の解決は特別市制の實現に備へ本市百年の繁榮を企圖するに絕對必要でそのうち合併機運の最も濃厚なる景勝地垂水および縣下第三の大村山田の兩町村より實現すべく基礎調査も着々進捗しつつある。併合の暁は市域は二倍五分に擴大し人口は百萬を突破する譯である。

○結核療養所の設立 須磨區多井畑の海拔百五十坪の高台に敷地約三萬四千平方尺鐵筋コンクリート五階建、總建坪約七千七百平方尺豫算八十三萬五千餘圓の結核療養所(ベッド數約三百)を建設の計畫で近く着工、十四年夏ころまでに竣工の豫定である。

○都市計畫道路夢野線工事 上澤通一丁目五番地より湊川公園西側に沿ひ東山町を經、菊水町五丁目二十番地先に至り(幅員二二尺、延長九六〇尺、總豫算八一萬圓)更に同所より夢野町石井町を經、下三條町五番地に至る(幅員一八尺、延長一、〇三三尺總豫算百四萬餘圓)

△港都の大水禍

昭和十三年七月三日夜來の猛雨は五日正午に至り三日間の總降雨量四九一・八ミリに達し、爲に山地は崩潰、河川は氾濫し遂に阪神地方に未曾有の大水禍を惹起した。神戸市に於ける被害は、家屋の流失全壞四千餘戸、半損壞二萬四千餘、浸水土砂堆積實に十一萬千餘戸に上り、人命の失はるゝもの四百有餘、行方不明、負傷者二千六百餘を算し、公私施設、市民の財貨等また莫大なる損害を被り水魔の跳梁に依る被害總額一億三千六百卅五餘萬圓に達し空前の慘禍の發生を見たのである。市廳内には直に警備本部(後に臨時水害應急措置部)市會に水害對策委員會が夫々設置され應急對策に全力を挙げ、また緊急市會の議決に成る四百十萬餘圓の應急措置に懸命

市戸神

市戸神

の活動をつとけ一方應急的復舊に要すべき費用は總額に於て一千四百數十萬圓に上るを以て市會及び市長はそれ極力政府に對し國庫補助申請の猛運動を行つた。なほ將來の復興計畫に關しては市長の諮問に應じ重要事項を調査審議する機關として市内外の有力者よりなる顧問七名、委員七十六名を擁する神戸市復興委員會が組織され、水害を契機として百年の大計を樹つべく眞摯なる努力が傾注されてゐる。

△土地と人口

◇面積 全市八三・一九五方キロ  
◇人口 九十六萬四千人

△人口の變遷と世帯數

(年次) (人口) (世帯數)  
明治二十二年(市制實施) 一三〇、七〇〇 一三、三六六  
明治四十一年(市制調査) 一七〇、九三三 一七、九二五  
大正九年(國勢調査) 二〇六、六四一 二一、七〇〇  
大正十四年(國勢調査) 二四四、三三三 二五、五〇〇  
昭和五年(同) 二七二、六二六 二七、六三三  
昭和十年(同) 三〇三、一七六 三〇、〇一八  
昭和十二年(推計) 三二四、〇〇〇 三二、一〇〇

△區別人口世帯

(昭和十二年十月一日内閣統計局推計)  
全市 人口 世帯  
全 三二四、〇〇〇 三二、一〇〇

Table with columns for district names (灘, 神戶, etc.) and their respective population and household counts.

△歴代市長

Table listing the names and terms of office of the city mayors from Meiji to Showa.

△神戸市高級職員

(昭和十三年八月二十日現在)  
市長 勝田銀次郎 △助役 八木林作 △助役兼經濟部長事務取扱 守屋壽夫 △收入役 村上金次郎 (會計課長) △副收入役 佐々木良綱 (電氣局會計課長) △電氣局長 杉野繁 △理事 荒木文四郎 (土木部長) 同村山喜一郎 (水道部長) 同川島傳三 (教育部長) 同赤堀郁太郎 (社會部長) 同横

尾繁六 (經理部長) 同岩田讓 (保健部長兼同部警防課長事務取扱) 同三木敏藏 (庶務部長) 同廣瀬秀吉 (電氣局運輸部長) 同都木健 (同財務部長) 同前田利雄 (同電氣部長) 同野田林太郎 (同工務部長) 同村早太郎 (同給電部長) 同長 (同小西建左衛門 (舊倉) 谷山富三郎 (神戸) 中村中 (養老) 永末節雄 (養) 道添哲夫 (兵庫) 古藤市三郎 (林田) 成瀬修一郎 (須磨) 小林壽郎

△市會議員

(定員六十四名) ◎印參事議員  
西川莊三、重成干代吉、大越兵藏、丹下良太郎、川崎濱太郎、柴田礪吉、永田良介、香山熊吉、丸岡茂吉、伊丹武司、松田平藏、上田實、松岡勝榮、安國幸左衛門、平松市太郎、岸原徳四郎、清島甚吉、北國太郎  
◎大崎一郎、松本速瀨、◎梶野太郎、大坪榎太郎、豆谷大吉、後藤伸一郎、近藤健一、大久保直次郎、◎森重太郎、◎高砂藤吉、谷本貞次、伊藤貞五郎、小林秀吉、◎黒田覺平、南陽二郎、山下文太、◎岡本大六、八木佐太治、◎小畑萬吉郎、◎片岡常松、村上蕃一、◎吉田兼一、木原仙松、佃良一、谷口庄一、竹島謙作、◎竹田延延、細見達藏、手納幸、◎永田八重雄、手納幸次郎、高木重明、金光邦三、成瀬佐太郎、◎田中太兵衛、山本讓治郎、◎南秀春、◎松澤兼人、神田喜太郎、◎

市戸神

Table showing various financial and administrative statistics for the city, including categories like '普通經濟' and '都市計畫'.

中川光太郎、中ノ瀬幸吉、永江一夫、藤原正雄、◎森政雄、酒井一雄、伊藤利勝 ▲(議長) 上田實(副議長) 松岡勝榮(市會書記長) 門前嘉久一

△市 算(昭和十三年度、單位圓)

Detailed financial table with columns for different departments and their budgets.

印刷所費 二〇、六八八 經常 二七、六八八  
計 三〇、〇六六 臨時 一〇、三〇八  
昭和十年度 三〇、〇六六 臨時 一〇、三〇八

△銀行

本店銀行(神戸、神戸湊西)支店銀行一七、外國銀行支店六  
組合銀行助定(外銀を含む、單位千圓)  
預金 高 六七、六四七  
貸金 高 四六、五九  
現金有價證券 八〇、六四七

△手形交換高

Table showing exchange rates and trends for various types of promissory notes.

△輸出入

Table showing trade statistics for various goods, including percentages of change.

◇對全國神戸港比率%  
輸出 三五 輸入 三〇 合計 三三一

◇主要通商國輸出入額(單位千圓)

Table showing trade volumes with major countries like America, England, and India.

◇重要輸出品(單位千圓)

Table listing major export goods such as cotton, silk, and wool.

◇重要輸入品(單位千圓)

Table listing major import goods such as cotton, wool, and various oils.

◇生 絲 (昭和十二年度) 数量(擔) 價額(千圓)  
 輸出高 一二、七六六 六、五二〇  
 前年比較 七、八六三減 八、三〇〇増  
 同比率 (減)六、四〇% (増)三、四四%  
 兩港輸出高比率 神戸 三三% 横濱六六%

倉庫協會加入倉庫出入貨物(十一倉庫)

入庫 出庫  
 一、八四九千個 一、四七九千個  
 一、〇七三萬千圓 一、七六八千圓

△會 社 (昭和十一年度)

業種	社數	資本金(千圓)
工 業	一、〇一三	五、〇五、四四六
商 業	二、〇三三	三、三、八八八
運 輸	一、一	一、七、九七九
其 他	一、一	一、〇八八
合 計	四、一五八	一〇、〇、〇〇〇

◇中央卸賣市場 昭和十二年三月開設の認可を得、水陸運輸の要衝兵庫區中之島沿岸三五、二九八平方尺の地に豫算七、二五〇千圓で五年八月創設に着手、七年十二月開業。東西二ヶ所に配給所を設置し市場機能の充實圓滑を期してゐる。十二年度の取引高二六、七九六

- ◇購買人員一、六七七。
- ◇方面事業 委員定數四三九名、方面區一〇
- ◇救護事業 救護實人員七五人。
- ◇救護院 二ヶ所、定員二二〇人、收容實人員三八七人。
- ◇兒童相談所 取扱件數三七、三〇四。
- ◇保育所二ヶ所、定員一五五人、受託兒童數四〇、〇六九人。
- ◇水上兒童ホーム 定員一三〇人、入寮兒童三八人。
- ◇巡回産婆 七人、取扱妊婦實人員三、七九五。
- ◇公設食堂 六ヶ所、賣上二二九千圓。
- ◇公設賣屋 三ヶ所、利用者二二、二七八人。
- ◇市設住宅 二ヶ所、二一八戸。
- ◇住宅組合 二四組合、償還済のもの二〇。
- ◇不良住宅地區改善事業 本年度支出額七、四〇四。
- ◇共同住宅 七館、三二六戸。
- ◇有料宿泊所 二ヶ所、定員四〇〇人。
- ◇無料宿泊所 二ヶ所、定員二百人。
- ◇海員會館 定員二百人、宿泊人員四六、四九一人。
- ◇仲仕休憩所 利用者七三、二九〇人、増設一。
- ◇授産所 就業延人員七、七六〇人。
- ◇職業紹介所 求職八萬餘人、就職二萬餘人

千圓(前年度より三、一八二千圓増)

◇公設市場 現在數は十一、店舗數三三三、十二年度賣上高二、六五八千圓にして一市場賣上一ヶ月平均二〇、一三七圓である。

△土木、都市計畫事業

◇五ヶ年繼續土木事業 昭和九年度より同十三年度に至る繼續事業で市内二十一路線に互り道路の新設、擴築をなさんとするもので道路延長約八、二〇〇尺、面積二二二、四二〇平方尺、事業費總額五、四〇四、五〇〇圓、うち竣工せるは十一路線である。

◇昭和十二年度失業應急事業新設

多井畑一妙法寺線、妙法寺一長田線 前者は延長一、五二八尺、幅員七、五尺、總工費五九、三九〇圓、後者は延長二、〇六〇尺、幅員七、五尺、總工費九三、六一六圓、昭和十三年三月各完成

△都市計畫事業概況

神戸都市計畫事業は、街路上事としては大正九年三月着手の第一期事業は山手線、上澤線、大倉山線、湊川線、松原線、和田岬線ならびに高松線を含む總延長六、四九九間、幅員十一間半、十二間半、十三間の三種、事業費一七、三五三、三三三圓餘、大正十四年三月竣工。第二期事業は須磨線ならびに尻池線の總延長三、〇六九間、幅員十三間半および十五

間、事業費六、四四五千圓餘、昭和三年十月竣工。第三期事業は兵庫區港線、國道線、臨海國道線、新生田川筋線、板宿線など總延長三、九三七尺、幅員二四、二七、三三、三六、四〇尺等を完成、夢野線、平野線延長二、七四三尺、幅員二五尺及び十八尺の事業は十三年度に完成の豫定で、總豫算二、一七〇千圓である。他に海岸線並に神戸驛演習線を都市事業として決定、十一年度より三ヶ年繼續事業として施行中で總延長二、五八〇尺、幅員二七尺、總豫算二、六五〇千餘圓である。

△教育

昭和十三年四月末現在の官公立中等學校以上の諸學校は二十、生徒數一七、四七九人、私立諸學校は中等學校十八、生徒數一三、一七四人、その他各種學校として神戸工業高等專修學校、三菱職工學校、親和女子商業專修學校、神戸女子高等技藝學校等四十校あり。小學校は市立七十一、兒童數一、二二、二二九人、私立三校生徒數一六九人、市立青年學校三六、生徒數一八、七一八人、市立夜學校九校、生徒數八五八人、市立幼稚園七、園兒數一、三六五人、私立青年學校九、生徒數二、五〇八人、私立幼稚園三七、園兒數二、八二一人。

△社會事業 (昭和十二年度)

◇救護事業 救護實人員三、五七一、母子保年九月電車の補助機關としてバス事業を創始今日に至る。

◇電気供給 電燈需要家戸數二〇五、一五二戸、燈數百十八萬二千五百二燈、電力供給需要戸數八、〇六九戸、使用電動機數一萬九百台、馬力數十五萬七千馬力。

◇電気軌道 營業里程三三、三三餘、車輛數二八五、十二年度乗客人員九千餘萬人、收入四百九十四萬餘圓に上る。

◇バス 七八キ、車輛二四四、十二年度乗客一千七百萬人、收入百五十六萬餘圓。

△上 水道

◇沿革 明治三十年五月布引、鳥原兩貯水池の起工に始まり、卅三年四月給水開始、三十八年五月竣工、給水人口二十五萬人、次に明治四十四年第一回擴張工事を施工、給水人口五十萬人に達したが市勢の進展と市域の擴大に伴ひ大正十四年更に擴張工事を施し給水人口八十萬六千人となり今日に至つた。その後難治合併に伴ひ第三回擴張計畫を樹てたが工事認可の運びに至らず結局縣當局の水利統制方針に基き昭和十一年夏神戸市と阪神間二市十三町村を給水區域とする阪神上水道市町村組合の設立を見た。これは大體第三回擴張計畫を骨子とし新たに淀川取水案を加へ給水人口百萬人を目標(神戸市六十三萬人)としてゐる。

△神戸駐在各国領事館(昭和十三年六月末現在、×印は總領事館、△印は副領事館)

- ×ドイツ(分館) 神戸区東町一五五 總領事W・ワグネル
- ×中華民國 事變で十三年二月七日閉鎖
- ×ソ聯邦 十二年四月五日閉鎖
- ×オランダ 神戸区明石町明海ビル内 總領事代理W・H・デ・ロイズ
- ×ブラジル 神戸区海岸通商船ビル内 總領事オスカ・コレイア
- ×アルゼンチン 神戸区海岸通商船ビル内 總領事フランシスコ・オルテイス
- ×ルイジアナ 神戸区海岸通商船ビル内 名譽領事竹田龍太郎
- ×スエーデン 神戸区江戶町九三 名譽總領事E・W・ジエームス
- ×キューバ 神戸区京町クレセント・ビル内 總領事P・M・ドミン
- △イタリー 神戸区山本通二丁目二七 副領事マルコ・デ・レンツォ
- ×アメリカ 神戸区東町一三二 領事ウインスロップ・R・スコット
- ×イギリス 神戸区京町七二クレセント・ビル内 首席領事アレキサンダー・R・オーブンス
- ×フランス 神戸区山本通二丁目一〇 領事ベ・ドペール
- ×エチオピア 東京へ移駐
- ×ノルウェー 神戸区仲町五六 名譽領事T・B・ガンスモア
- ×スペイン 本國動亂で現在閉鎖
- ×デンマーク 神戸区江戶町九二 名譽領事R・W・ビヤース
- ×ギリシヤ 神戸区京町日本ビル内 名譽領事H・C・マクノート
- ×ベルギー 神戸区明石町三八 名譽領事アンリ・メルキオール

- ×ペルー 菅合區邊通四丁目神戸ビル内 領事ホータ・ホセ・サラス
- ×チリ 神戸区山本通二丁目六 名譽領事ドン・アルベート・メインホルド
- ×パナマ 神戸区山本通二丁目一 領事E・ペリノ
- ×ポルトガル 神戸区中山手通二丁目一ノ八 名譽領事F・D・シルバー・スーザ
- ×メキシコ 神戸区海岸通商船ビル内 名譽領事D・ラトフ
- ×グアテマラ 神戸区仲町一八 名譽領事J・ムスタロス
- ×ホンチユラス 神戸区山本通四丁目 總領事フランシスコ・アレマン
- ×ハイチ 神戸区海岸通二丁目A 代理領事ビー・ゼー・レンデル
- ×ボリビア 神戸区京町七二クレセント・ビル内 名譽領事龍川儀作
- ×パラグアイ 神戸区中山手通四丁目二三 名譽領事藤村和夫
- ×ウルグアイ 神戸区海岸通商船ビル内 領事アルベルト・ポルク
- ×エス
- ×ヴェネズエラ 神戸区北長狭通三丁目一〇 名譽領事加藤順次
- ×シヤム 林田區明和通二丁目一 名譽領事榎田充造
- ×アメリカ大藏省出張所 神戸区東町一三二 財務官M・G・スコット
- ×カナダ商務官事務所 神戸区京町七二クレセント・ビル内 商務官P・V・マクグレン
- ×チエツコ・スロヴァキヤ 海岸通商船ビル内 名譽領事ミロス・イリ・ステスカル
- 合計 總領事館八、領事館二〇、副領事館二、財務官一、商務官一。

横濱市



△沿革と概観

横濱市の誕生も發展も港である。港は横濱の生命である。安政六年六月二日(西暦一八五九年七月一日)開港以來本年に至る八十年を閲した。戸數僅かに百戸に満たなかつた一漁村は開港とともに内外の商人一齊に参集して一朝にして繁華の巷となり横濱の名は突如として内外に轟きわたつた。尤も開港前後には領國、攘夷、開港と諍論囂々の中に物情騒然として、かの有名な文久二年の生麥事件をはじめ外人殺傷襲撃事件などが隨所に引起されたが時勢の波に押し流されて外國との通商は次第に頻繁その度を加へて行つた。開港當時の貿易状況は今日に比べれば微々たるものであらうが英、米を始めその他の諸國と通商條約成立し諸外國商館の設立あり毛織物、諸器物殊に當時珍重せられた諸硝子製品その他の雜貨が輸入せられた今日日本邦輸出品の大宗たる生絲は保土ヶ谷の商人芝屋清五郎なる者によつてはじめて外國商館に賣込まれてから着々需要を増加したものである。なほまた

今日の我國文化の蘊蔵も横濱にその端を見るものが多い。慶應三年には僅か十馬力ではあるが國産汽船で海岸通二丁目から江戸永代橋間に一日一回の通船事業始められ明治二年九月東京、横濱間に電信の架設があつて我國通信事業の第一歩となつた。また鐵道は明治五年五月品川、横濱間に開通、同年九月に瓦斯燈の點火を見た。浄化装置を持つ近代的水道施設は英人技師パーマーの設計によつて明治二十年竣工したのが全國の魁である。その他活字、新聞の發行、乗合馬車など横濱に始まつたものは枚舉にいとまなく我國文化史上横濱港の盡した役割は誠に大きい。かくて明治、大正の聖代の國運の隆盛に伴ひ次第に人口稠密し我國六大都市に伍して世界有数の國際港都となり大正十二年ごろには人口四十餘萬を擁する本邦第一の大貿易港となつた。しかるに大正十二年九月一日の關東大震災は二萬三千の市民を奪ひ各般の施設を一瞬にして灰燼に歸せしめ全市は廢墟と化してしまつた。一時は最早復舊も期し難しと危まれたが市民の氣魂と努力は朝野の甚大なる援助の下に災後僅か六ヶ年にて復興事業を完成し災害前より遙かに完備せる施設を有する清新激刺たる近代港都を形成するに至つた。さらに大都市計畫案に本づいてまづ昭和二年四月一日には久良岐郡の昇風ヶ浦村、大岡川村、日下

村、桶淵郡の内保土ヶ谷町、城郷村、大淵村、旭村及び鶴見町、都築郡の内西谷村の二町七ヶ村を編入し同年區制を施行し全市を鶴見、神奈川、中、保土ヶ谷及び磯子の五區に分ち水陸兩方面にわたり諸設備の企畫進められ大防波堤の建設をはじめ永代借地權の買収、上水道の擴張、埋立臨港工業地帯の設定など大都市として重要な事業着々進捗し就中神奈川及び鶴見における埋立臨港工業地帯六十餘萬坪は費れ盡して多數の大工場ここに林立し單なる貿易港より工業港都への飛躍をなさんとしてゐる。さらに昭和十一年十月一日には久良岐郡金澤町、六ツ浦村及び鎌倉郡永野村を、さらに翌十二年四月には住宅並に學園地として理想的なる桶淵郡日吉村の一部を合併し、明治二十二年市制施行當時五・四万、人口十二萬に過ぎざりし横濱市はここに面積百七十三万、人口七十五萬九千人に達し一躍躍進の途を邁進しつつある。

△土地

面積(方キロ)	周囲(キロ)
明治二(市制施行)	五・五八
同 三四(第一次擴張)	三九・八〇
同 四四(第二次擴張)	三六・七八
同 四四(第三次擴張)	一五・六三
同 一一(第四次擴張)	一六・三〇
同 一一(第五次擴張)	一七・一八